

奈良市  
子育てに関するアンケート調査  
調査結果報告書

平成 30 年 3 月

奈 良 市





# 目 次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1	調査の目的 .....	1
2	調査対象 .....	1
3	調査期間 .....	1
4	調査方法 .....	1
5	回収状況 .....	1
6	調査結果の表示方法 .....	2
<b>II</b>	<b>調査のまとめ（総括）</b> .....	<b>3</b>
1	調査対象について .....	3
	（1）子どもと家族の状況について .....	3
	（2）保護者の就労状況について .....	3
2	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について .....	3
	（1）平日の定期的な教育・保育事業の利用状況 .....	3
	（2）平日の定期的な教育・保育事業の利用希望 .....	4
3	子どもの病気の際の対応について .....	4
4	子どもの地域の子育て支援事業の利用状況について .....	4
5	子どもの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について ..	5
6	育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について .....	5
7	放課後の過ごし方について .....	6
	（1）小学校低学年（1～3年生）になったときの放課後の過ごし方.....	6
	（2）小学校高学年（4～6年生）になったときの放課後の過ごし方.....	6
8	悩み事や環境への満足度について .....	6
	（1）子育てに関することで日常悩んでいること、あるいは気になること.....	6
	（2）子育ての環境や支援への満足度 .....	6
9	子どもにやさしいまちについて .....	7

<b>Ⅲ 調査結果</b> .....	<b>11</b>
1 就学前児童（0～2歳、3～5歳） .....	11
(1) お住まいの地域について .....	11
(2) 子どもと家族の状況について .....	12
(3) 保護者の就労状況について .....	17
(4) 平日の定期的な教育・保育事業について .....	29
(5) 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について .....	48
(6) 病気の際の対応について .....	54
(7) 地域の子育て支援事業の利用状況について .....	66
(8) 一時預かり等について .....	82
(9) 職場の両立支援制度について .....	96
(10) 子育てに関する困りごとなどについて .....	105
(11) 子どもにやさしいまちについて .....	115
(12) 小学校入学後の放課後の過ごし方について（5歳以上のみ） .....	118
2 小学生 .....	127
(1) お住いの地域について .....	127
(2) 子どもと家族の状況について .....	128
(3) 放課後の過ごし方について .....	138
(4) 子どもの居場所について .....	150
(5) 病気の際の対応について .....	152
(6) 地域の子育て支援事業の利用状況について .....	157
(7) 一時預かり等の利用状況について .....	160
(8) 職場の両立支援制度について .....	167
(9) 子育てに関する困りごとなどについて .....	173
(10) 子どもにやさしいまちについて .....	179
3 地区別集計結果 .....	182
4 ヒアリング調査 .....	199
(1) あなたとお子さんについて .....	199
(2) 地域子育て支援センター・子育て広場の利用について .....	202
(3) 子育て（妊娠中を含む）の悩みや気がかりなことについて .....	203
(4) 保育所・幼稚園・認定こども園の利用について .....	204
(5) 奈良市の子育て支援事業について .....	207
<b>Ⅳ 自由意見のまとめ（アンケート調査より）</b> .....	<b>211</b>

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

子ども・子育て支援新制度に基づく「子ども・子育て支援事業計画」を見直すにあたり、市民の子育てに関する現状等を把握し、子ども・子育て支援の実態や課題等を整理するための基礎資料とします。

## 2 調査対象

### (1) アンケート調査

奈良市在住の0～2歳児、3～5歳児の保護者各1,000件  
市内小学生（2年、5年）の保護者2,089件

### (2) ヒアリング調査

各施設の利用者（地域子育て支援センター、つどいの広場）

## 3 調査期間

### (1) アンケート調査

平成29年7月20日から8月7日まで

### (2) ヒアリング調査

平成29年8月21日から8月31日まで

## 4 調査方法

### (1) アンケート調査

就学前児童（0～2歳、3～5歳）…郵送配布・回収  
小学生 …学校配布・郵送回収

### (2) ヒアリング調査

直接配布・回収

## 5 回収状況

	配布数	回答数	有効回答率
(1)アンケート調査			
0～2歳児	1,000 通	527 通	52.7%
3～5歳児	1,000 通	511 通	51.1%
小学生	2,089 通	870 通	41.6%
計	4,089 通	1,908 通	46.7%
(2)ヒアリング調査			
各施設の利用者	101 通	101 通	100.0%

## 6 調査結果の表示方法

- 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。なお、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

## II 調査のまとめ（総括）

### 1 調査対象について

#### （１）子どもと家族の状況について

子育てについて、主に行っているのは「母親」の割合が50%を超え、「父母ともに」の割合をやや上回っており、平成25年度調査と大きな変化はありません。また、日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいるかについて、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が、0～2歳では65.1%、3～5歳では58.1%と最も高くなっています。また、「いずれもない」の割合が1割程度となっています。

#### （２）保護者の就労状況について

母親の就労状況について、「就労している」の割合が0～2歳では51.2%、3～5歳では58.1%と最も高くなっています。平成25年度調査と比較すると、0～2歳、3～5歳ともに「就労している」が10%程度増加し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」を上回っています。

### 2 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

#### （１）平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

幼稚園や認可保育園などの「定期的な教育・保育事業」の利用状況（0～2歳：問7、3～5歳：問7）は、0～2歳で「利用している」の割合が市内での利用が41.4%、市外での利用が1.1%となっており、「利用する必要がない」の割合が41.6%となっています。一方、3～5歳で「利用している」の割合が市内での利用が92.0%、市外での利用が3.3%、「利用する必要がない」の割合が2.5%となっており、平成25年度調査と比較すると0～2歳、3～5歳ともに「利用する必要がない」の割合が減少し、奈良市内での利用の割合が増加しています。

現在利用している事業（0～2歳：問7-1、3～5歳：問7-1）については、0～2歳で「認可保育所」の割合が48.2%、「認定こども園」の割合が24.1%、3～5歳では「幼稚園」の割合が41.7%、次いで「認可保育所」の割合が27.3%、「認定こども園」の割合が25.1%となっており、平成25年度調査と比較すると、0～2歳、3～5歳ともに「認定こども園」が増加しています。

平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由（0～2歳：問7-5、3～5歳：問7-5）については、「子育て（教育を含む）をしている方が、現在就労している」の割合が0～2歳で最も高く79.5%となっていることに加え、3～5歳でも平成25年度調査より増加していることから、保護者の就労状況や子育ての環境を考慮した上で、教育・保育ニーズを把握していく必要があります。

## (2) 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望

現在利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業として、定期的に利用したいと考える事業（0～2歳：問7-1、3～5歳：問7-1）は、平成25年度調査では0～2歳、3～5歳ともに「幼稚園」が最も高い割合となっていました。今年度調査では0～2歳で「認可保育所」の割合が39.9%、次いで「認定こども園」の割合が32.2%、3～5歳については、「認定こども園」の割合が18.8%、次いで「認可保育所」の割合が16.8%となっており、ニーズが変化してきたことがうかがえます。

家庭類型別にみると、0～2歳、3～5歳ともにひとり親家庭、フルタイム×フルタイム、フルタイム×パートタイム（長時間）で「認可保育所」「認定こども園」の割合が高くなっています。平成25年度調査に比べ、家庭類型別の利用希望に大きな変化はみられませんが、フルタイム×フルタイム、フルタイム×パートタイム（長時間）の割合が増え、母親の働き方が変わってきたことから、就労状況に応じた家庭環境の変化を考慮した上で、適正な教育・保育ニーズを見込むことが重要です。

## 3 子どもの病気の際の対応について

この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはあるか（0～2歳：問9、3～5歳：問10）について、「あった」の割合が、0～2歳では78.6%、3～5歳では66.1%となっています。

お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法（0～2歳：問9-1、3～5歳：問10-1）は、0～2歳、3～5歳ともに「休みをとった」の割合が最も高く、0～2歳では87.5%、3～5歳では69.6%となっています。母親の就労状況別にみると、0～2歳、3～5歳ともにフルタイム、パート・アルバイト、自営業で「休みをとった」の割合が高く、そのうち「母親がとった」割合は80%を超えています。母親のフルタイム、長時間のパートタイムが増えている現状からも、休みを取りやすい環境づくりや周囲の理解が求められます。

「休みをとった」と回答された方で、その際「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか（0～2歳：問9-2、3～5歳：問10-2）について、0～2歳、3～5歳ともに「利用したいとは思わなかった」の割合が70%程度となっています。

## 4 子どもの地域の子育て支援事業の利用状況について

地域の子育て支援事業の認知状況（0～2歳：問10、3～5歳：問11）は、「地域子育て支援センター」の割合が0～2歳では83.5%、3～5歳では73.4%となっています。また利用状況（0～2歳：問11）をみると、0～2歳では「利用していない」の割合が50%以上あるものの、「地域子育て支援センター」の割合が26.4%と最も高くなっており、平成25年度調査と比較すると、「つどいの広場」「子育てスポット」が減少しています。

今は利用していないが、できれば今後利用したい、または利用日数を増やしたいと思うか（0～2歳：問12、3～5歳：問13）については、0～2歳、3～5歳ともに「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が高くなっています。「利用していないが、今後利用したい」の割合が0～2歳では25.0%、3～5歳では22.9%となっており、平成25年度調査と比較しても認知状況に比べ利用希望が増えていないことがうかがえます。

## 5 子どもの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業があるか（0～2歳：問14、3～5歳：問15）について、「利用していない」の割合が0～2歳では92.0%、3～5歳では75.3%と最も高くなっていますが、現在利用している事業をみると、3～5歳では「幼稚園・認定こども園の預かり保育」が19.2%と最も高くなっています。また、利用希望（0～2歳：問15、3～5歳：問16）については、「利用したい」の割合が0～2歳では46.9%、3～5歳では50.5%となっています。母親の就労状況別にみると、0～2歳の母親では自営業で、3～5歳の母親では現在就労していない人で「利用したい」の割合が高くなっています。利用の目的については「私用（買物等）、子ども（きょうだいを含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的」の割合が最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだいを含む）や親の通院等」の割合が高くなっています。また、3～5歳で「不定期の就労」が増えています。

この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを「泊りがけ」で家族以外にみてもらわなければならないことはあったか（0～2歳：問16、3～5歳：問17）については、「あった」の割合が0～2歳で14.2%、3～5歳で19.4%と低く、その対応方法も「親族・知人にみてもらった」の割合が0～2歳で86.7%、3～5歳で92.9%と最も高くなっていますが、親族・知人にみてもらうことについて、平成25年度調査に比べ0～2歳で「特に難しくなかった」が減少し、「どちらかというとな難しかった」が増加していることから、公的な保育サービスの充実が求められます。

なお、小学生調査（問18）では、「あった」の割合が20.3%となっており、就学前児童に比べ割合はやや高くなっています。

## 6 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

お子さんが生まれた時、育児休業を取得したか（0～2歳：問17、3～5歳：問20）については、母親で「取得した（取得中である）」の割合が0～2歳で38.9%、3～5歳で33.9%となっており、母親が取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が0～2歳、3～5歳ともに突出しています。

一方で、父親が「取得していない」の割合が0～2歳、3～5歳ともに80%以上となっており、平成25年度調査に比べ、0～2歳でわずかに「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。また、取得していない理由については、「制度を利用する必要がなかった」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」といった割合が多くみられますが、平成25年度調査に比べ、母親の「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が減少していることや、父親の「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」の割合が減少していることから、育児休業の取得や、出産後も仕事を続けやすい環境づくりは進んでいることがうかがえますが、引き続き仕事と子育てが両立できるよう支援することが必要です。

## 7 放課後の過ごし方について

### (1) 小学校低学年（1～3年生）になったときの放課後の過ごし方

小学校低学年（1～3年生）になったときの放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思うか（3～5歳：問18、小学生：問8）については、3～5歳では、「自宅」の割合が45.3%と最も高く、次いで「バンビーホーム（放課後児童クラブ）」の割合が41.2%、「習いごとや塾」の割合が38.8%となっています。

一方で、小学生調査では、「自宅」の割合が62.9%と最も高く、次いで「習いごとや塾」の割合が58.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が24.0%となっており、3～5歳との乖離があることがわかります。

### (2) 小学校高学年（4～6年生）になったときの放課後の過ごし方

小学校高学年（4～6年生）になったときの放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思うか（3～5歳：問18、小学生：問8）については、3～5歳では「習いごとや塾」の割合が48.8%と最も高く、次いで「自宅」の割合が46.5%、「バンビーホーム（放課後児童クラブ）」の割合が27.1%となっています。

一方で、小学生調査では、「自宅」の割合が66.1%と最も高く、次いで「習いごとや塾」の割合が65.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が24.5%となっています。

## 8 悩み事や環境への満足度について

### (1) 子育てに関することで日常悩んでいること、あるいは気になること

子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることについて（0～2歳：問20、3～5歳：問23、小学生：問22）、0～2歳については、「食事や栄養に関すること」の割合が最も高く、次いで「病気や発育・発達に関すること」「子どもの教育に関すること」の割合が高くなっており、3～5歳、小学生については、「子どもを叱りすぎているような気がする」「子どもの教育に関すること」の割合が高くなっていることから、子どもの年齢が上がるにつれ自分の子育てや教育に関する悩みにシフトしていることがうかがえます。

### (2) 子育ての環境や支援への満足度

奈良市における子育ての環境や支援への満足度（0～2歳：問18、3～5歳：問21、小学生：問20、「1：満足度が低い～5：満足度が高い」）については、「3」の割合が0～2歳では40.0%、3～5歳では38.0%と最も高く、次いで「2」の割合が高くなっており、満足度がやや低い方に回答が集中しています。また、平成25年度調査に比べると、「4」の割合がやや増加しています。

なお、小学生調査においても、ほぼ同様の傾向となっています。

## 9 子どもにやさしいまちについて

奈良市が「子どもにやさしいまち」だと感じるか、について、「とてもそう思う」と「そう思う」の割合が、0～2歳では44.3%、3～5歳では34.5%、小学生調査では29.5%となっています。子どもにやさしいまちだと感じる条件については、「子どもが安心して過ごすことができる居場所や遊び場がある」の割合が、どの年齢でも最も高く、6割程度となっています。



### **Ⅲ 調査結果**

#### **1 就学前児童（0～2歳、3～5歳）**

---



### Ⅲ 調査結果

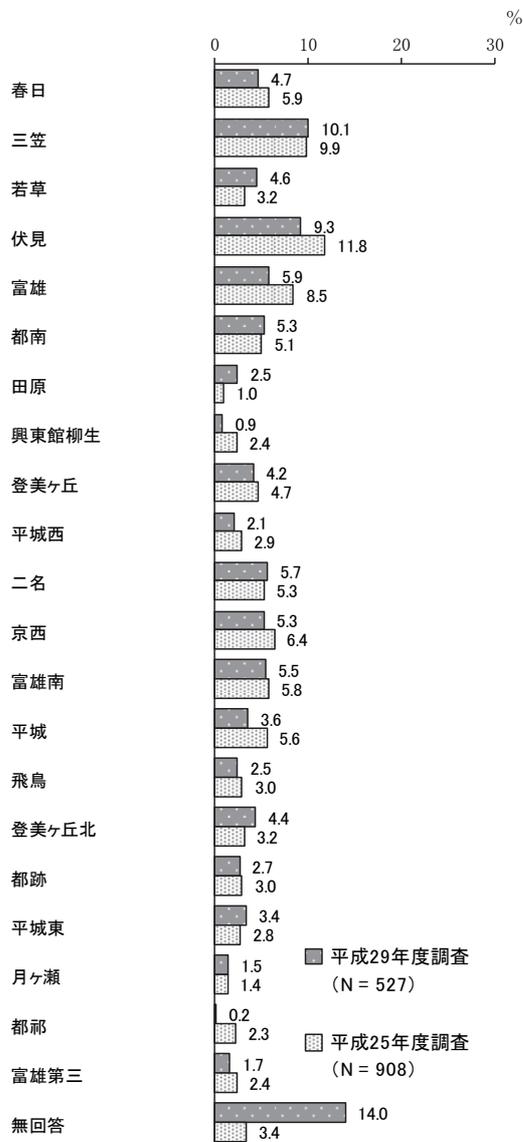
#### 1 就学前児童（0～2歳、3～5歳）

##### （1）お住まいの地域について

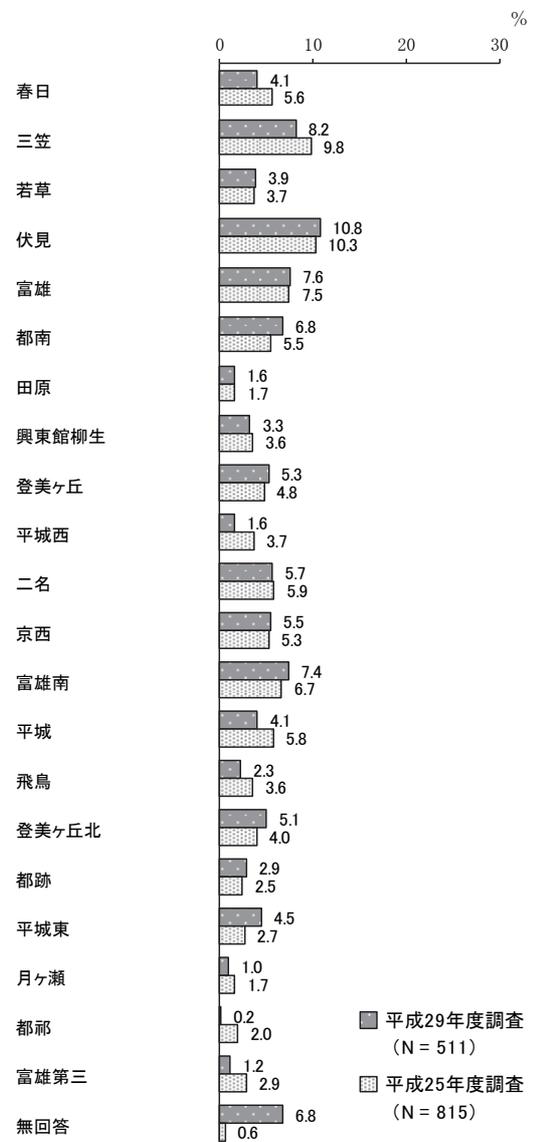
問 お住まいの中学校区はどこですか（1つに○） 中学校区がわからない場合は、お住まいの町名を回答欄の最後にある（ ）内にご記入ください。【0～2歳：問1、3～5歳：問1】

0～2歳については、「三笠」の割合が10.1%と最も高くなっており、3～5歳については、「伏見」の割合が10.8%と最も高くなっています。

【0～2歳】



【3～5歳】



## (2) 子どもと家族の状況について

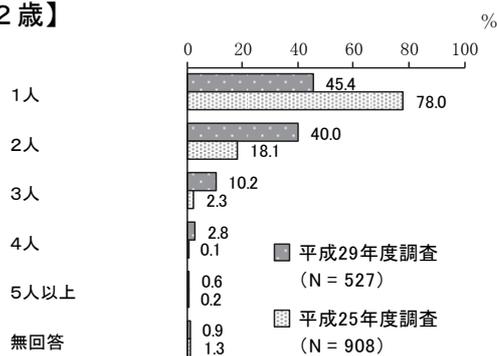
問 ご家族の状況についてお答えください。【0～2歳：問2、3～5歳：問2】

(1) あて名のお子さんを含めて、お子さんは何人いらっしゃいますか。

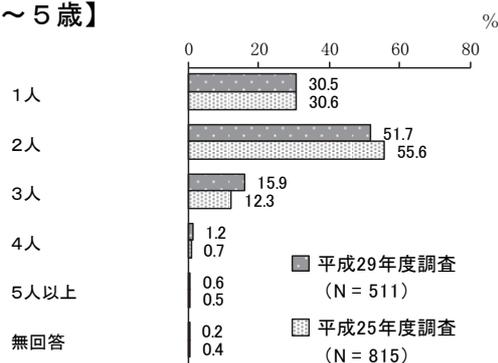
0～2歳の子どもをもつ家庭での子ども的人数については、「1人」の割合が45.4%と最も高く、3～5歳の子どもをもつ家庭での子ども的人数については、「2人」の割合が51.7%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳では「1人」が減少し、「2人」「3人」が増加しています。

### 【0～2歳】



### 【3～5歳】

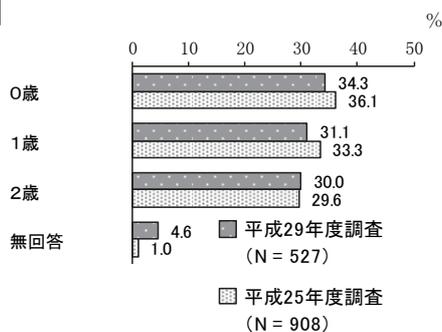


(2) あて名のお子さんの生年月をお答えください。

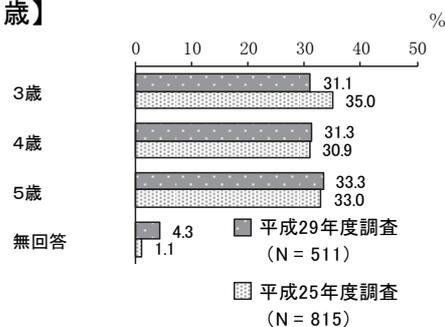
0～2歳については、「0歳」の割合が34.3%と最も高く、3～5歳については、「5歳」の割合が33.3%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳、3～5歳ともに大きな変化はみられません。

### 【0～2歳】

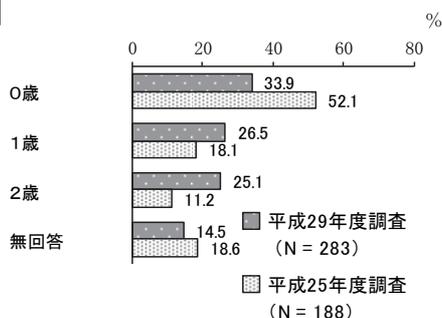


### 【3～5歳】

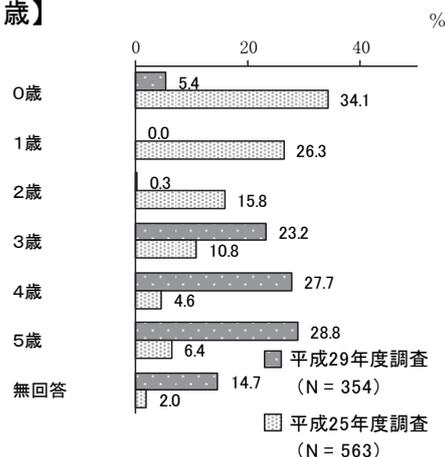


(3) 末子の年齢

### 【0～2歳】



### 【3～5歳】

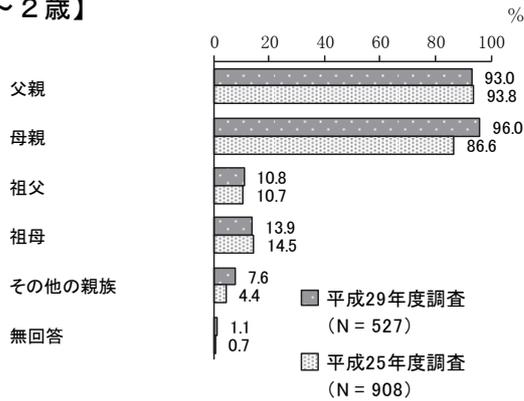


(4) あて名のお子さんと同居されている親族等（きょうだい以外）を①の欄にお答えください。  
あてはまる番号すべてに○をつけてください。但し単身赴任等で別居されている場合は②の欄に○をつけてください。

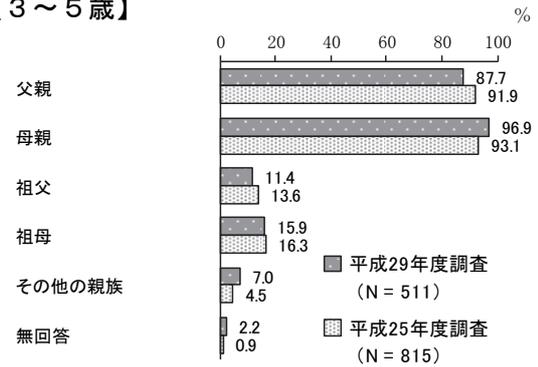
### 同居の親族等

「母親」の割合が、0～2歳では96.0%、3～5歳では96.9%と最も高くなっています。  
平成25年度調査と比較すると、0～2歳で「母親」が増加しています。

#### 【0～2歳】



#### 【3～5歳】



### 単身赴任の親族等

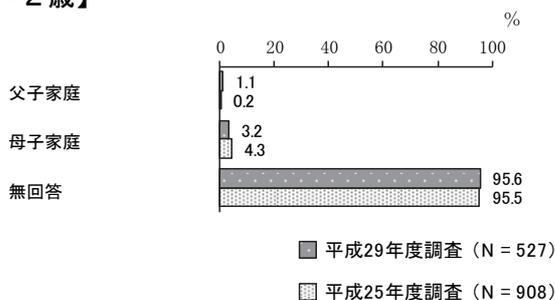
父親が単身赴任の家族の割合は0～2歳では2.7%、3～5歳では4.1%になっています。母親が単身赴任の家族の割合は0～2歳では1.7%、3～5歳では0.4%になっています。

### ひとり親家庭等

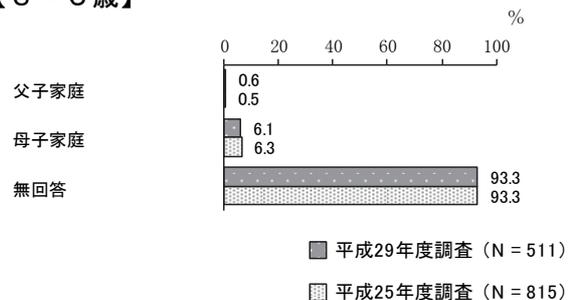
「父子家庭」の割合が、0～2歳では1.1%、3～5歳では0.6%となっています。「母子家庭」の割合が、0～2歳では3.2%、3～5歳では6.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳、3～5歳ともに、大きな変化はみられません。

#### 【0～2歳】



#### 【3～5歳】

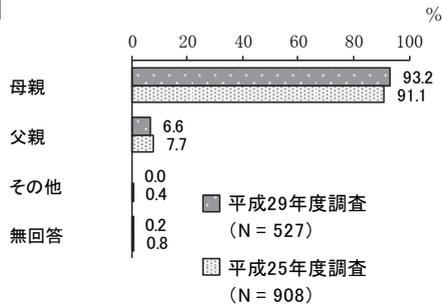


問 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんから見た関係であてはまる番号1つに○をつけてください。【0～2歳：問3、3～5歳：問3】

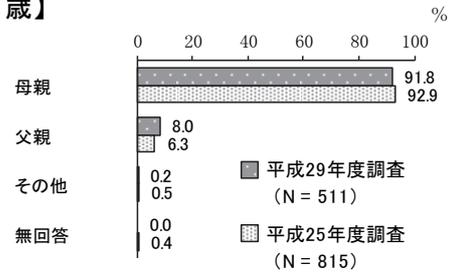
0～2歳、3～5歳ともに、「母親」の割合が90%以上となっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳、3～5歳ともに、大きな変化はみられません。

【0～2歳】



【3～5歳】

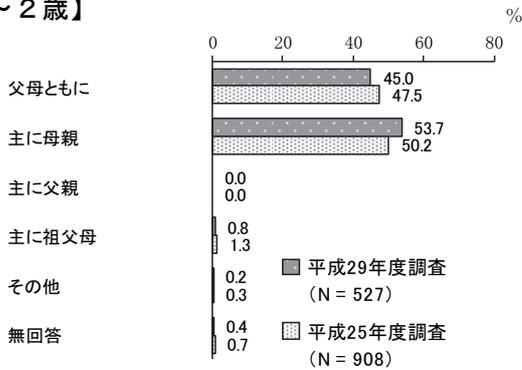


問 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係であてはまる番号1つに○をつけてください。【0～2歳：問4、3～5歳：問4】

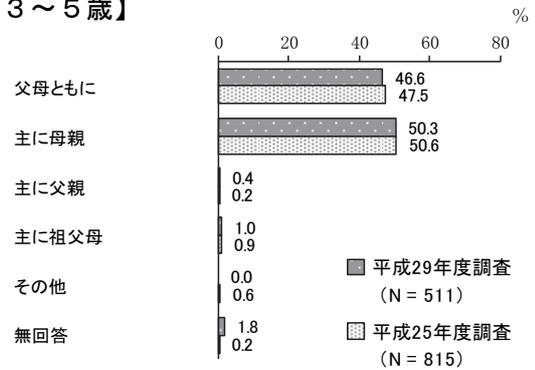
0～2歳、3～5歳ともに、「主に母親」の割合が50%を超えており、「父母ともに」の割合を上回っています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳、3～5歳ともに、大きな変化はみられません。

【0～2歳】



【3～5歳】

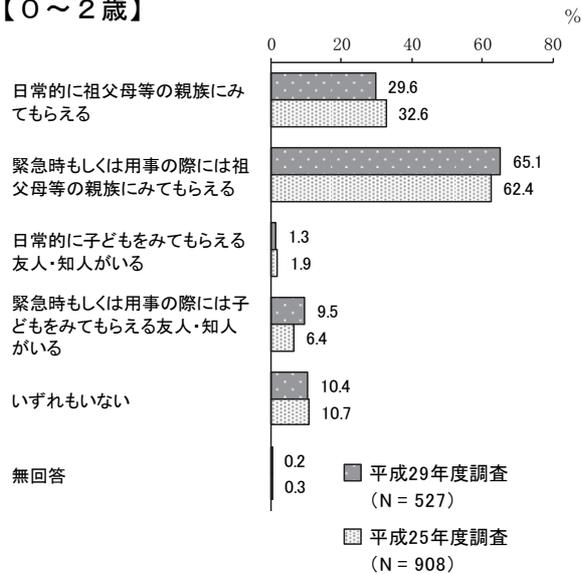


問 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。【0～2歳：問5、3～5歳：問5】

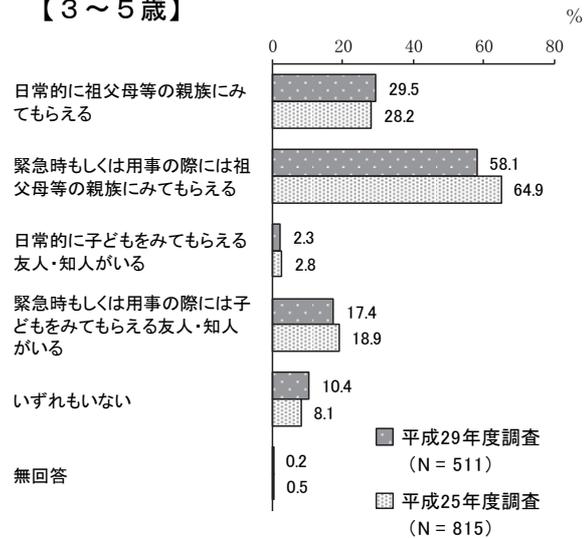
「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が、0～2歳では65.1%、3～5歳では58.1%と最も高くなっています。また、「いずれもない」の割合が1割程度となっています。

平成25年度調査と比較すると、3～5歳で「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が減少しています。

【0～2歳】



【3～5歳】



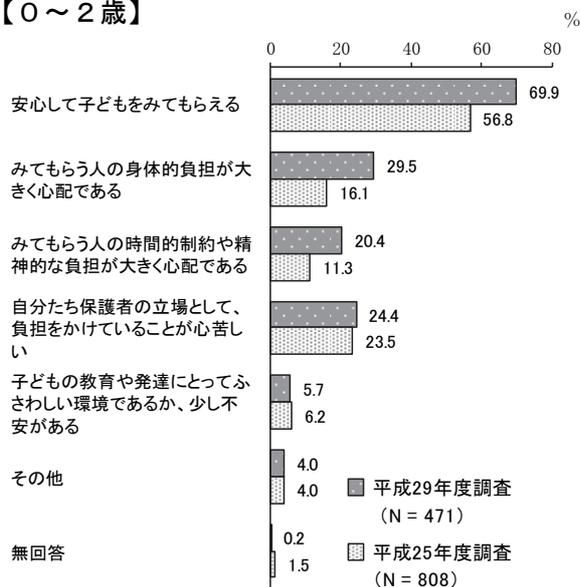
問 前問で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」とお答えの方にはうかがいます。

祖父母等の親族や知人にあて名のお子さんを見てもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。【0～2歳：問5-1、3～5歳：問5-1】

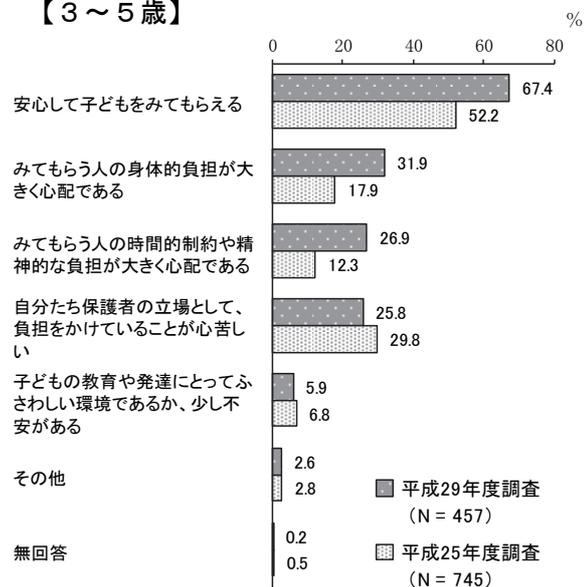
「安心して子どもをみてもらえる」の割合が、0～2歳では69.9%、3～5歳では67.4%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳、3～5歳ともに、「安心して子どもをみてもらえる」「みてもらう人の身体的負担が大きく心配である」「みてもらう人の時間的制約や精神的負担が大きく心配である」が増加しています。

### 【0～2歳】



### 【3～5歳】



### (3) 保護者の就労状況について

問 あて名のお子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。①～⑩の項目ごとにあてはまる番号1つに○をつけてください。【0～2歳：問6、3～5歳：問6】

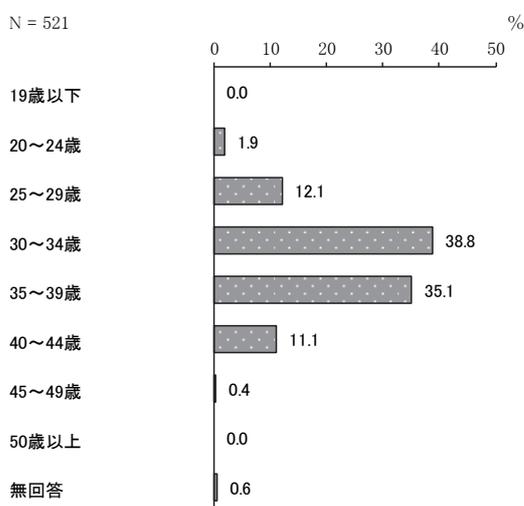
#### <母 親>

##### ①年齢

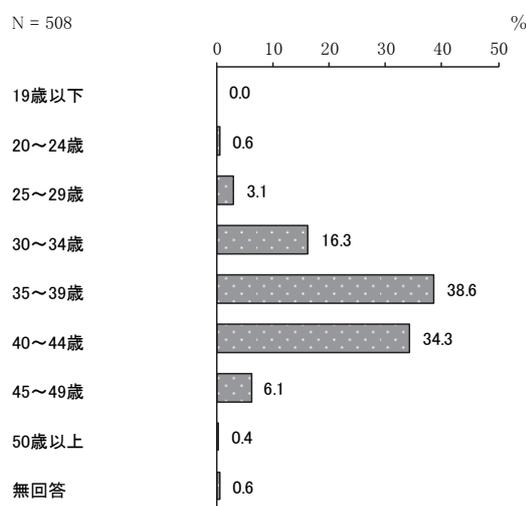
0～2歳については、「30～34歳」の割合が38.8%と最も高く、次いで「35～39歳」の割合が35.1%となっています。

3～5歳については、「35～39歳」の割合が38.6%と最も高く、次いで「40～44歳」の割合が34.3%となっています。

#### 【0～2歳】



#### 【3～5歳】

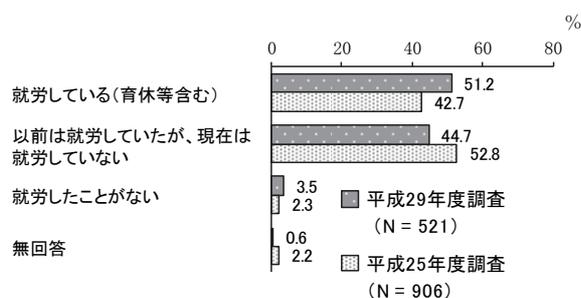


##### ②就労の有無

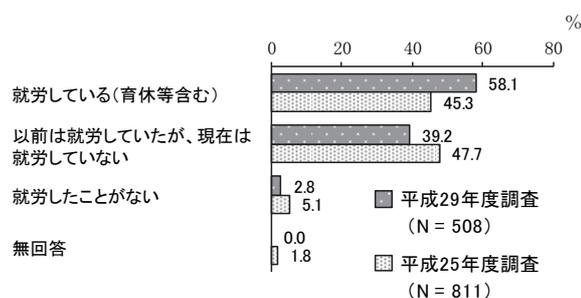
「就労している（育休等含む）」の割合が、0～2歳では51.2%、3～5歳では58.1%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳、3～5歳ともに、「就労している（育休等含む）」が10%程度増加し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」を上回っています。

#### 【0～2歳】



#### 【3～5歳】

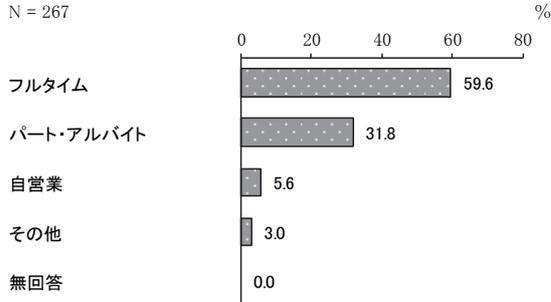


③就労形態（就労している人のみ）

「フルタイム」の割合が、0～2歳では59.6%、3～5歳では45.1%となっています。

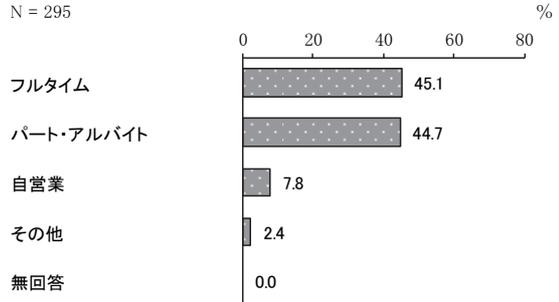
【0～2歳】

N = 267



【3～5歳】

N = 295

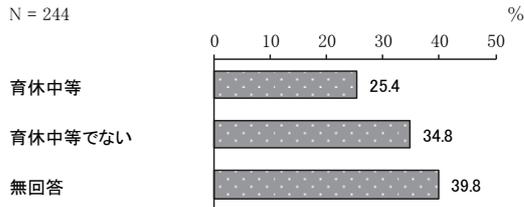


育児休業中か

「育休中等」の割合が0～2歳については25.4%、3～5歳については5.3%となっています。

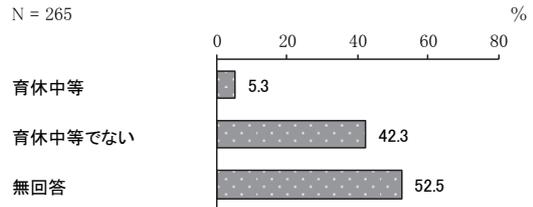
【0～2歳】

N = 244



【3～5歳】

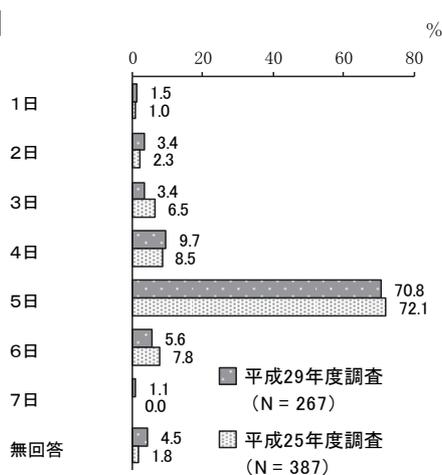
N = 265



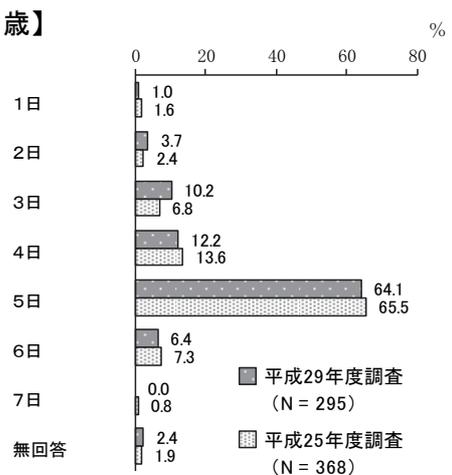
④1週間の就労日数と1日当たりの残業時間を含む就労時間（就労している人のみ）

ア 就労日数

【0～2歳】

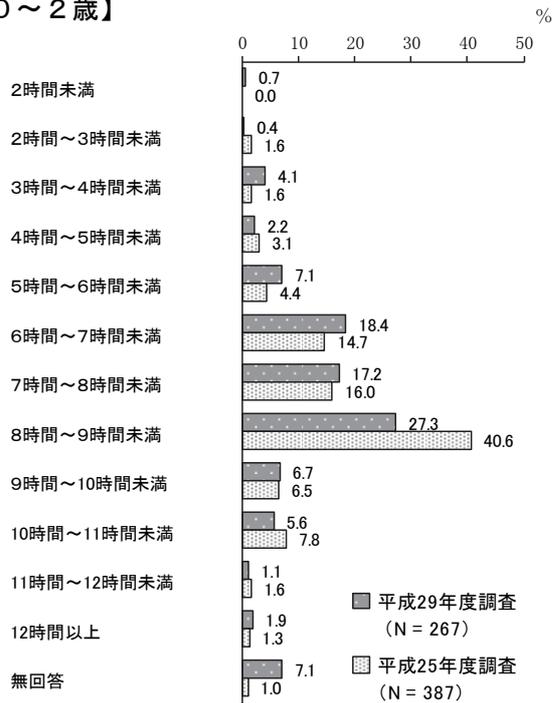


【3～5歳】

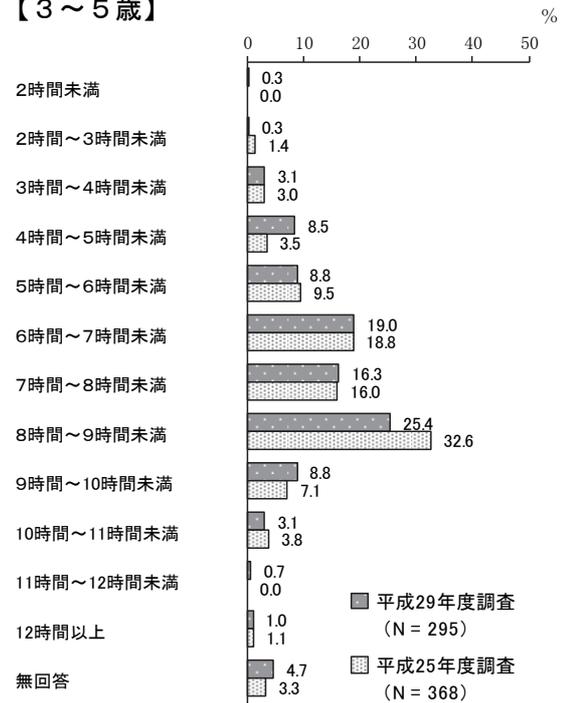


## イ 就労時間

### 【0～2歳】



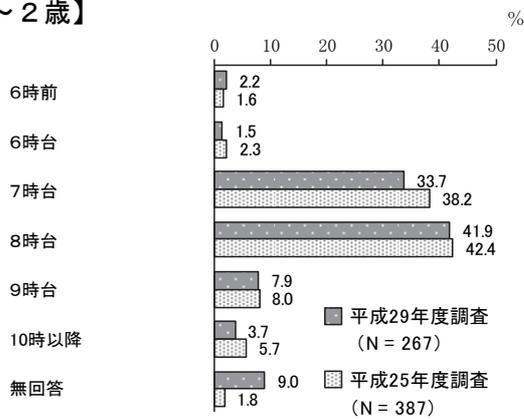
### 【3～5歳】



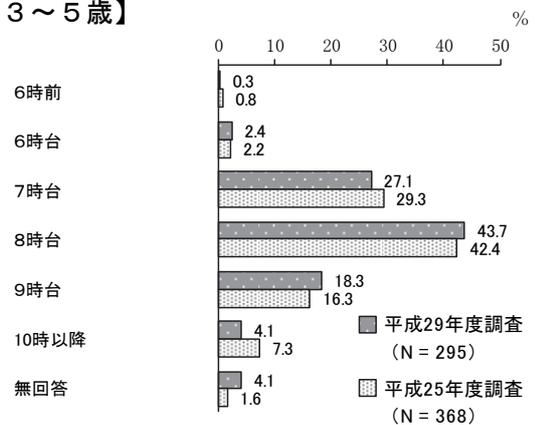
## ⑤家を出る時間と帰宅時間（就労している人のみ）

### ア 家を出る時間

#### 【0～2歳】

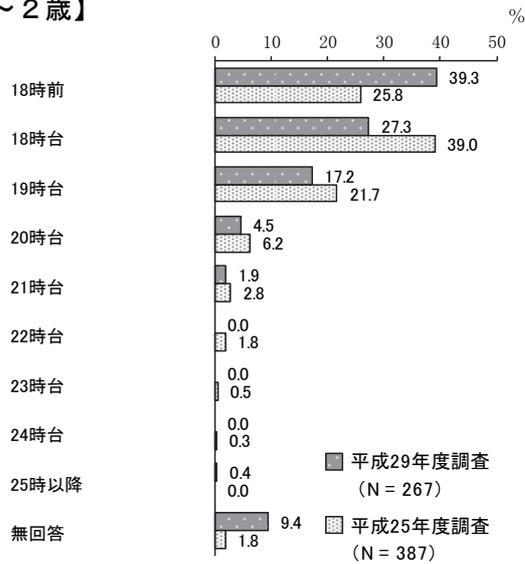


#### 【3～5歳】

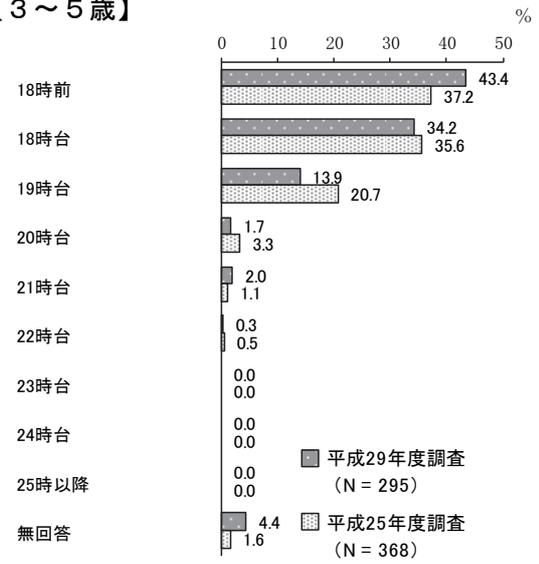


## イ 帰宅時間

### 【0～2歳】



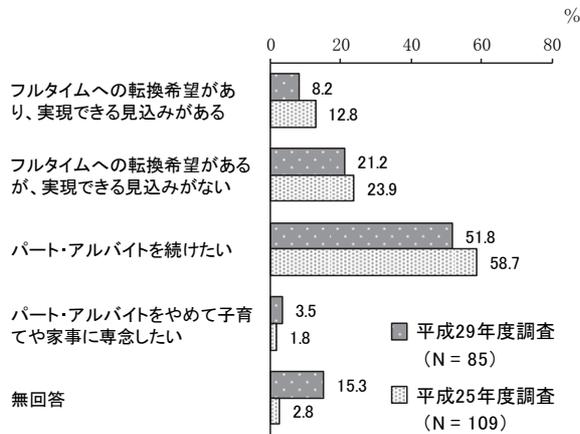
### 【3～5歳】



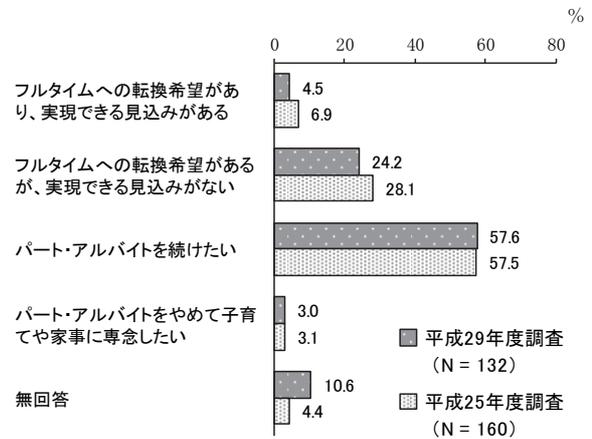
## ⑥ (パート・アルバイトで就労している人) フルタイムへの転換希望

「パート・アルバイトを続けたい」の割合が、0～2歳では51.8%、3～5歳では57.6%と最も高くなっています。

### 【0～2歳】



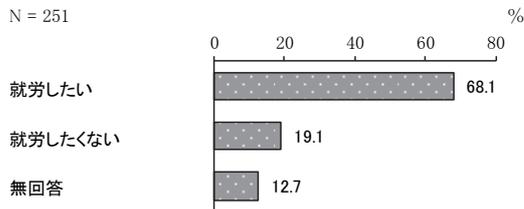
### 【3～5歳】



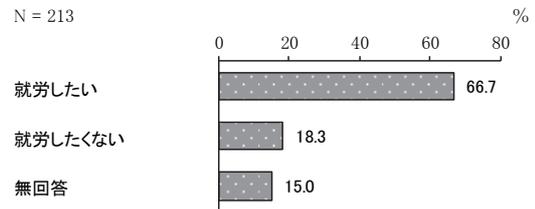
⑦ (就労していない人) 就労希望の有無

「就労したい」の割合が、0～2歳では68.1%、3～5歳では66.7%となっています。

【0～2歳】



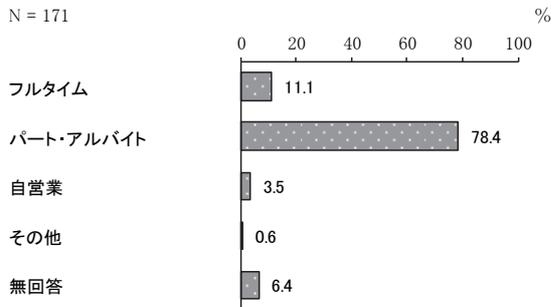
【3～5歳】



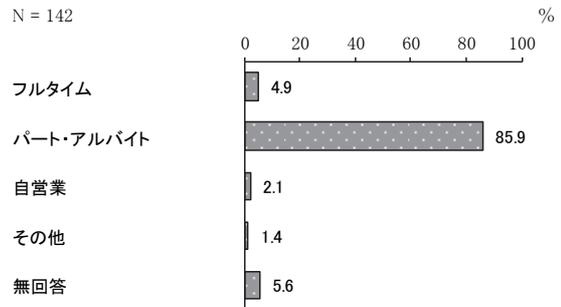
⑧ 希望の就労形態 (就労したい人のみ)

「パート・アルバイト」の割合が、0～2歳では78.4%、3～5歳では85.9%と最も高くなっています。

【0～2歳】



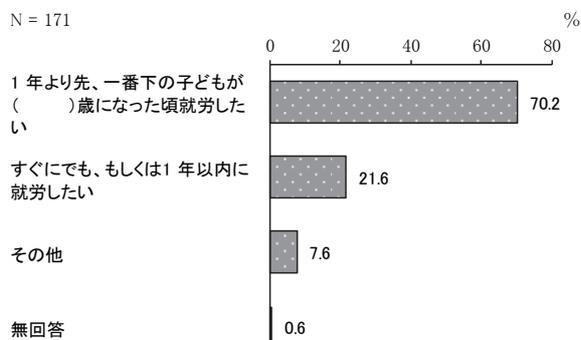
【3～5歳】



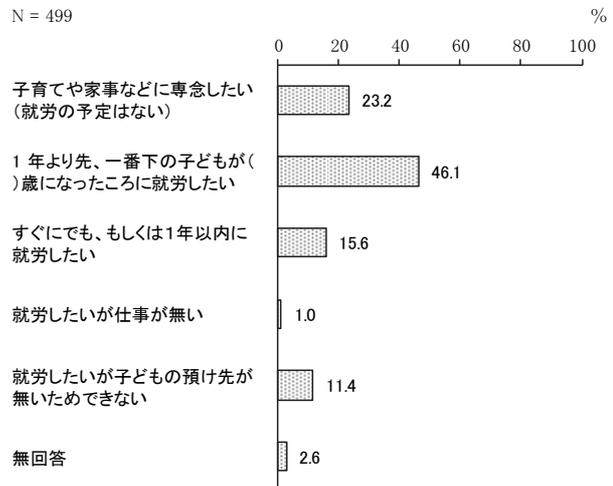
⑨ 希望の就労時期 (就労したい人のみ)

「1年より先、一番下の子どもが( )歳になった頃就労したい」の割合が、0～2歳では70.2%、3～5歳では62.0%と最も高くなっています。

【0～2歳】

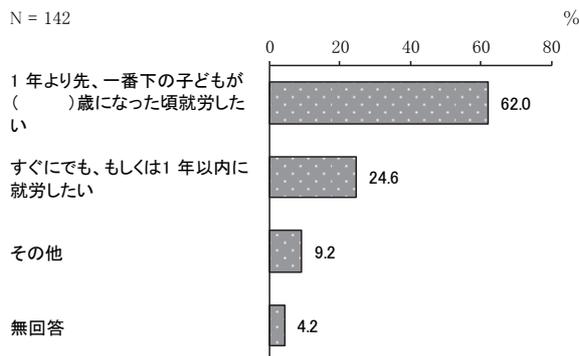


【参考：前回調査結果】



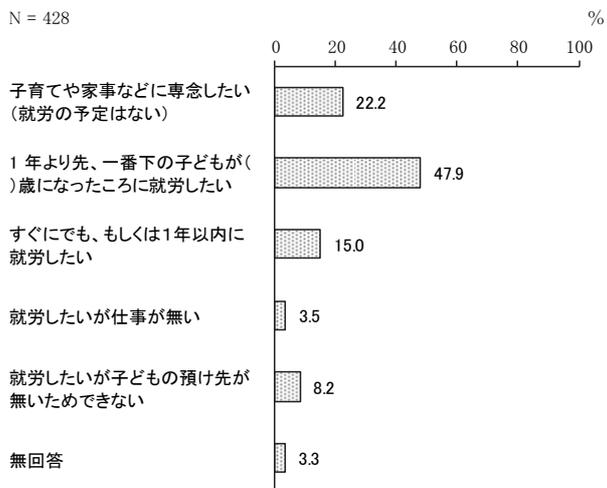
### 【3～5歳】

N = 142



### 【参考：前回調査結果】

N = 428

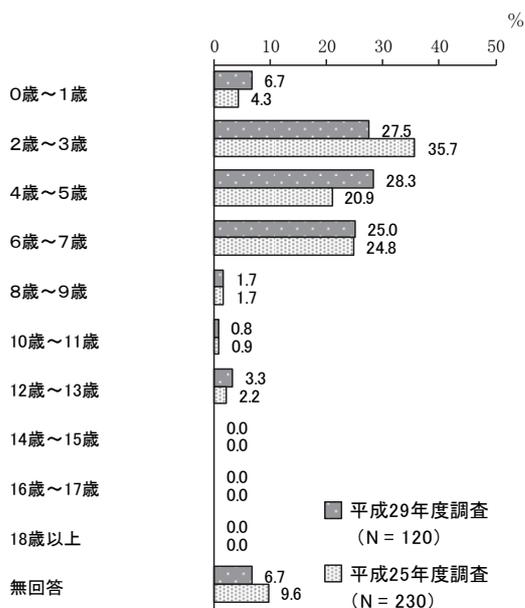


### 一番下の子どもが( )歳になった頃就労したい

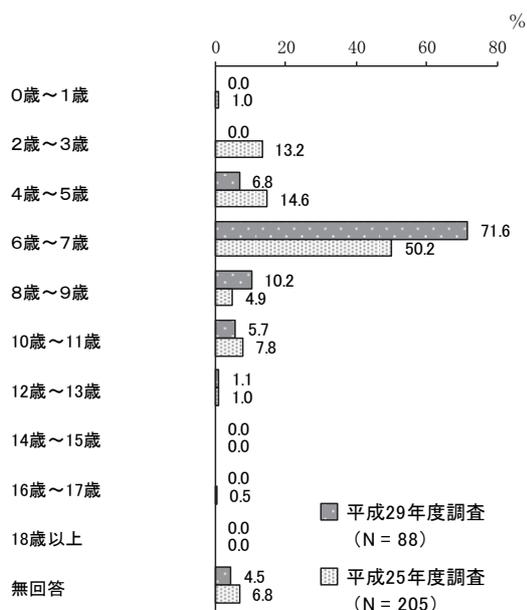
0～2歳については「4歳～5歳」の割合が28.3%、3～5歳については「6歳～7歳」の割合が71.6%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳では「2歳～3歳」が減少し、「4歳～5歳」が増加しています。また、3～5歳で「2歳～3歳」「4歳～5歳」が減少し、「6歳～7歳」「8歳～9歳」が増加しています。

### 【0～2歳】



### 【3～5歳】

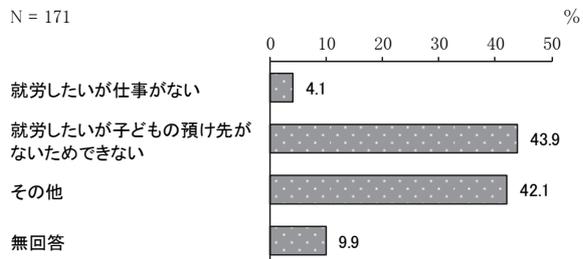


⑩現在就労していない理由（就労していない人のみ）

「就労したいが子どもの預け先がないためできない」の割合が、0～2歳では43.9%、3～5歳では31.7%となっています。

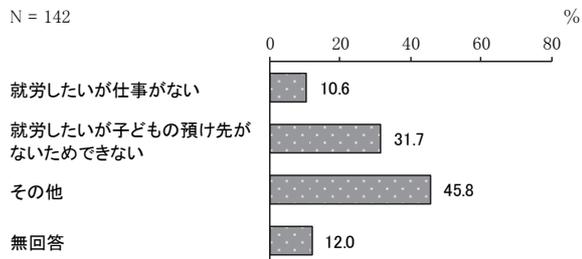
【0～2歳】

N = 171



【3～5歳】

N = 142

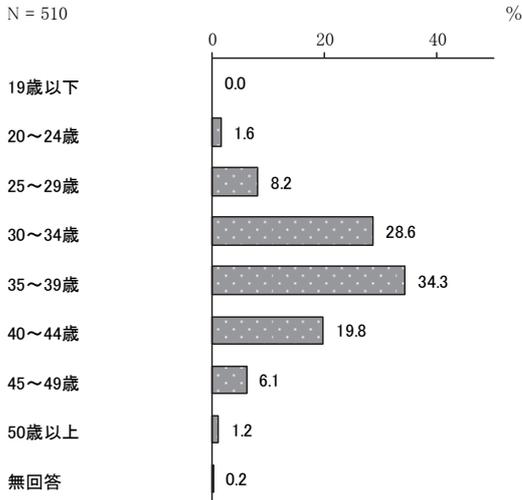


<父 親>

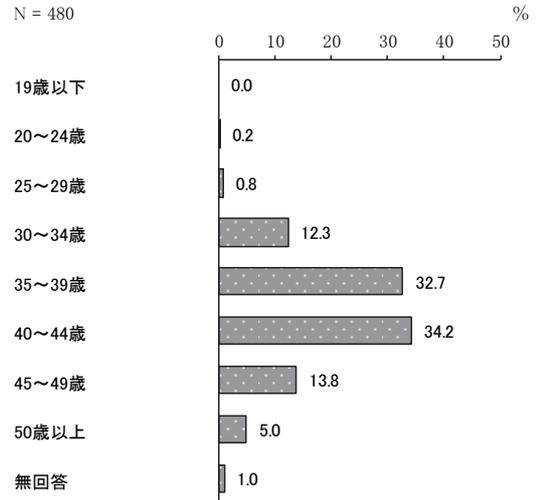
①年齢

0～2歳については、「35～39歳」の割合が34.3%と最も高く、3～5歳では「40～44歳」の割合が34.2%と最も高くなっています。

【0～2歳】



【3～5歳】

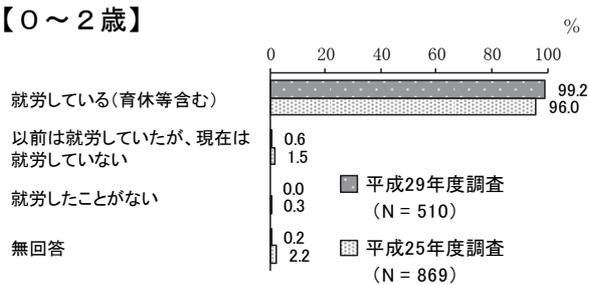


②就労の有無

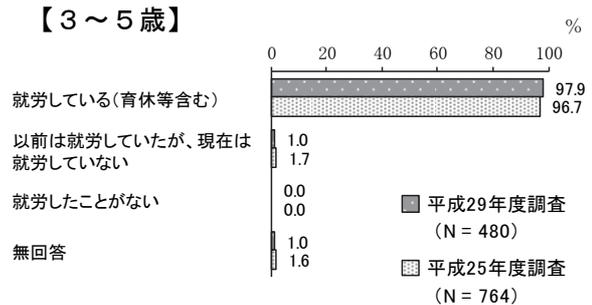
「就労している（育休等含む）」の割合が、0～2歳では99.2%、3～5歳では97.9%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【0～2歳】



【3～5歳】

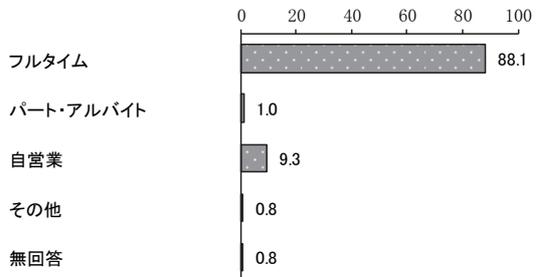


③就労形態（就労している人のみ）

「フルタイム」の割合が、0～2歳については88.1%、3～5歳については86.6%と最も高くなっています。

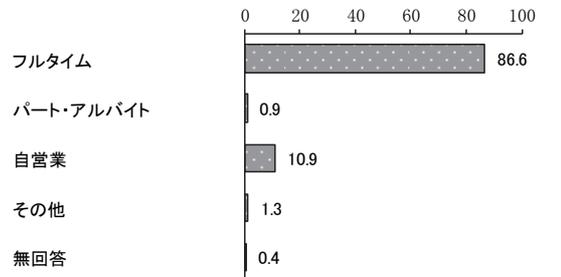
【0～2歳】

N = 506



【3～5歳】

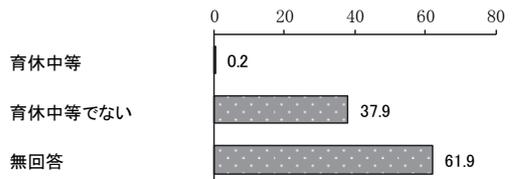
N = 470



育児休業中か

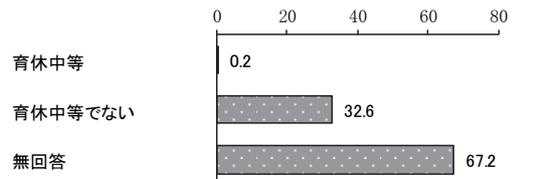
【0～2歳】

N = 451



【3～5歳】

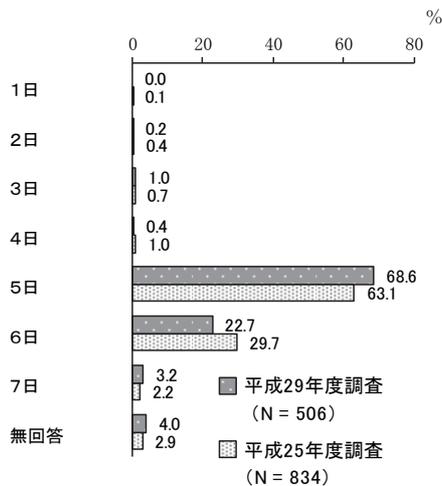
N = 411



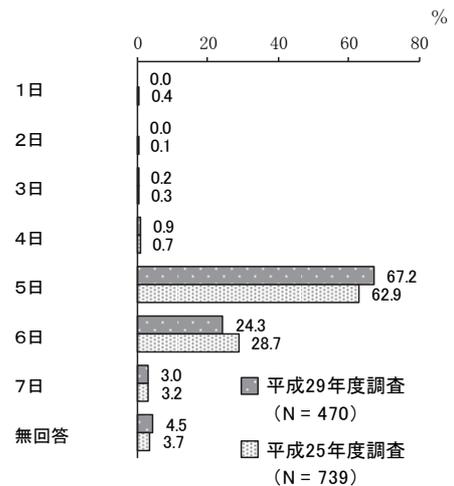
④1週間の就労日数と1日当たりの残業時間を含む就労時間（就労している人のみ）

ア 就労日数

【0～2歳】

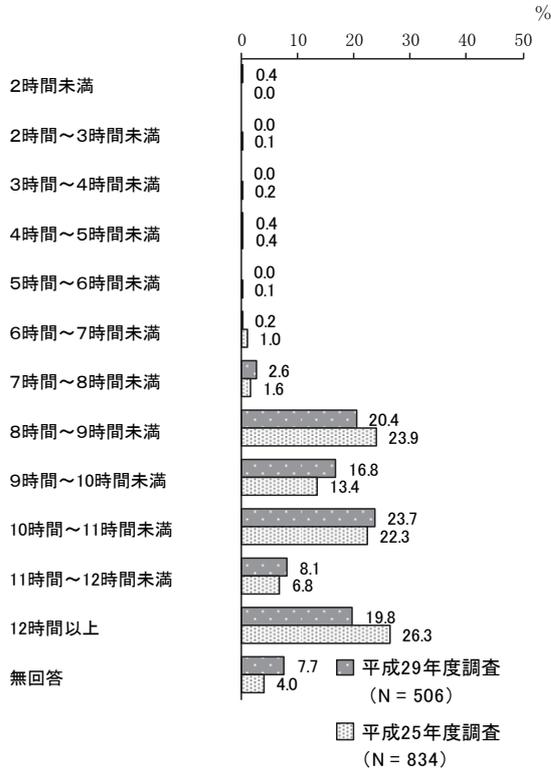


【3～5歳】

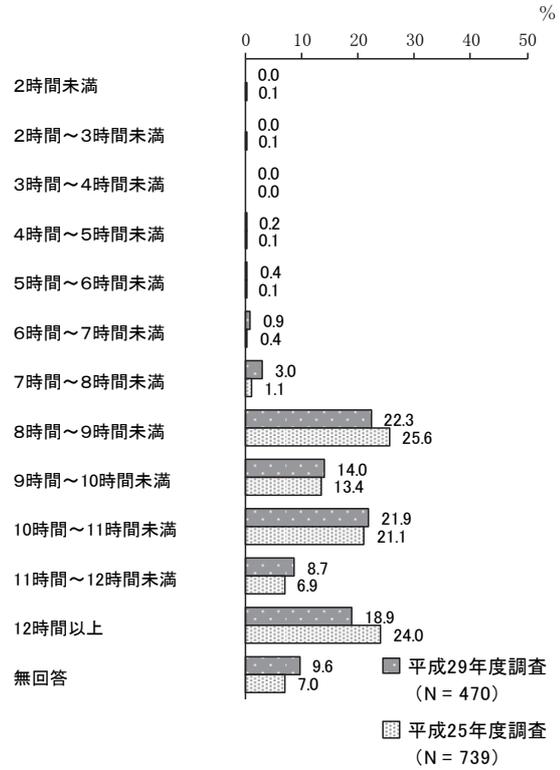


## イ 就労時間

### 【0～2歳】



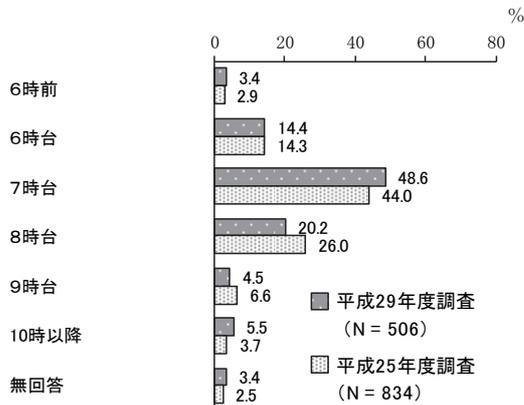
### 【3～5歳】



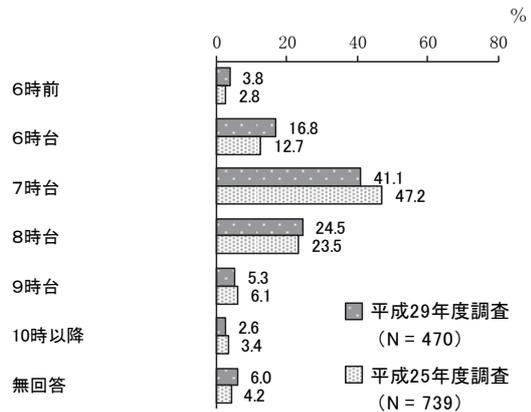
## ⑤家を出る時間と帰宅時間（就労している人のみ）

### ア 家を出る時間

#### 【0～2歳】

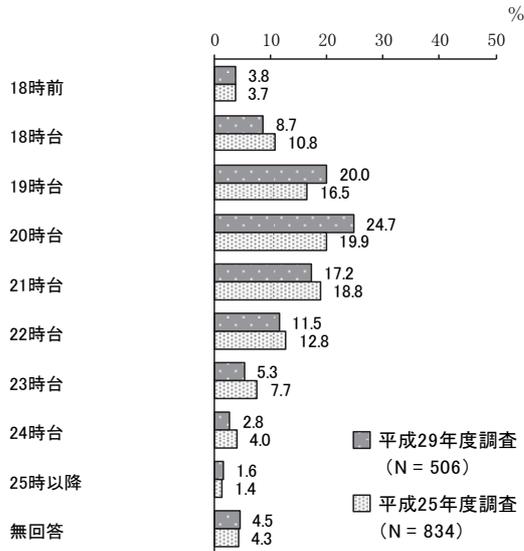


#### 【3～5歳】

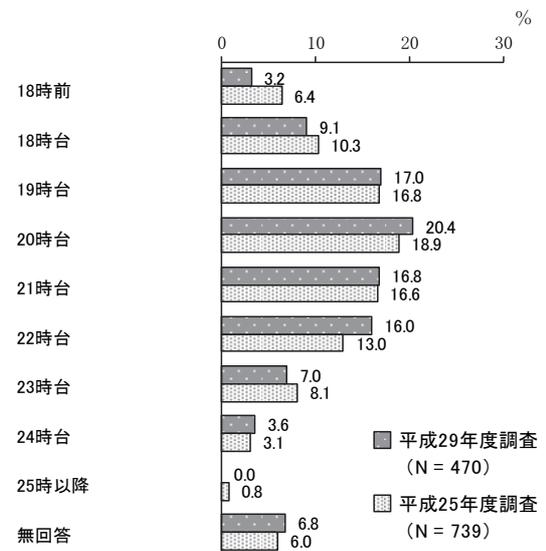


## イ 帰宅時間

### 【0～2歳】



### 【3～5歳】

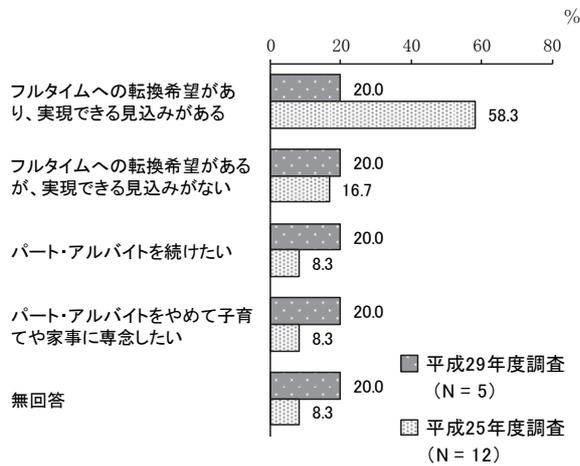


## ⑥ (パート・アルバイトで就労している人) フルタイムへの転換希望

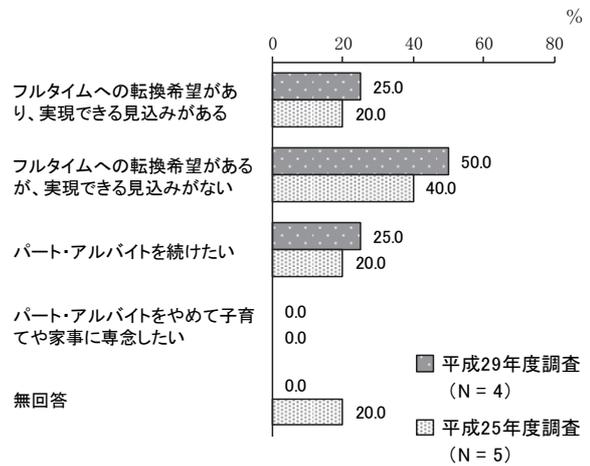
「フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みがない」の割合が、0～2歳では20.0%、3～5歳では50.0%となっています。

平成25年度調査との比較は、有効回答数が少ないため参考とします。

### 【0～2歳】



### 【3～5歳】



⑦（就労していない人）就労希望の有無

「就労したい」の件数が、0～2歳については1件、3～5歳については4件となっています。

⑧希望の就労形態（就労したい人のみ）

「フルタイム」の件数が、0～2歳については1件、3～5歳については2件となっています。

⑨希望の就労時期（就労したい人のみ）

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の件数が、0～2歳については1件、3～5歳については3件となっています。

一番下の子どもが（ ）歳になった頃就労したい

有効回答はありません。

⑩現在就労していない理由（就労していない人のみ）

「就労したいが仕事がない」の件数が、0～2歳については1件、3～5歳については0件となっています。

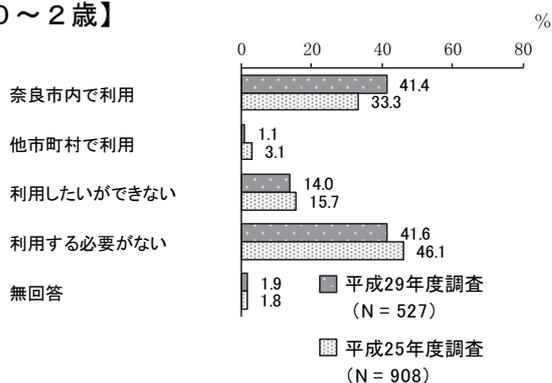
#### (4) 平日の定期的な教育・保育事業について

問 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。【0～2歳：問7、3～5歳：問7】

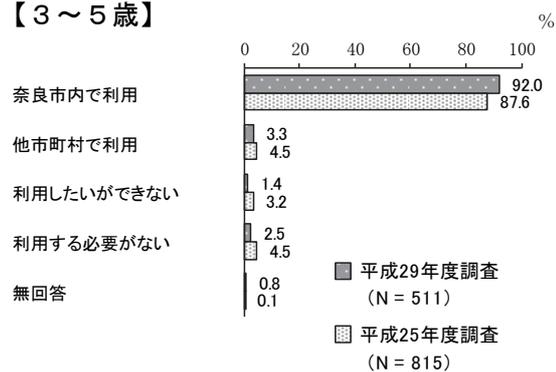
0～2歳では、「利用する必要がない」の割合が41.6%、3～5歳では、「奈良市内で利用」の割合が92.0%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳で「奈良市内で利用」が増加しています。

##### 【0～2歳】



##### 【3～5歳】



問 前問で「1. 奈良市内で利用」「2. 他市町村で利用」「3. 利用したいができない」とお答えの方には、うかがいます。

「1」または「2」とお答えの方…あて名のお子さんは、現在平日どのような教育・保育事業を利用していますか。あてはまる番号すべての「現在」の欄に○をつけてください。

「1」～「3」とお答えの方…現在利用しているしていないにかかわらず、利用したいものはどれですか。【0～2歳：問7-1、3～5歳：問7-1】

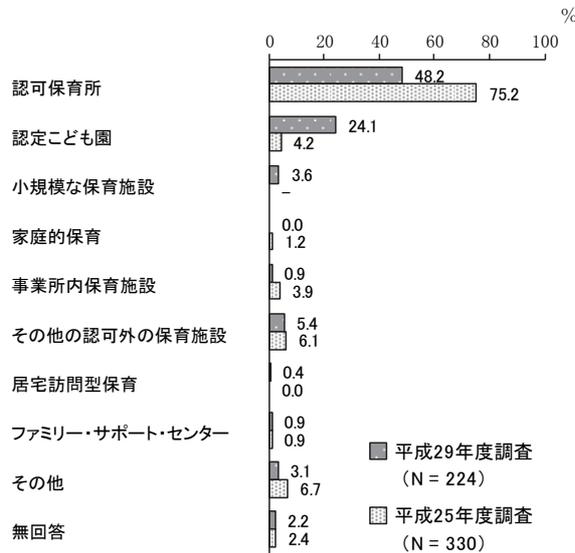
<現在>

0～2歳については、「認可保育所」の割合が48.2%と最も高くなっています。

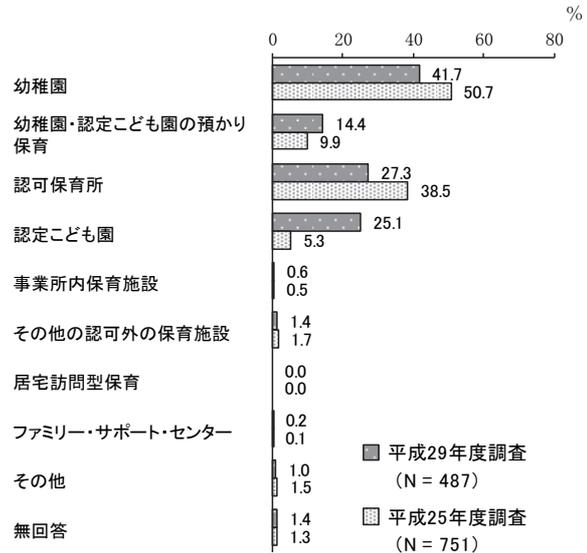
3～5歳については、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が41.7%と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が27.3%と高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳で「認可保育所」が減少し、「認定こども園」が増加しています。3～5歳では、「幼稚園」「認可保育所」が減少し、「認定こども園」が増加しています。

【0～2歳】



【3～5歳】



※0～2歳の平成25年度調査には「小規模な保育施設」の選択肢はありません。

※3～5歳の平成25年度調査では、「幼稚園・認定こども園の預かり保育」は「幼稚園の預かり保育」となっています。

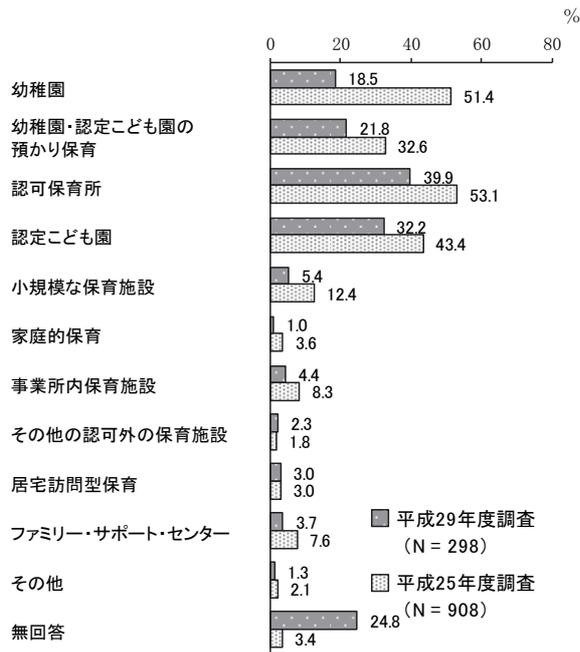
### <今後の希望>

0～2歳については、「認可保育所」の割合が39.9%と最も高く、次いで「認定こども園」の割合が32.2%となっています。

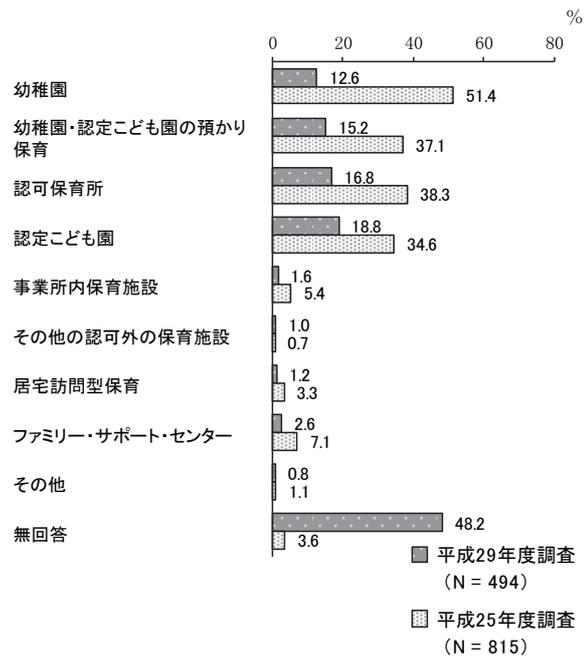
3～5歳については、「認定こども園」の割合が18.8%と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が16.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳、3～5歳ともに「幼稚園」「幼稚園・認定こども園の預かり保育」「認可保育所」「認定こども園」が減少しています。

#### 【0～2歳】



#### 【3～5歳】



※平成25年度調査では、「幼稚園・認定こども園の預かり保育」は「幼稚園の預かり保育」となっています。

【母親の就労状況別：0～2歳】

単位：%

区分	有効回答数（件）	幼稚園（通常の就園時間の利用）	幼稚園・認定こども園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）	認定こども園（幼稚園と保育所の機能を併せもつ施設）	小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）	家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）	事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育（保育者が子どもの家庭で保育する事業、ベビシッター）	ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	その他	無回答
フルタイム	124	1.6	8.9	45.2	27.4	2.4	0.8	1.6	3.2	3.2	2.4	0.8	31.5
パート・アルバイト	66	4.5	18.2	39.4	25.8	4.5	—	6.1	—	3.0	1.5	1.5	30.3
自営業	13	30.8	30.8	53.8	38.5	23.1	—	—	7.7	7.7	7.7	—	15.4
その他	6	16.7	—	33.3	16.7	—	—	—	—	—	—	—	50.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	78	52.6	44.9	30.8	43.6	9.0	2.6	9.0	2.6	2.6	7.7	2.6	10.3
就労したことがない	5	40.0	20.0	20.0	40.0	—	—	—	—	—	—	—	20.0

【母親の就労状況別：3～5歳】

単位：%

区分	有効回答数(件)	幼稚園(通常の就園時間の利用)	幼稚園・認定こども園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	認定こども園(幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設)	事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育(保育者が子どもの家庭で保育する事業、ベビシッター)	ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	その他	無回答
フルタイム	133	0.8	4.5	32.3	24.8	0.8	—	2.3	3.0	0.8	42.1
パート・アルバイト	132	10.6	15.9	20.5	16.7	3.0	0.8	0.8	0.8	—	44.7
自営業	23	—	13.0	8.7	26.1	—	—	—	—	—	60.9
その他	7	14.3	28.6	—	28.6	—	—	—	—	—	57.1
以前は就労していたが、現在は就労していない	199	22.1	20.6	5.0	15.6	1.5	2.0	1.0	4.0	1.0	54.8
就労したことがない	14	28.6	14.3	—	—	—	—	—	—	7.1	64.3

【家庭類型別：0～2歳】

単位：%

区分	有効回答数(件)	幼稚園(通常の就園時間の利用)	幼稚園・認定こども園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	認定こども園(幼稚園と保育所の機能を併せもつ施設)	小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)	家庭的保育(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)	事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育(保育者が子どもの家庭で保育する事業、ベビシッター)	ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	その他	無回答
(ひとり親家庭)	18	11.1	22.2	44.4	11.1	—	—	5.6	5.6	16.7	16.7	—	38.9
(フルタイム×フルタイム)	108	1.9	10.2	46.3	29.6	1.9	—	1.9	2.8	1.9	1.9	0.9	29.6
(フルタイム×パートタイム(長時間))	42	4.8	9.5	40.5	23.8	4.8	—	4.8	—	—	—	2.4	33.3
(フルタイム×パートタイム(短時間))	9	11.1	55.6	44.4	44.4	11.1	—	11.1	—	—	—	—	—
(専業主婦(夫))	76	53.9	44.7	27.6	43.4	9.2	2.6	7.9	2.6	2.6	6.6	2.6	10.5
(パートタイム×パートタイム(長時間))	1	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(パートタイム×パートタイム(短時間))	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(無業×無業)	1	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—

【家庭類型別：3～5歳】

単位：%

区分	有効回答数(件)	幼稚園(通常の就園時間の利用)	幼稚園・認定こども園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	認定こども園(幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設)	事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育(保育者が子どもの家庭で保育する事業、ベビーシッター)	ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	その他	無回答
(ひとり親家庭)	34	2.9	2.9	20.6	26.5	—	—	—	—	—	50.0
(フルタイム×フルタイム)	103	1.0	5.8	31.1	26.2	1.0	—	2.9	3.9	1.0	41.7
(フルタイム×パートタイム(長時間))	79	7.6	15.2	26.6	17.7	1.3	1.3	1.3	1.3	—	40.5
(フルタイム×パートタイム(短時間))	30	23.3	23.3	3.3	10.0	6.7	—	—	—	—	53.3
(専業主婦(夫))	183	23.0	19.7	4.9	13.7	1.6	1.1	1.1	2.7	1.6	54.6
(パートタイム×パートタイム(長時間))	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(パートタイム×パートタイム(短時間))	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(無業×無業)	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0

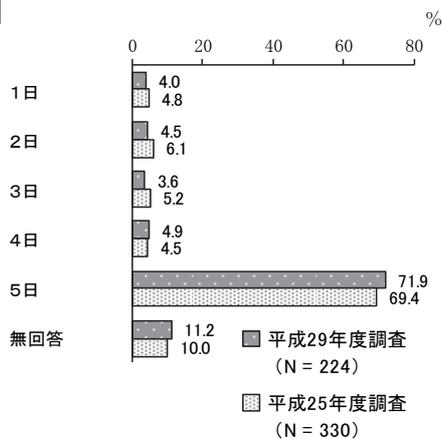
問 前問で「1. 奈良市内で利用」「2. 他市町村で利用」「3. 利用したいができない」とお答えの方にかがいます。

- (1) 「1」または「2」とお答えの方…平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。
- (2) 「1」～「3」とお答えの方…希望としてはどのくらい利用したいですか。1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）かを、( )内に具体的な数字でご記入ください。【0～2歳：問7-2、3～5歳：問7-2】

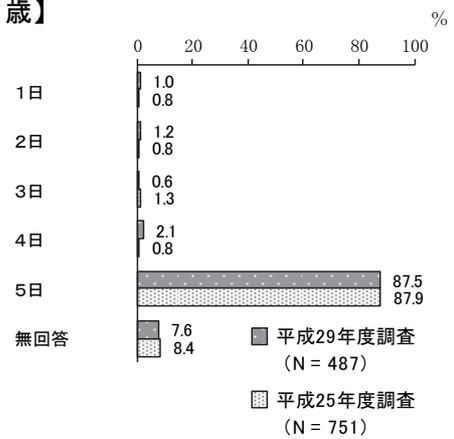
<現在>

1週あたり利用日数

【0～2歳】

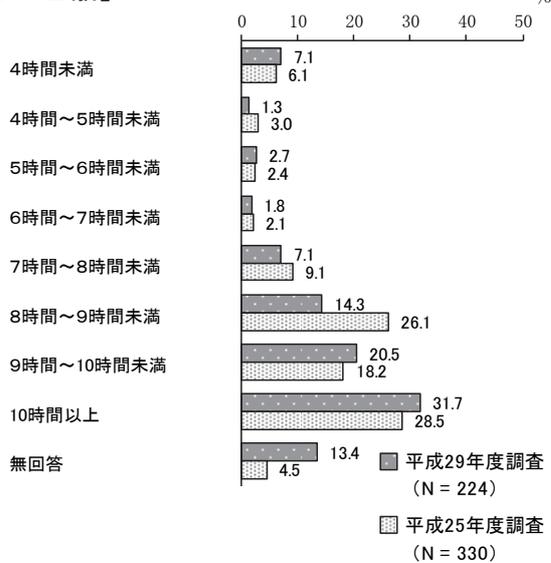


【3～5歳】

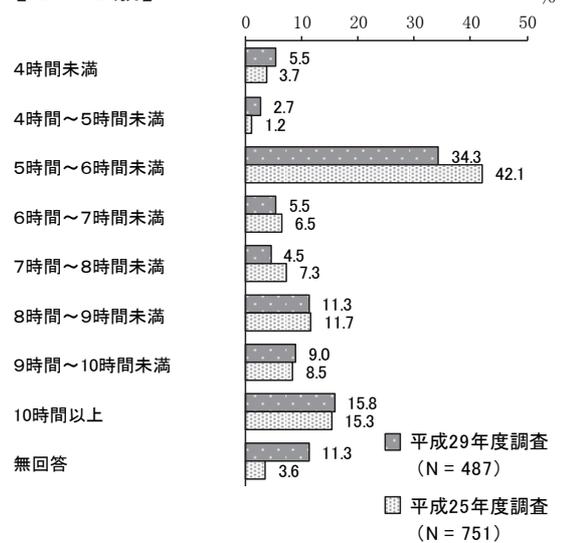


1日あたり利用時間

【0～2歳】

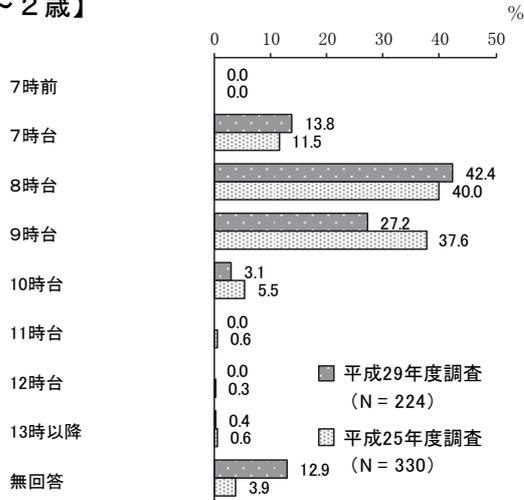


【3～5歳】

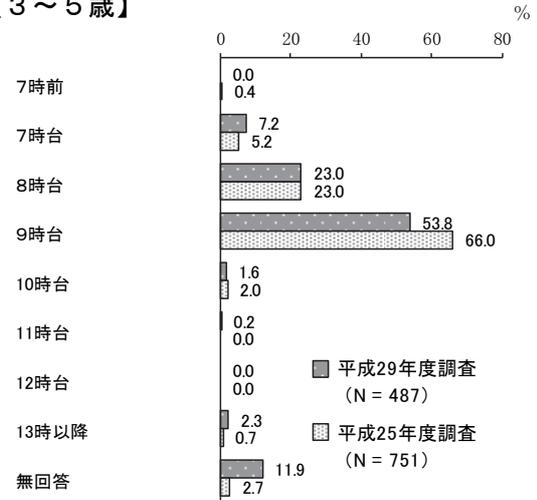


## 利用開始時間

### 【0～2歳】

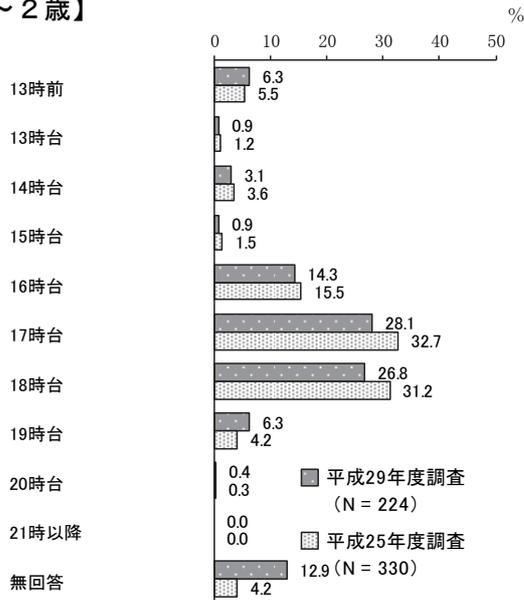


### 【3～5歳】

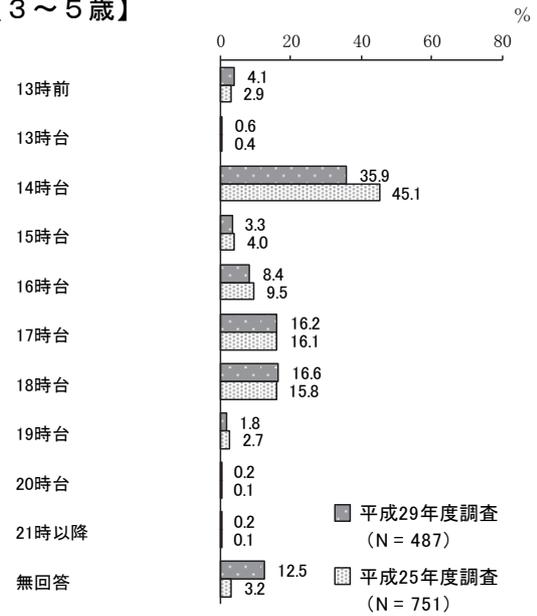


## 利用終了時間

### 【0～2歳】



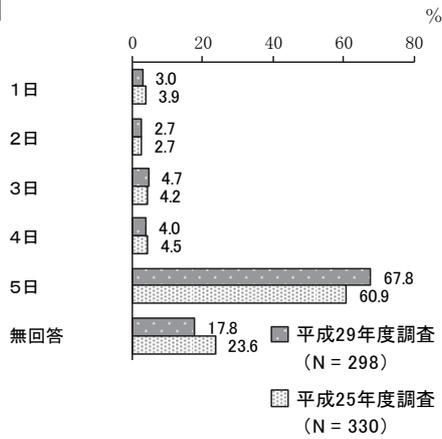
### 【3～5歳】



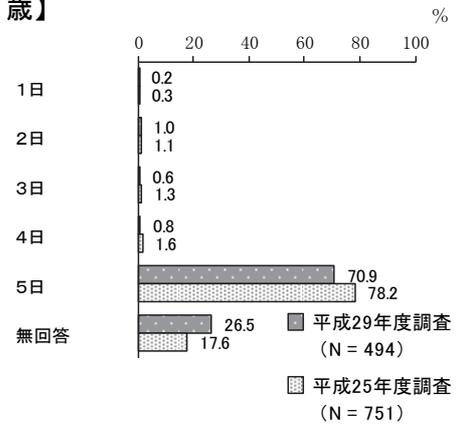
<希 望>

1週あたり利用日数

【0～2歳】

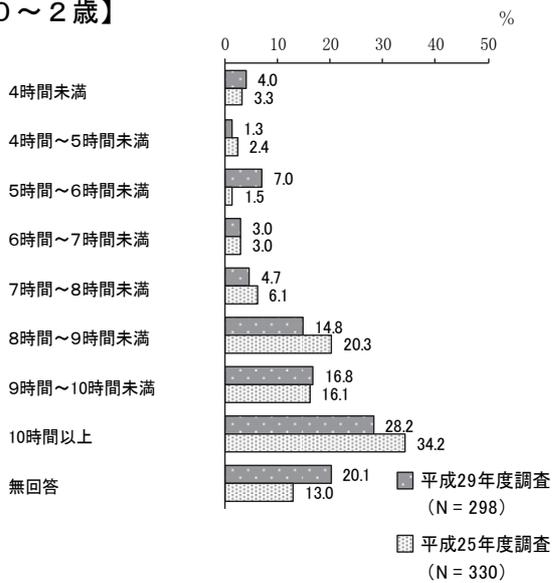


【3～5歳】

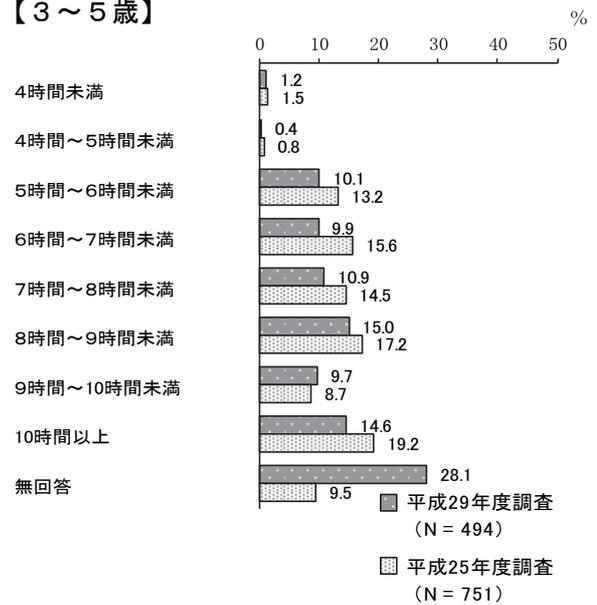


1日あたり利用時間

【0～2歳】

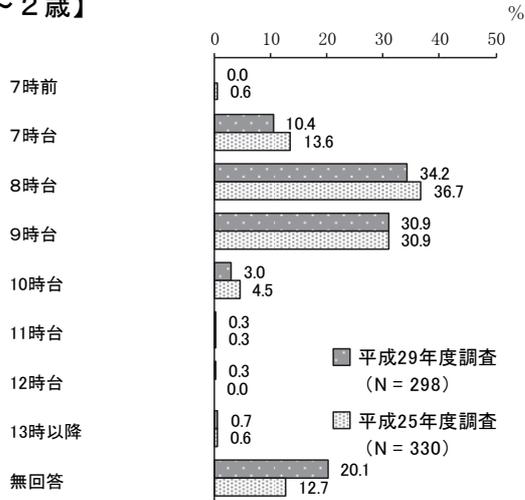


【3～5歳】

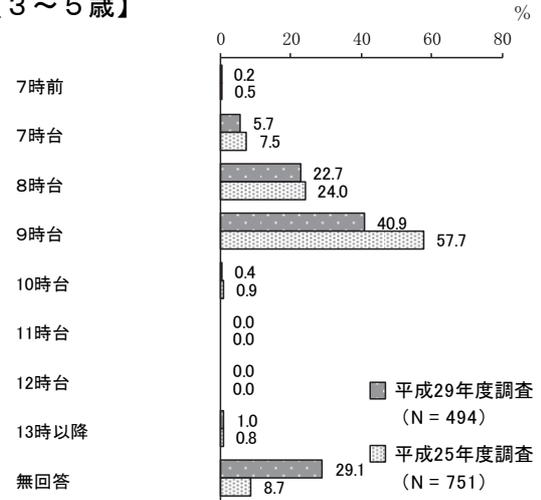


## 利用開始時間

### 【0～2歳】

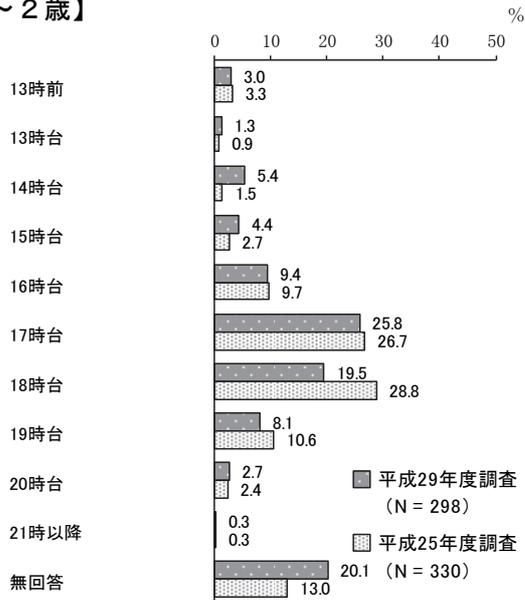


### 【3～5歳】

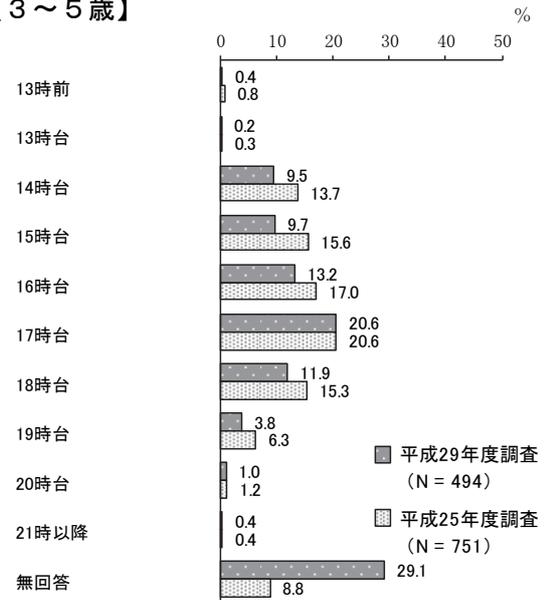


## 利用終了時間

### 【0～2歳】



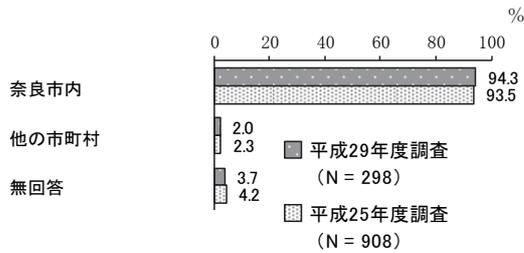
### 【3～5歳】



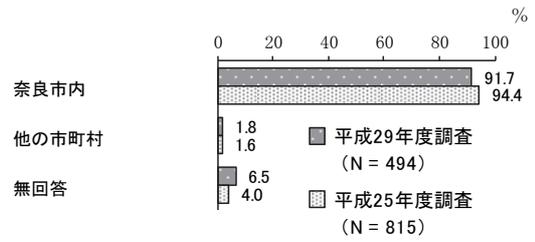
問 前問で「1. 奈良市内で利用」「2. 他市町村で利用」「3. 利用したいができない」とお答えの方に向かっていきます。  
 平日の教育・保育を利用したい場所について、いずれかに○をつけてください。  
 【0～2歳：問7-3、3～5歳：問7-3】

「奈良市内」の割合が、0～2歳では94.3%、3～5歳では91.7%と最も高くなっています。  
 平成25年度調査と比較すると、0～2歳、3～5歳ともに大きな変化はみられません。

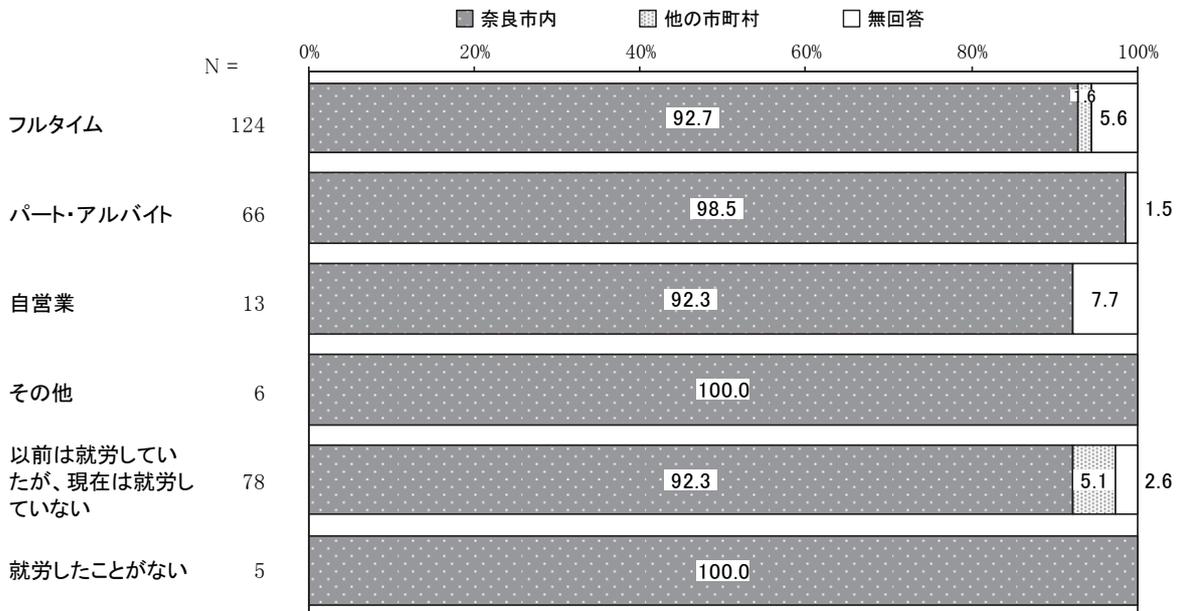
【0～2歳】



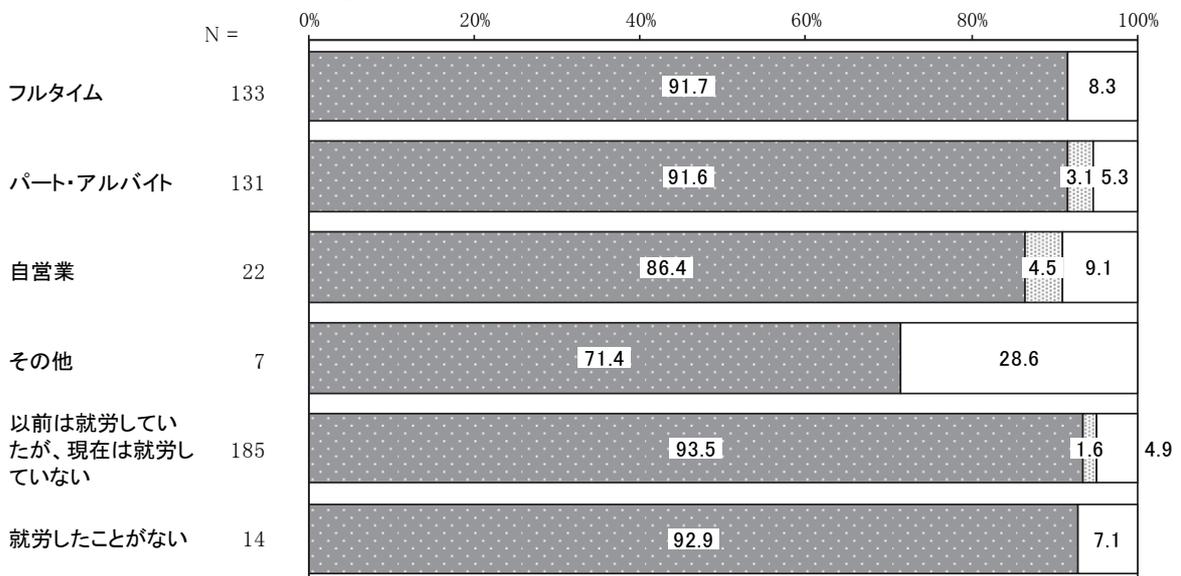
【3～5歳】



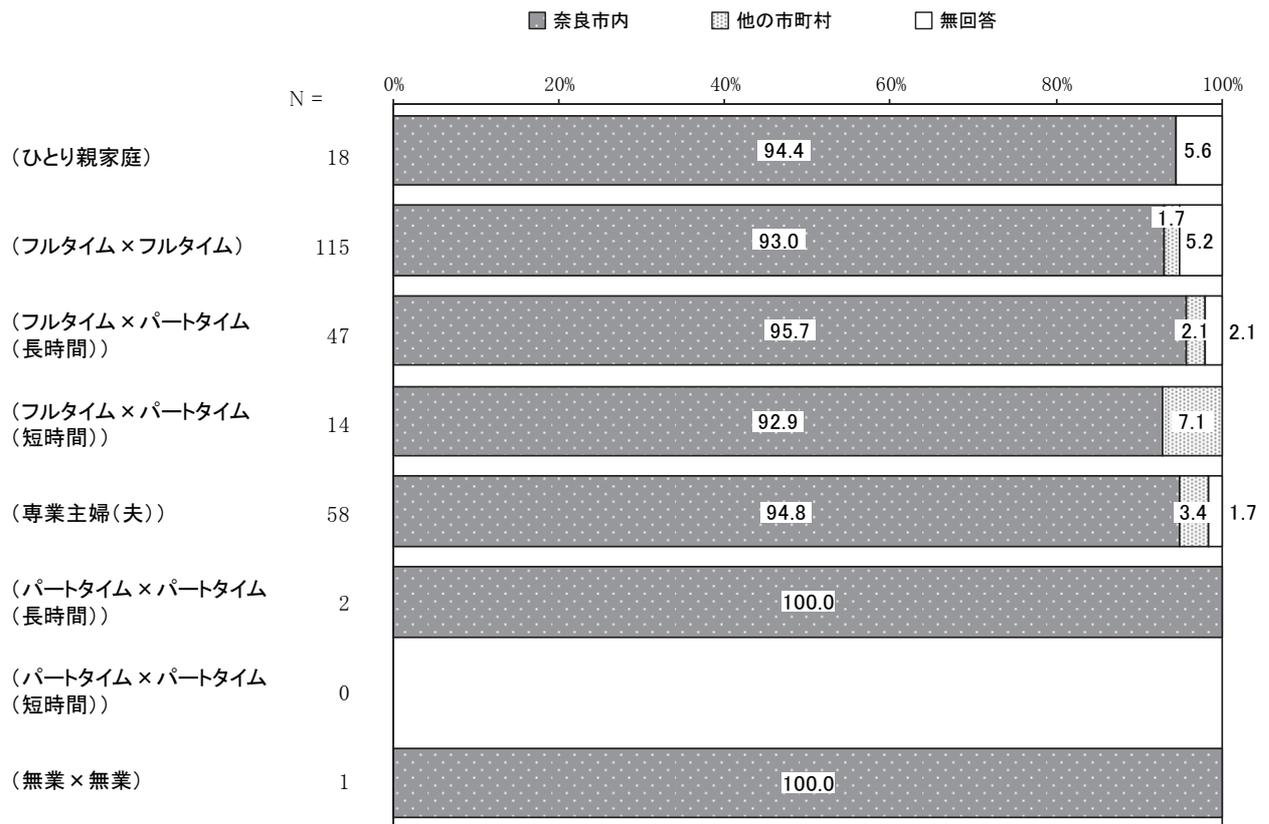
【母親の就労状況別：0～2歳】



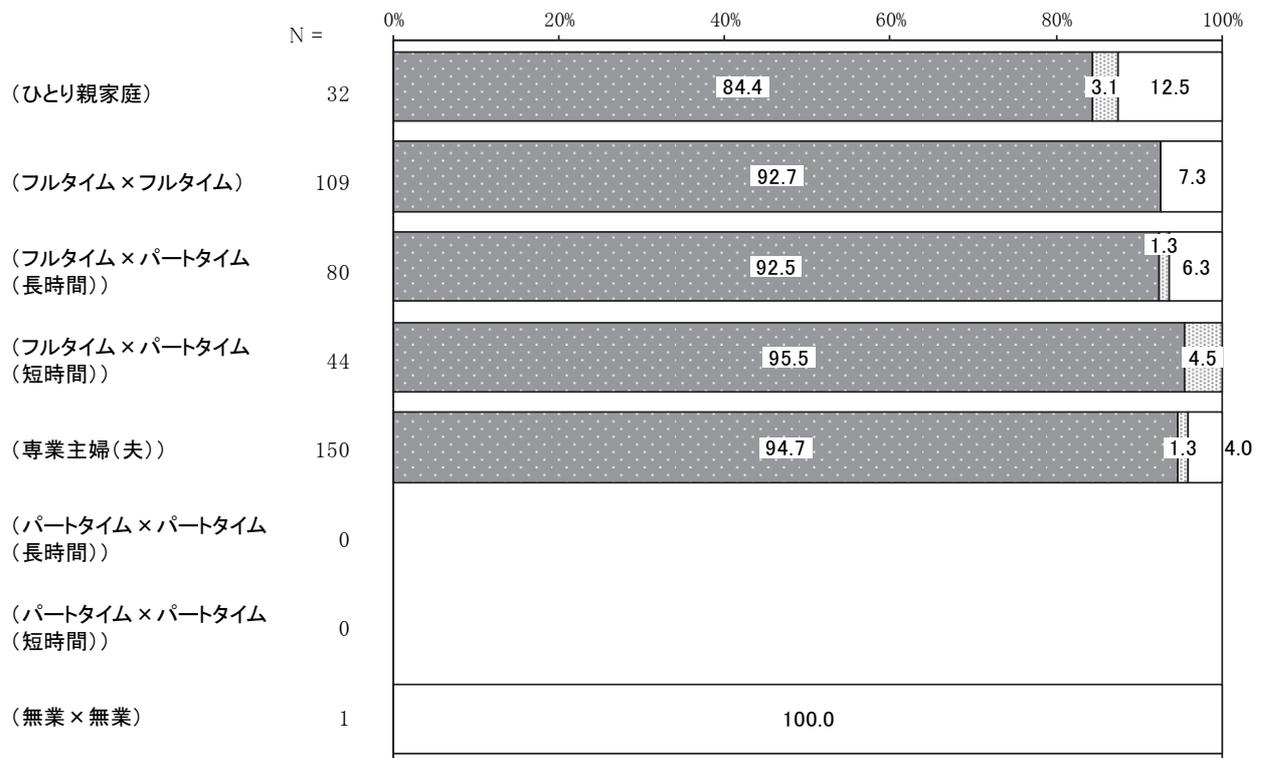
【母親の就労状況別：3～5歳】



【家庭類型別：0～2歳】



【家庭類型別：3～5歳】



問 前問で「1. 奈良市内で利用」「2. 他市町村で利用」「3. 利用したいができない」とお答えの方には、うかがいます。

「1」または「2」とお答えの方…①利用している施設を選んだ理由及び②今後新たに幼稚園や保育所等を選ぶことを想定した場合、重視することは何かについてうかがいます。あてはまる番号をそれぞれ3つまで選んで○をつけてください。（現在2ヶ所以上の施設を利用している方は、主に利用されている施設についてお答えください。）

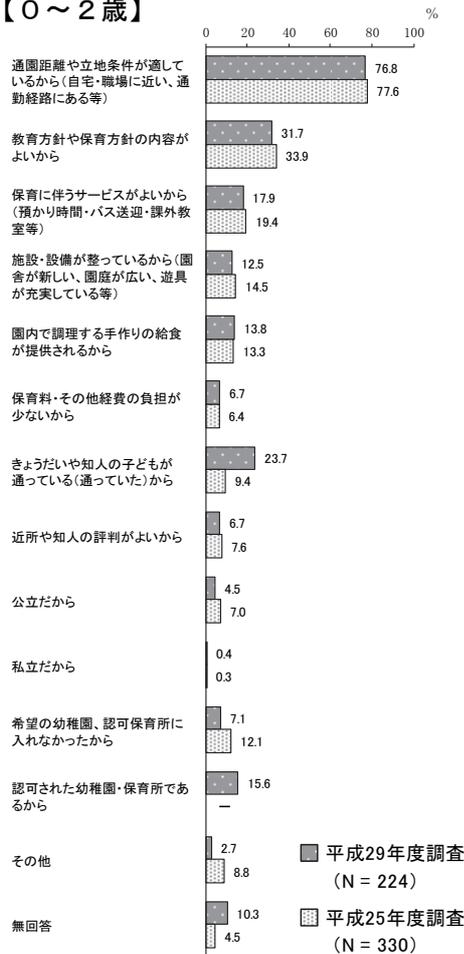
「3」とお答えの方…上記②についてのみお答えください。【0～2歳：問7-4、3～5歳：問7-4】

＜利用している施設を選んだ理由＞

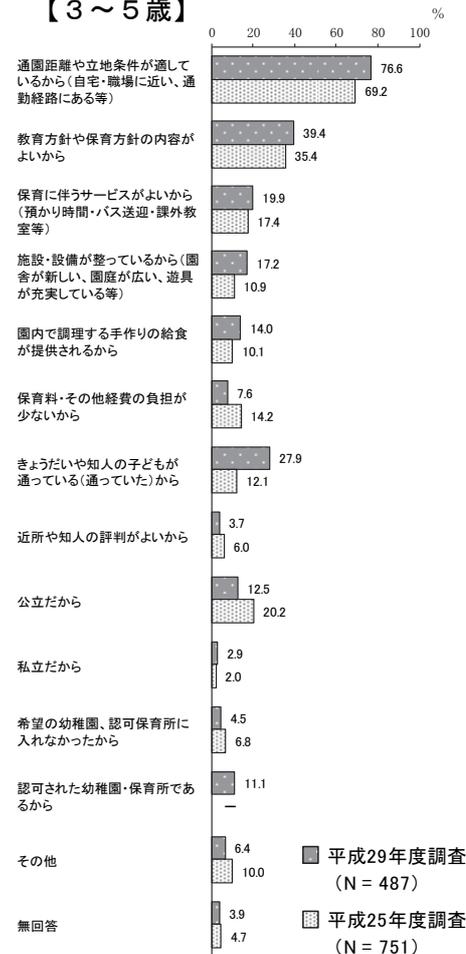
「通園距離や立地条件が適しているから（自宅・職場に近い、通勤経路にある等）」の割合が、0～2歳では76.8%、3～5歳では76.6%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳では「きょうだいや知人の子どもが通っている（通っていた）から」が増加しています。3～5歳では「保育料・その他経費の負担が少ないから」「公立だから」が減少し、「通園距離や立地条件が適しているから（自宅・職場に近い、通勤経路にある等）」「施設・設備が整っているから（園舎が新しい、園庭が広い、遊具が充実している等）」「きょうだいや知人の子どもが通っている（通っていた）から」が増加しています。また、「希望の園に入れなかった」はともに微減しています。

【0～2歳】



【3～5歳】



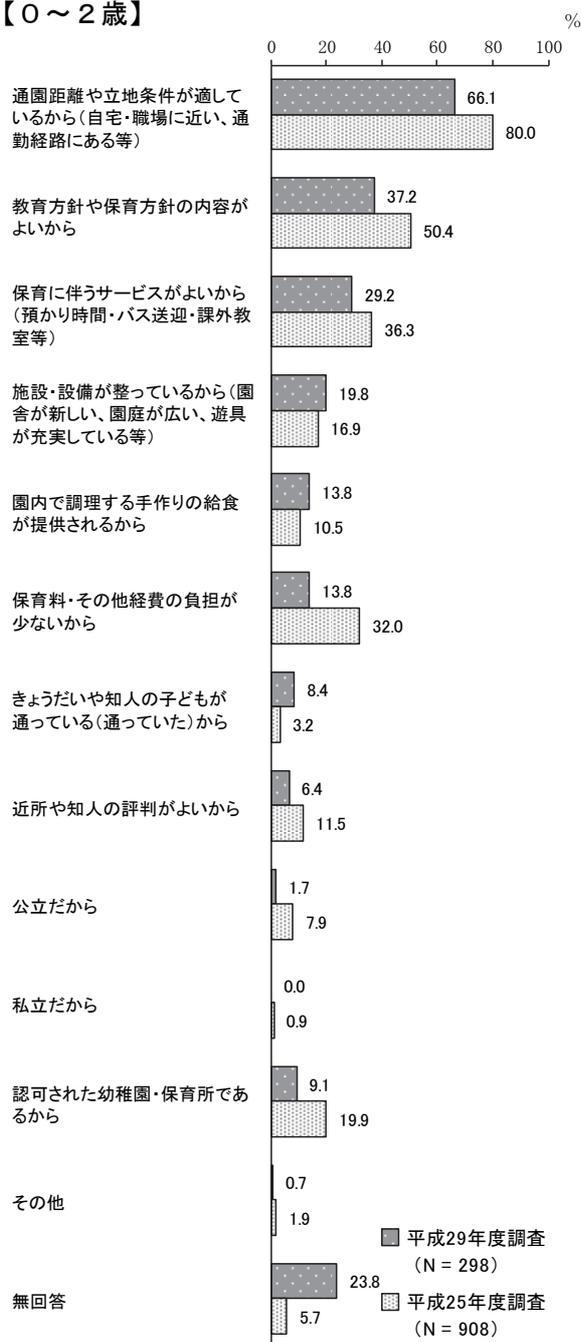
※平成25年度調査には「認可された幼稚園・保育所であるから」の選択肢はありません。

＜新たに幼稚園や保育所等を選ぶことを想定した場合、重視すること＞

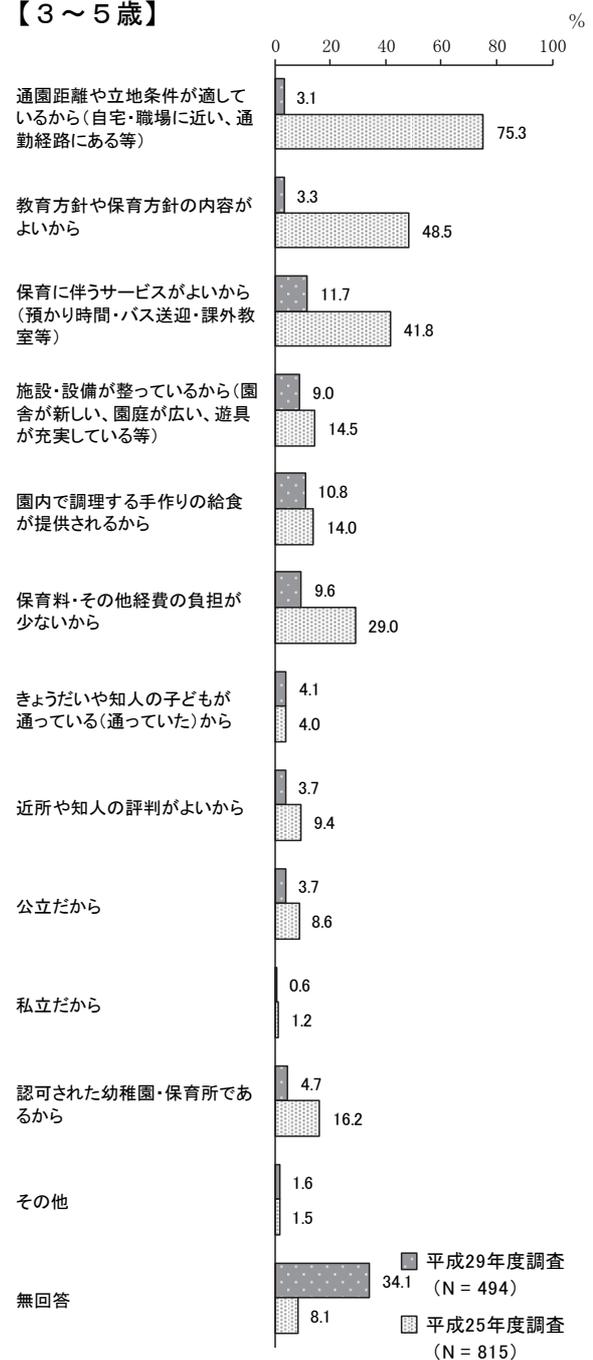
0～2歳については、「通園距離や立地条件が適しているから（自宅・職場に近い、通勤経路にある等）」の割合が66.1%と最も高く、次いで「教育方針や保育方針の内容がよいから」の割合が37.2%、「保育に伴うサービスがよいから（預かり時間・バス送迎・課外教室等）」の割合が29.2%となっています。

3～5歳については、「保育に伴うサービスがよいから（預かり時間・バス送迎・課外教室等）」の割合が11.7%と最も高く、次いで「園内で調理する手作りの給食が提供されるから」の割合が10.8%となっています。

【0～2歳】



【3～5歳】



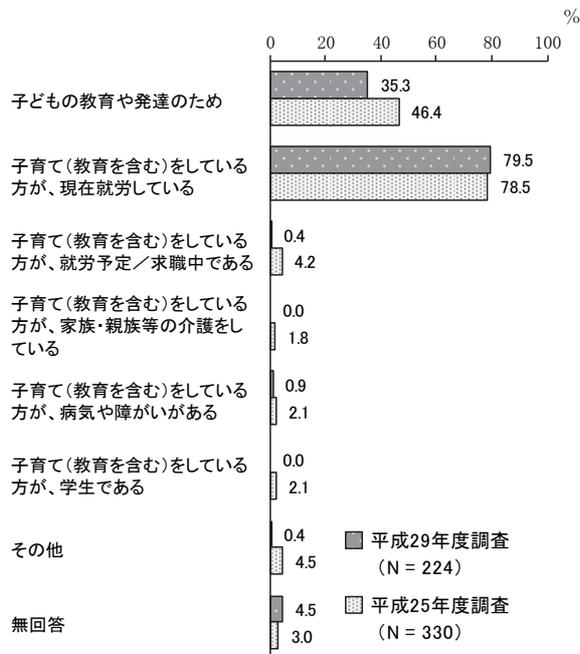
問 前問で「1. 奈良市内で利用」「2. 他市町村で利用」とお答えの方にはうかがいます。  
 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由についてうかがいます。  
 あてはまる番号すべてに○をつけてください。【0～2歳：問7-5、3～5歳：問7-5】

0～2歳については、「子育て（教育を含む）をしている方が、現在就労している」の割合が79.5%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」の割合が35.3%となっています。

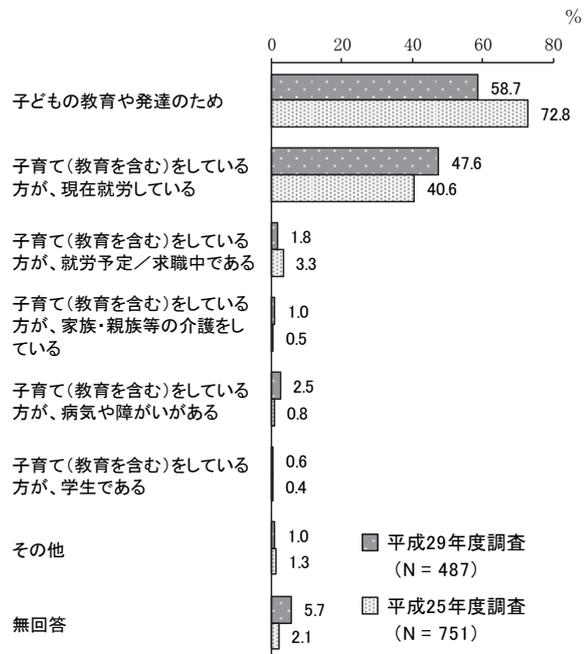
3～5歳については、「子どもの教育や発達のため」の割合が58.7%と最も高く、次いで「子育て（教育を含む）をしている方が、現在就労している」の割合が47.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳では「子どもの教育や発達のため」が減少しています。3～5歳では「子どもの教育や発達のため」が減少し、「子育て（教育を含む）をしている方が、現在就労している」が増加しています。

【0～2歳】



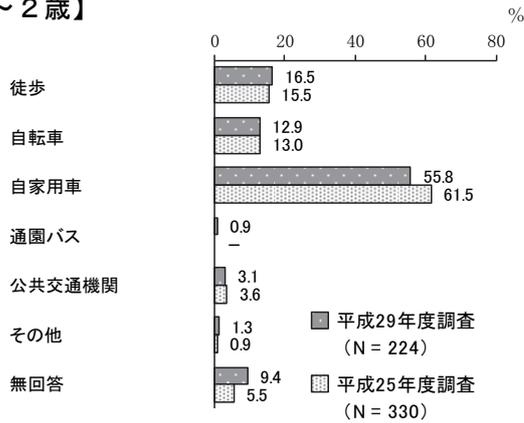
【3～5歳】



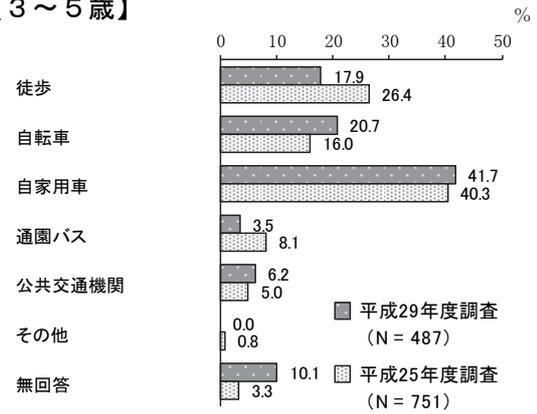
問 前問で「1. 奈良市内で利用」「2. 他市町村で利用」とお答えの方にはうかがいます。  
 現在、利用している施設へ通園するための主な手段についてうかがいます。  
 あてはまる番号1つに○をつけてください。【0～2歳：問7-6、3～5歳：問7-6】

「自家用車」の割合が、0～2歳では55.8%、3～5歳では41.7%と最も高くなっています。  
 平成25年度調査と比較すると、0～2歳では「自家用車」が減少しています。3～5歳では「徒歩」が減少しています。

【0～2歳】



【3～5歳】

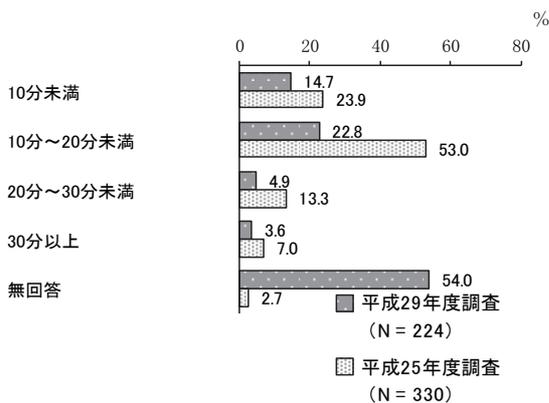


※0～2歳の平成25年度調査には「通園バス」の選択肢はありません。  
 ※平成25年度調査では、「公共交通機関」は「路線バス」「電車」となっています。

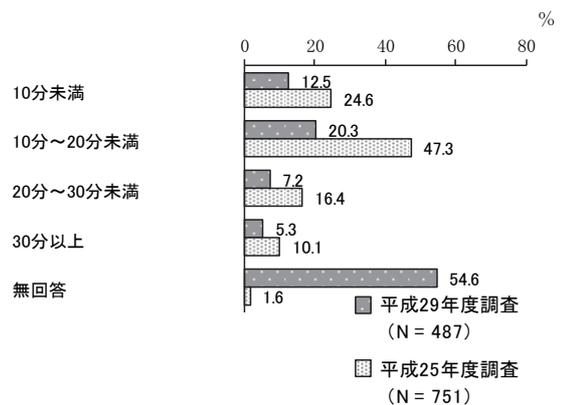
通園時間

「10分～20分未満」の割合が、0～2歳では22.8%、3～5歳では20.3%と最も高くなっています。

【0～2歳】



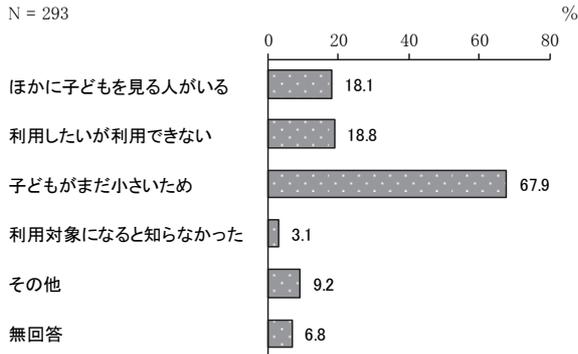
【3～5歳】



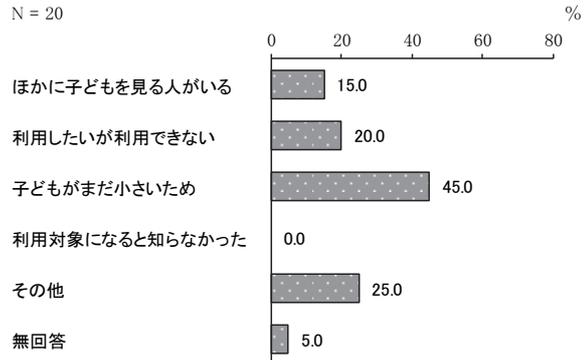
問 前問で「3. 利用したいができない」または「4. 利用する必要がない」と答えた方にかかっています。  
 利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。  
 【0～2歳：問7-7、3～5歳：問7-7】

「子どもがまだ小さいため」の割合が、0～2歳では67.9%、3～5歳では45.0%と最も高くなっています。

【0～2歳】

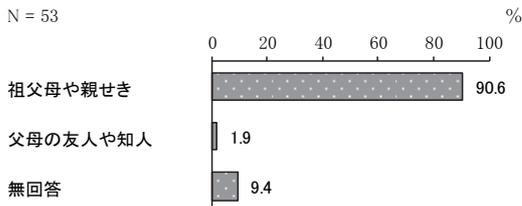


【3～5歳】

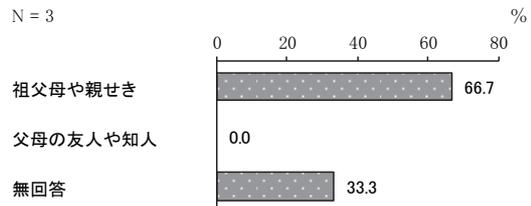


①ほかに子どもを見る人がいる（誰に見てもらっているか）

【0～2歳】



【3～5歳】

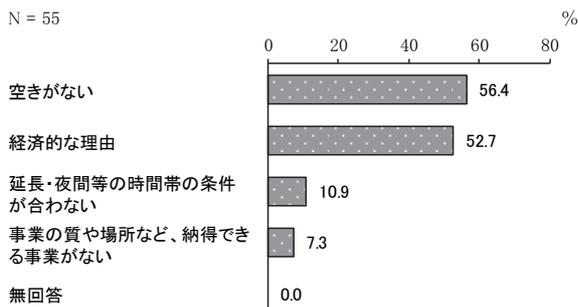


②利用したいが利用できない理由

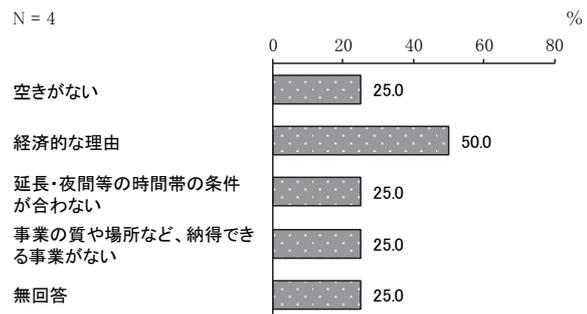
0～2歳については、「空気がない」の割合が56.4%と最も高く、次いで「経済的な理由」の割合が52.7%、「延長・夜間等の時間帯の条件が合わない」の割合が10.9%となっています。

3～5歳については、「経済的な理由」が50.0%となっています。

【0～2歳】



【3～5歳】



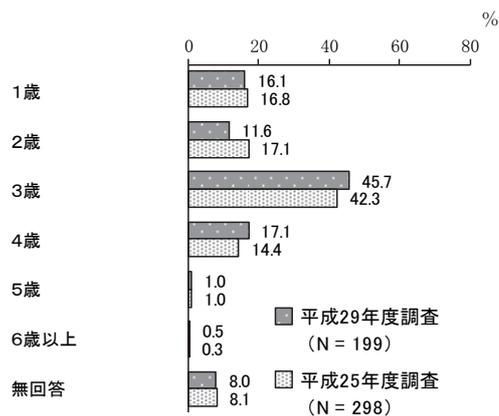
### ③利用し始めたい年齢

0～2歳については、「3歳」の割合が45.7%と最も高く、次いで「4歳」の割合が17.1%、「1歳」の割合が16.1%となっています。

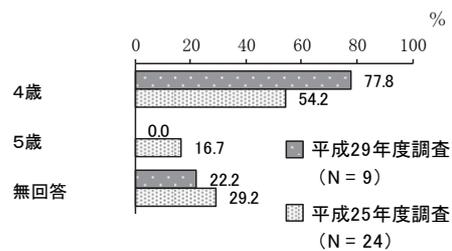
3～5歳については、「4歳」の割合が77.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳では「2歳」が減少しています。3～5歳では「4歳」が増加しています。

#### 【0～2歳】



#### 【3～5歳】



## (5) 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

問 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。(一時的な利用は除きます)。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時から18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。【0～2歳：問8、3～5歳：問8】

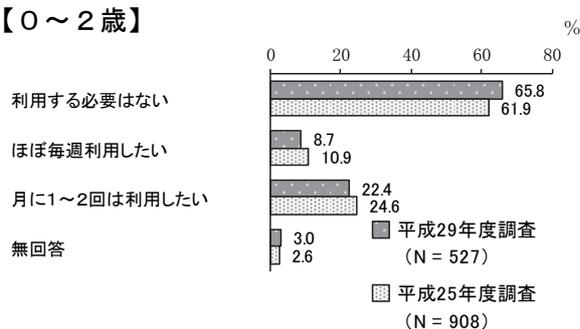
### (1) 土曜日

#### 利用希望

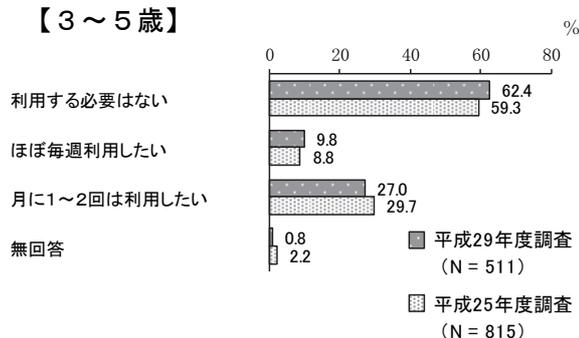
0～2歳、3～5歳ともに、「利用する必要はない」の割合が60%を超えています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳、3～5歳ともに大きな変化はみられません。

#### 【0～2歳】

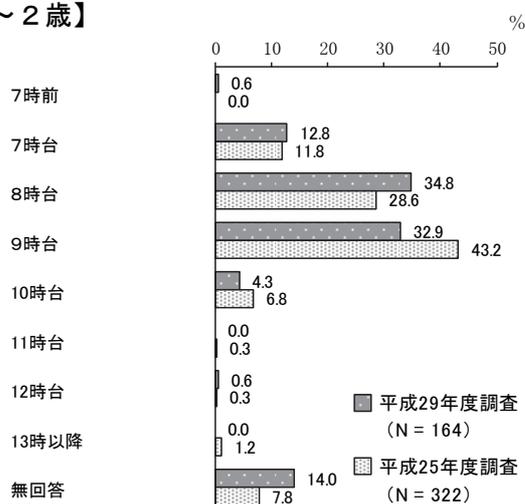


#### 【3～5歳】

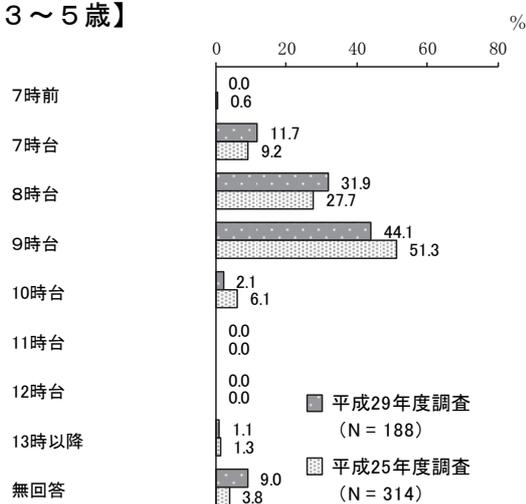


#### 利用開始時間

#### 【0～2歳】

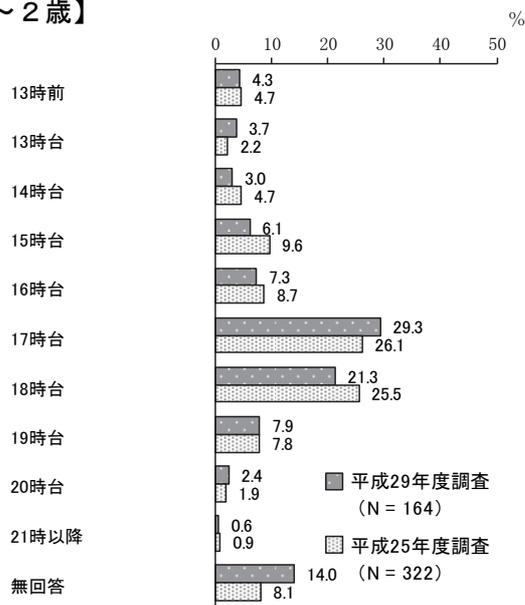


#### 【3～5歳】

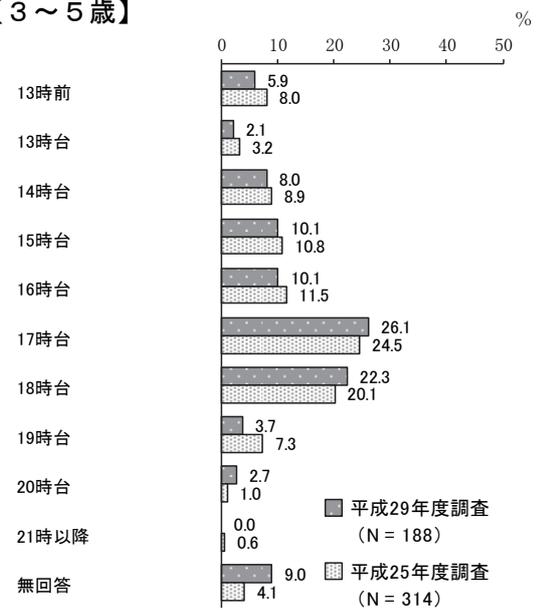


## 利用終了時間

### 【0～2歳】



### 【3～5歳】

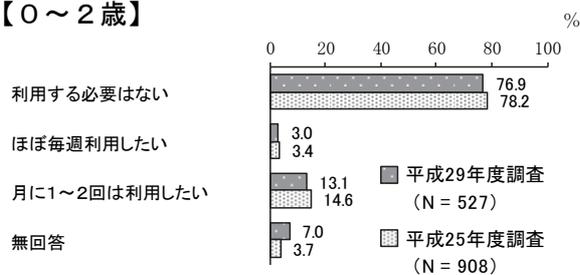


## (2) 日曜日・祝日

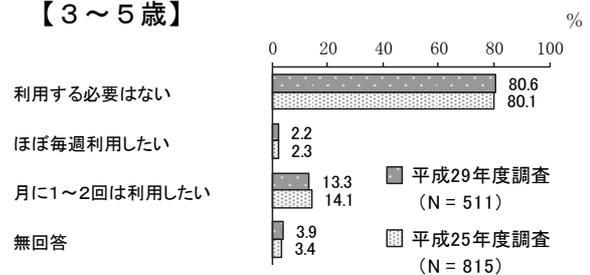
### 利用希望

0～2歳、3～5歳ともに、「利用する必要はない」の割合が80%程度となっています。平成25年度調査と比較すると、0～2歳、3～5歳ともに大きな変化はみられません。

### 【0～2歳】

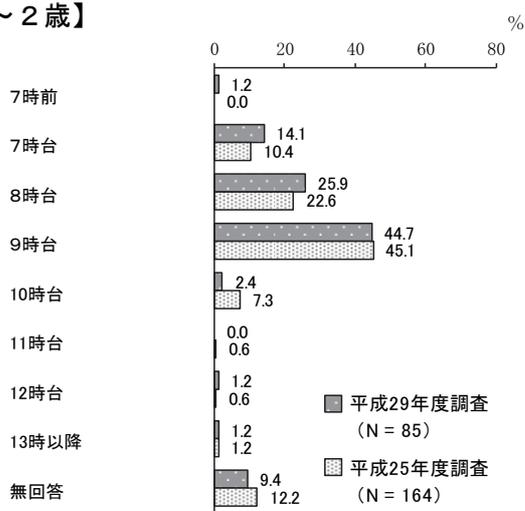


### 【3～5歳】

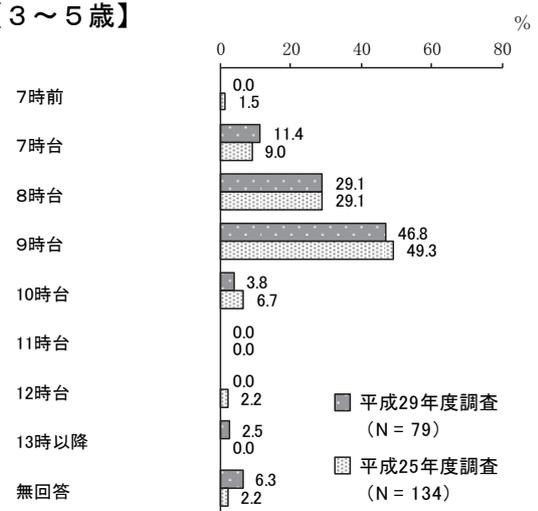


## 利用開始時間

### 【0～2歳】

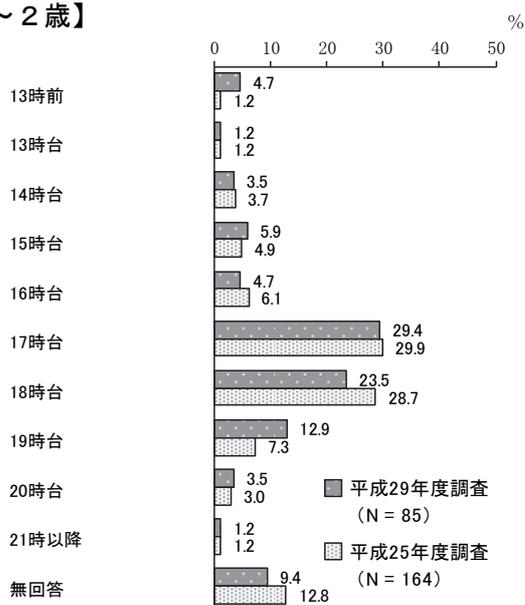


### 【3～5歳】

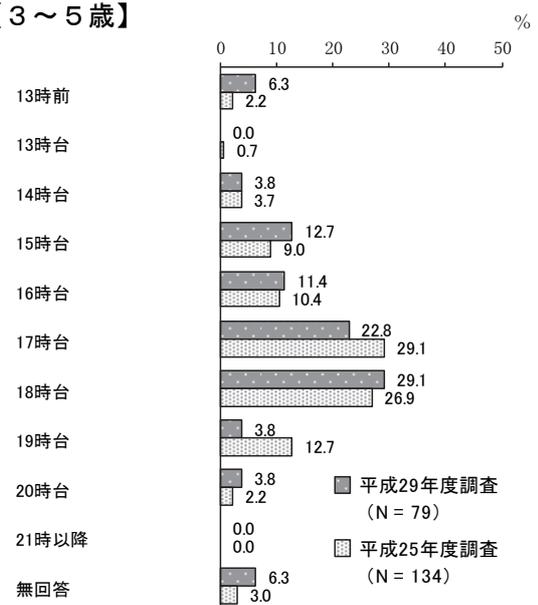


## 利用終了時間

### 【0～2歳】

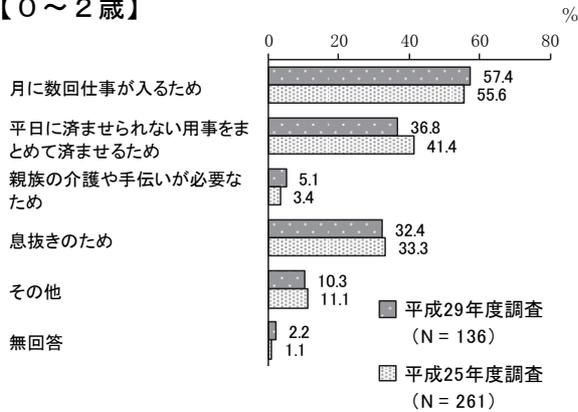


### 【3～5歳】

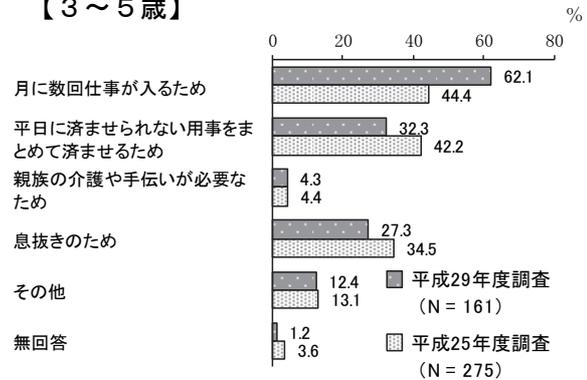


問 前問の(1)または(2)で、「3.月に1~2回は利用したい」とお答えの方には、うかがいます。  
毎週ではなく、月に1~2回は利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。【0~2歳：問8-1、3~5歳：問8-1】

【0~2歳】



【3~5歳】

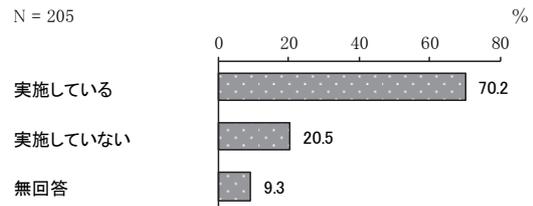


問 現在お子さんが利用している幼稚園・認定こども園では預かり保育を実施していますか。(3~5歳のみ)【3~5歳：問9】

「実施している」の割合が70.2%、「実施していない」の割合が20.5%となっています。

【3~5歳】

N = 205

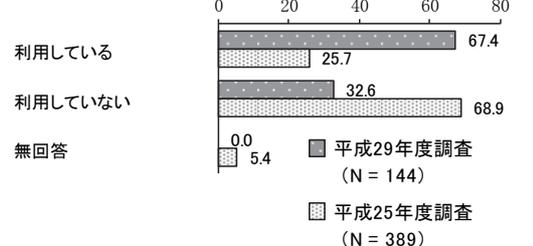


問 前問で「1.実施している」とお答えの方は、幼稚園・認定こども園の預かり保育を定期的に利用していますか。(3~5歳のみ)【3~5歳：問9-1】

「利用している」の割合が67.4%、「利用していない」の割合が32.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「利用している」が増加しています。

【3~5歳】

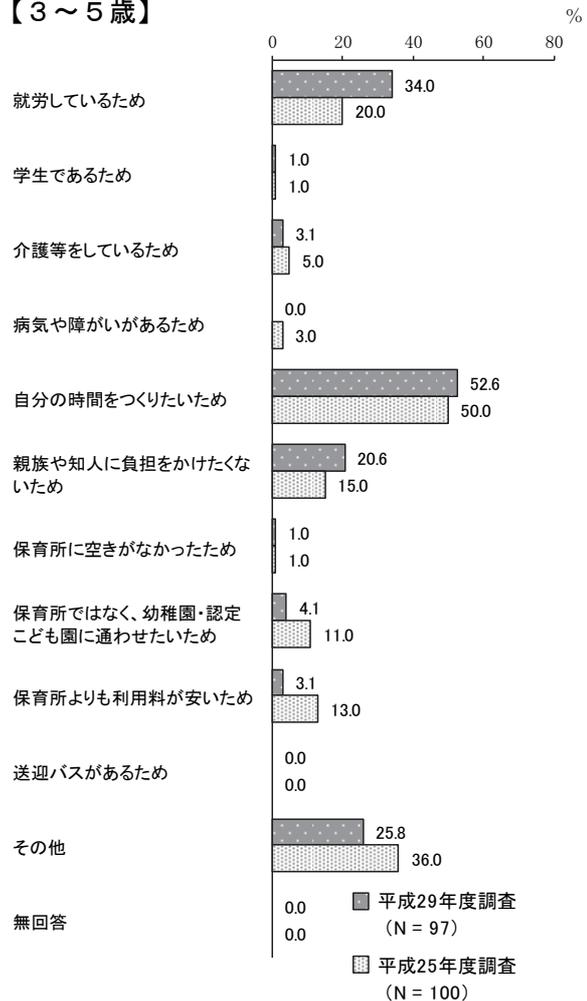


問 前問で「1. 利用している」とお答えの方はその理由をお答えください。(3～5歳のみ)【3～5歳：問9-2】

「自分の時間をつくりたいため」の割合が52.6%と最も高く、次いで「就労しているため」の割合が34.0%、「親族や知人に負担をかけたくないため」の割合が20.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「保育所ではなく、幼稚園・認定こども園に通わせたいため」「保育所よりも利用料が安いため」が減少し、「就労しているため」「親族や知人に負担をかけたくないため」が増加しています。

【3～5歳】

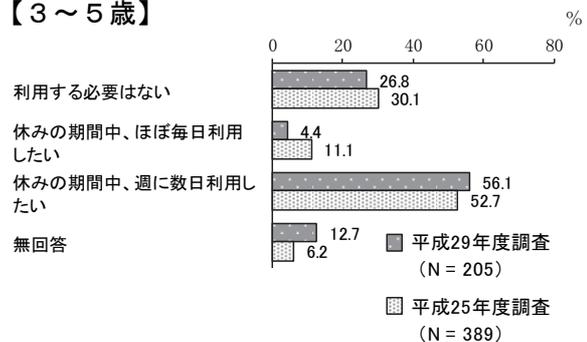


問 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の預かり保育の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時から18時のように24時間制でご記入ください。なお、預かり保育の利用には、一定の利用者負担が発生します。【3～5歳：問9-3】

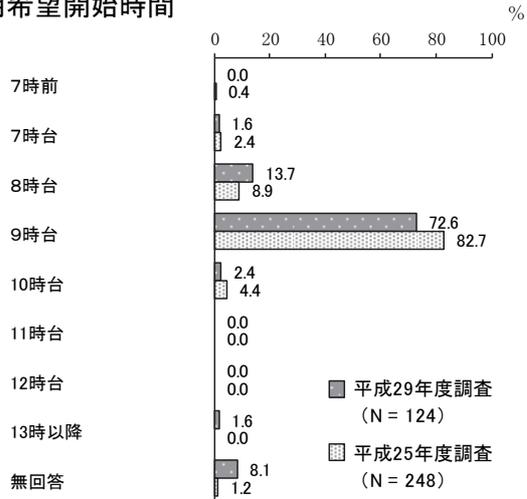
「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が56.1%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が26.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が減少しています。

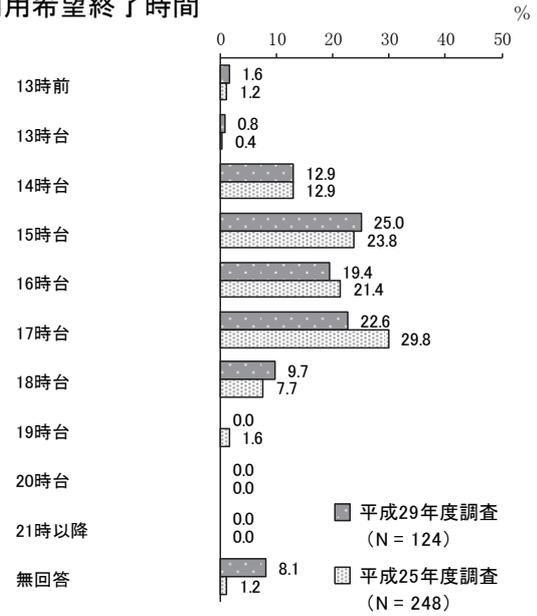
【3～5歳】



利用希望開始時間



利用希望終了時間

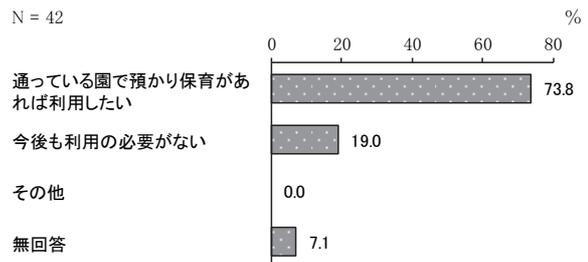


問 前問で「2. 実施していない」とお答えの方は、あてはまるもの1つに○をしてください。(3～5歳のみ)【3～5歳：問9－4】

「通っている園で預かり保育があれば利用したい」の割合が73.8%、「今後も利用の必要がない」の割合が19.0%となっています。

【3～5歳】

N = 42



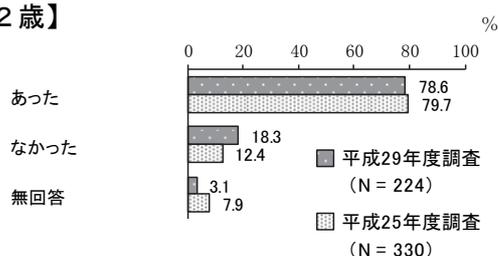
## (6) 病気の際の対応について

問 平日の定期的な教育・保育事業を利用しているとお答えの方（問7で「1. 奈良市内で利用」または「2. 他市町村で利用」に○をつけた方）にうかがいます。この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。【0～2歳：問9、3～5歳：問10】

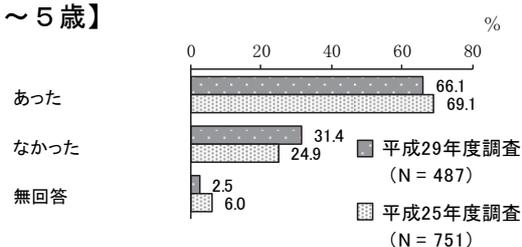
「あった」の割合が、0～2歳では78.6%、3～5歳では66.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳では「なかった」が増加しています。3～5歳でも「なかった」が増加しています。

### 【0～2歳】



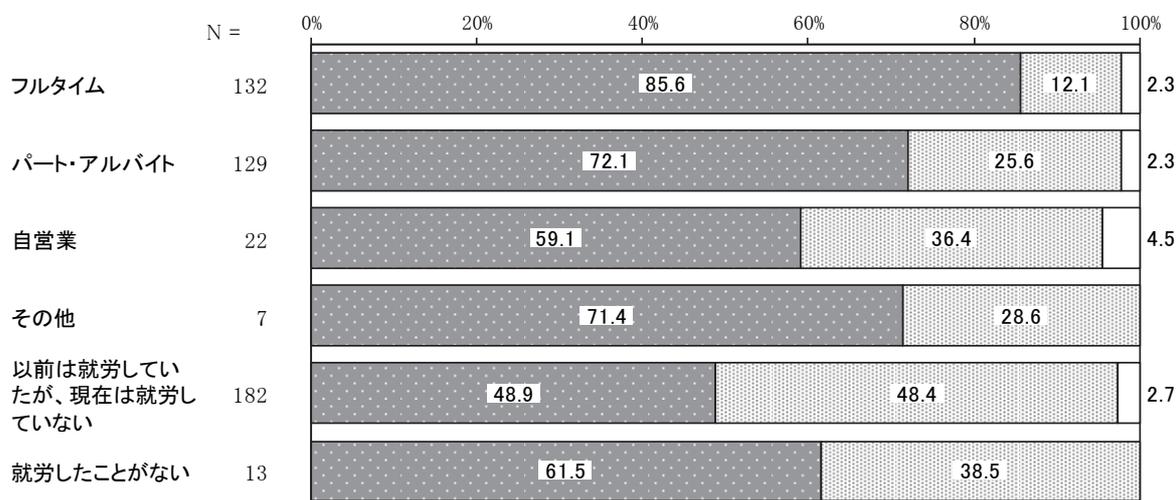
### 【3～5歳】



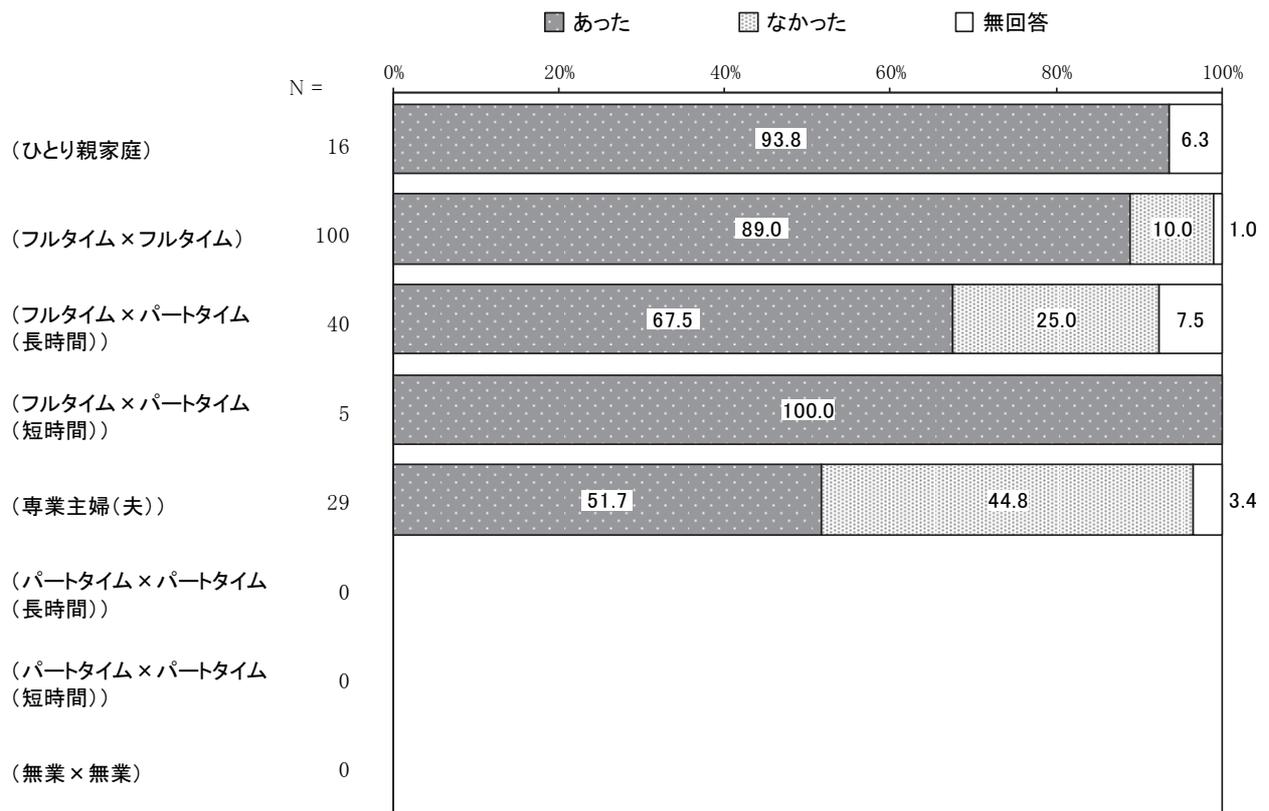
### 【母親の就労状況別：0～2歳】



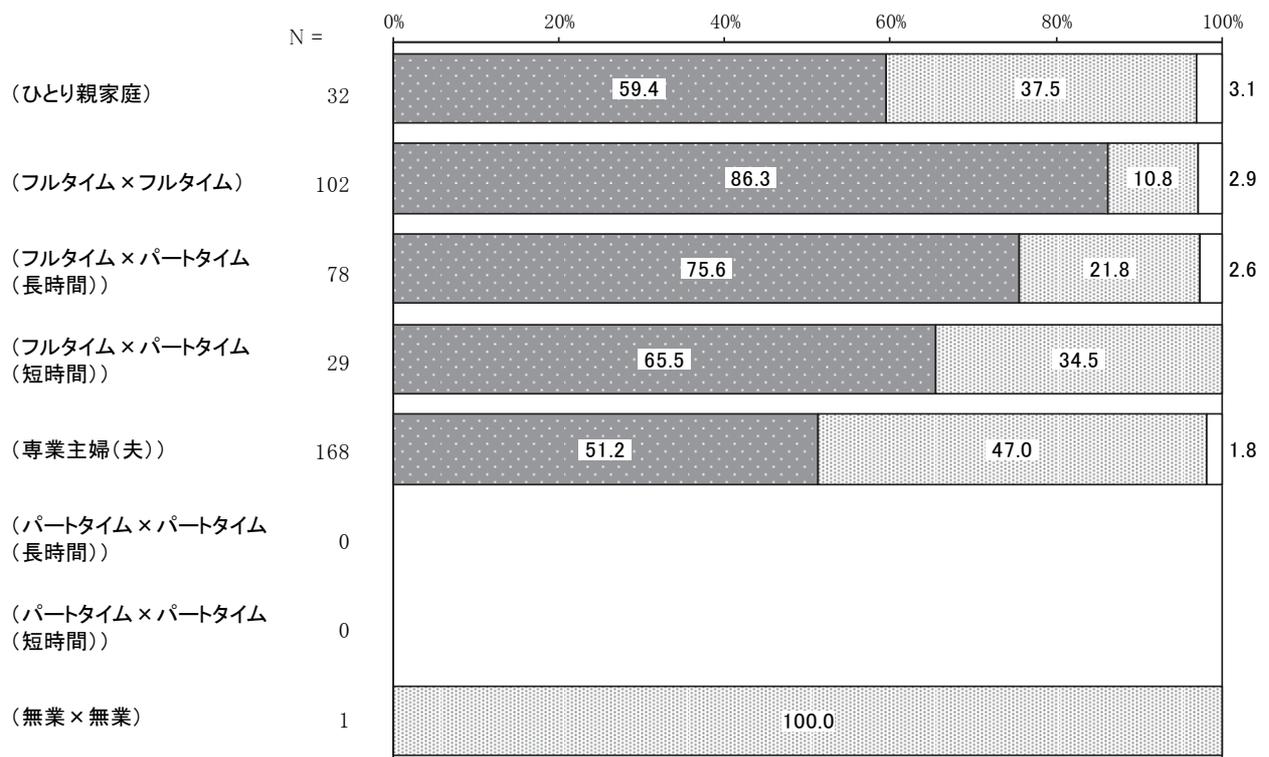
### 【母親の就労状況別：3～5歳】



【家庭類型別：0～2歳】



【家庭類型別：3～5歳】



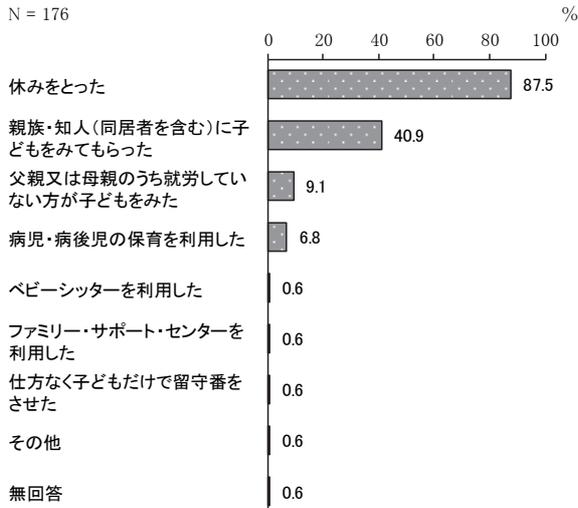
問 前問で「1. あった」とお答えの方は、その際の対応としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。  
 ※半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。【0～2歳：問9-1、3～5歳：問10-1】

### 1年間の対応

「休みをとった」の割合が、0～2歳では87.5%、3～5歳では69.6%と最も高くなっています。

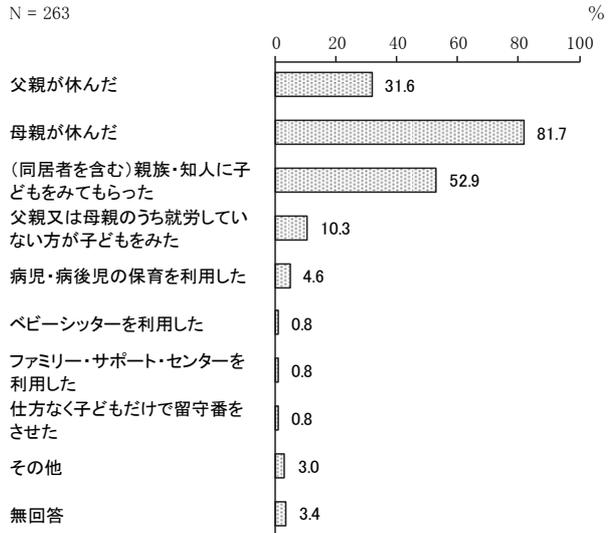
#### 【0～2歳】

N = 176



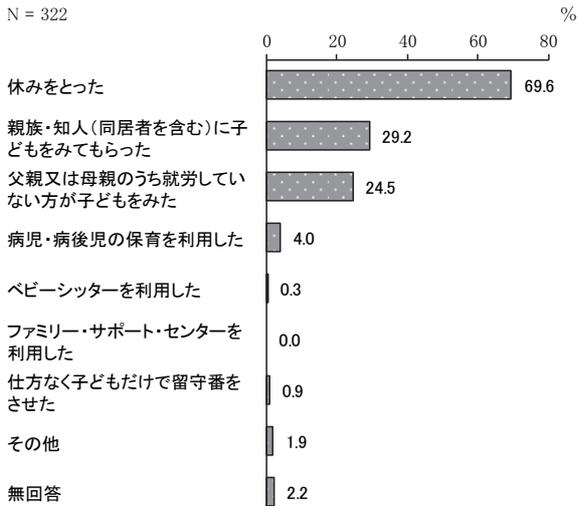
#### 【参考：前回調査結果】

N = 263



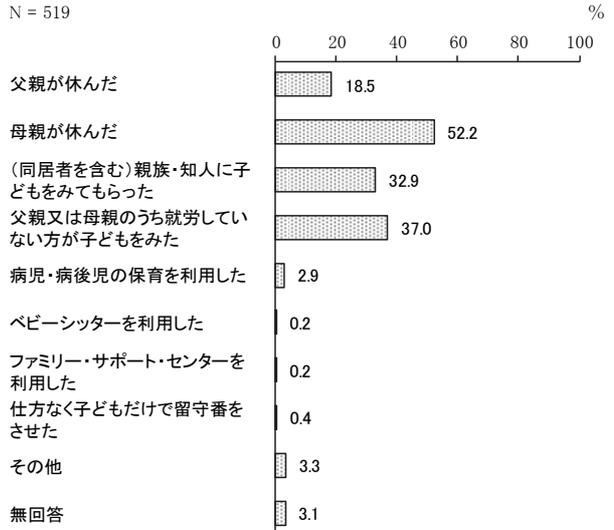
#### 【3～5歳】

N = 322



#### 【参考：前回調査結果】

N = 519



【母親の就労状況別：0～2歳】

単位：％

区分	有効回答数(件)	休みをとった	親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイム	102	95.1	48.0	2.0	5.9	—	—	1.0	1.0	—
パート・アルバイト	45	95.6	33.3	2.2	8.9	—	—	—	—	—
自営業	7	57.1	57.1	—	28.6	14.3	14.3	—	—	—
その他	3	100.0	66.7	33.3	—	—	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	14	28.6	—	64.3	—	—	—	—	—	7.1
就労したことがない	1	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—

【母親の就労状況別：3～5歳】

単位：％

区分	有効回答数(件)	休みをとった	親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイム	113	92.0	49.6	3.5	5.3	—	—	0.9	0.9	—
パート・アルバイト	93	84.9	26.9	5.4	5.4	—	—	1.1	2.2	—
自営業	13	76.9	30.8	7.7	15.4	—	—	—	—	—
その他	5	80.0	40.0	—	—	—	—	—	20.0	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	89	27.0	6.7	71.9	—	1.1	—	1.1	1.1	7.9
就労したことがない	8	37.5	—	62.5	—	—	—	—	12.5	—

【家庭類型別：0～2歳】

単位：%

区分	有効回答数(件)	休みをとった	親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
(ひとり親家庭)	15	80.0	33.3	13.3	—	—	—	—	—	—
(フルタイム×フルタイム)	89	95.5	49.4	2.2	6.7	—	—	1.1	1.1	—
フルタイム×パートタイム(長時間)	27	96.3	40.7	—	11.1	—	—	—	—	—
フルタイム×パートタイム(短時間)	5	80.0	40.0	—	20.0	—	—	—	—	—
(専業主婦(夫))	15	26.7	—	66.7	—	—	—	—	—	6.7
パートタイム×パートタイム(長時間)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
パートタイム×パートタイム(短時間)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(無業×無業)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【家庭類型別：3～5歳】

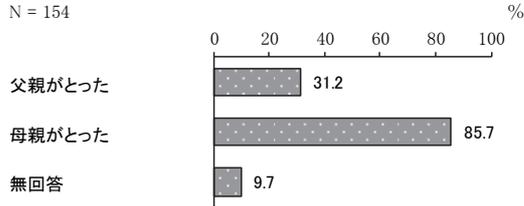
単位：%

区分	有効回答数(件)	休みをとった	親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
(ひとり親家庭)	19	84.2	36.8	5.3	—	—	—	—	—	—
(フルタイム×フルタイム)	88	92.0	51.1	3.4	5.7	—	—	1.1	—	—
フルタイム×パートタイム(長時間)	59	93.2	23.7	1.7	6.8	—	—	1.7	1.7	—
フルタイム×パートタイム(短時間)	19	63.2	42.1	15.8	5.3	—	—	—	—	—
(専業主婦(夫))	86	31.4	5.8	72.1	—	—	—	—	1.2	8.1
パートタイム×パートタイム(長時間)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
パートタイム×パートタイム(短時間)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(無業×無業)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

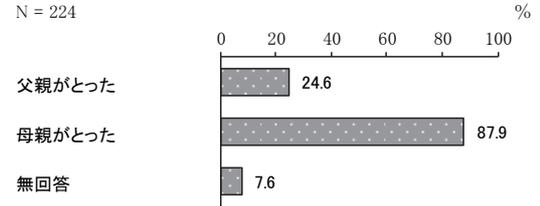
## 休みをとった人

0～2歳、3～5歳ともに「母親がとった」の割合が80%台となっています。

### 【0～2歳】

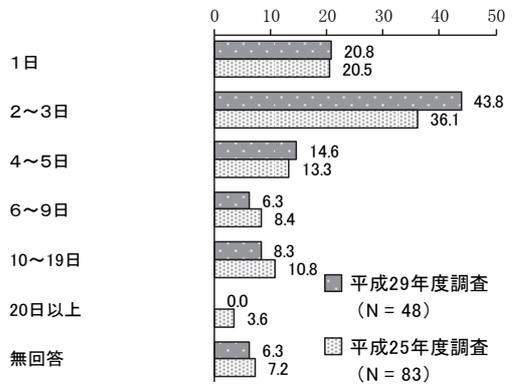


### 【3～5歳】

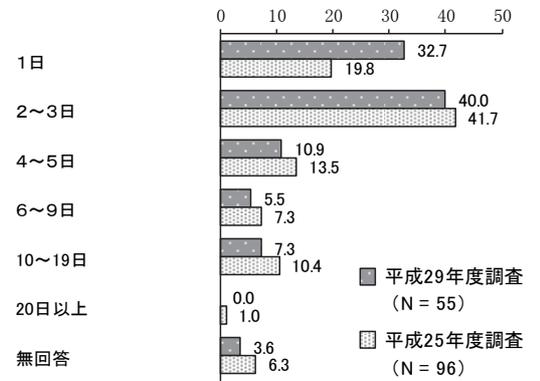


## ①父親が休みをとった日数

### 【0～2歳】

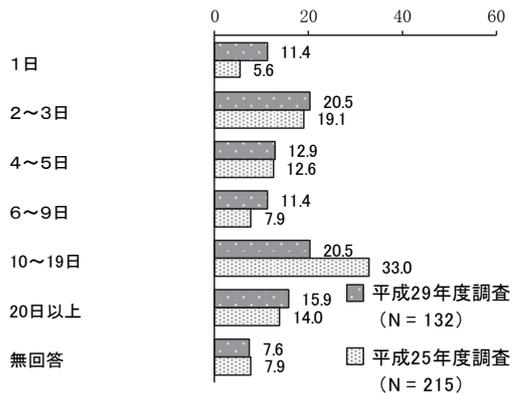


### 【3～5歳】

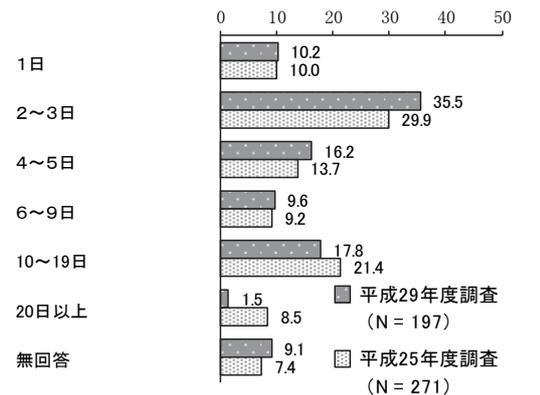


## ②母親が休みをとった日数

### 【0～2歳】

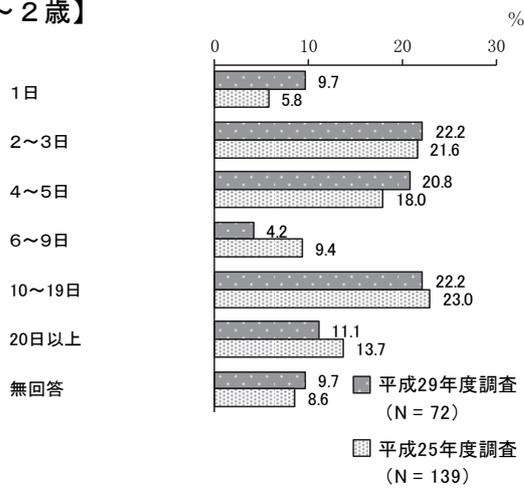


### 【3～5歳】

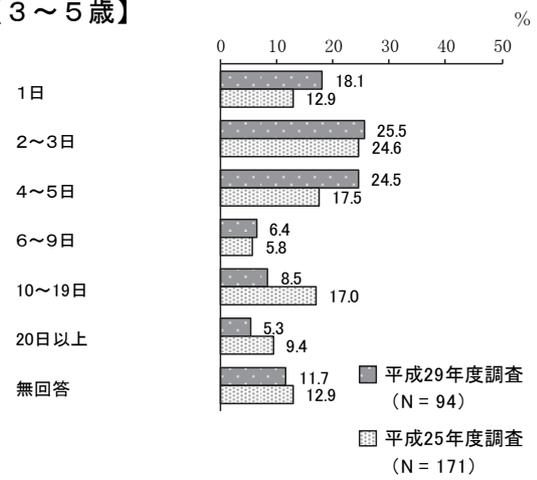


③親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった日数

【0～2歳】

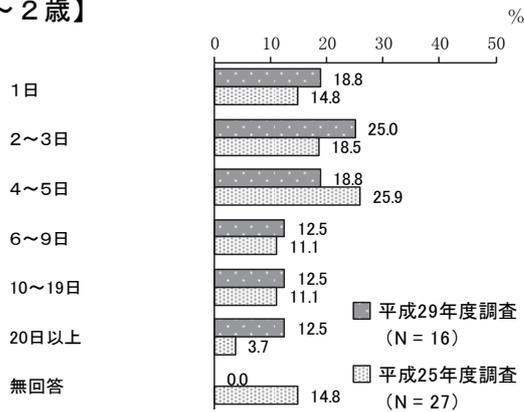


【3～5歳】

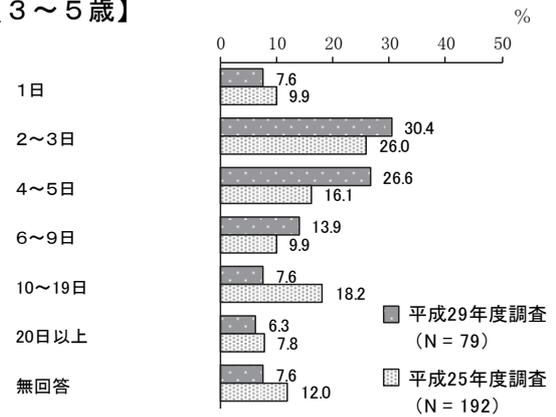


④父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた

【0～2歳】

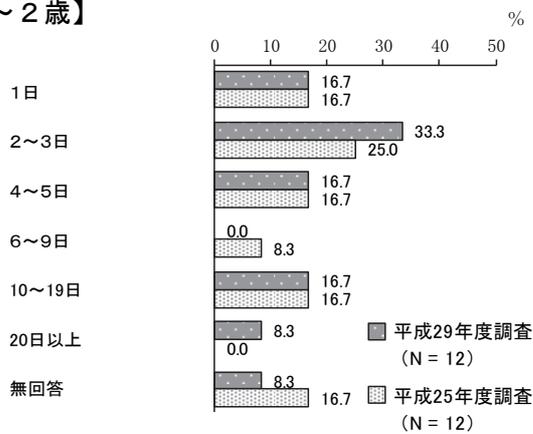


【3～5歳】

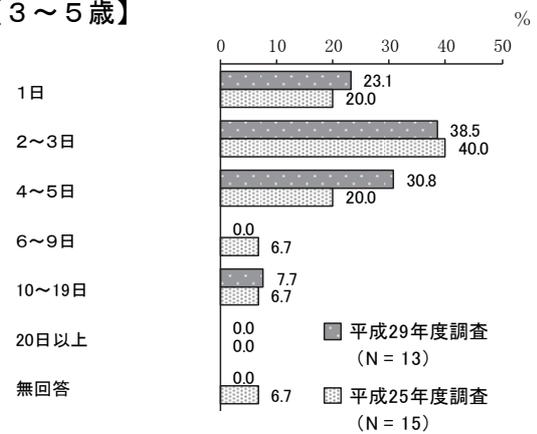


⑤病児・病後児の保育を利用した日数

【0～2歳】



【3～5歳】



⑥ベビーシッターを利用した日数

0～2歳では「20日以上」が1件、3～5歳では「10～19日」が1件となっています。

⑦ファミリー・サポート・センターを利用した日数

0～2歳では「4～5日」が1件、3～5歳では有効回答はありません。

⑧仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数

0～2歳では有効回答はありません。3～5歳では「2～3日」、「4～5日」、「10～19日」が1件となっています。

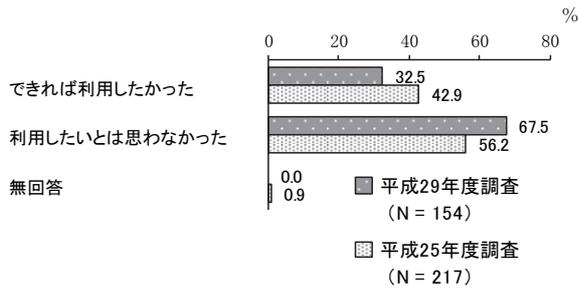
⑨その他の日数

0～2歳では「6～9日」が1件、3～5歳では「6～9日」、「10～19日」が2件、「1日」、「2～3日」が1件となっています。

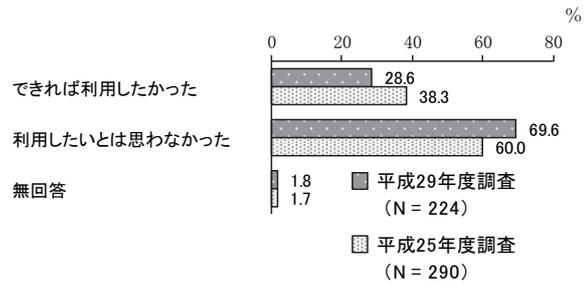
問 前問で「1. 休みをとった」とお答えの方にはうかがいます。  
 その際、「できれば病児・病後児を預かってくれる保育施設等を利用したい」と  
 思いましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても（ ）内に数  
 字でご記入ください。【0～2歳：問9-2、3～5歳：問10-2】

0～2歳、3～5歳ともに「利用したいとは思わなかった」の割合が70%程度となっています。  
 平成25年度調査と比較すると、0～2歳、3～5歳ともに「利用したいとは思わなかった」が  
 増加しています。

【0～2歳】

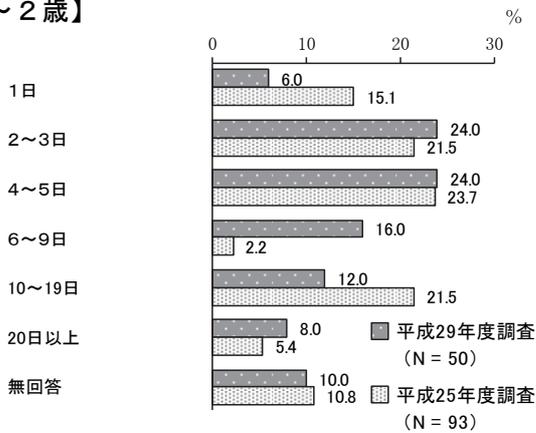


【3～5歳】

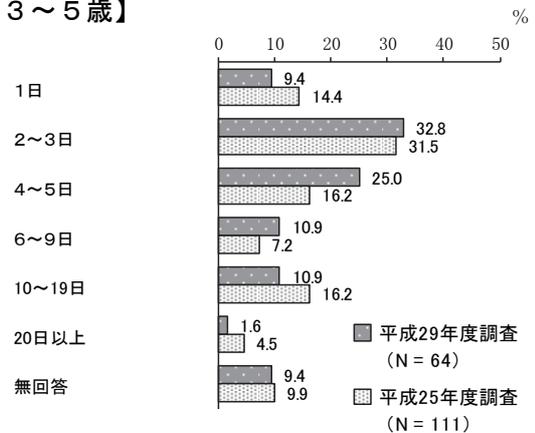


できれば利用したかった日数

【0～2歳】



【3～5歳】

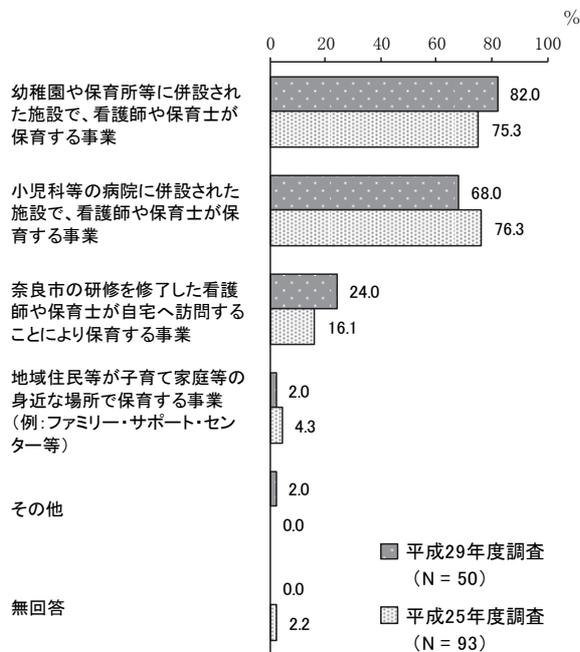


問 前問で「1. できれば利用したかった」とお答えの方にかがいます。  
 上記の目的であて名のお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと  
 思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。【0～2歳：問9－  
 3、3～5歳：問10－3】

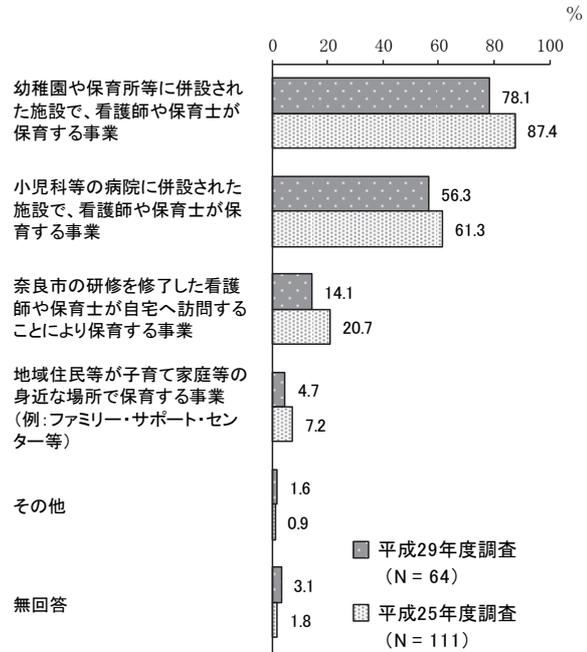
0～2歳、3～5歳ともに「幼稚園や保育所等に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業」の割合が80%程度と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳では「小児科等の病院に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業」が減少し、「幼稚園や保育所等に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業」「奈良市の研修を修了した看護師や保育士が自宅へ訪問することにより保育する事業」が増加しています。3～5歳では「幼稚園や保育所等に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業」「小児科等の病院に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業」「奈良市の研修を修了した看護師や保育士が自宅へ訪問することにより保育する事業」が減少しています。

【0～2歳】



【3～5歳】

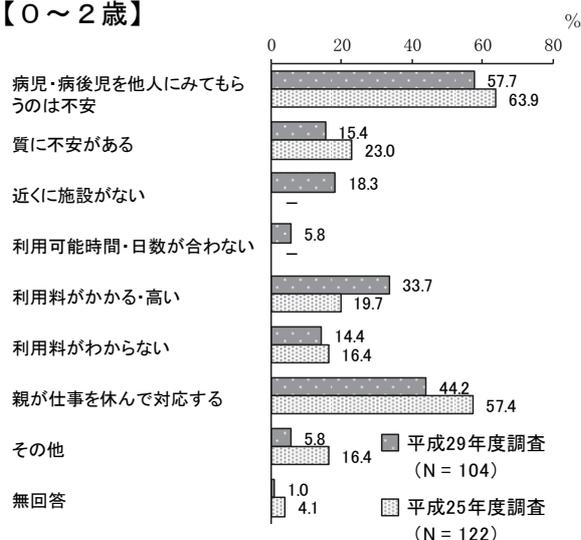


問 前問で「2. 利用したいとは思わなかった」とお答えの方にはうかがいます。  
 そう思う理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。【0～2  
 歳：問9-4、3～5歳：問10-4】

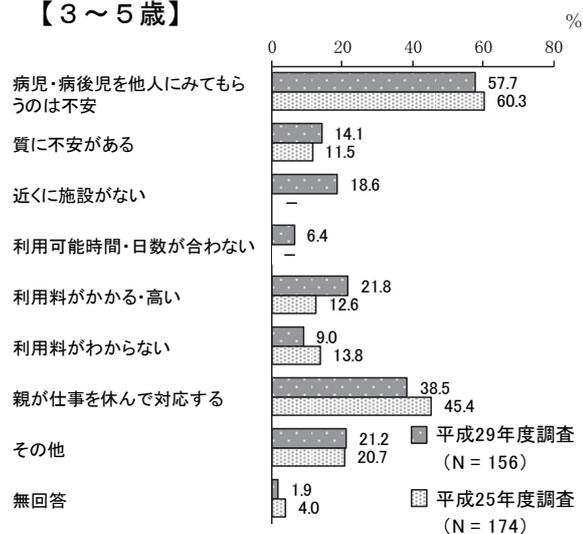
0～2歳、3～5歳ともに、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」の割合が57.7%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳、3～5歳ともに「利用料がかかる・高い」が増加しています。また、0～2歳では「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」「質に不安がある」「親が仕事を休んで対応する」が減少し、3～5歳では「親が仕事を休んで対応する」が特に減少しています。

### 【0～2歳】



### 【3～5歳】



※平成25年度調査には「近くに施設がない」「利用可能時間・日数が合わない」の選択肢はありません。

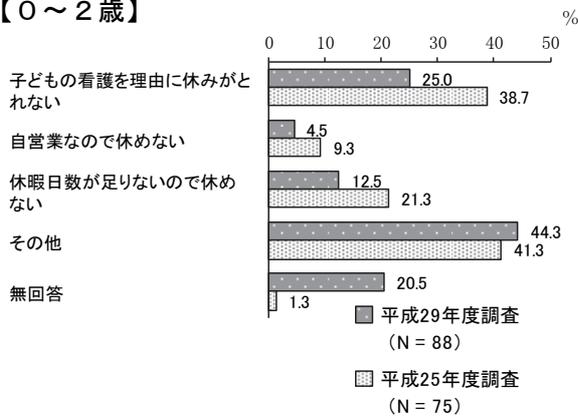
問 前問で「2. 親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった」「3. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」「4. 病児・病後児の保育を利用した」「5. ベビーシッターを利用した」「6. ファミリー・サポート・センターを利用した」「7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」「8. その他」（休みをとらず対応した）とお答えの方にはうかがいます。【0～2歳：問9-5、3～5歳：問10-5】

(1) 休みを取らなかった理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

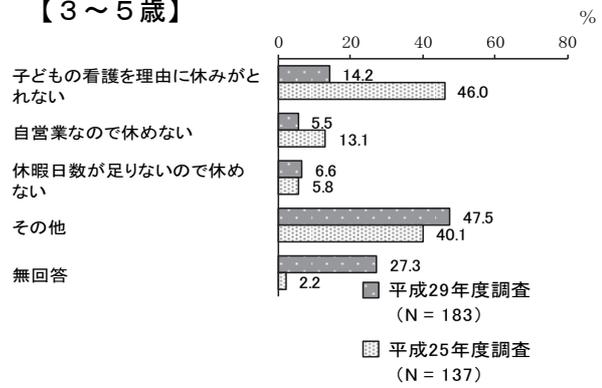
「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が、0～2歳では25.0%、3～5歳では14.2%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳では「子どもの看護を理由に休みがとれない」「休暇日数が足りないので休めない」が減少しています。3～5歳では「子どもの看護を理由に休みがとれない」「自営業なので休めない」が減少しています。

【0～2歳】



【3～5歳】

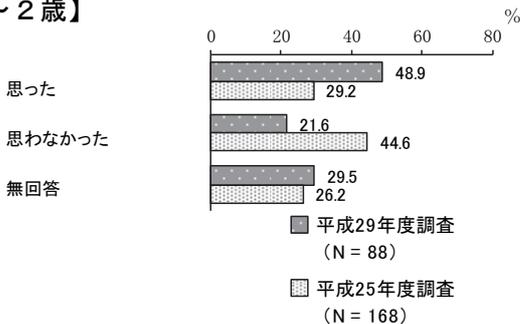


(2) その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思いましたか。

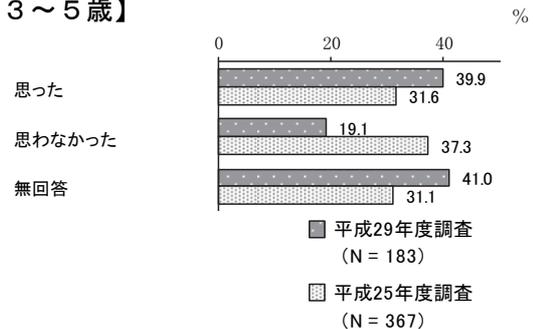
「思った」の割合が、0～2歳では48.9%、3～5歳では39.9%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳、3～5歳ともに「思った」が増加しています。

【0～2歳】

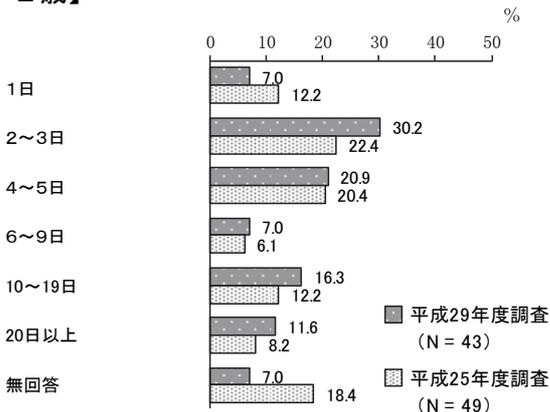


【3～5歳】

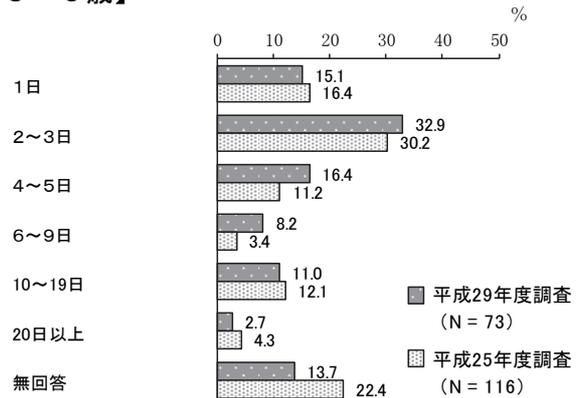


仕事を休んで看護したい日数

【0～2歳】



【3～5歳】



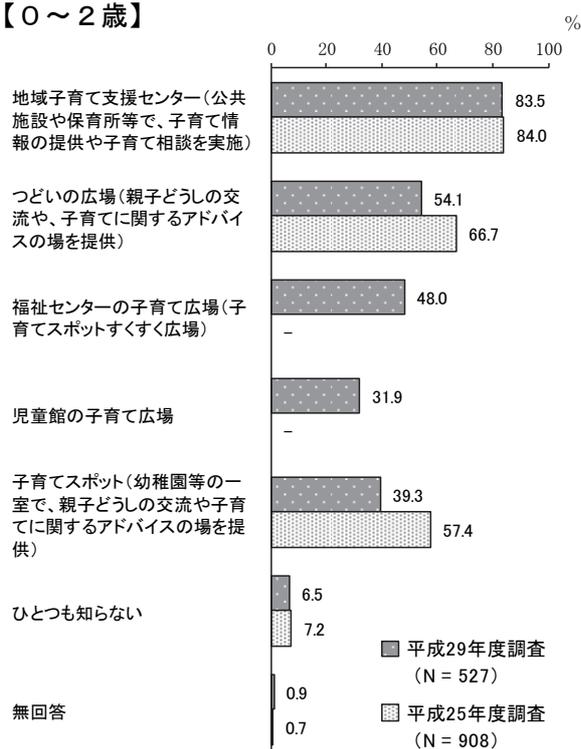
## (7) 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 奈良市では、地域の子育て支援のために次のような事業を行っていますが、知っているものすべてに○をつけてください。【0～2歳：問10、3～5歳：問11】

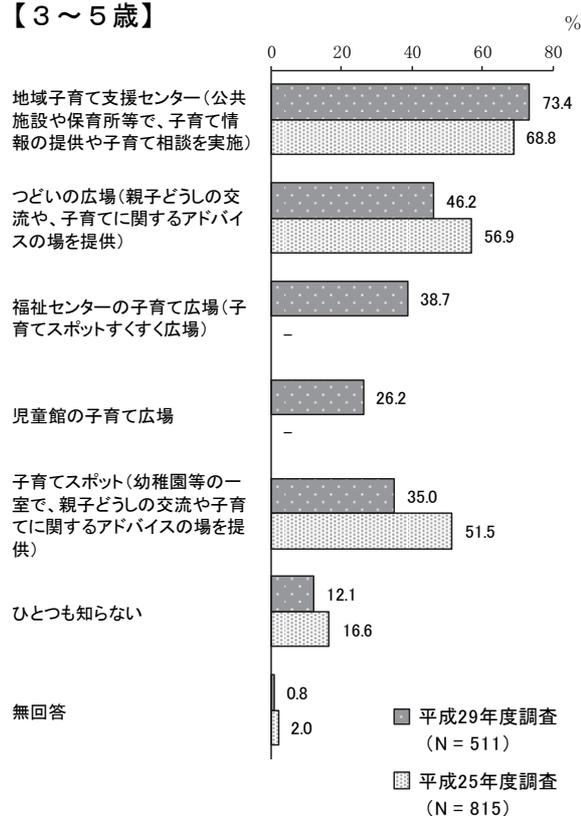
「地域子育て支援センター（公共施設や保育所等で、子育て情報の提供や子育て相談を実施）」の割合が、0～2歳では83.5%、3～5歳では73.4%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳、3～5歳ともに「つどいの広場（親子どうしの交流や、子育てに関するアドバイスの場を提供）」「子育てスポット（幼稚園等の一室で、親子どうしの交流や子育てに関するアドバイスの場を提供）」が減少しています。

### 【0～2歳】



### 【3～5歳】



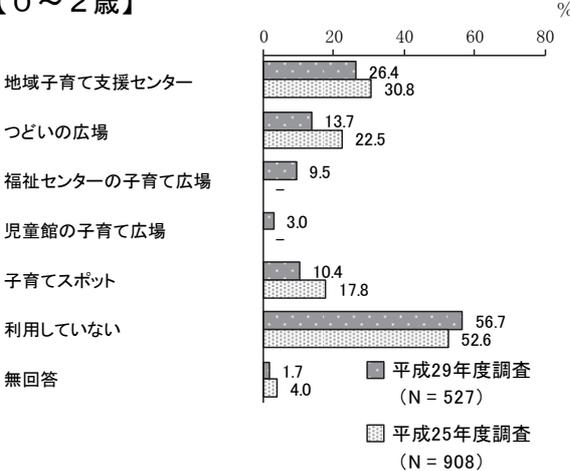
※平成25年度調査には「福祉センターの子育て広場（子育てスポットすくすく広場）」「児童館の子育て広場」の選択肢はありません。

問 あて名のお子さんは、現在問 10 の「1. 地域子育て支援センター（公共施設や保育所等で、子育て情報の提供や子育て相談を実施）」「2. つどいの広場（親子どうしの交流や、子育てに関するアドバイスの場を提供）」「3. 福祉センターの子育て広場（子育てスポットすくすく広場）」「4. 児童館の子育て広場」「5. 子育てスポット（幼稚園等の一室で、親子どうしの交流や子育てに関するアドバイスの場を提供）」の事業を利用していますか。利用しているものすべてに○をつけてください。  
 また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。  
 【0～2歳：問 11、3～5歳：問 12】

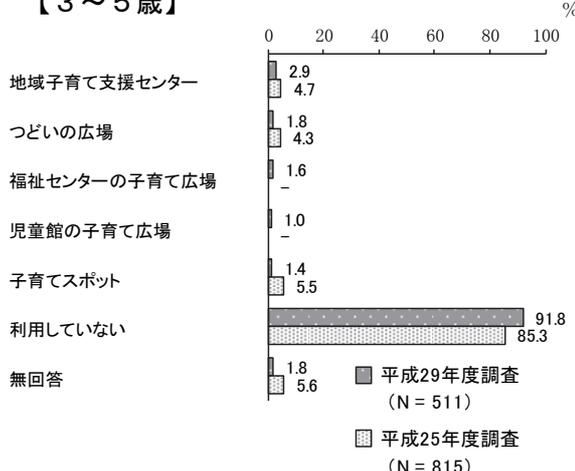
0～2歳の利用している事業については、「利用していない」の割合が50%以上あるものの、「地域子育て支援センター」の割合が26.4%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳では「つどいの広場」「子育てスポット」が減少しています。3～5歳では「利用していない」が増加しています。

【0～2歳】



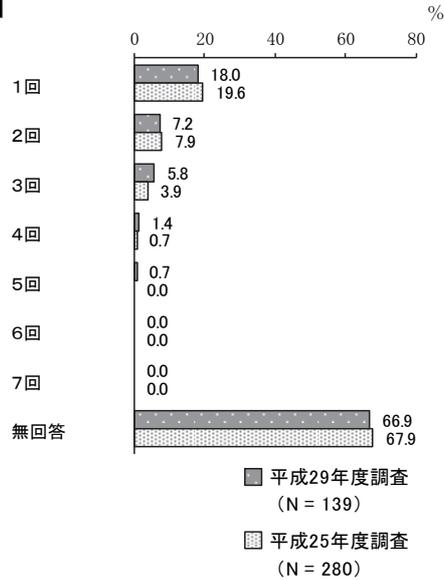
【3～5歳】



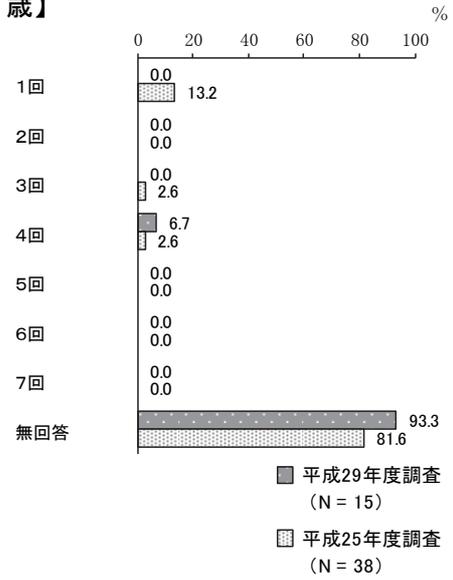
①地域子育て支援センター

1週あたり回数

【0～2歳】

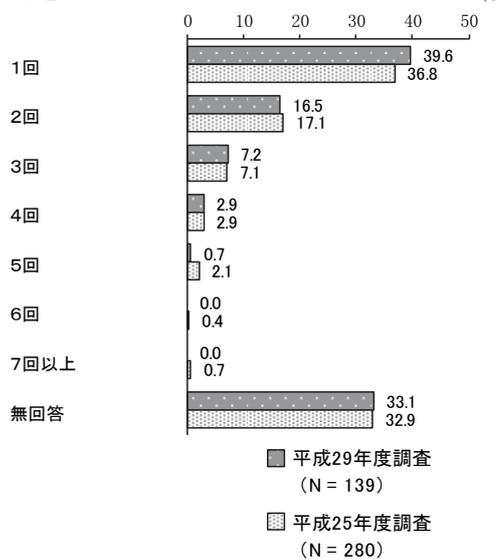


【3～5歳】

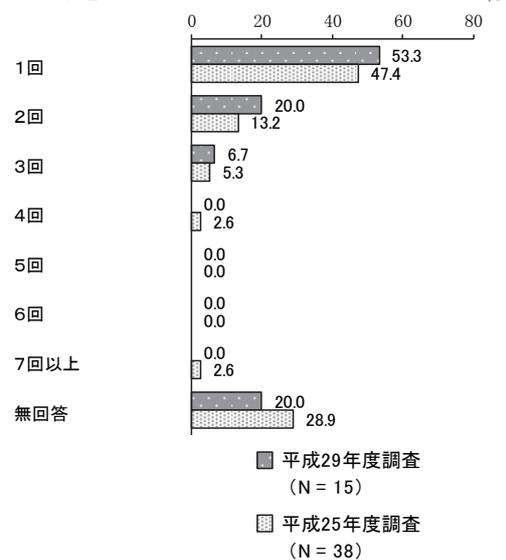


1か月あたり回数

【0～2歳】



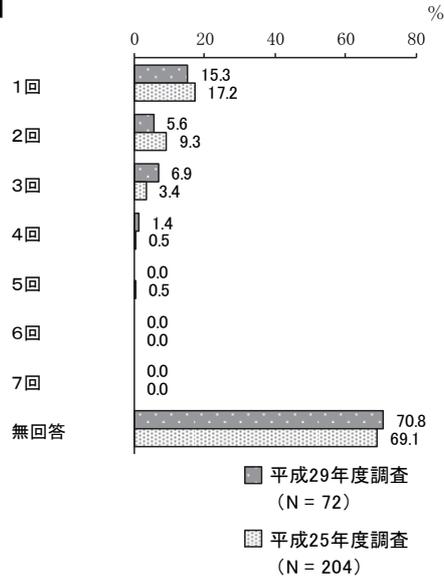
【3～5歳】



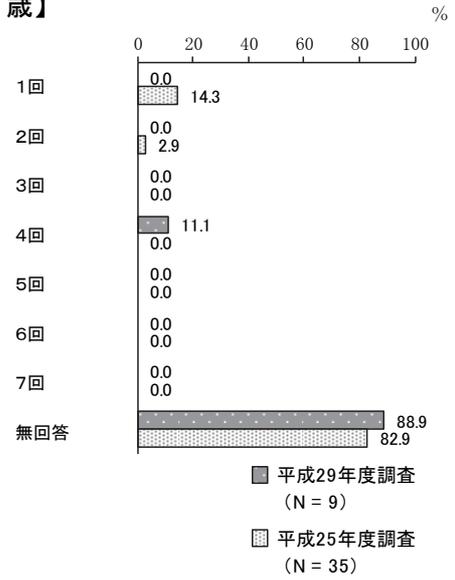
②つどいの広場

1週あたり回数

【0～2歳】

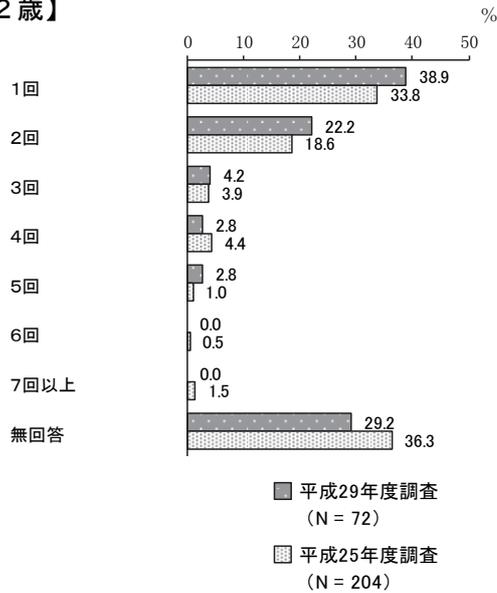


【3～5歳】

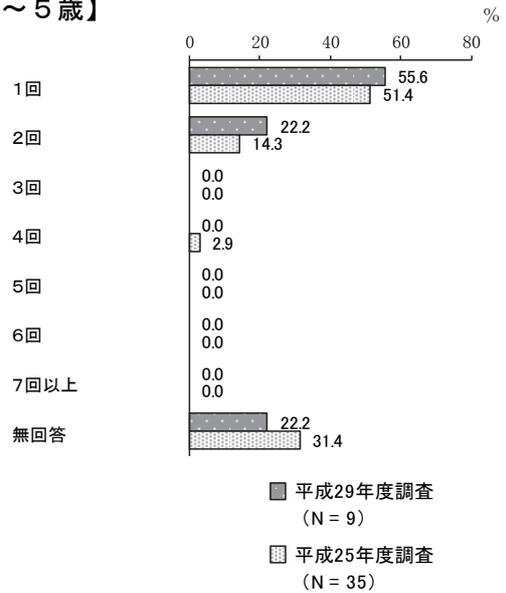


1か月あたり回数

【0～2歳】



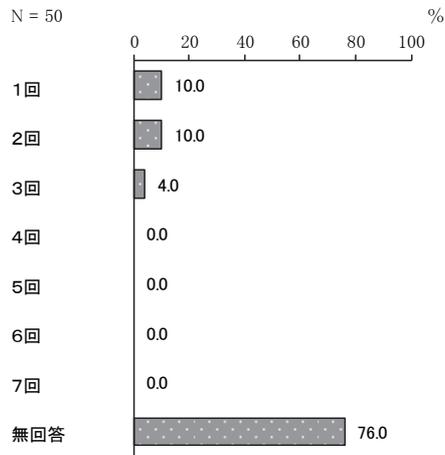
【3～5歳】



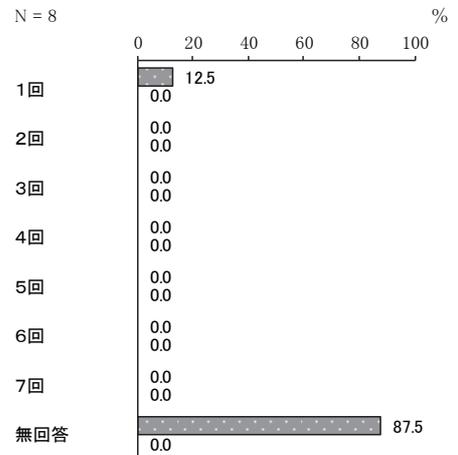
③福祉センターの子育て広場

1週あたり回数

【0～2歳】

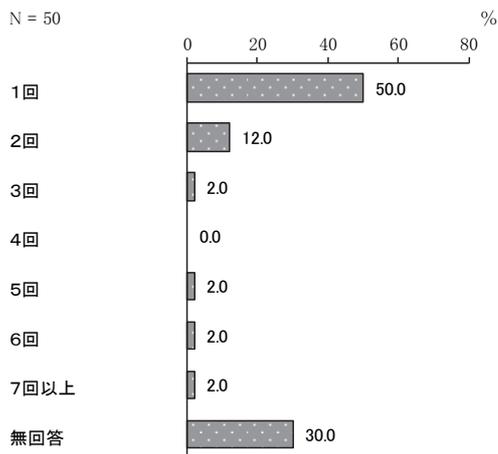


【3～5歳】

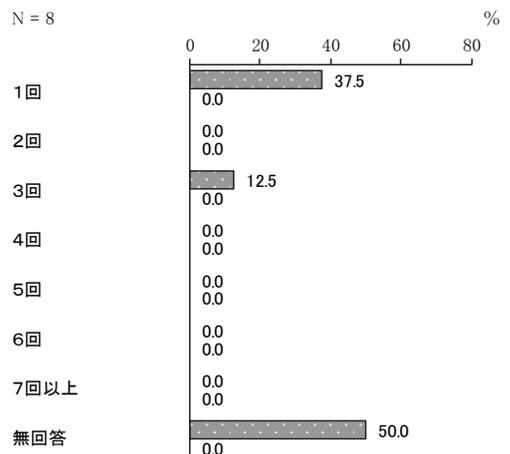


1か月あたり回数

【0～2歳】



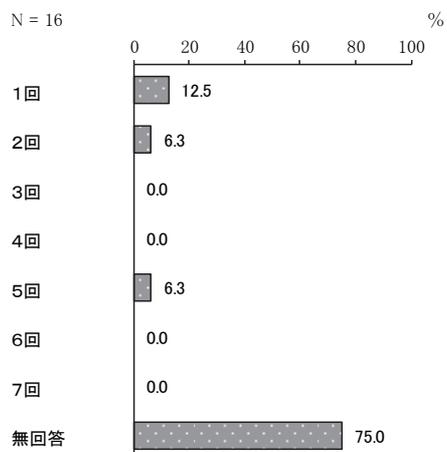
【3～5歳】



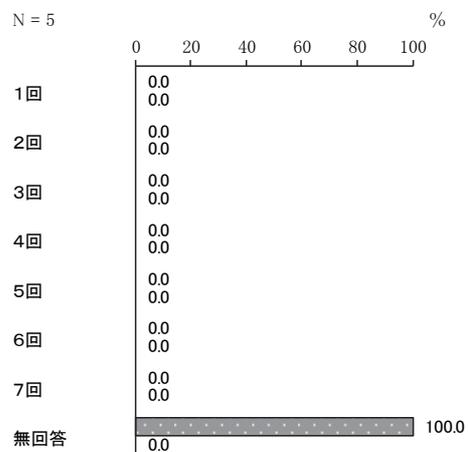
④児童館の子育てひろば

1週あたり回数

【0～2歳】

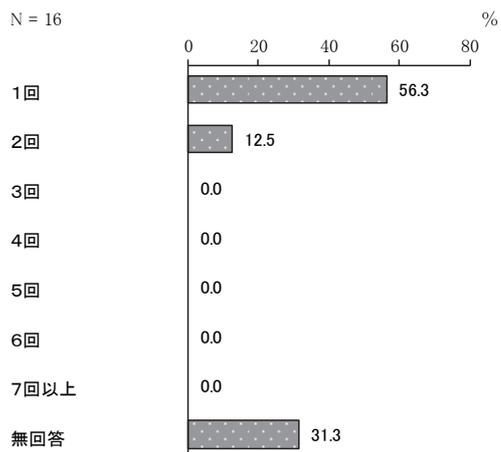


【3～5歳】

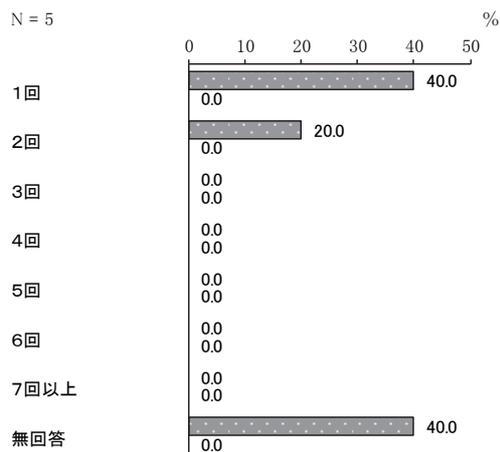


1か月あたり回数

【0～2歳】



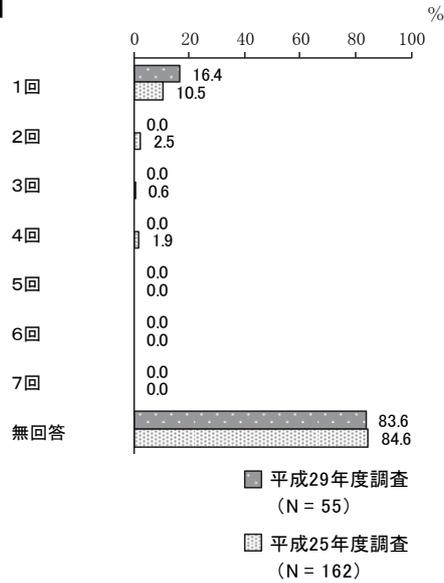
【3～5歳】



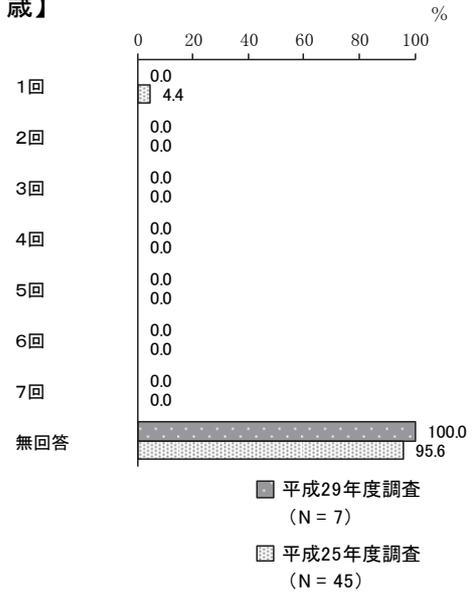
⑤子育てスポット

1週あたり回数

【0～2歳】

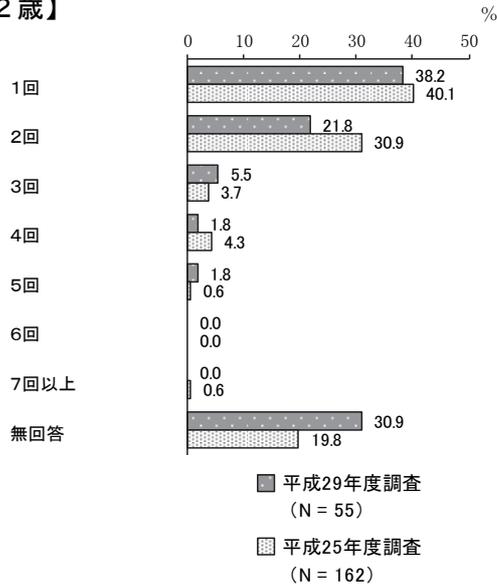


【3～5歳】

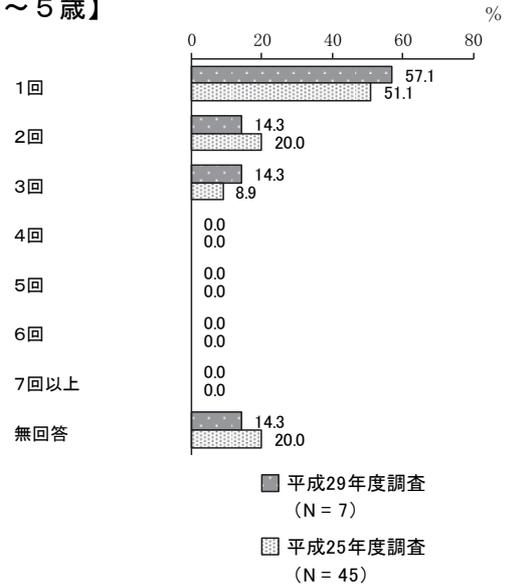


1か月あたり回数

【0～2歳】



【3～5歳】

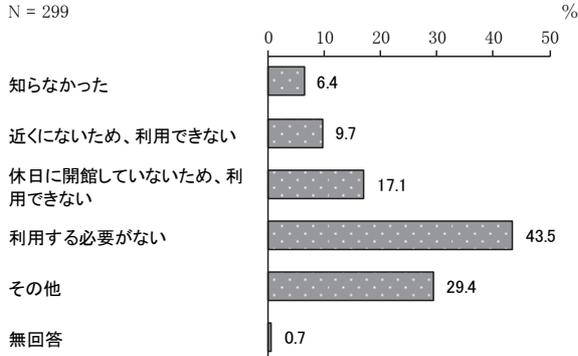


問 前問で「6. 利用していない」とお答えの方には、利用していない理由は何ですか。【0～2歳：問11-1、3～5歳：問12-1】

「利用する必要がない」の割合が、0～2歳では43.5%、3～5歳では55.7%と最も高くなっています。

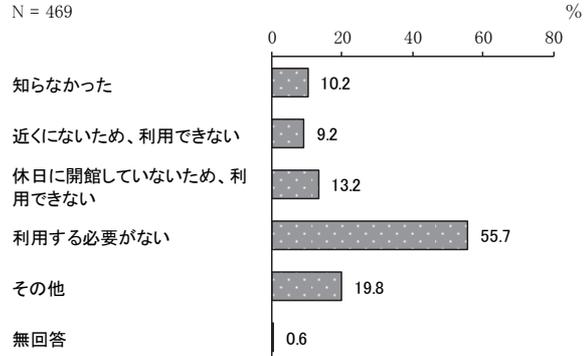
【0～2歳】

N = 299



【3～5歳】

N = 469

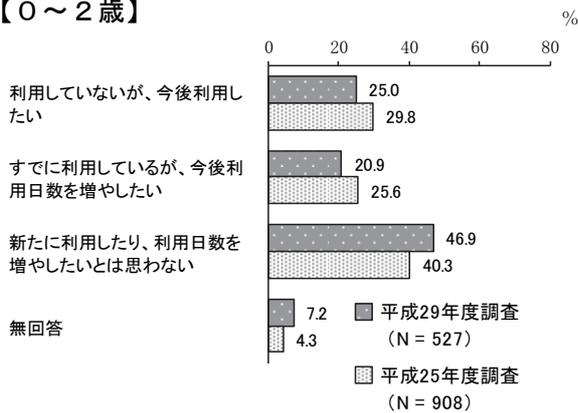


問 前問のような地域の子育て支援のための事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。【0～2歳：問12、3～5歳：問13】

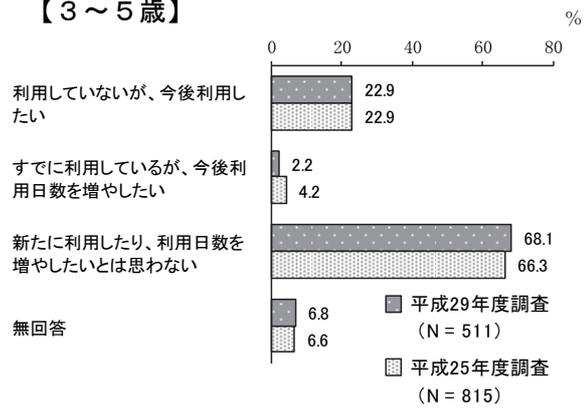
0～2歳については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が46.9%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳では「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が増加しています。

【0～2歳】



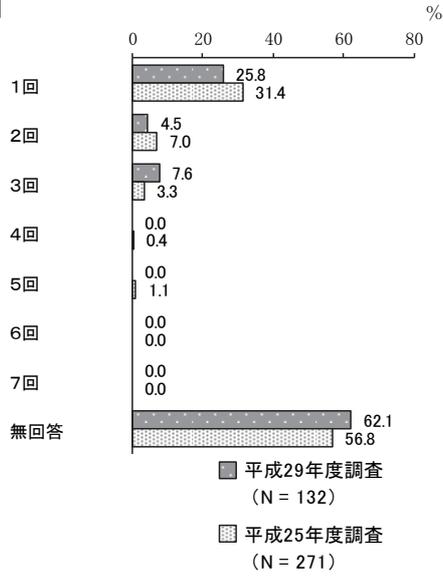
【3～5歳】



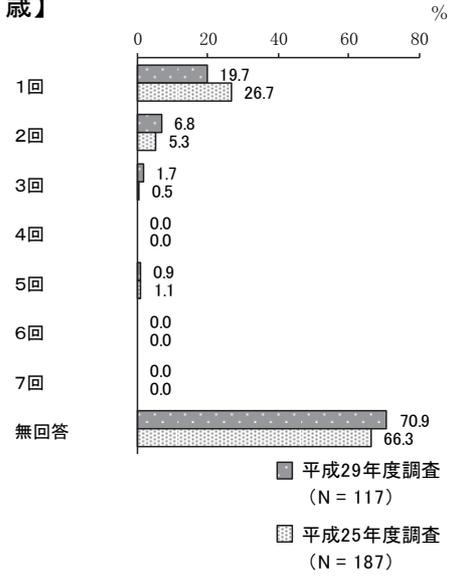
①利用していないが、今後利用したい

1週あたりの利用回数

【0～2歳】

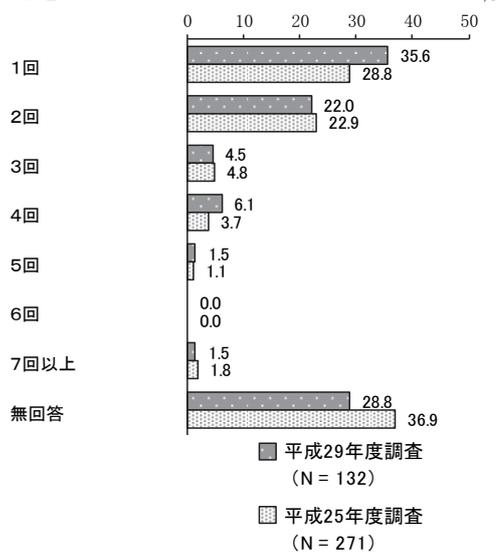


【3～5歳】

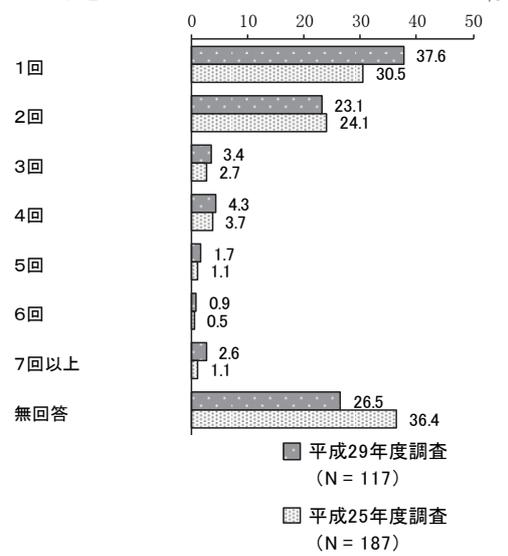


1か月あたりの利用回数

【0～2歳】



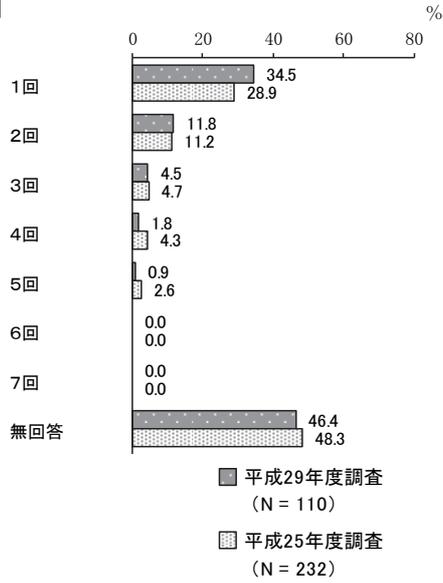
【3～5歳】



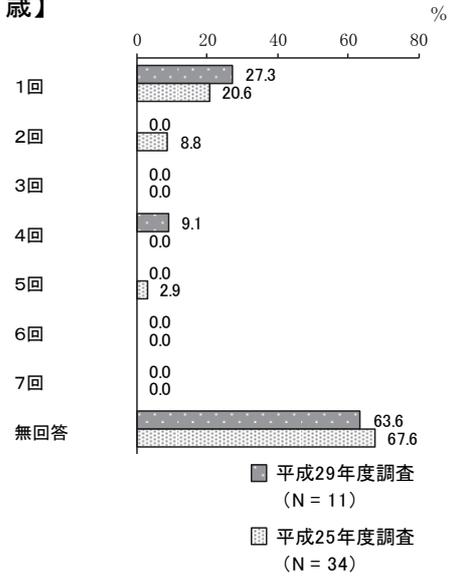
②すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1週あたりの増やしたい利用回数

【0～2歳】

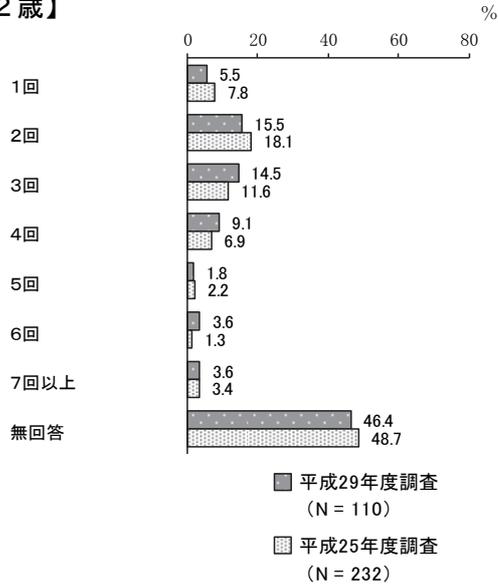


【3～5歳】

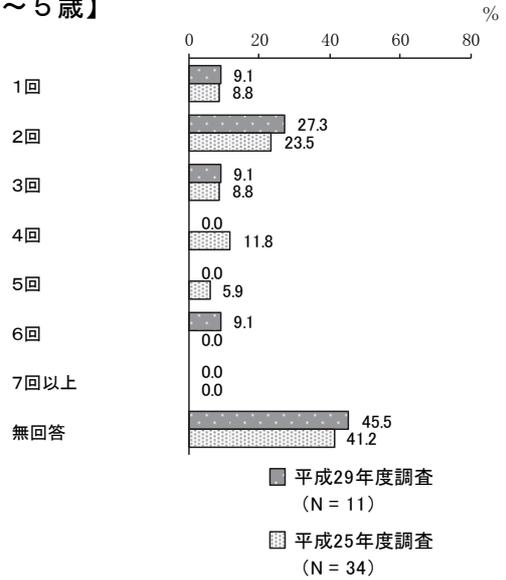


1か月あたりの増やしたい利用回数

【0～2歳】



【3～5歳】



問 奈良市では、下記の事業や取組を行っていますが、この中で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑬の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。【0～2歳：問13、3～5歳：問14】

<認知度>

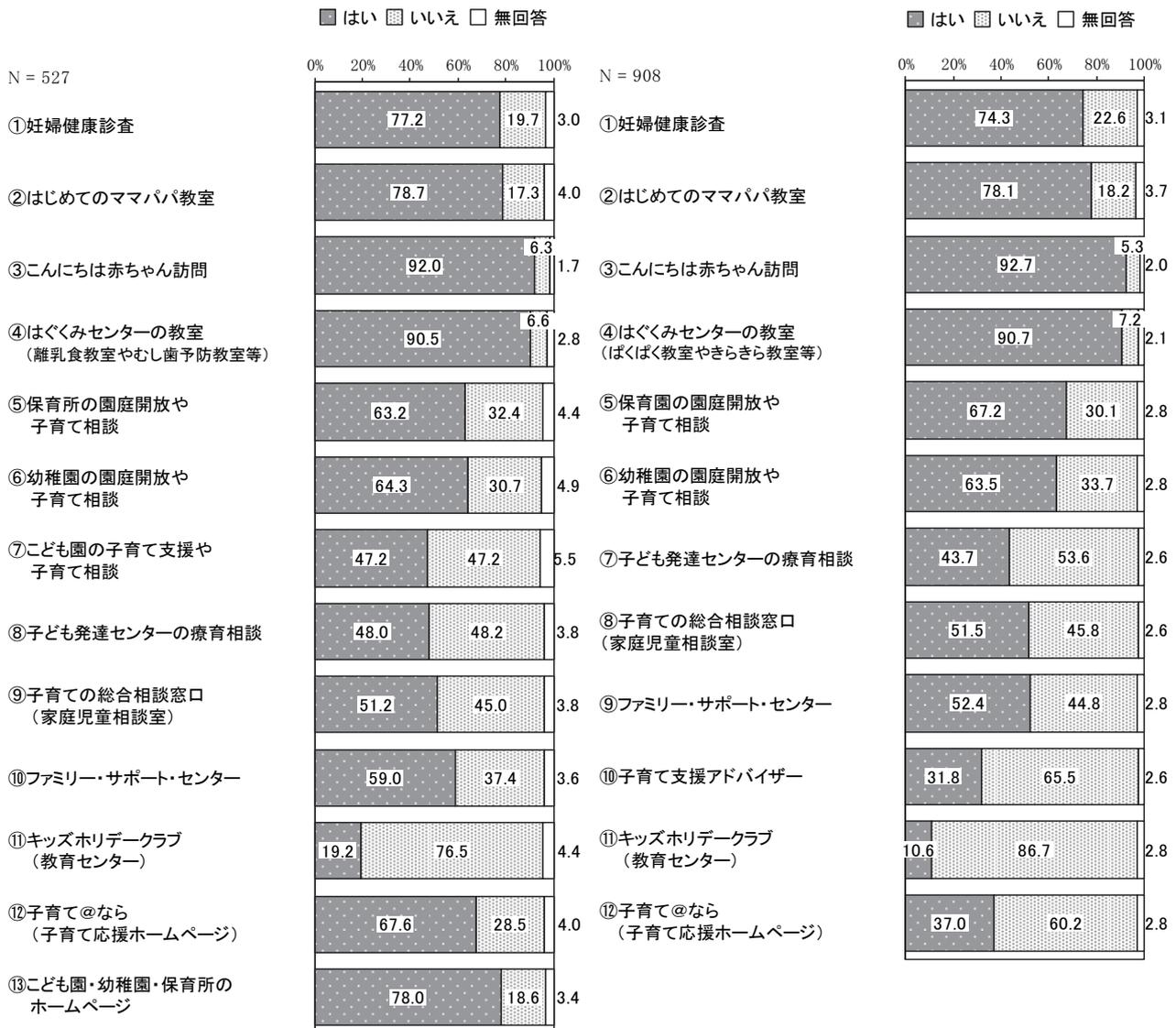
0～2歳については、③こんにちは赤ちゃん訪問、④はぐくみセンターの教室（離乳食教室やむし歯予防教室等）で「はい」の割合が高く、約9割となっています。一方、⑦こども園の子育て支援や子育て相談、⑧子ども発達センターの療育相談で「いいえ」の割合が高く、約5割となっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳では、⑩ファミリー・サポート・センター、⑪キッズホリデークラブ（教育センター）、⑫子育て@なら（子育て応援ホームページ）で「はい」が増加しています。

【0～2歳】

平成29年度調査

平成25年度調査



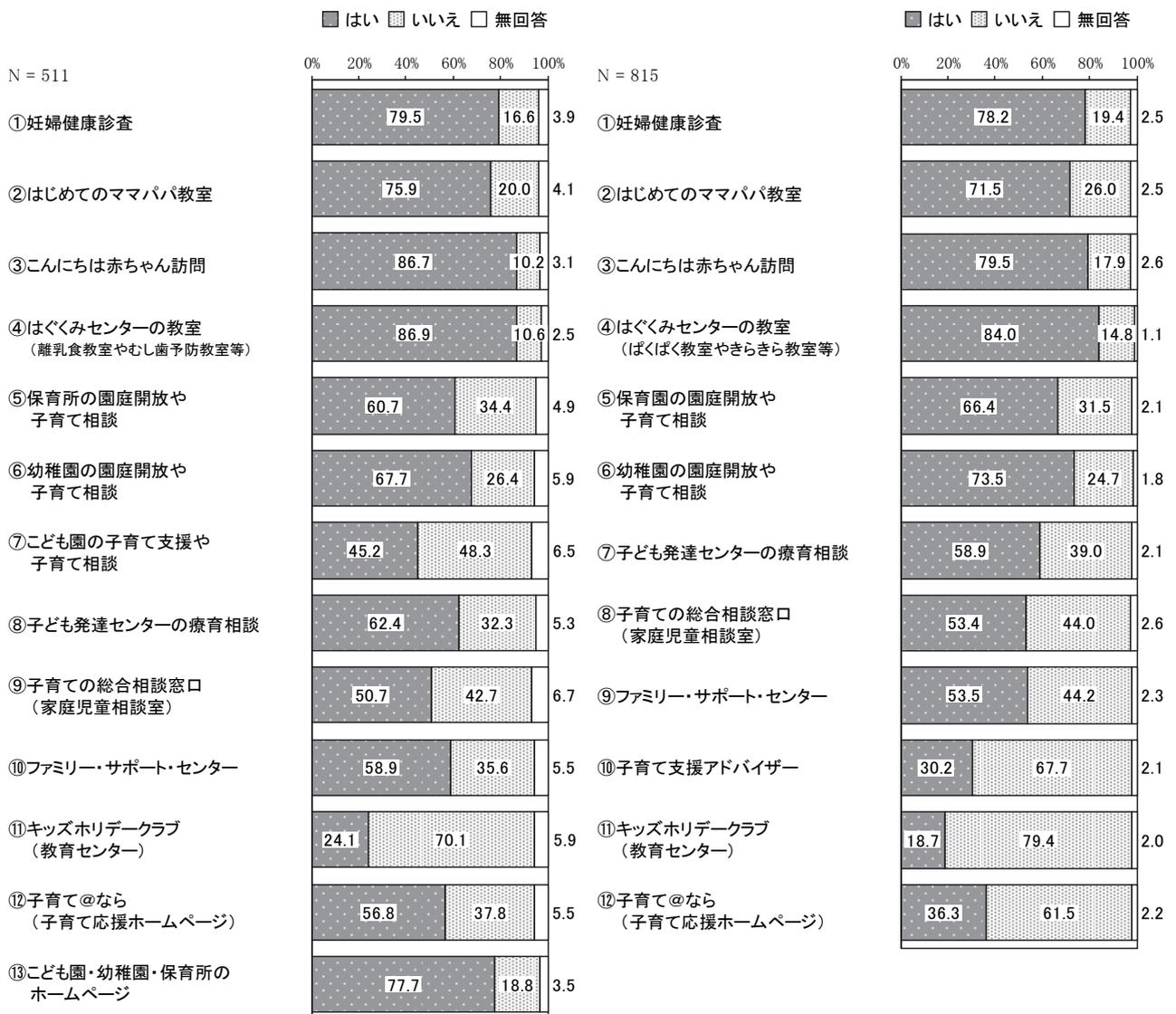
3～5歳については、③こんにちは赤ちゃん訪問、④はぐくみセンターの教室（離乳食教室やむし歯予防教室等）で「はい」の割合が高く、8割台半ばとなっています。一方、⑪キッズホリデークラブ（教育センター）で「いいえ」の割合が高く、約7割となっています。

平成25年度調査と比較すると、3～5歳では、③こんにちは赤ちゃん訪問、⑩ファミリー・サポート・センター、⑪キッズホリデークラブ（教育センター）、⑫子育て@なら（子育て応援ホームページ）で「はい」が増加しています。また、⑤保育所の園庭開放や子育て相談、⑥幼稚園の園庭開放や子育て相談で「はい」が減少しています。

### 【3～5歳】

#### 平成29年度調査

#### 平成25年度調査



<利用の有無>

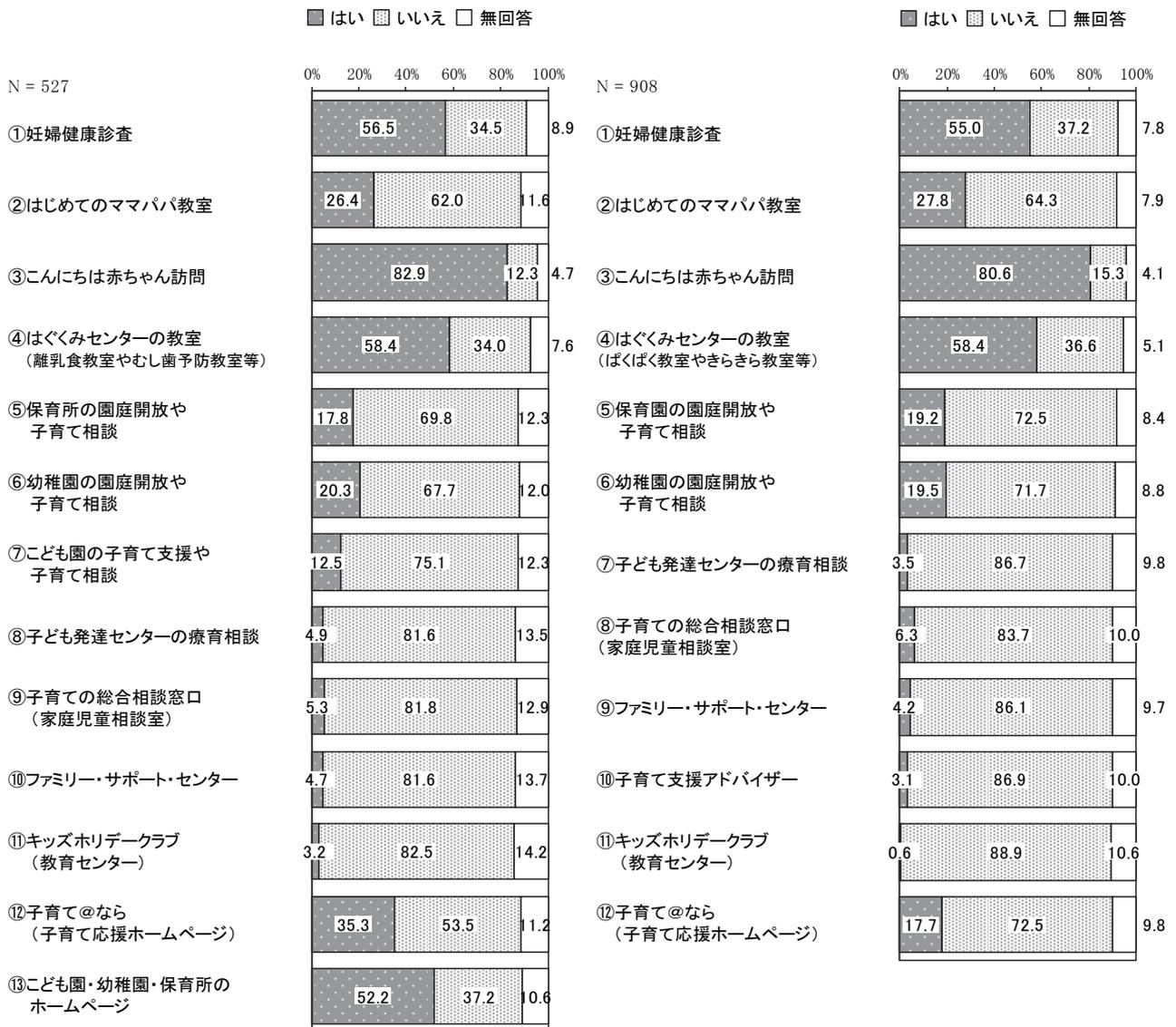
0～2歳については、③こんにちは赤ちゃん訪問で「はい」の割合が高く、約8割となっています。一方、⑧子ども発達センターの療育相談、⑨子育ての総合相談窓口（家庭児童相談室）、⑩ファミリー・サポート・センター、⑪キッズホリデークラブ（教育センター）で「いいえ」の割合が高く、約8割となっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳では、⑫子育て@なら（子育て応援ホームページ）で「はい」が増加しています。

【0～2歳】

平成29年度調査

平成25年度調査

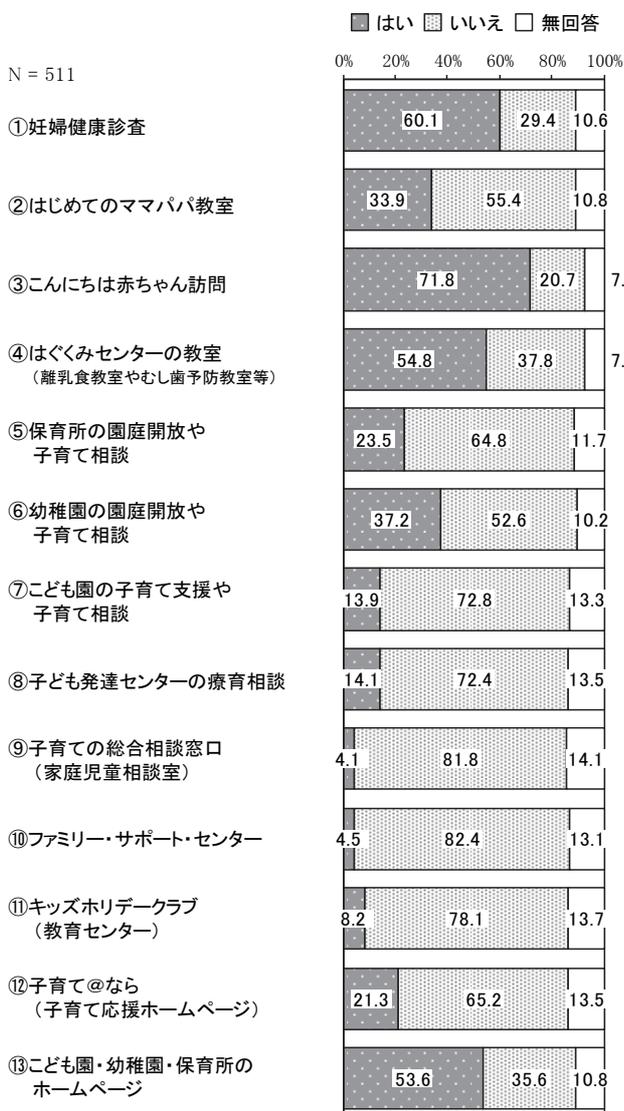


3～5歳については、③こんにちは赤ちゃん訪問で「はい」の割合が高く、約7割となっています。一方、⑨子育ての総合相談窓口（家庭児童相談室）、⑩ファミリー・サポート・センターで「いいえ」の割合が高く、約8割となっています。

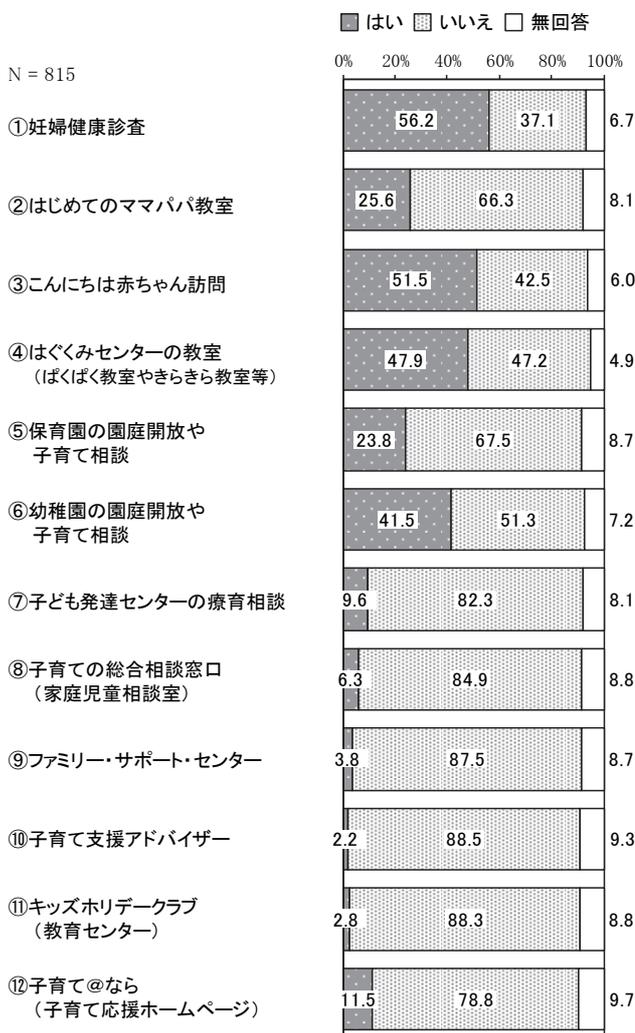
平成25年度調査と比較すると、3～5歳では、②はじめてのママパパ教室、③こんにちは赤ちゃん訪問、④はぐくみセンターの教室（離乳食教室やむし歯予防教室等）、⑪キッズホリデークラブ（教育センター）、⑫子育て@なら（子育て応援ホームページ）で「はい」が増加しています。

### 【3～5歳】

#### 平成29年度調査



#### 平成25年度調査



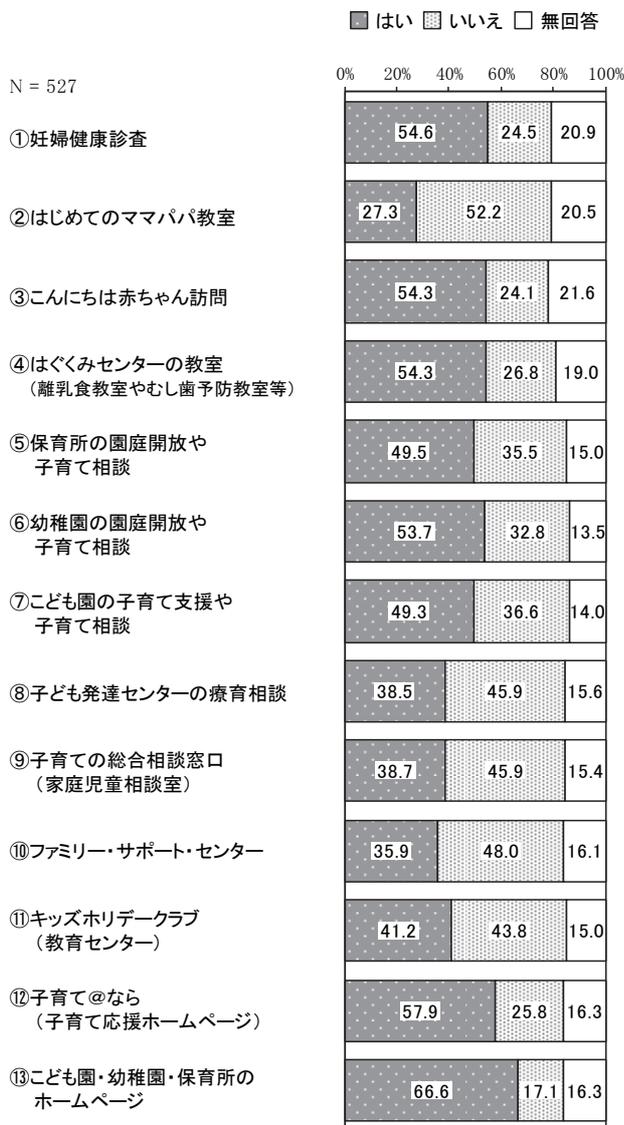
＜今後の利用意向＞

0～2歳については、⑬こども園・幼稚園・保育所のホームページで「はい」の割合が高く、6割台半ばとなっています。一方、②はじめてのママパパ教室で「いいえ」の割合が高く、約5割となっています。

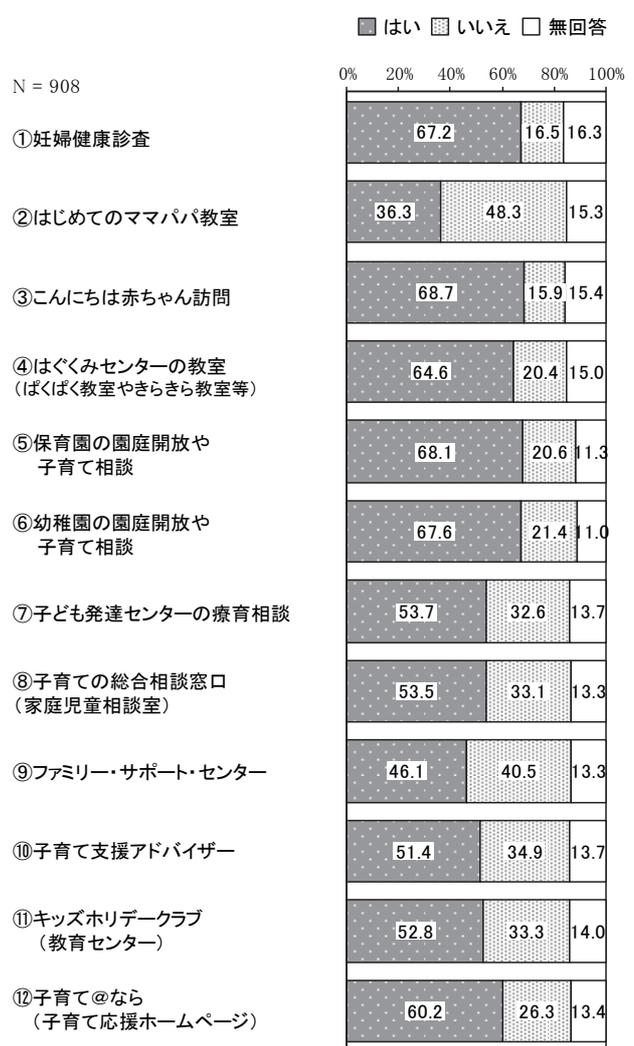
平成25年度調査と比較すると、0～2歳ではすべての項目で「はい」が減少しています。

【0～2歳】

平成29年度調査



平成25年度調査

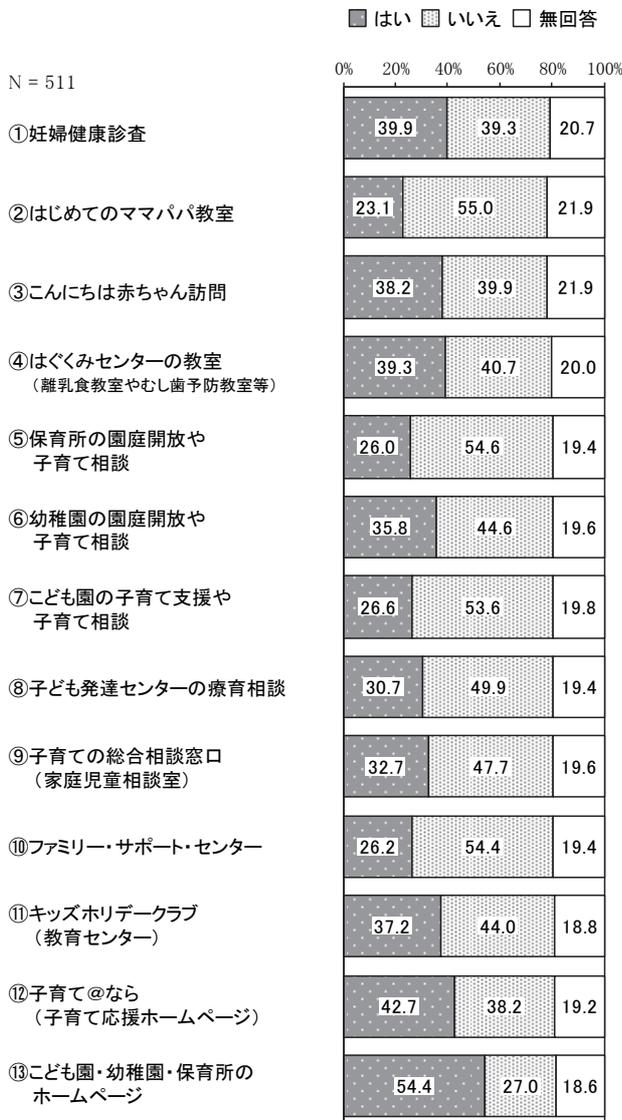


3～5歳については、⑬こども園・幼稚園・保育所のホームページで「はい」の割合が高く、5割台半ばとなっています。一方、②はじめてのママパパ教室、⑤保育所の園庭開放や子育て相談、⑦こども園の子育て支援や子育て相談、⑩ファミリー・サポート・センターで「いいえ」の割合が高く、5割を超えています。

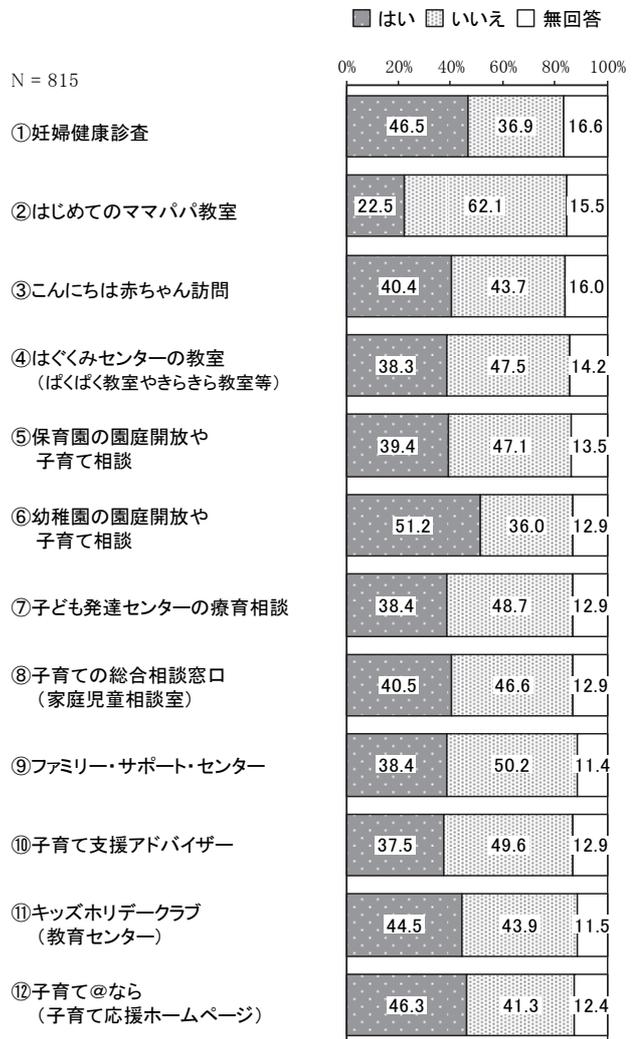
平成25年度調査と比較すると、3～5歳では、①妊婦健康診査、⑤保育所の園庭開放や子育て相談、⑥幼稚園の園庭開放や子育て相談、⑧子ども発達センターの療育相談、⑨子育ての総合相談窓口（家庭児童相談室）、⑩ファミリー・サポート・センター、⑪キッズホリデークラブ（教育センター）で「はい」が減少しています。

### 【3～5歳】

#### 平成29年度調査



#### 平成25年度調査



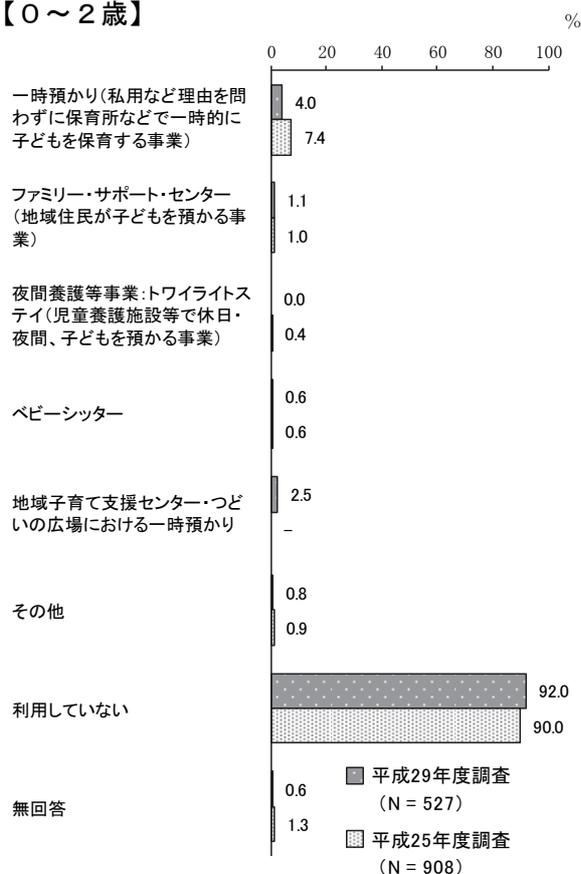
## (8) 一時預かり等について

問 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、利用している場合は1年間のおおよその利用日数も( )内に数字でご記入ください。  
【0～2歳：問14、3～5歳：問15】

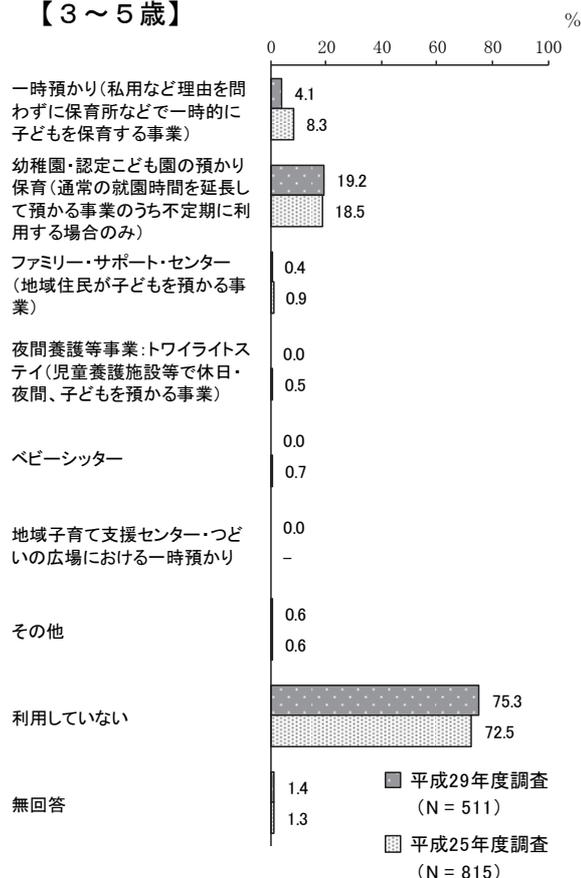
「利用していない」の割合が、0～2歳では92.0%、3～5歳では75.3%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳、3～5歳ともに、大きな変化はみられません。

### 【0～2歳】



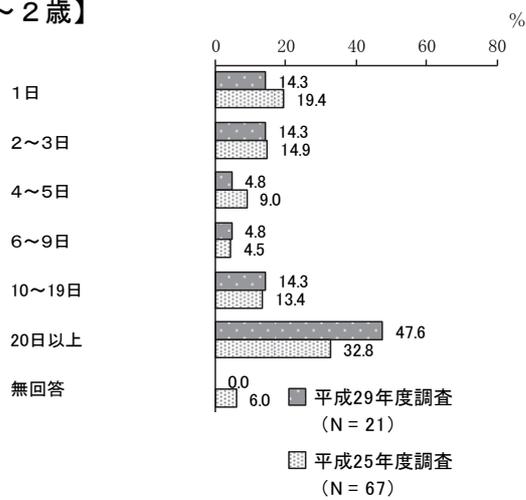
### 【3～5歳】



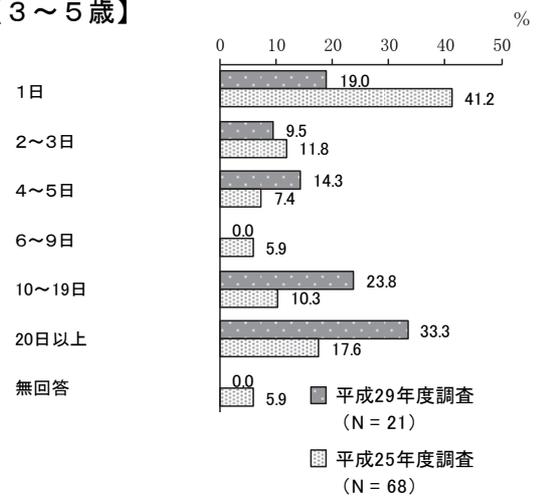
※平成25年度調査には「地域子育て支援センター・つどいの広場における一時預かり」の選択肢はありません。

①一時預かり 年間利用日数

【0～2歳】

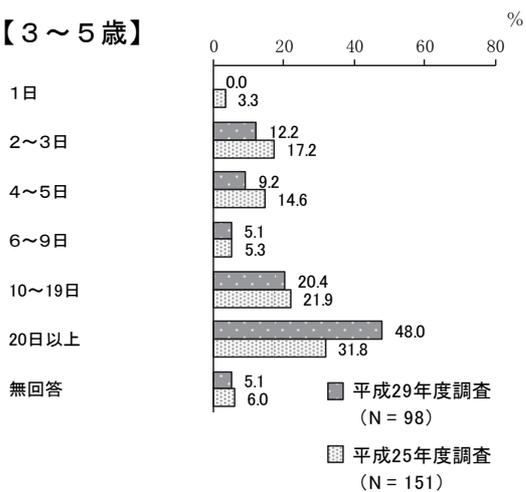


【3～5歳】



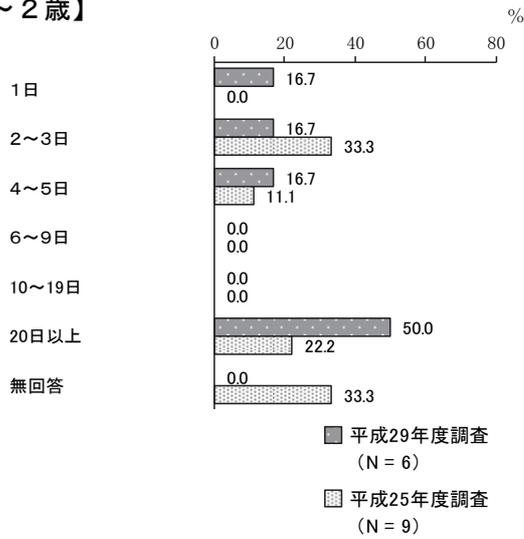
②幼稚園・認定こども園の預かり保育 年間利用日数

【3～5歳】

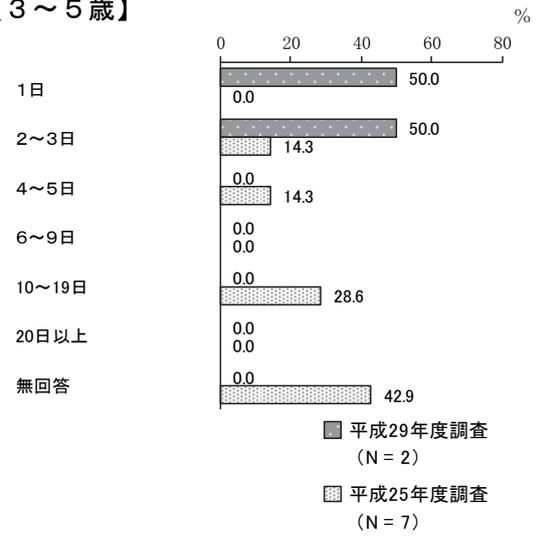


③ファミリー・サポート・センター 年間利用日数

【0～2歳】

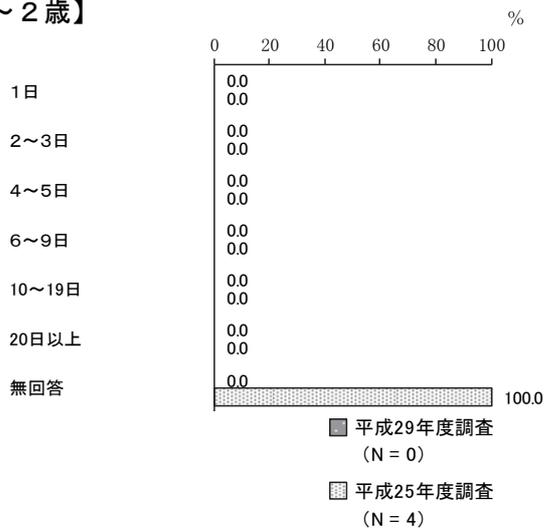


【3～5歳】

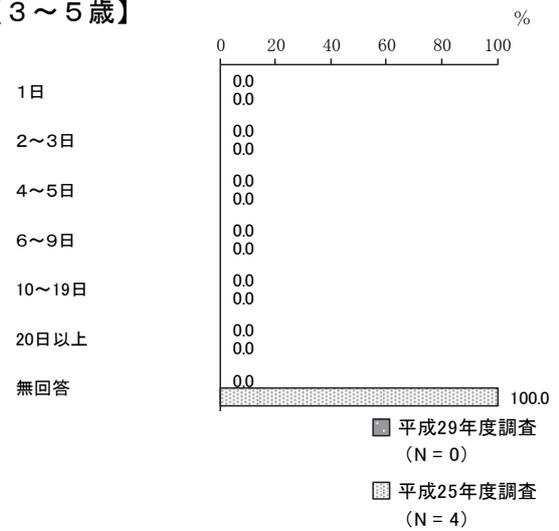


④夜間養護等事業：トワイライトステイ 年間利用日数

【0～2歳】

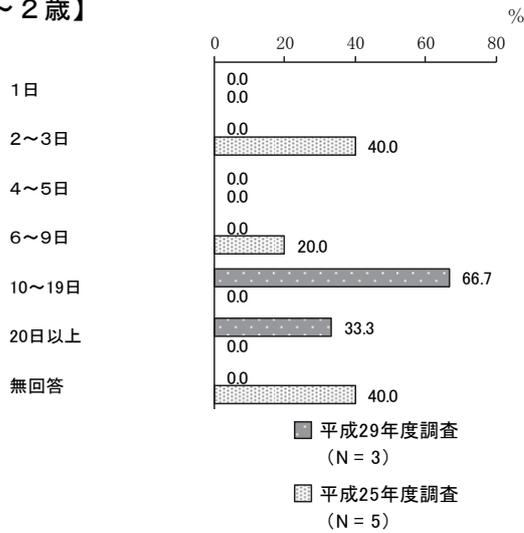


【3～5歳】

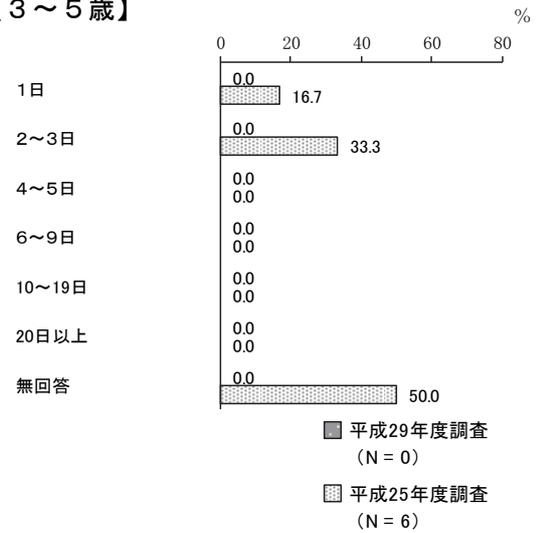


⑤ベビーシッター 年間利用日数

【0～2歳】

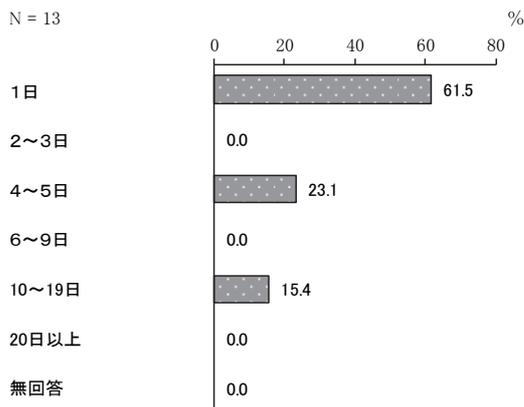


【3～5歳】

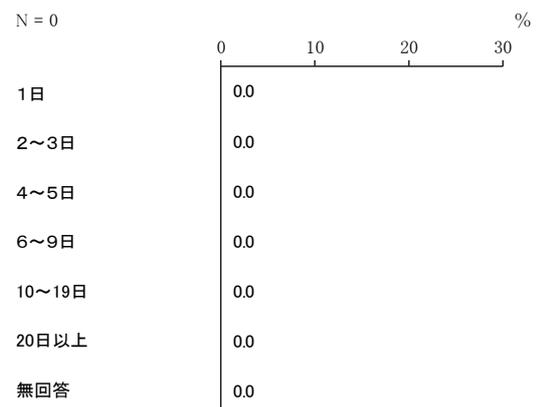


⑥地域子育て支援センター・つどいの広場における一時預かり 年間利用日数

【0～2歳】

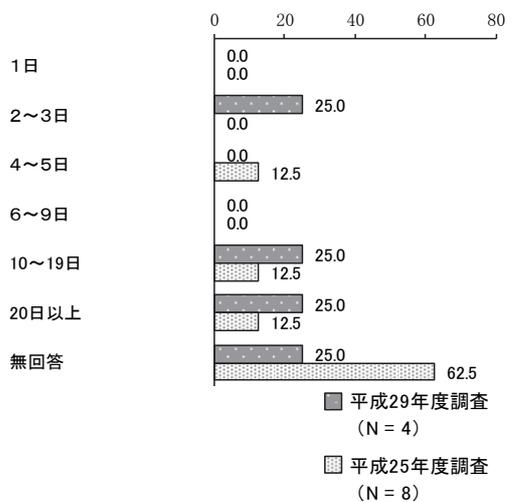


【3～5歳】

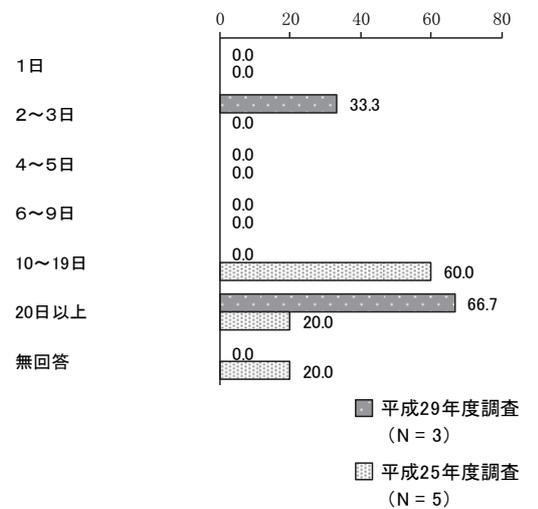


⑦その他 年間利用日数

【0～2歳】



【3～5歳】

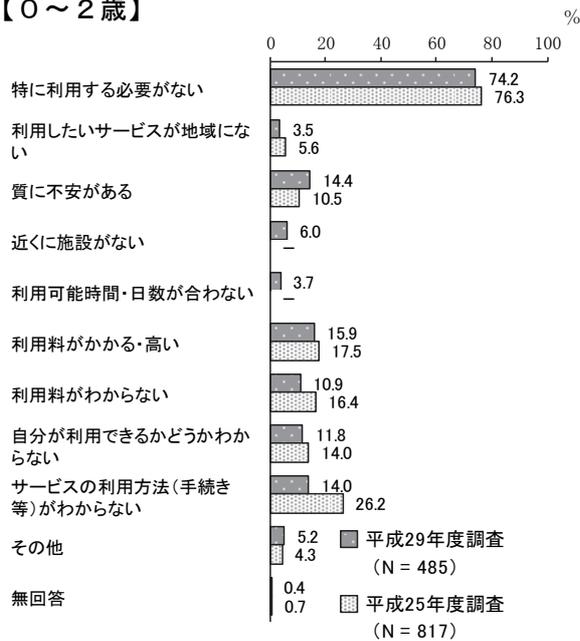


問 前問で「7. 利用していない」とお答えの方は、その理由にあてはまるものすべてに○をつけてください。【0～2歳：問14-1、3～5歳：問15-1】

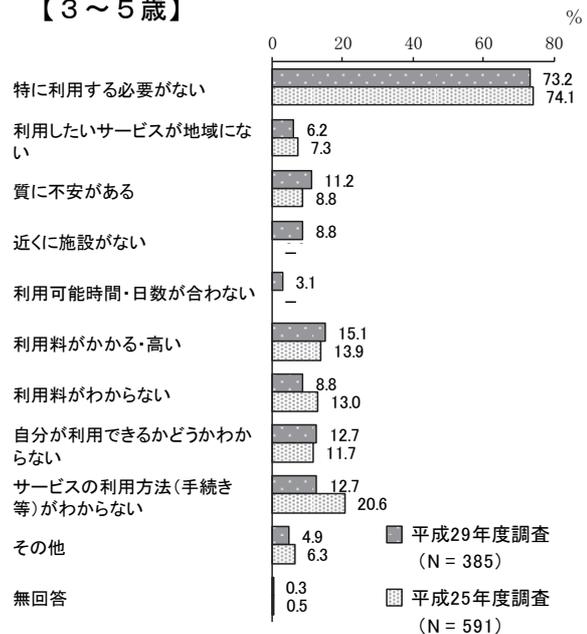
0～2歳、3～5歳ともに「特に利用する必要がない」の割合が70%程度と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳では「利用料がわからない」「サービスの利用方法（手続き等）がわからない」が減少しています。3～5歳では「サービスの利用方法（手続き等）がわからない」が減少しています。

### 【0～2歳】



### 【3～5歳】



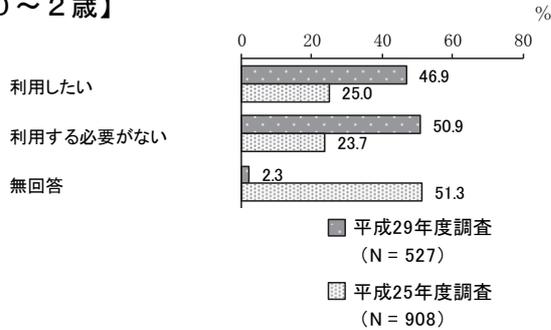
※平成25年度調査には「近くに施設がない」「利用可能時間・日数が合わない」の選択肢はありません。

問 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で問 14 に示した事業を利用したいと思いませんか。いずれか1つに○をつけてください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。【0～2歳：問 15、3～5歳：問 16】

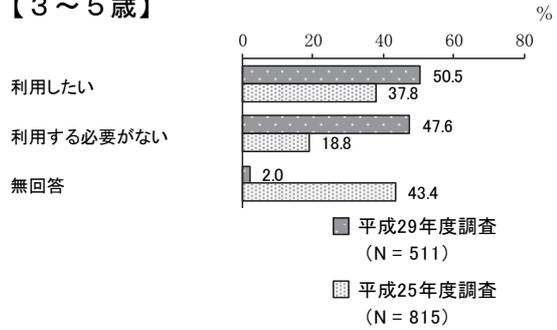
「利用したい」の割合が、0～2歳では46.9%、3～5歳では50.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳、3～5歳ともに「利用したい」「利用する必要がない」の双方が増加しています。

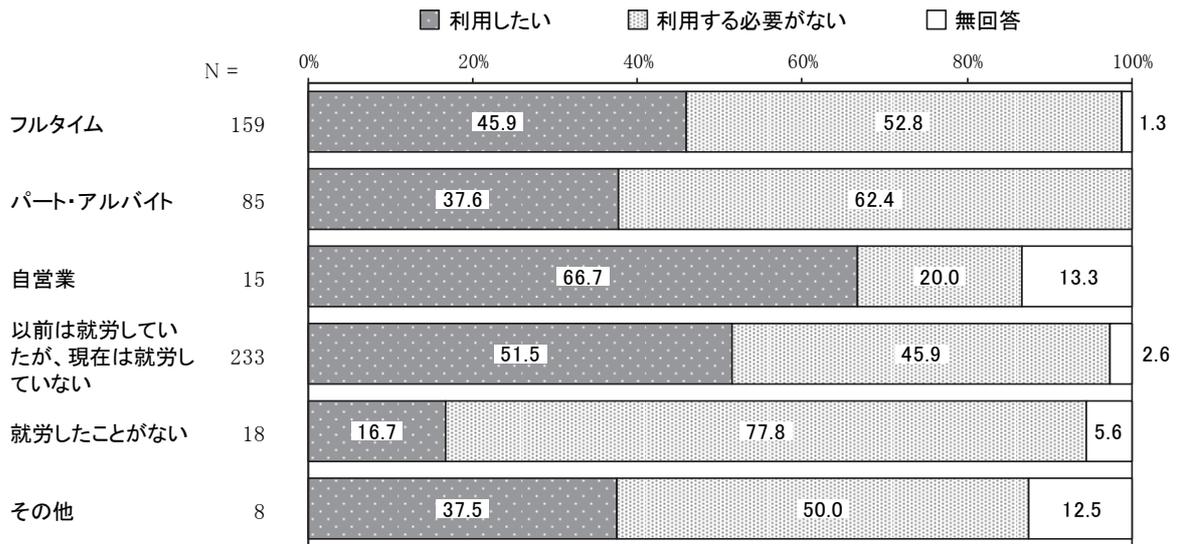
【0～2歳】



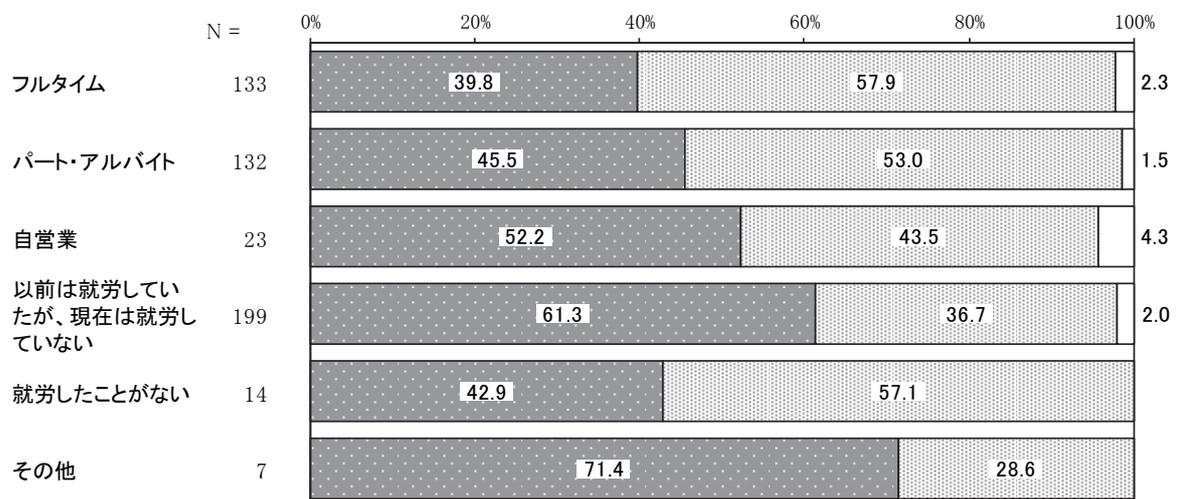
【3～5歳】



【母親の就労状況別：0～2歳】



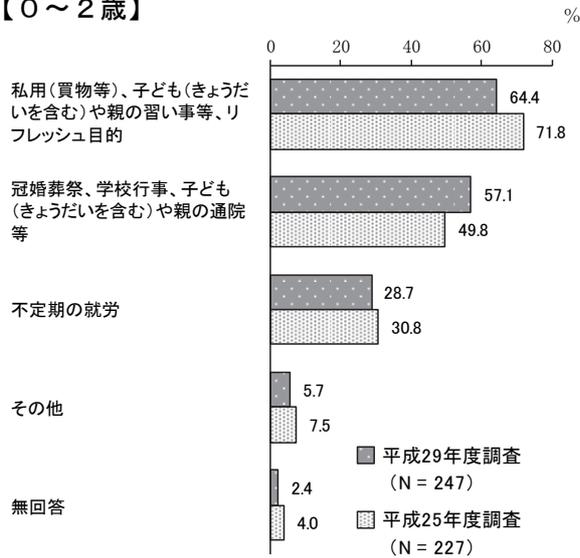
【母親の就労状況別：3～5歳】



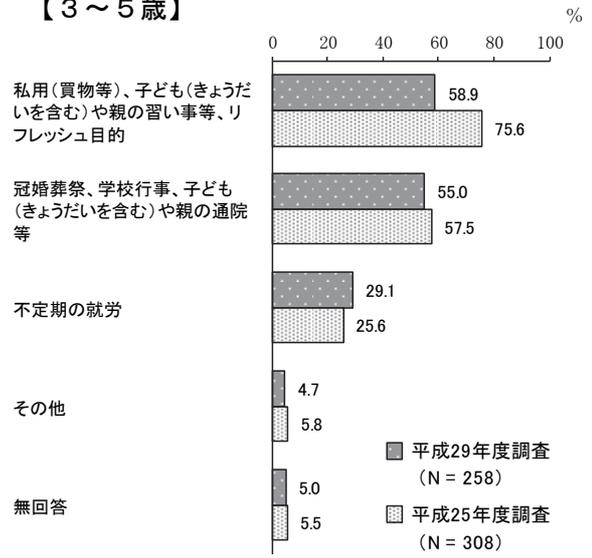
問 前問で「1. 利用したい」とお答えの方は、希望としては年間何日くらい利用したいと思いますか。また、どのような事業形態が望ましいと思いますか。①②それぞれあてはまる番号すべてに○をつけ、①については目的別の日数を( )内に数字でご記入ください。【0～2歳：問15-1、3～5歳：問16-1】

利用の目的

【0～2歳】

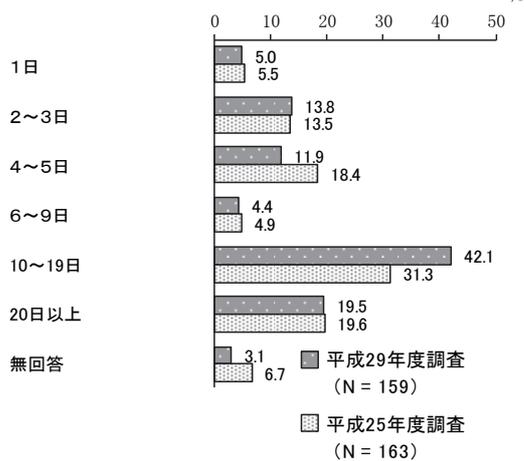


【3～5歳】

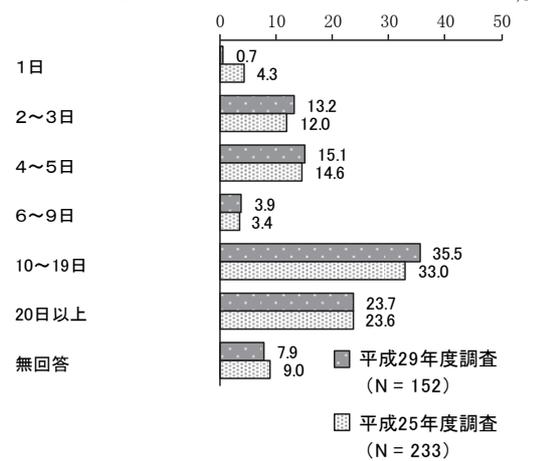


①私用(買物等)、子ども(きょうだいを含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的 日数

【0～2歳】

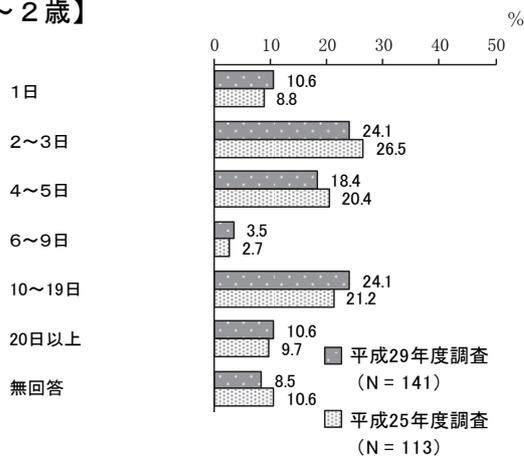


【3～5歳】

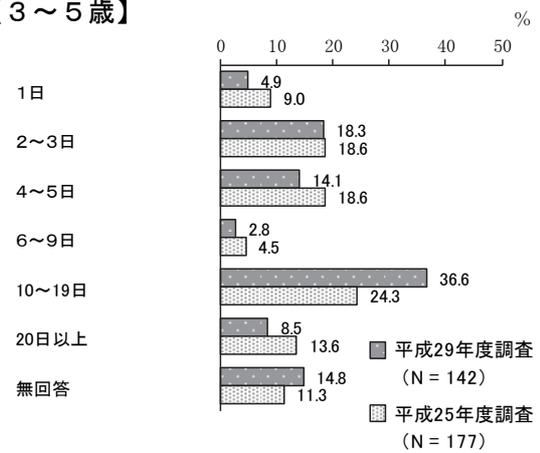


②冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだいを含む）や親の通院等 日数

【0～2歳】

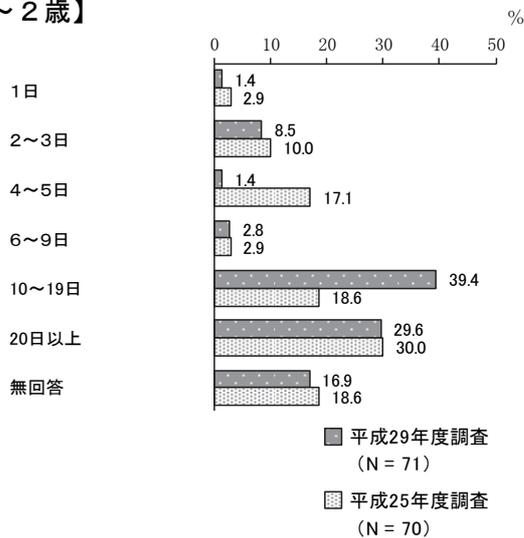


【3～5歳】

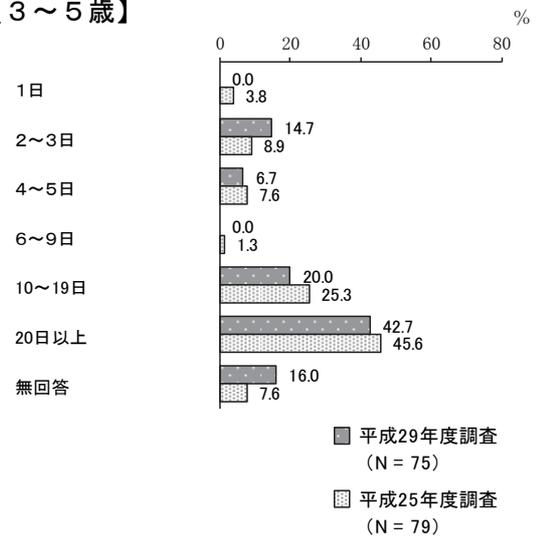


③不定期の就労 日数

【0～2歳】

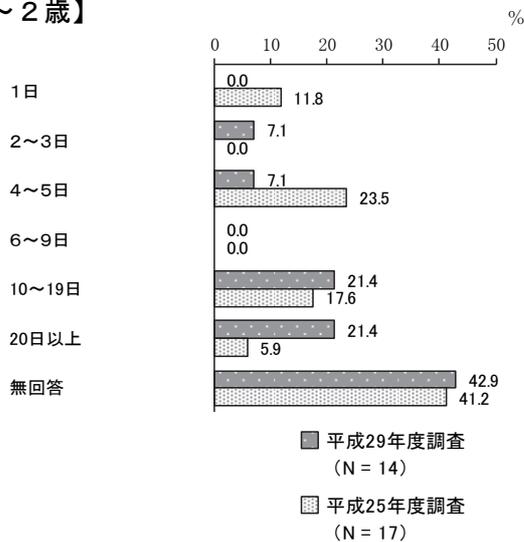


【3～5歳】

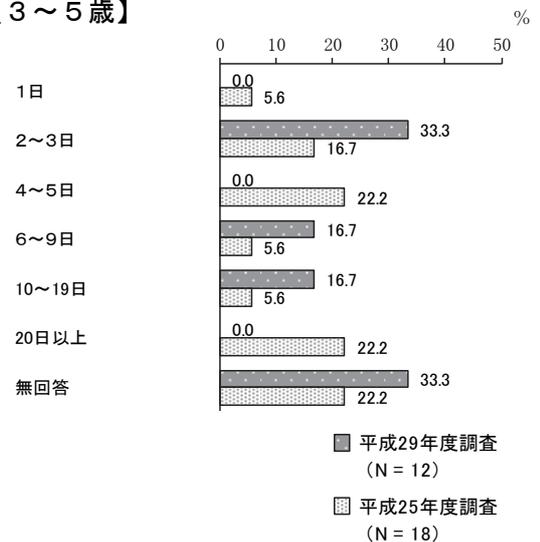


④その他 日数

【0～2歳】



【3～5歳】



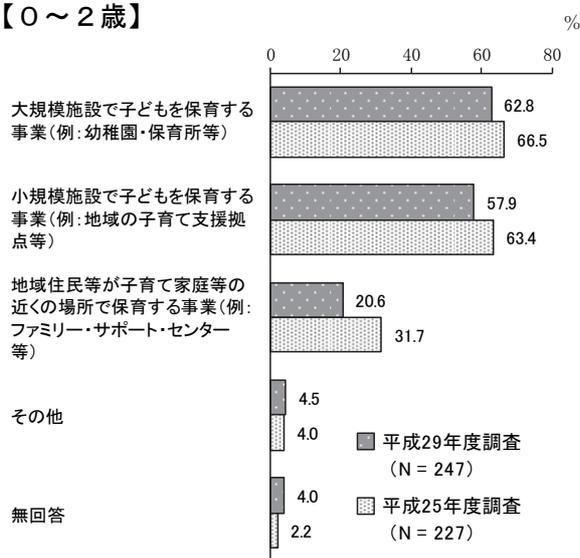
## 利用したい場合の事業形態

0～2歳については、「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」、「小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域の子育て支援拠点等）」の割合ともに60%程度と拮抗しています。

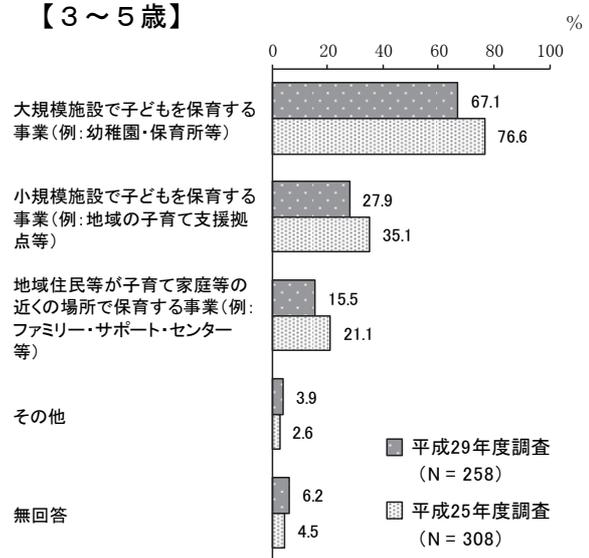
3～5歳については、「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」の割合が67.1%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳、3～5歳ともに「小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域の子育て支援拠点等）」「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」が減少しています。また、3～5歳では「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」も減少しています。

### 【0～2歳】



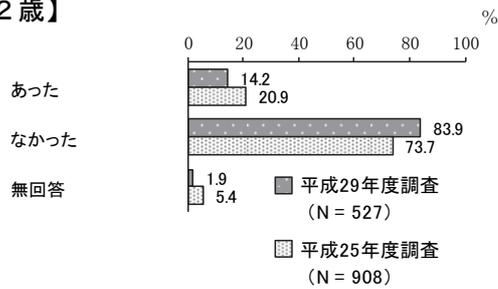
### 【3～5歳】



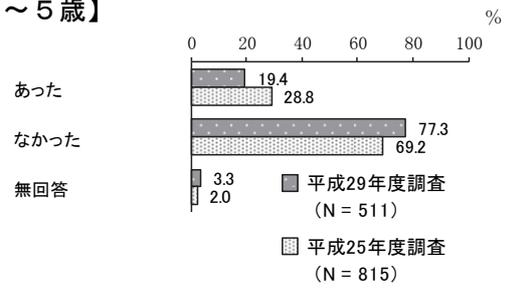
問 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを「泊りがけ」で家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対応としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。【0～2歳：問16、3～5歳：問17】

「あった」の割合が、0～2歳では14.2%、3～5歳では19.4%となっています。  
平成25年度調査と比較すると、0～2歳、3～5歳ともに「あった」が減少しています。

【0～2歳】

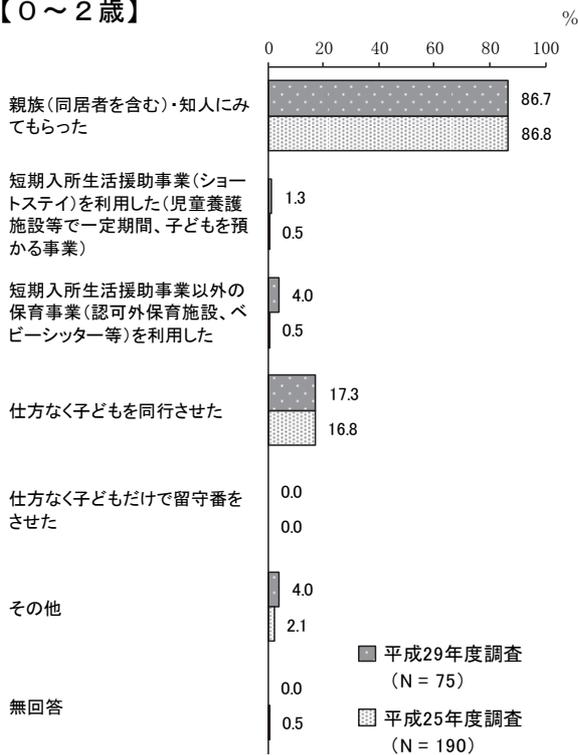


【3～5歳】

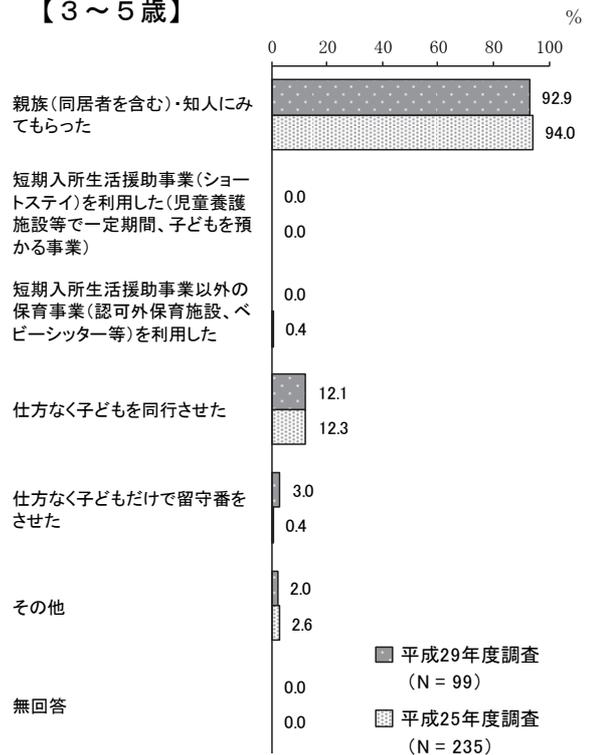


対応方法

【0～2歳】

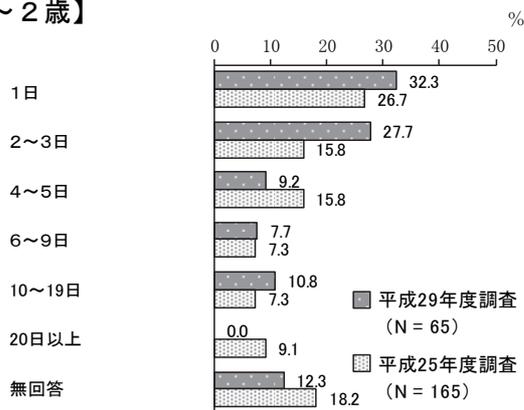


【3～5歳】

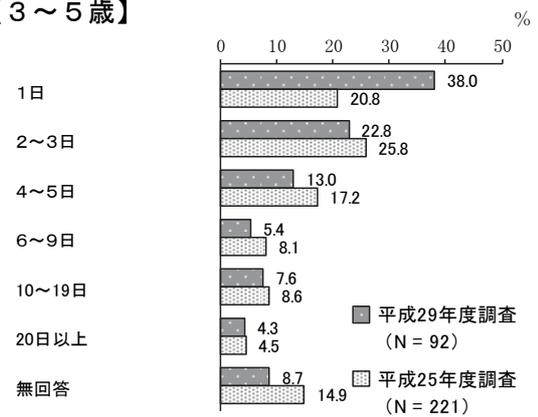


① 親族・知人（同居者を含む）にみてもらった日数

【0～2歳】

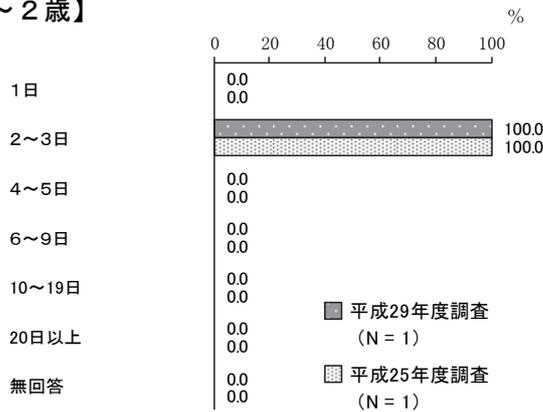


【3～5歳】

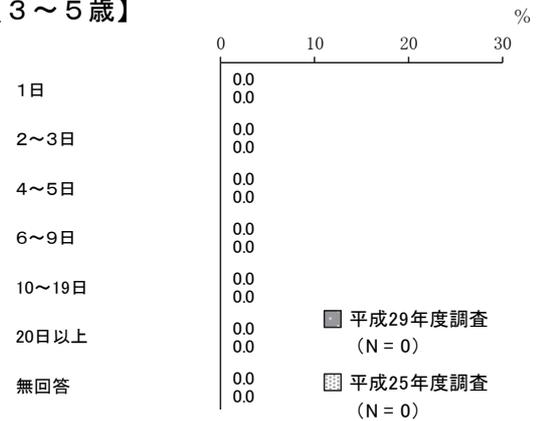


② 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した日数

【0～2歳】

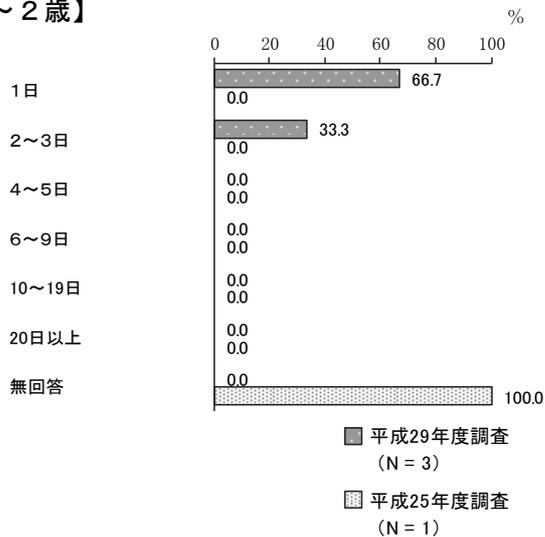


【3～5歳】

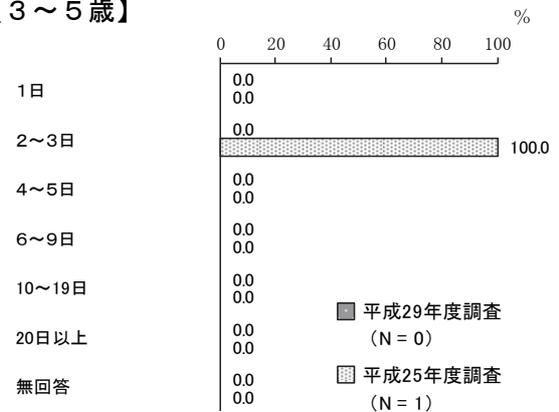


③ 短期入所生活援助事業以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した日数

【0～2歳】

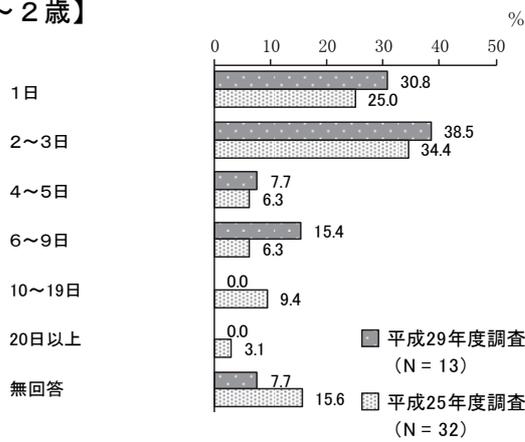


【3～5歳】

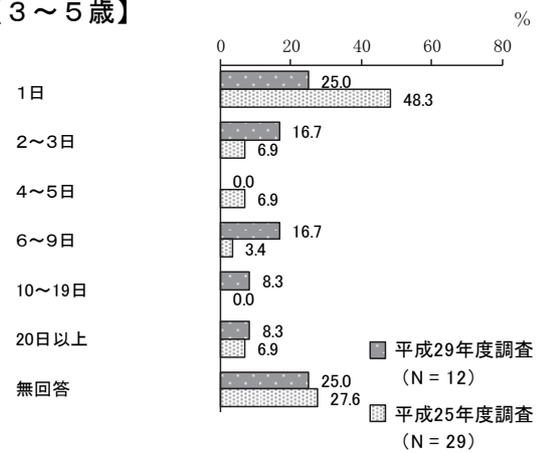


④ 仕方なく子どもを同行させた日数

【0～2歳】

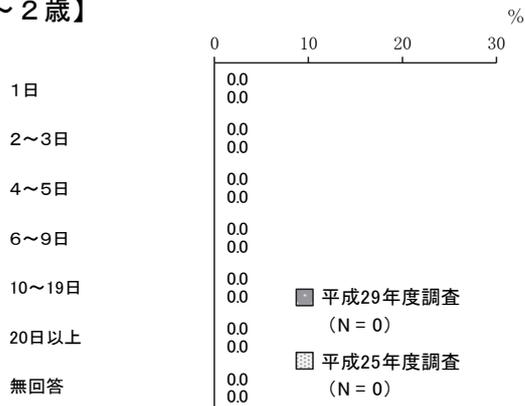


【3～5歳】

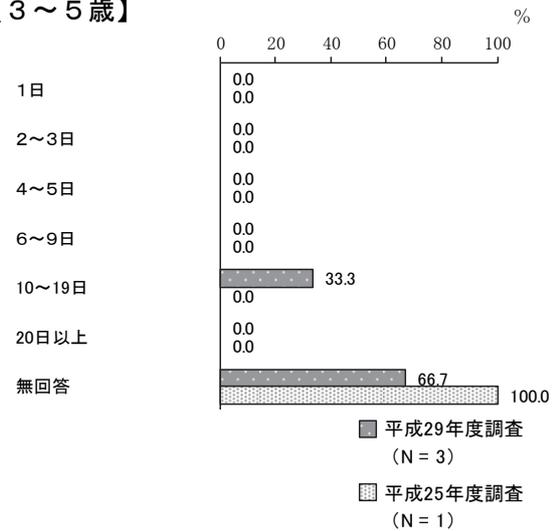


⑤ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数

【0～2歳】

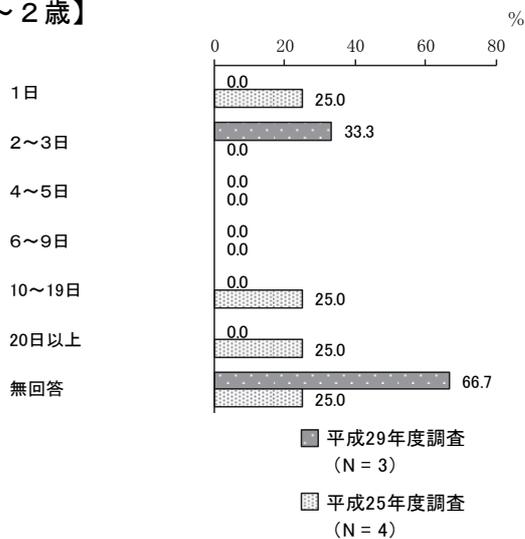


【3～5歳】

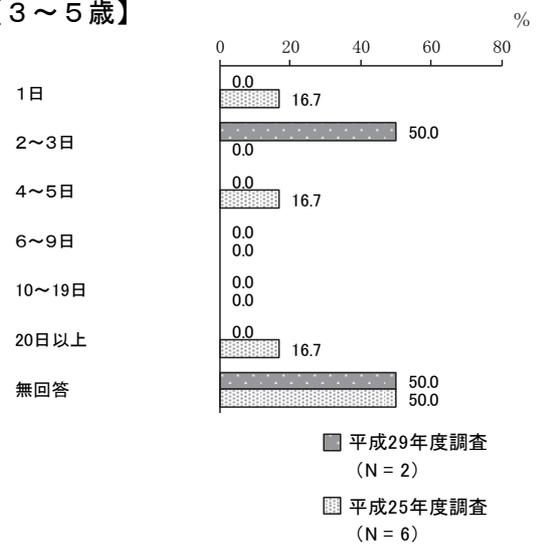


⑥ その他日数

【0～2歳】



【3～5歳】

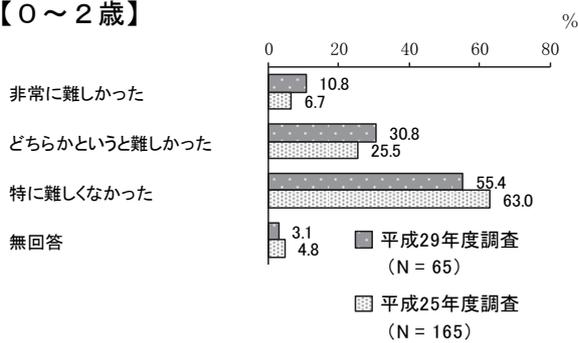


問 前問で「1. あった」「①親族・知人(同居者を含む)にみてもらった」とお答えの方  
 方にうかがいます。  
 あて名のお子さんを親族・知人にみてもらうことは難しかったでしたか。あては  
 まる番号1つに○をつけてください。【0～2歳：問16-1、3～5歳：問17-  
 1】

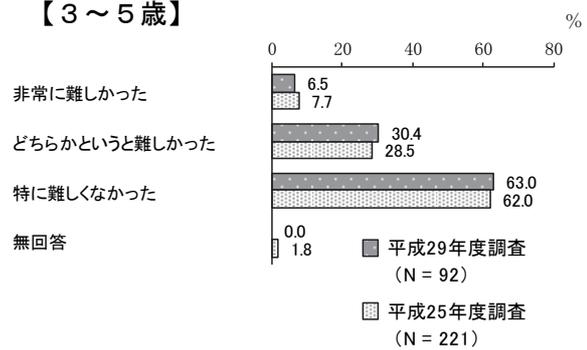
「特に難しくなかった」の割合が、0～2歳では55.4%、3～5歳では63.0%と最も高くな  
 っています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳では「特に難しくなかった」が減少し、「どちらかと  
 いうと難しかった」が増加しています。

【0～2歳】



【3～5歳】



【母親の就労状況別：0～2歳】

単位：%

区分	有効回答数(件)	親族(同居者を含む)・知人にみてもらった	短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業)	②以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	仕方なく子どもを同行させた	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイム	28	96.4	—	—	7.1	—	3.6	—
パート・アルバイト	6	100.0	—	—	16.7	—	—	—
自営業	4	100.0	—	—	—	—	—	—
その他	4	50.0	—	25.0	25.0	—	25.0	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	32	78.1	3.1	6.3	28.1	—	3.1	—
就労したことがない	—	—	—	—	—	—	—	—

【母親の就労状況別：3～5歳】

単位：%

区分	有効回答数(件)	親族(同居者を含む)・知人にみてもらった	短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業)	②以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	仕方なく子どもを同行させた	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイム	44	93.2	—	—	11.4	—	2.3	—
パート・アルバイト	21	95.2	—	—	9.5	9.5	4.8	—
自営業	5	100.0	—	—	—	—	—	—
その他	1	100.0	—	—	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	26	88.5	—	—	19.2	3.8	—	—
就労したことがない	1	100.0	—	—	—	—	—	—

## (9) 職場の両立支援制度について

問 あて名のお子さんが生まれた時、母親・父親のいずれか、または両方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を番号でご記入ください  
【0～2歳：問17、3～5歳：問20】

0～2歳の母親の育児休業取得については、「働いていなかった」の割合が48.8%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」の割合が38.9%、「取得していない」の割合が11.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

母親が育児休業を取得しなかった理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が30.5%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が15.3%、「仕事が忙しかった」の割合が13.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「子育てや家事に専念するため退職した」「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」が減少し、「仕事が忙しかった」が増加しています。

3～5歳の母親の育児休業取得については、「働いていなかった」の割合が54.4%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」の割合が33.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」が増加しています。

母親が育児休業を取得しなかった理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が26.0%と最も高く、次いで「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が12.0%となっています。

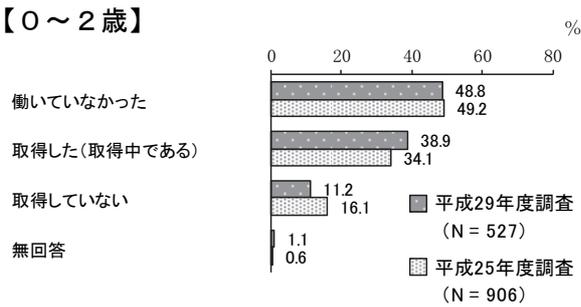
平成25年度調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「子育てや家事に専念するため退職した」「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が減少しています。

0～2歳、3～5歳の父親の育児休業取得については、ともに「取得していない」の割合が高くなっているものの、平成25年度調査と比べて取得した（取得中である）が微増し、「取得していない」の割合が微減しています。また、育児休業を取得しなかった理由は、ともに「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が高くなっています。

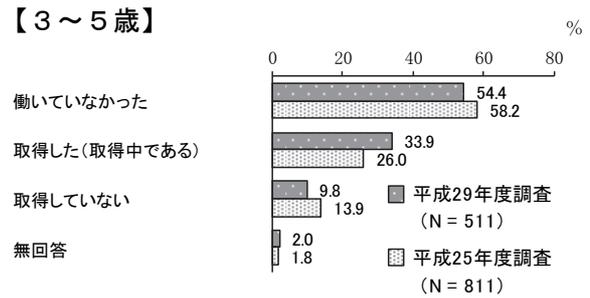
平成25年度調査と比較すると、0～2歳、3～5歳ともに「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」が減少しています。

## 母親の育児休業取得状況

### 【0～2歳】

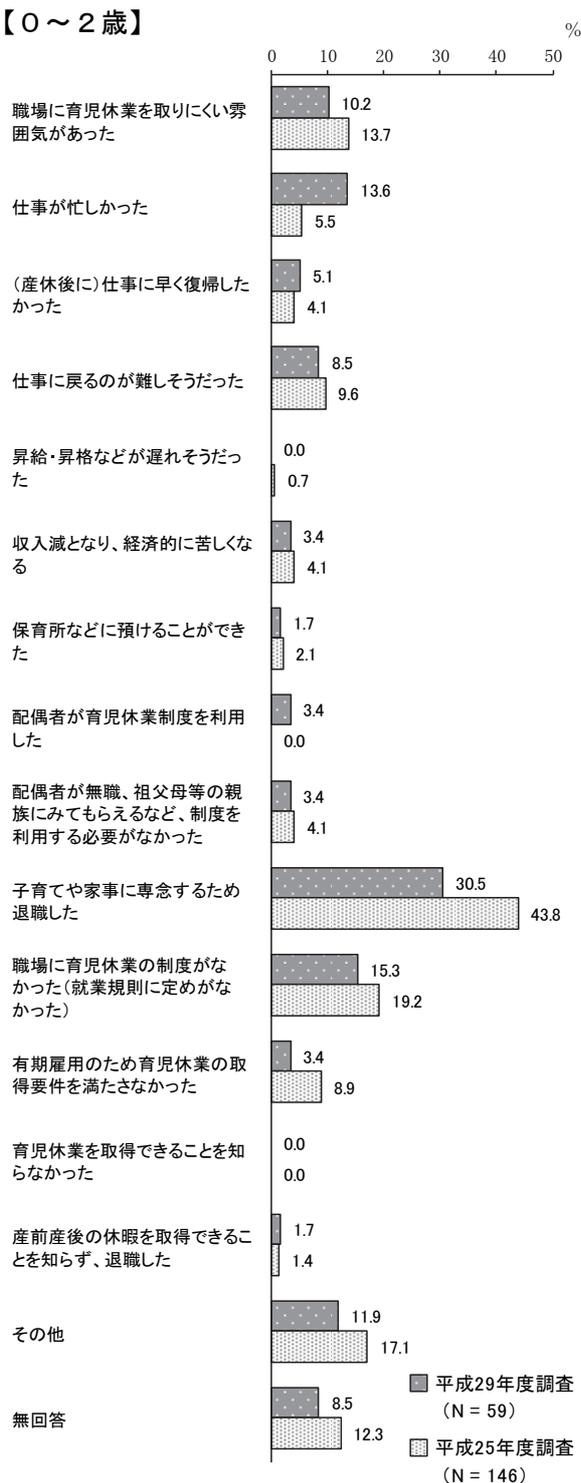


### 【3～5歳】

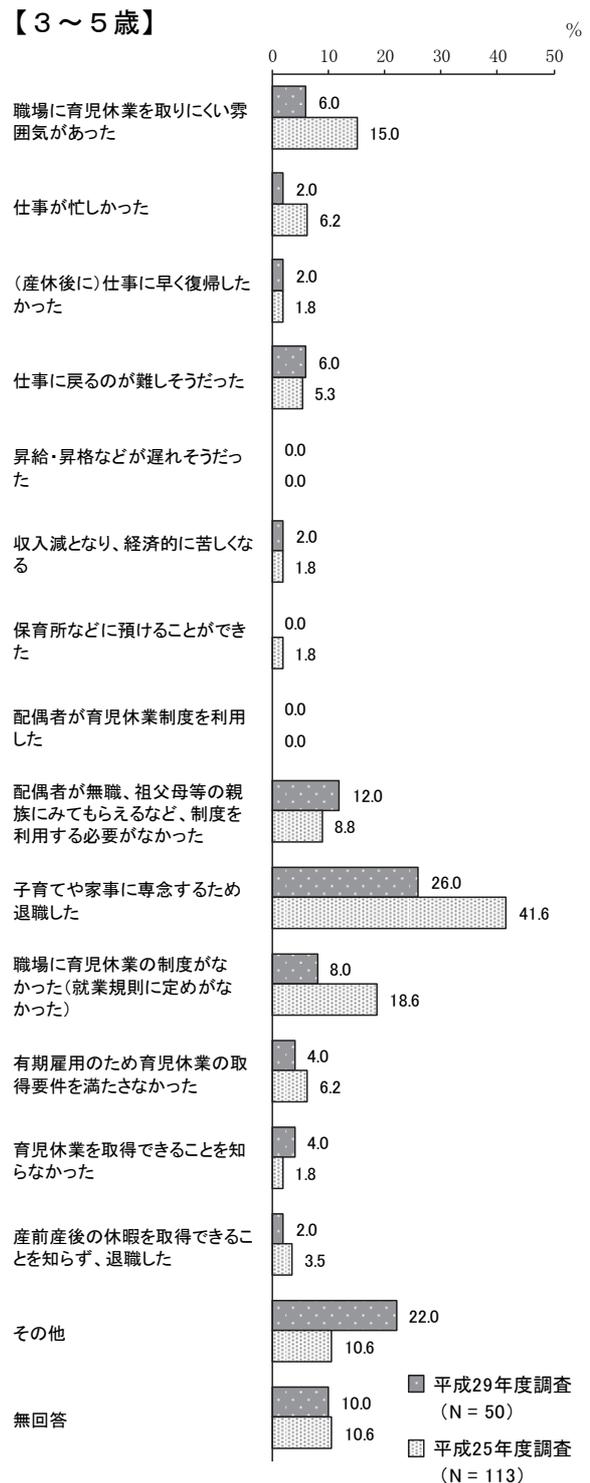


## 母親が育児休業を取得しなかった理由

### 【0～2歳】

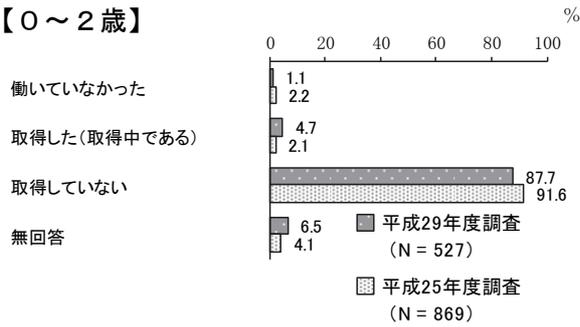


### 【3～5歳】

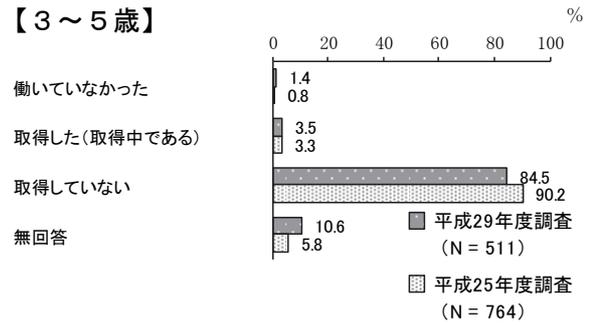


## 父親の育児休業取得状況

### 【0～2歳】

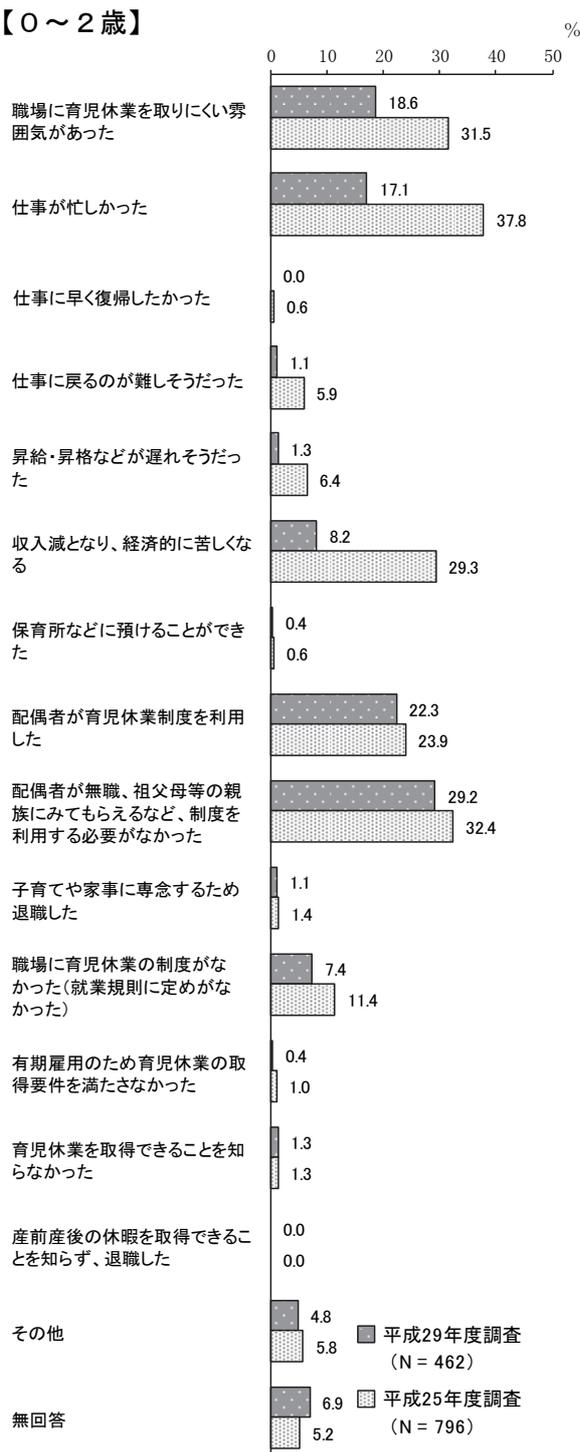


### 【3～5歳】

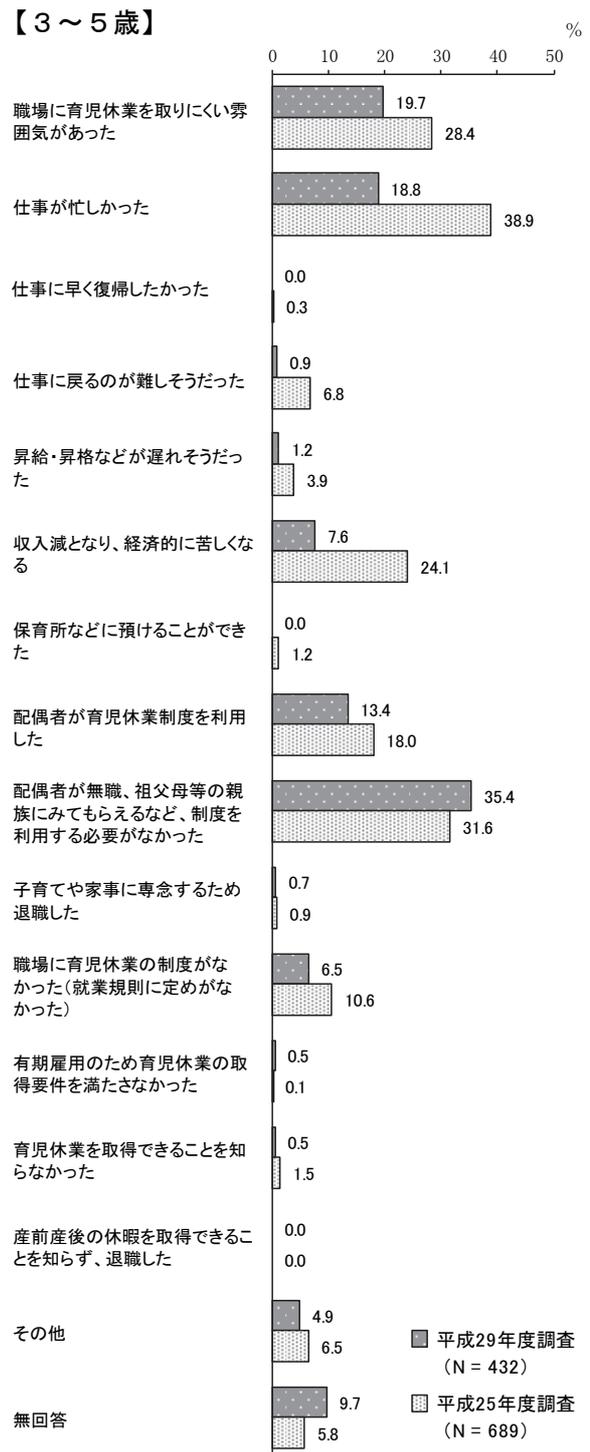


## 父親が育児休業を取得しなかった理由

### 【0～2歳】



### 【3～5歳】



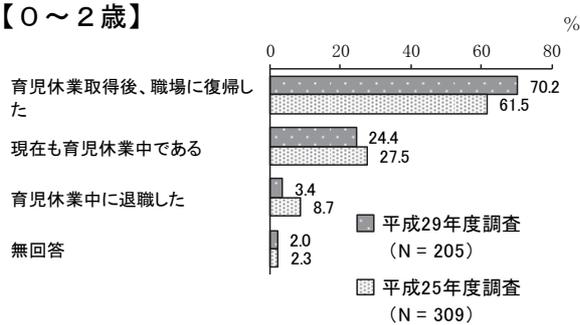
本問は母親の方のみお答えください。

問 前問で「2. 取得した（取得中である）」とお答えの方にうかがいます。  
 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。  
 【0～2歳：問17-1、3～5歳：問20-1】

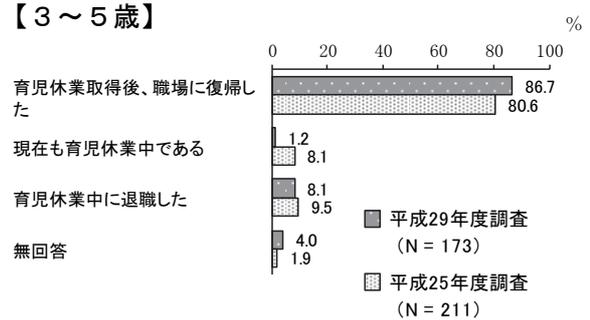
「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が、0～2歳では70.2%、3～5歳では86.7%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳、3～5歳ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」が増加しています。また、0～2歳では「育児休業中に退職した」が減少し、3～5歳では「現在も育児休業中である」が減少しています。

【0～2歳】



【3～5歳】



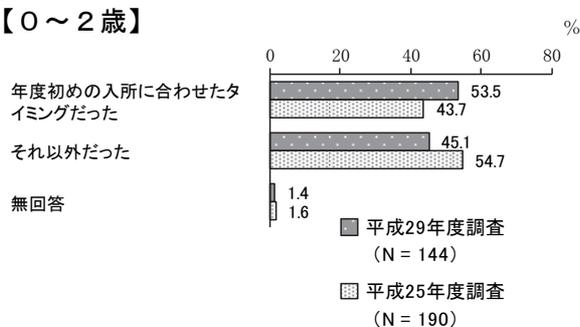
本問は母親の方のみお答えください。

問 前問で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」とお答えの方にうかがいます。  
 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。  
 【0～2歳：問17-2、3～5歳：問20-2】

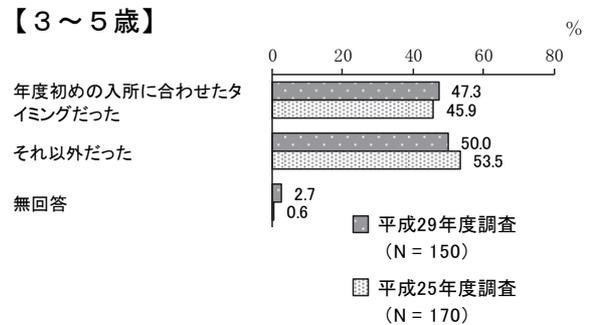
「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が、0～2歳では53.5%、3～5歳では47.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が増加しています。

【0～2歳】



【3～5歳】

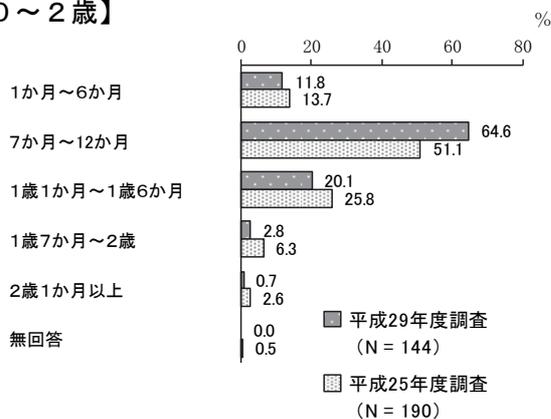


本問は母親の方のみお答えください。

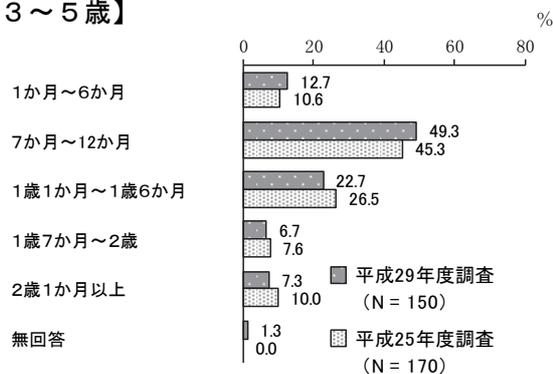
問 育児休業からは、「実際」にあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としてはあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。( ) 内に数字でご記入ください。【0～2歳：問17-3、3～5歳：問20-3】

実際の取得期間

【0～2歳】

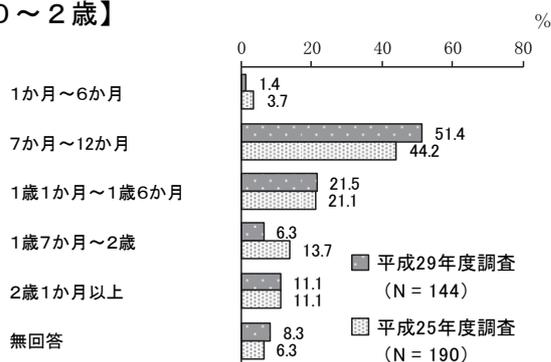


【3～5歳】

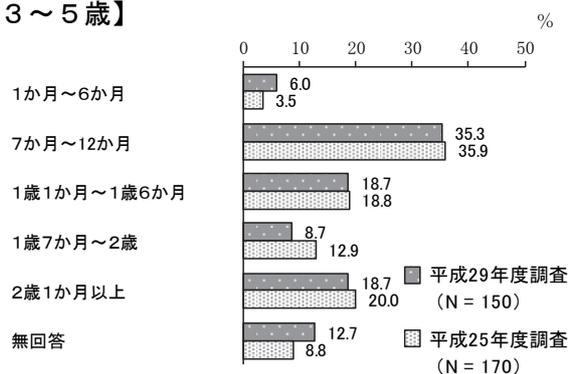


<希望>

【0～2歳】



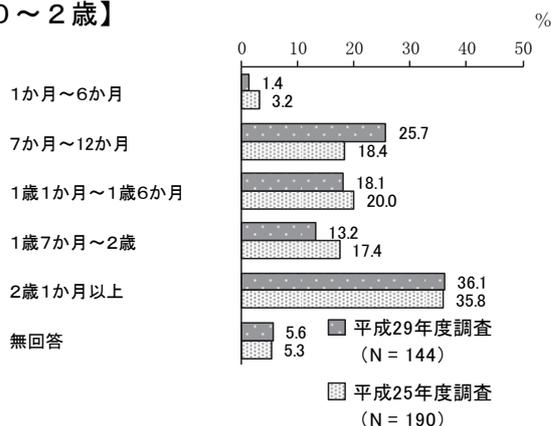
【3～5歳】



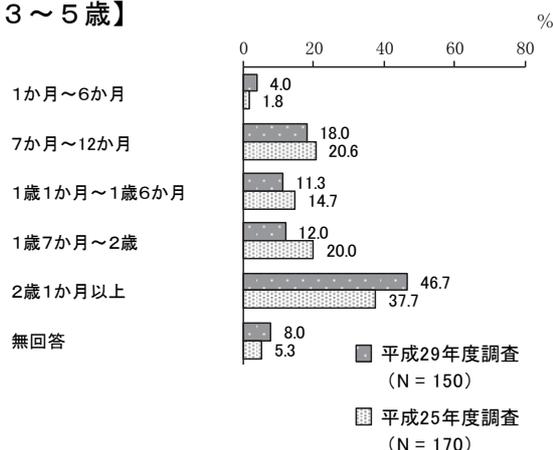
本問は母親の方のみお答えください。

問 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望としてはあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。( ) 内に数字でご記入ください。【0～2歳：問17-4、3～5歳：問20-4】

【0～2歳】



【3～5歳】



本問は母親の方のみお答えください。

問 前問で実際の復帰と希望が異なる方に、希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。【0～2歳：問17-5、3～5歳：問20-5】

0～2歳については、「希望」より早く復帰した理由は、「希望する保育所に入るため」の割合が74.4%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が22.2%、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」の割合が18.9%となっています。

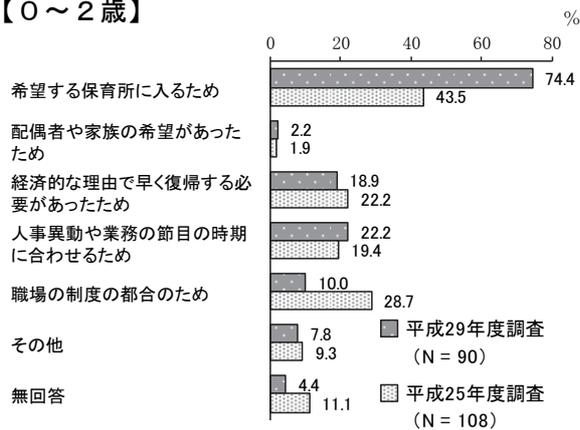
平成25年度調査と比較すると、「職場の制度の都合のため」が減少し、「希望する保育所に入るため」が増加しています。

3～5歳については、「希望」より早く復帰した理由は、「希望する保育所に入るため」の割合が59.5%と最も高く、次いで「職場の制度の都合のため」の割合が26.6%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が22.8%となっています。

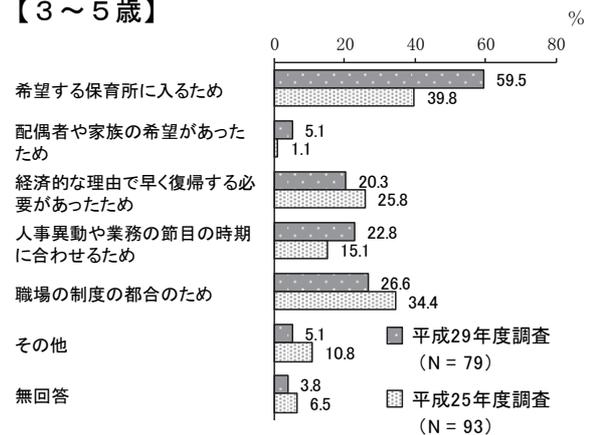
平成25年度調査と比較すると、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」「職場の制度の都合のため」が減少し、「希望する保育所に入るため」「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が増加しています。

(1) 「希望」より早く復帰した方（あてはまる番号すべてに○）

【0～2歳】

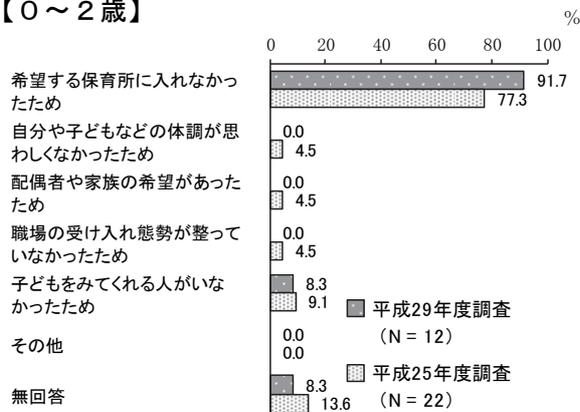


【3～5歳】

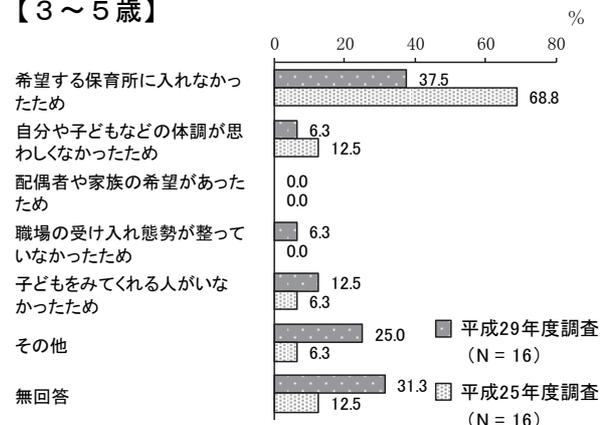


(2) 「希望」より遅く復帰した方（あてはまる番号すべてに○）

【0～2歳】



【3～5歳】

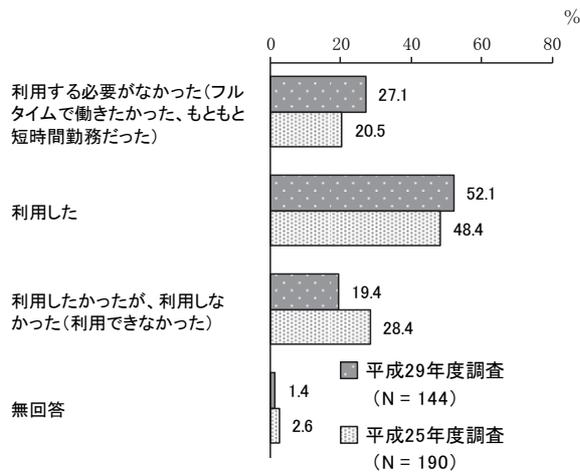


本問は母親の方のみお答えください。

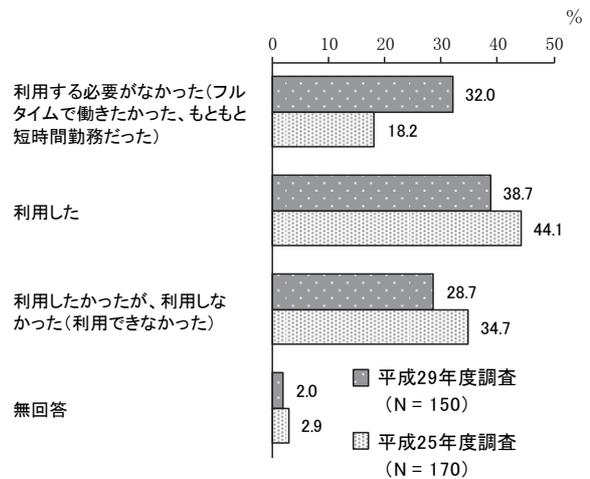
問 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。【0～2歳：問17-6、3～5歳：問20-6】

「利用した」の割合が0～2歳では52.1%、3～5歳では38.7%と最も高くなっています。平成25年度調査と比較すると、0～2歳、3～5歳ともに「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が減少し、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が増加しています。また、3～5歳では「利用した」も減少しています。

【0～2歳】



【3～5歳】



本問は母親の方のみお答えください。

問 前問で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」とお答えの方にかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。【0～2歳：問17-7、3～5歳：問20-7】

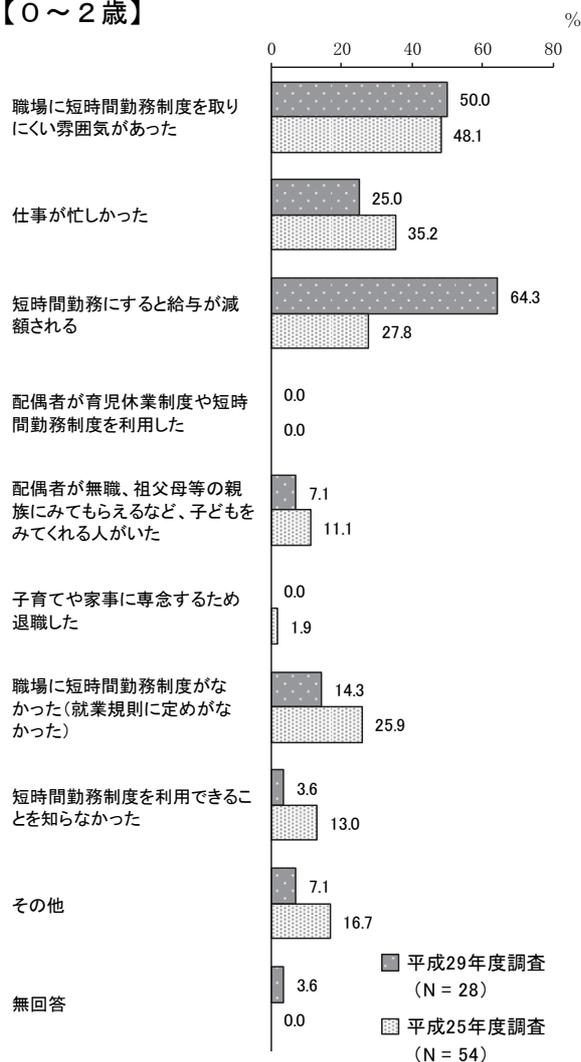
0～2歳については、「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が64.3%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が50.0%、「仕事が忙しかった」の割合が25.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「仕事が忙しかった」「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」が減少し、「短時間勤務にすると給与が減額される」が増加しています。

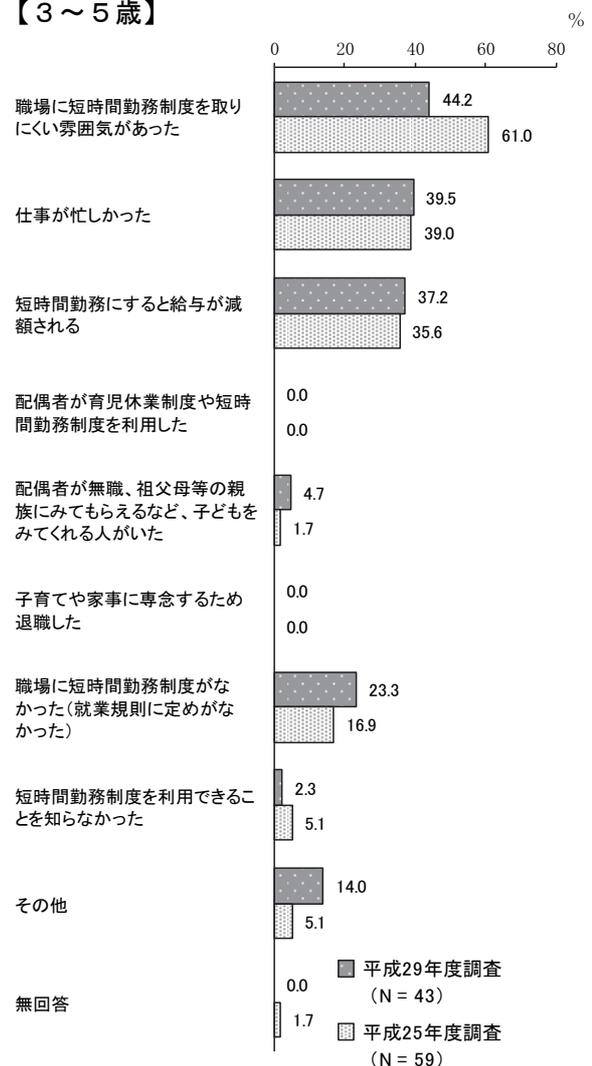
3～5歳については、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が44.2%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が39.5%、「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が37.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が減少し、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」「短時間勤務にすると給与が減額される」が増加しています。

【0～2歳】



【3～5歳】



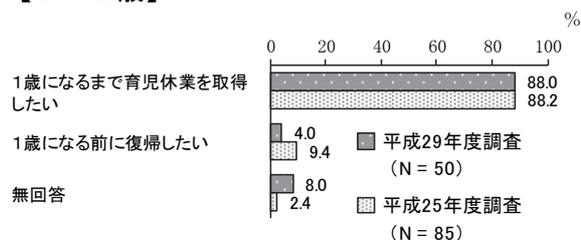
本問は母親の方のみお答えください。

問 前問で「2. 現在も育児休業中である」とお答えの方にうかがいます。  
あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。【0～2歳：問17-8】

0～2歳については、「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が88.0%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が4.0%となっています。

平成25年度と比較すると、「1歳になる前に復帰したい」が減少しています。

#### 【0～2歳】



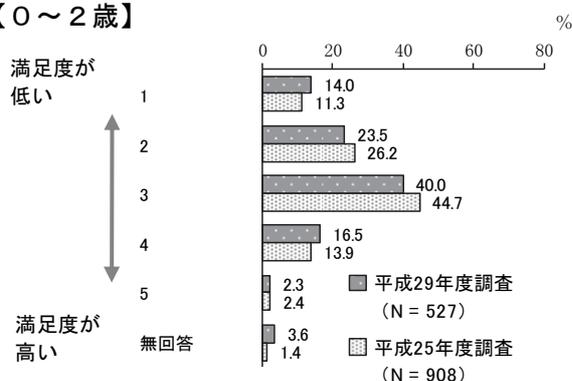
## (10) 子育てに関する困りごとなどについて

問 奈良市における子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号1つに○をつけてください。満足度を5段階評価してください。【0～2歳：問18、3～5歳：問21】

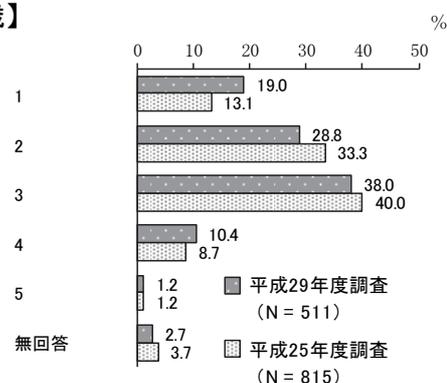
「3」の割合が0～2歳では40.0%、3～5歳では38.0%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳、3～5歳ともに「1」と「4」が増加しています。

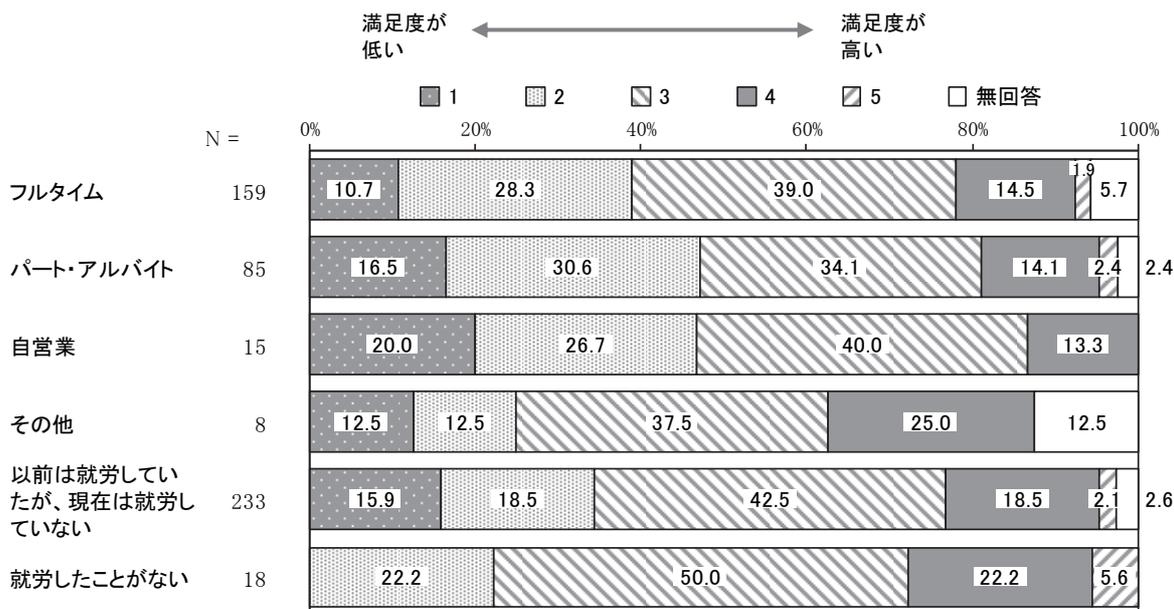
### 【0～2歳】



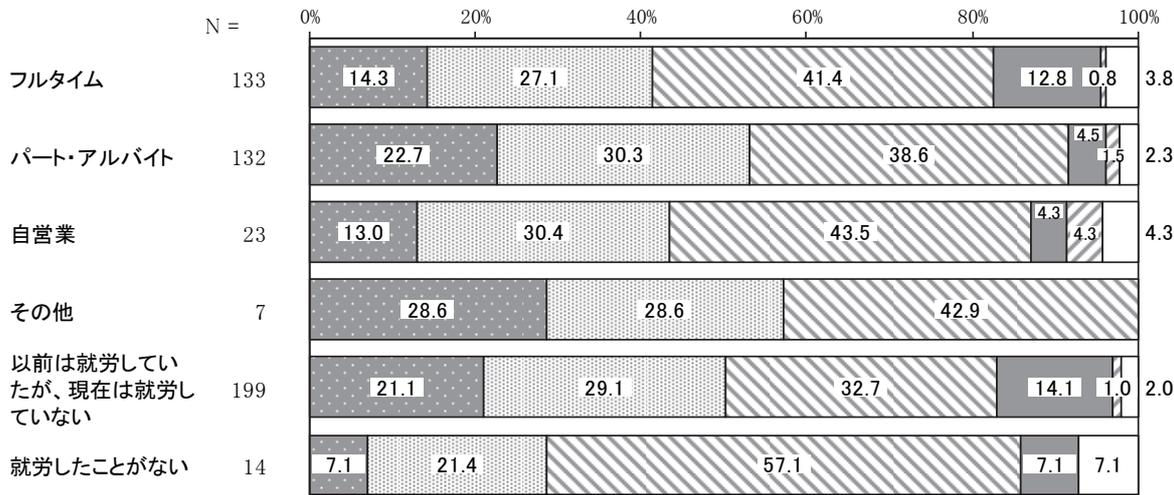
### 【3～5歳】



### 【母親の就労状況別：0～2歳】



### 【母親の就労状況別：3～5歳】



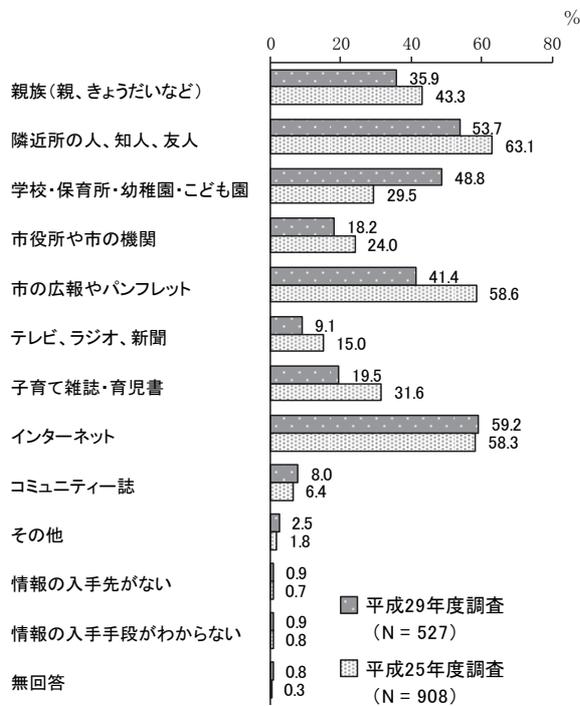
問 子育てに関する情報をどのように入手していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。【0～2歳：問19、3～5歳：問22】

0～2歳については、「インターネット」の割合が59.2%と最も高く、次いで「隣近所の人、知人、友人」の割合が53.7%、「学校・保育所・幼稚園・こども園」の割合が48.8%となっています。

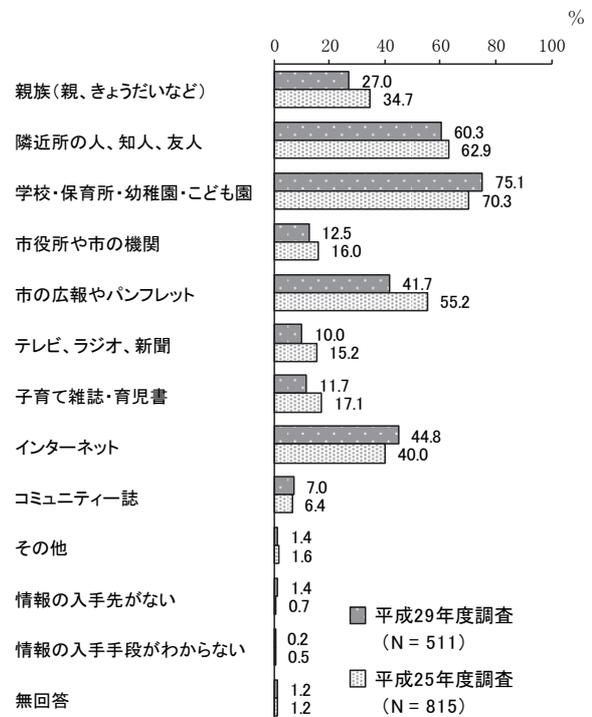
3～5歳については、「学校・保育所・幼稚園・こども園」の割合が75.1%と最も高く、次いで「隣近所の人、知人、友人」の割合が60.3%、「インターネット」の割合が44.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳で「親族（親、きょうだいなど）」「隣近所の人、知人、友人」「市役所や市の機関」「市の広報やパンフレット」「テレビ、ラジオ、新聞」「子育て雑誌・育児書」が減少し、「学校・保育所・幼稚園・こども園」が増加しています。3～5歳では「親族（親、きょうだいなど）」「市の広報やパンフレット」「テレビ、ラジオ、新聞」「子育て雑誌・育児書」が減少しています。

【0～2歳】



【3～5歳】



問 子育てに関して日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。【0～2歳：問20、3～5歳：問23】

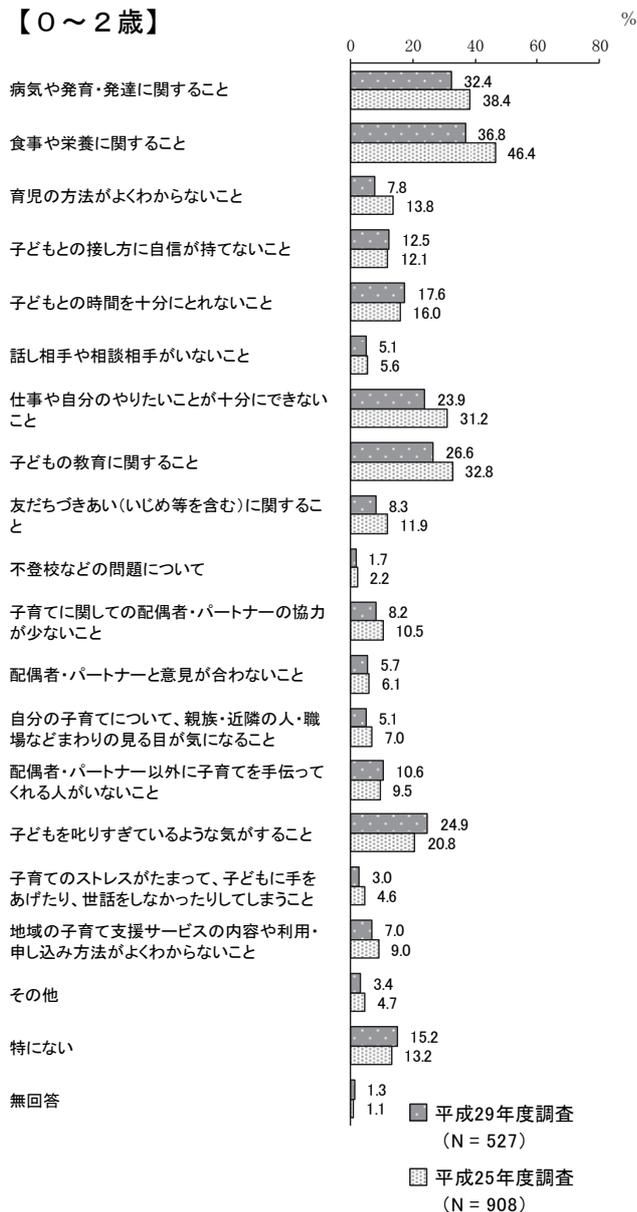
0～2歳については、「食事や栄養に関すること」の割合が36.8%と最も高く、次いで「病気や発育・発達に関すること」の割合が32.4%、「子どもの教育に関すること」の割合が26.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「病気や発育・発達に関すること」「食事や栄養に関すること」「育児の方法がよくわからないこと」「仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと」「子どもの教育に関すること」が減少しています。

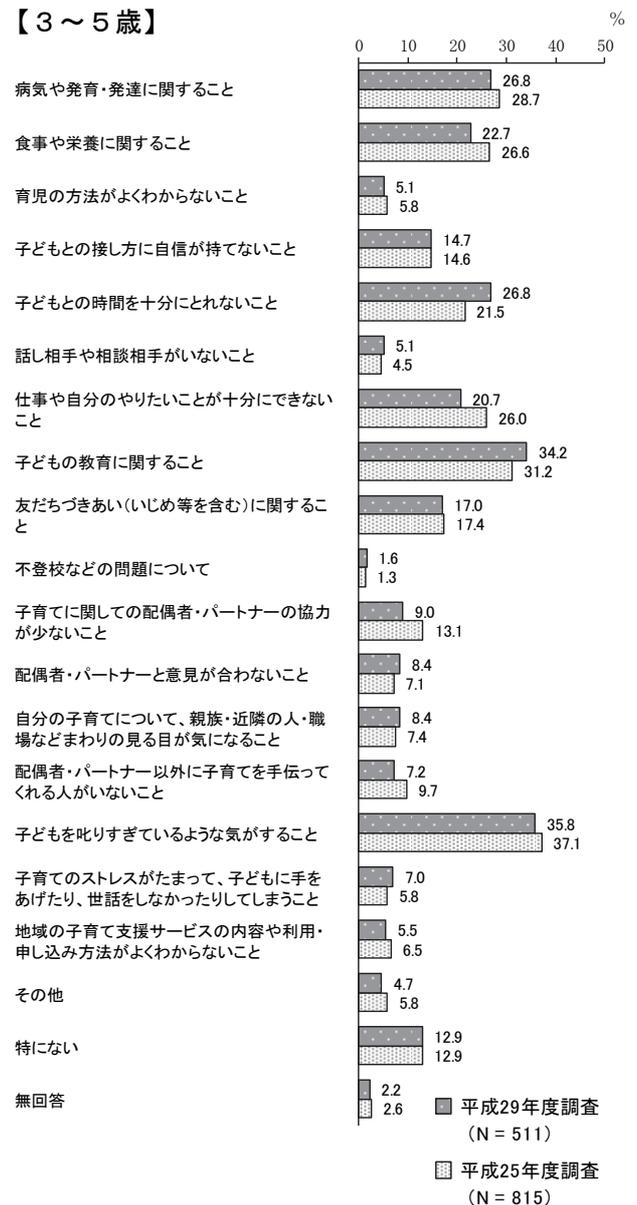
3～5歳については、「子どもを叱りすぎているような気がする」との割合が35.8%と最も高く、次いで「子どもの教育に関すること」の割合が34.2%、「病気や発育・発達に関すること」、「子どもとの時間を十分にとれないこと」の割合が26.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと」が減少し、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が増加しています。

### 【0～2歳】



### 【3～5歳】



【子育ての環境や支援への満足度別：0～2歳】

単位：%

区分	有効回答数(件)	病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	育児の方法がよくわからないこと	子どもとの接し方に自信が持てないこと	子どもとの時間を十分にとれないこと	話し相手や相談相手がいないこと	仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと	子どもの教育に関すること	友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること	不登校などの問題について
1(満足度が低い)	74	37.8	33.8	8.1	9.5	20.3	12.2	27.0	36.5	9.5	1.4
2	124	29.8	37.9	8.9	18.5	25.0	3.2	25.0	22.6	8.9	4.0
3	211	31.8	39.3	8.5	12.3	14.2	4.7	28.0	25.6	8.5	0.9
4	87	33.3	35.6	5.7	10.3	16.1	3.4	14.9	29.9	6.9	1.1
5(満足度が高い)	12	8.3	16.7	—	—	8.3	—	8.3	25.0	8.3	—

区分	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと	配偶者・パートナーと意見が合わないこと	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になること	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	子どもを叱りすぎているような気がする	子育てのストレスがたまったり、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと	その他	特になし	無回答
1(満足度が低い)	5.4	10.8	8.1	13.5	33.8	6.8	13.5	6.8	13.5	1.4
2	11.3	4.0	4.0	17.7	29.8	5.6	8.9	3.2	12.1	0.8
3	8.5	5.2	6.6	8.1	25.1	1.9	6.6	2.8	16.1	—
4	5.7	5.7	2.3	5.7	16.1	—	1.1	2.3	16.1	1.1
5(満足度が高い)	8.3	8.3	—	8.3	8.3	—	8.3	8.3	41.7	—

【子育ての環境や支援への満足度別：3～5歳】

単位：%

区分	有効回答数(件)	病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	育児の方法がよくわからないこと	子どもとの接し方に自信が持てないこと	子どもとの時間を十分にとれないこと	話し相手や相談相手がいないこと	仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと	子どもの教育に関すること	友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること	不登校などの問題について
1(満足度が低い)	97	26.8	25.8	8.2	22.7	23.7	10.3	30.9	35.1	22.7	2.1
2	147	27.9	21.8	5.4	10.2	30.6	4.1	21.8	32.0	14.3	2.0
3	194	26.3	23.7	4.6	13.4	25.8	3.1	16.5	35.1	15.5	1.0
4	53	26.4	22.6	—	13.2	24.5	7.5	15.1	35.8	17.0	1.9
5(満足度が高い)	6	50.0	—	—	33.3	50.0	—	16.7	50.0	33.3	—

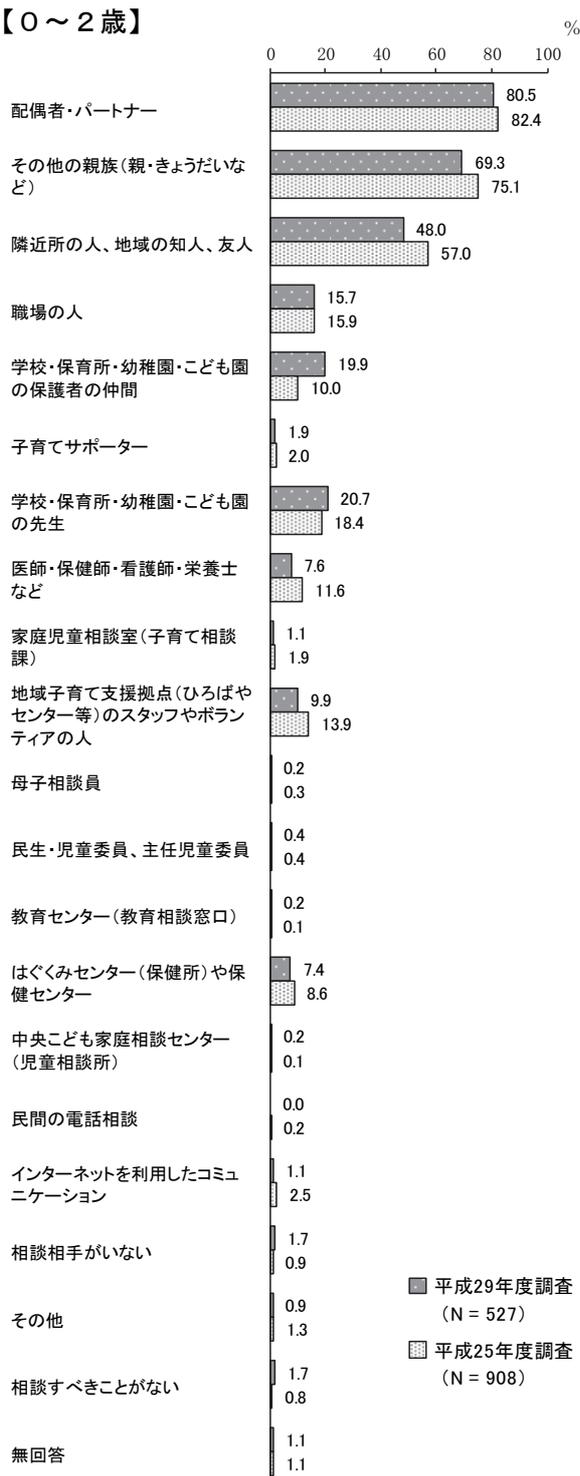
区分	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと	配偶者・パートナーと意見が合わないこと	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になること	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	子どもを叱りすぎているような気がする	子育てのストレスがたまったり、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと	その他	特になし	無回答
1(満足度が低い)	15.5	15.5	15.5	10.3	30.9	10.3	5.2	9.3	13.4	3.1
2	10.9	5.4	8.2	9.5	32.0	8.2	8.8	3.4	9.5	0.7
3	6.2	7.2	5.7	4.6	42.3	3.1	2.6	4.1	16.5	1.0
4	5.7	5.7	1.9	7.5	32.1	9.4	5.7	3.8	11.3	3.8
5(満足度が高い)	—	—	16.7	—	16.7	16.7	—	—	—	—

問 子育てに関する悩みや不安をどなたかに相談していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。【0～2歳：問21、3～5歳：問24】

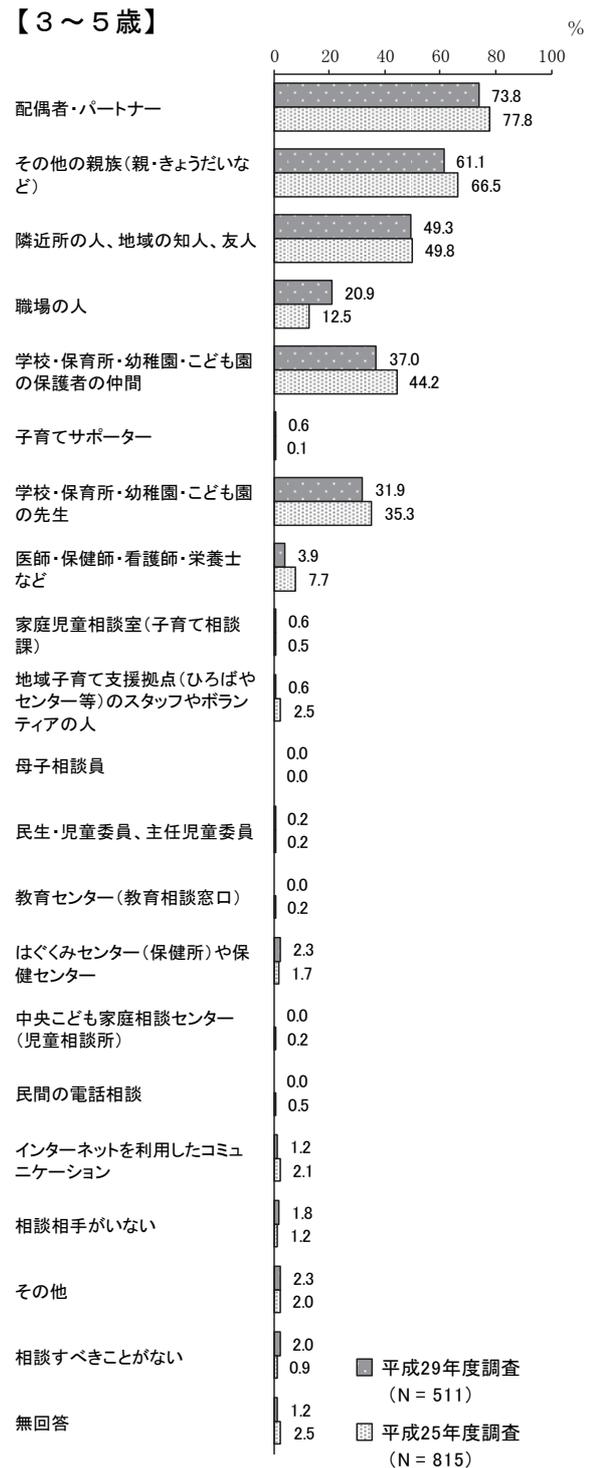
0～2歳、3～5歳ともに「配偶者・パートナー」の割合が最も高く、次いで「その他の親族（親・きょうだいなど）」、「隣近所の人、地域の知人、友人」となっています。

平成25年度調査と比較すると、0～2歳では「その他の親族（親・きょうだいなど）」「隣近所の人、地域の知人、友人」が減少し、「学校・保育所・幼稚園・こども園の保護者の仲間」が増加しています。3～5歳では「その他の親族（親・きょうだいなど）」「学校・保育所・幼稚園・こども園の保護者の仲間」が減少し、「職場の人」が増加しています。

【0～2歳】



【3～5歳】



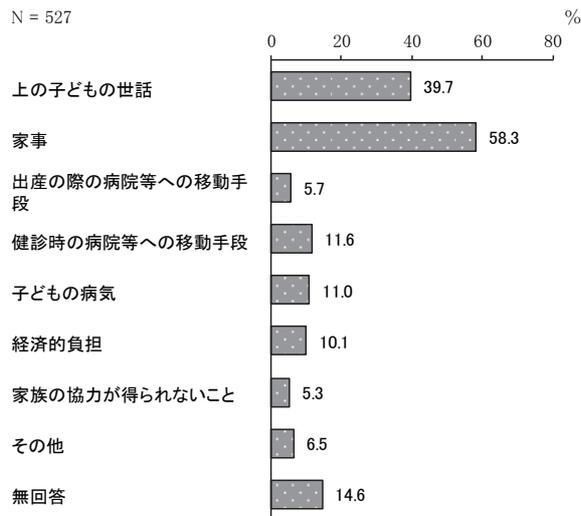
問 妊娠中や出産後3か月以内に家事・育児に関して困ったことはありませんか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。【0～2歳：問22、3～5歳：問25】

0～2歳については、「家事」の割合が58.3%と最も高く、次いで「上の子どもの世話」の割合が39.7%、「健診時の病院等への移動手段」の割合が11.6%となっています。

3～5歳については、「上の子どもの世話」の割合が47.6%と最も高く、次いで「家事」の割合が46.4%、「子どもの病気」の割合が12.7%となっています。

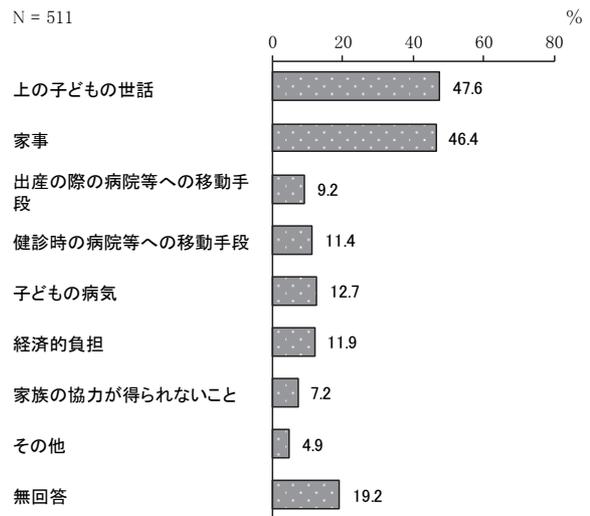
### 【0～2歳】

N = 527



### 【3～5歳】

N = 511



問 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えですか。サポートを受けたことがある方は良かったことや、受けてどうなったか（解決につながった、など）について自由にご記入ください。【0～2歳：問23、3～5歳：問26】

#### 【希望するサポート】

##### 0～2歳（主な意見）

- ・ 希望すれば何度でも個別相談（家に来てもらえる）ができる。近隣の公民館等への助産師及び保健師の巡回を増やしてほしい。
- ・ 下に子どもが産まれた時、上の子の幼稚園送迎のサポートなどがあればうれしいです。
- ・ とにかく話を聞いてもらえるのとたいいの不安は解消されると思うので、子どもの検診の様に母親の心的検診を市として行なってほしい。
- ・ 土日仕事になった時への預け先のサポート（土日の園の受け入れが非常にしにくい）
- ・ 定期的な連絡（電話やハガキ）があるとよい
- ・ 子供が病気になって保育園に通えない時見てくれる施設
- ・ 家事を安価で（水回りだけでも）お願いできるサービスがあればと思います。
- ・ 友人が住む市では母親は数回無料でベビーシッターのような方に来てもらって手伝ってもらえる。近くに友人がいない、頼みにくい、お金がないなどの場合はすごくありがたい。ぜひ奈良市もやってほしい。
- ・ 少しの時間（1～2時間買い物（スーパー）したり、ゴミをすてたり、お風呂をそうじしたり）子どもが危険でない様に見てくれる人がいるととても助かるなど思うことがあります。
- ・ 自分も子どももふくめて通院する時に一緒に来てもらう（支払い時など見てもらえる）
- ・ 園庭開放日などの増加
- ・ ありのまま話ができるような状況、継続的に家庭のこと、自分のこと、子供のことをよく知ってもらえてアドバイスしてもらえるようなサポート
- ・ 親の急な発熱の時、世話を手伝ってくれる人がほしい。これだけは前もっての計画が出来ないし、子供に病気をうつしても大変なので。
- ・ 出来る範囲での家事・育児

##### 3～5歳（主な意見）

- ・ 気軽に話せる人がいてほしい。
- ・ 校区内の幼稚園に預かり保育（保育時間の延長）をお願いしたい。
- ・ ママ友が作りやすい場がたくさんあればいいと思います。
- ・ 悩み相談、家事の代行
- ・ 義務教育医療費を無料にしてほしい
- ・ 出産～後3か月以内もしくは妊娠中の家事のサポート
- ・ 働きやすい環境作りを会社へ行政から指示強化してほしい。子どもが伸び伸び出来る環境が必要。
- ・ 保育園への送迎
- ・ 上の子の幼稚園のバス通園（家の近くまできてくれる）
- ・ 子育てスポット

- ・ 市や県が管理する発達相談窓口、担当者をスムーズに（市が管理する子供を）つけてもらい、発達遅れがわかりやすい幼稚園、小学校、中、高、就労までみてもらいたい。（担当者をつけてもらいたい）
- ・ 赤ちゃん訪問1回だけでなく数回してほしい。もう少し落ちついて時間を取ってほしい。
- ・ 気軽に相談できる場所・人
- ・ 実家の近くに住み、親族のちょっとしたサポートがほしい時があります。
- ・ 難聴なので健常児と違い、必要な情報などを得るのが難しかった。障害の重さによってそれも千差万別なので100%満足する事はできないと割り切ってはいるが、ワンストップであらゆる情報が調べられるようなWebサイトがあればいいと思う。

### 【実際に受けたサポート】

0～2歳（主な意見）

- ・ はぐくみセンター、電話相談を受けて不安がなくなり育児に自信がもてた
- ・ はぐくみセンターの相談窓口で母乳について相談させてもらい、不安が解消されました。
- ・ 出産後助産師さんの訪問指導
- ・ 私はつどいの広場を利用しているので、スタッフや保護者の人と会話する中で、なかなか人に聞きにくいささいな事でもうまく聞き出してもらい、気持ちが楽になった。
- ・ 土曜に北部会館の「まんまる」で上の子（4歳）と下の子（1歳）を遊ばせることができた。上の子のトイレについていくときも、担当の先生に下の子を見ておいてもらえるので助かる。
- ・ 市の訪問モデル事業？（4ヶ月離乳食講習時に配布されたパンフに記入し、支援員の方が家に来て下さった）がありがたかったです。心が軽くなりました。
- ・ 子育ての経験のある両親、友人、職場の人にその時どうしたか等聞いて、自分の対応に間違いがないか、その時やその後確認して安心した。
- ・ 現在利用している保育園の先生に、困ったことは何でも相談し、すぐに解決するようにしている。小さなことでも丁寧に対応して下さる。
- ・ こんにちは赤ちゃん訪問がよかった。
- ・ 離乳食に関するサポート（体重管理など）心配事がなくなって良かった。自分がやっている事が間違っていないと判断ができた。
- ・ はぐくみセンターでいつでも身体測定してもらえたり、育児相談ができたりするので助かっています。
- ・ 赤ちゃん訪問で悩みや気になることを聞いてもらえ、自分から出ていかななくても来てくれて相談できたところがよかった。
- ・ こんにちは赤ちゃん訪問で助産師さんを希望できて授乳に関する悩みを聞いてもらったこと、助産師さんが親切でありがたかったです。

### 3～5歳（主な意見）

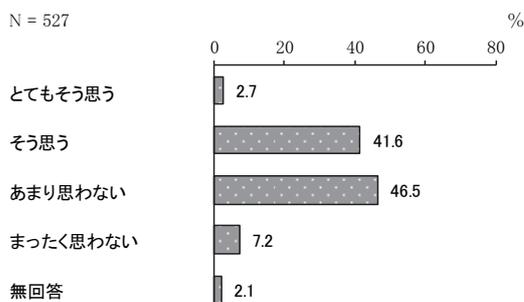
- ・ 助産師による母乳マッサージ（有料）乳腺炎の解消
- ・ 園と話しをして保育時間を見直してもらえた。
- ・ 近所の会館で親子体操をしています。30分は親子でのふれあい体操、その後ボランティアの方が子供を同じ教室の中で子供をみてくださり、親同志でマッサージしたり、ストレッチしたりと自分の体のメンテができる。自分のために時間を使ったりなかなかできないので、子供と同じ空間でできるのはとても助かってます。子育ての相談やストレス発散にもなるので、このような場所をもっと増やしてもらいたいです。
- ・ 0歳児の時、ファミサポのお世話になった（仕事に復帰する準備ができた）（家で子どもを見てもらい仕事をした）
- ・ 校区担当の保健師さんがいることで、継続して子どもの成長を見守って頂けるのは心強い。
- ・ 自分たち以外の同じ子をもつ親同士、つながりがもてることが有り難いです。安全なあそび場として安心して利用できます。
- ・ たまに（毎日ではないという事）親が家事を手伝いに来てくれたのですが大変たすかりました。自分のご飯も栄養がとれる様になります。
- ・ 幼稚園にかようようになり、担任の先生に相談できるようになった。不安に思っていたことが軽減された。
- ・ 習い事の送迎をお願いしたいが、数分の往復が2度だけなのに全額は、待機時間分も支払わなければならないので困った。
- ・ 子供の発育について毎月相談に行ってアドバイスを受けていた。自分の子供のように気にかけてくれていて、今では問題なく成長したのでよかった。
- ・ 西部公民館で気軽に助産師さんに相談できたのが良かった。
- ・ コープたすけあいの会の支援（有料）を利用した。

## (11) 子どもにやさしいまちについて

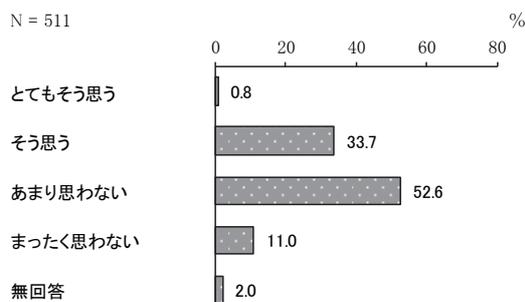
問 奈良市は子どもにやさしいまちだと感じますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。【0～2歳：問24、3～5歳：問27】

「とてもそう思う」と「そう思う」をあわせた“奈良市は子どもにやさしいまちだと思う”人の割合が、0～2歳では44.3%、3～5歳では34.5%となっています。

### 【0～2歳】



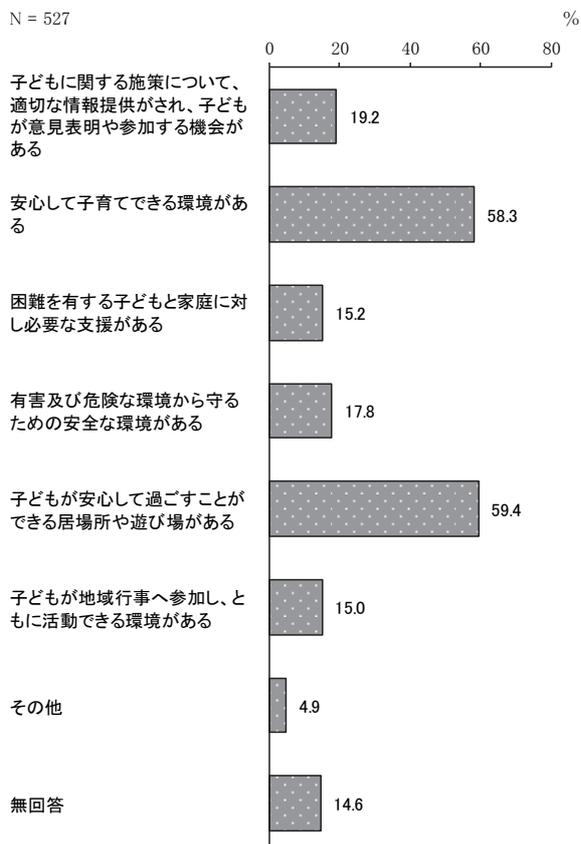
### 【3～5歳】



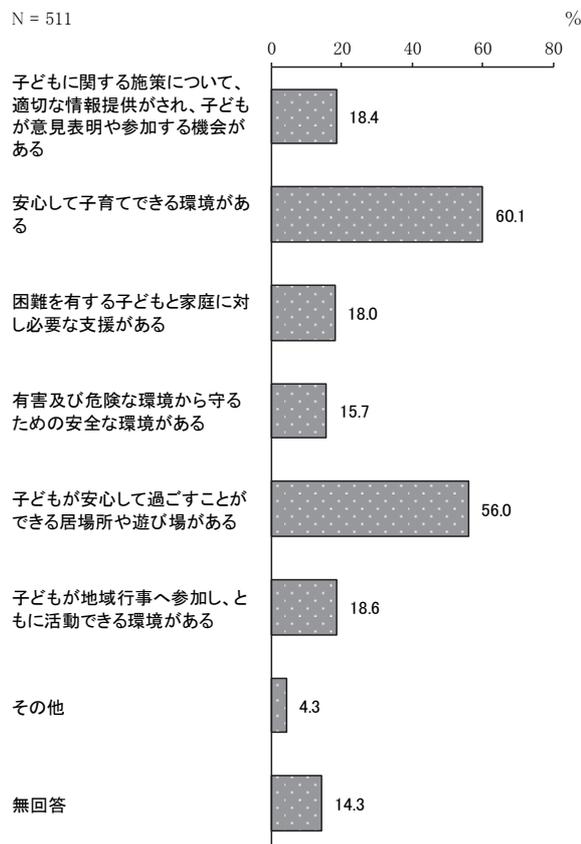
問 子どもにやさしいまちだと感じる条件は何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。【0～2歳：問24-1、3～5歳：問27-1】

0～2歳、3～5歳ともに「子どもが安心して過ごすことができる居場所や遊び場がある」の割合が60%程度と最も高くなっています。

### 【0～2歳】



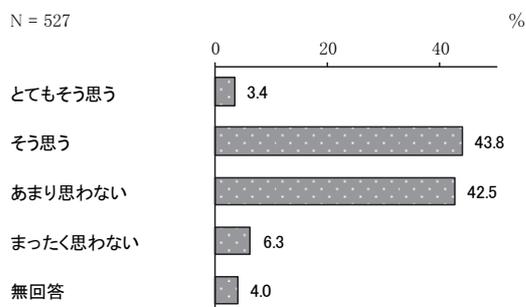
### 【3～5歳】



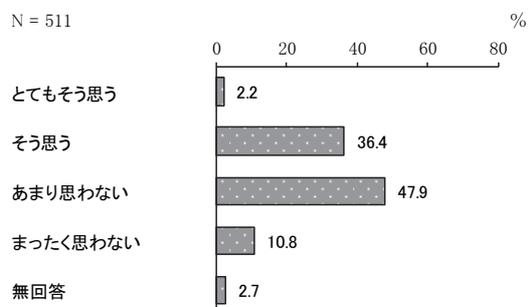
問 奈良市は子育てしやすいまちだと感じますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。【0～2歳：問25、3～5歳：問28】

「とてもそう思う」と「そう思う」をあわせた“奈良市は子育てしやすいまちだと思う”の割合が、0～2歳では47.2%、3～5歳では38.6%となっています。

【0～2歳】



【3～5歳】



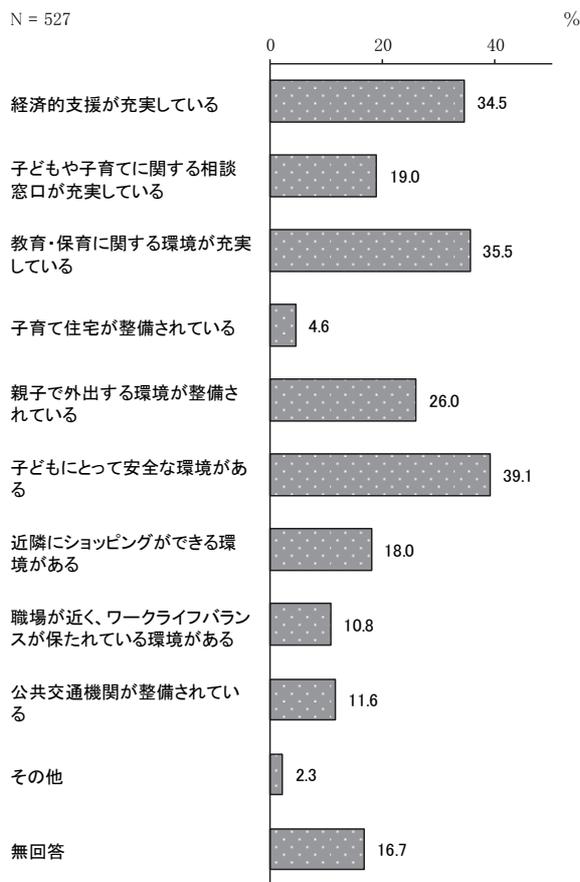
問 子育てしやすいまちだと感じる条件は何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。【0～2歳：問25-1、3～5歳：問28-1】

0～2歳については、「子どもにとって安全な環境がある」の割合が39.1%と最も高く、次いで「教育・保育に関する環境が充実している」の割合が35.5%、「経済的支援が充実している」の割合が34.5%となっています。

3～5歳については、「教育・保育に関する環境が充実している」、「子どもにとって安全な環境がある」の割合が44.2%と最も高く、次いで、「経済的支援が充実している」の割合が43.1%となっています。

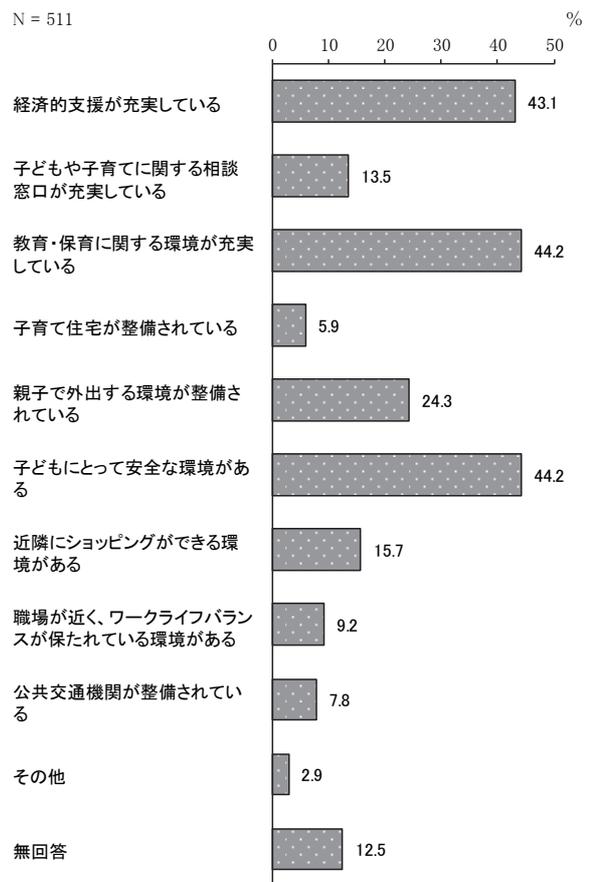
【0～2歳】

N = 527



【3～5歳】

N = 511

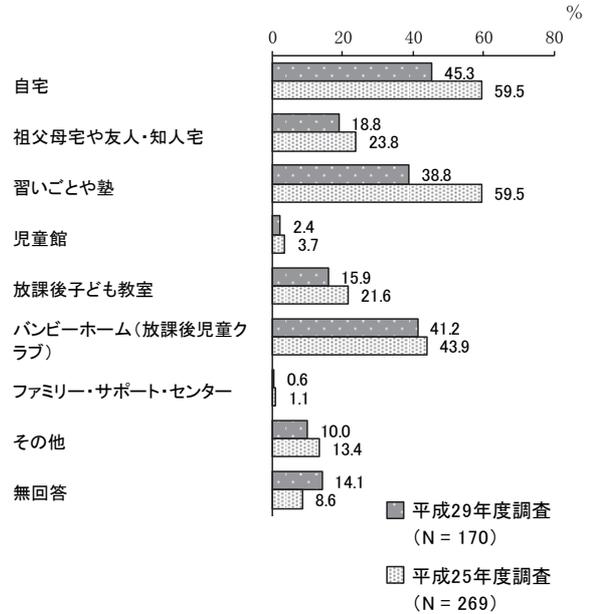


## (12) 小学校入学後の放課後の過ごし方について（5歳以上のみ）

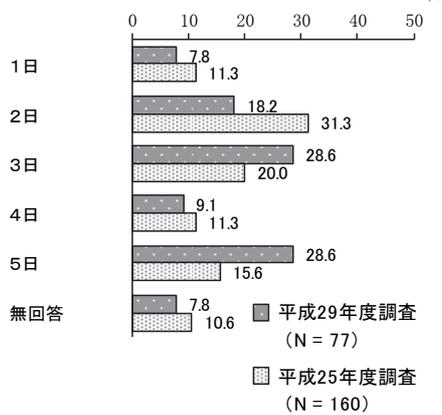
問 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）の間、また、高学年の間には放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する1週あたりの日数を数字でご記入ください。また、「バンビーホーム」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。【3～5歳：問18】

### <低学年の間の希望>

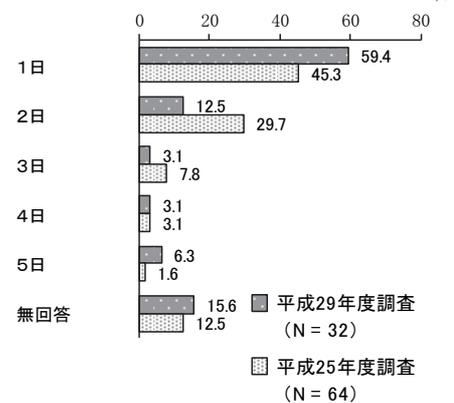
「自宅」の割合が45.3%と最も高く、次いで「バンビーホーム（放課後児童クラブ）」の割合が41.2%、「習いごとや塾」の割合が38.8%となっています。



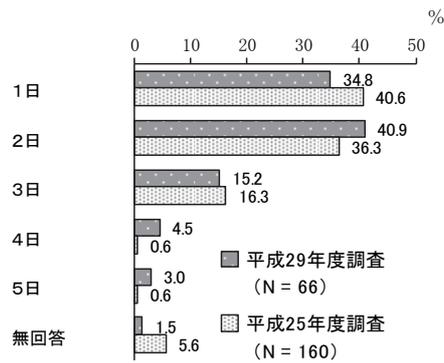
### 自宅の1週あたり日数



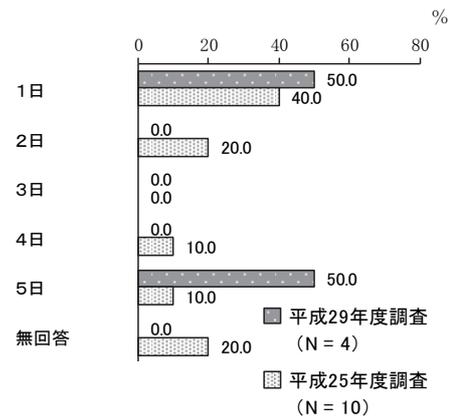
### 祖父母宅や友人・知人宅の1週あたり日数



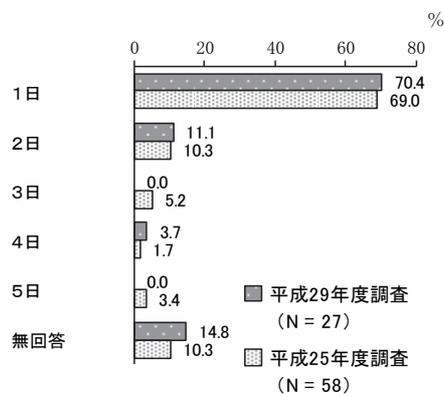
### 習いごとや塾の1週当たり日数



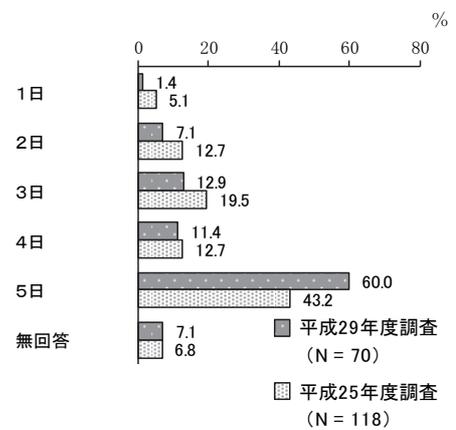
### 児童館の1週当たり日数



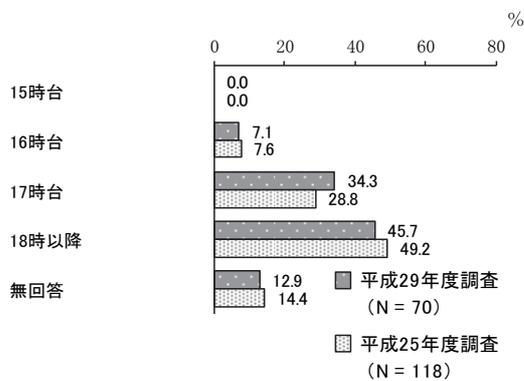
### 放課後子ども教室の1週当たり日数



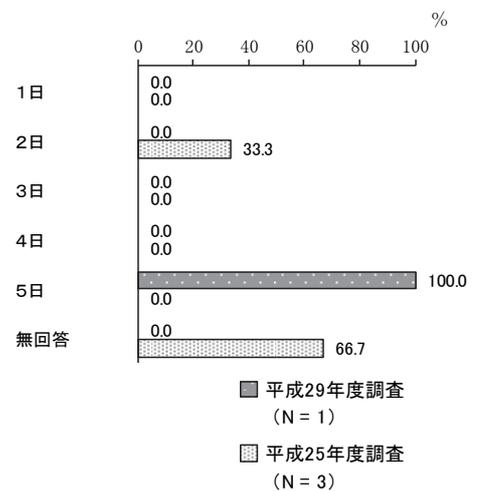
### バンビーホームの1週当たり日数



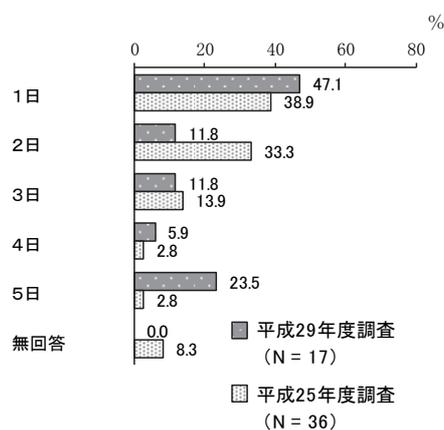
### バンビーホームの希望利用終了時刻



### ファミリー・サポート・センターの1週当たり日数

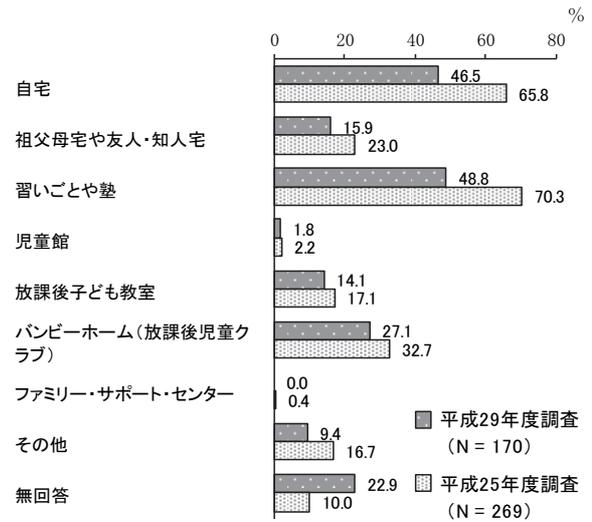


### その他の1週当たり日数

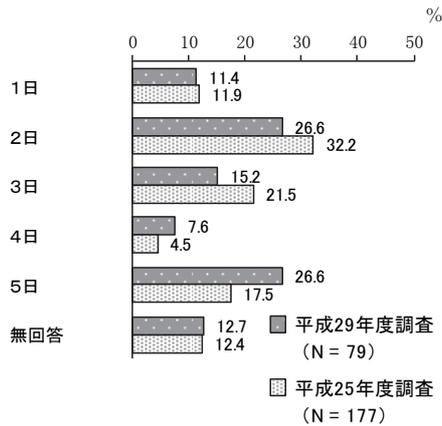


### <高学年の間の希望>

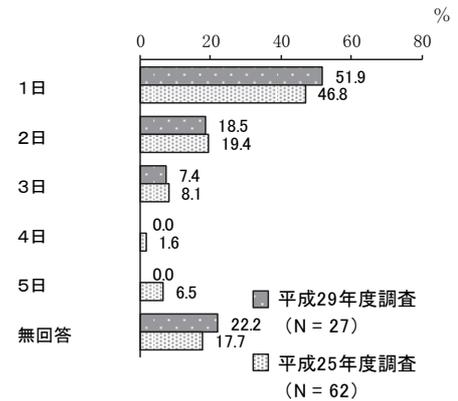
「習いごとや塾」の割合が48.8%と最も高く、次いで「自宅」の割合が46.5%、「バンビーホーム(放課後児童クラブ)」の割合が27.1%となっています。



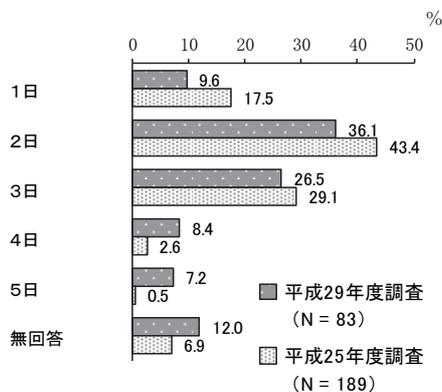
### 自宅の1週あたり日数



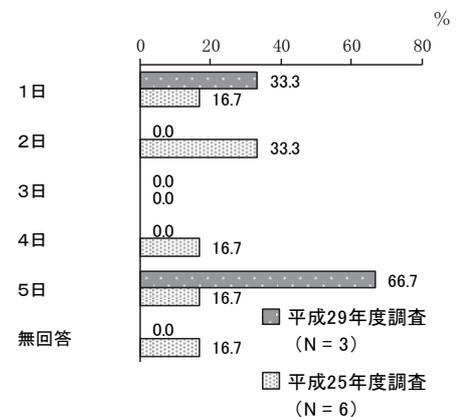
### 祖父母宅や友人・知人宅の1週あたり日数



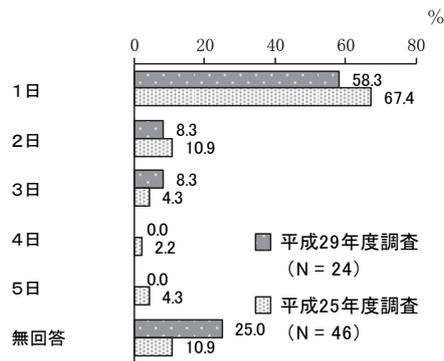
### 習いごとや塾の1週あたり日数



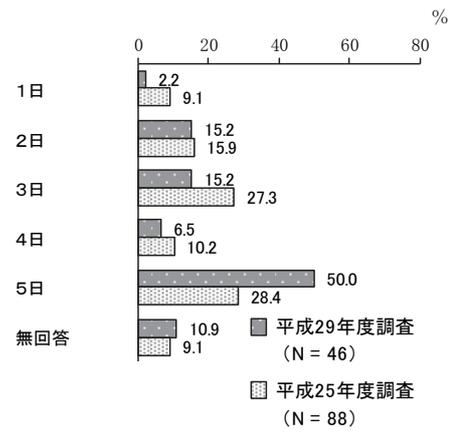
### 児童館の1週あたり日数



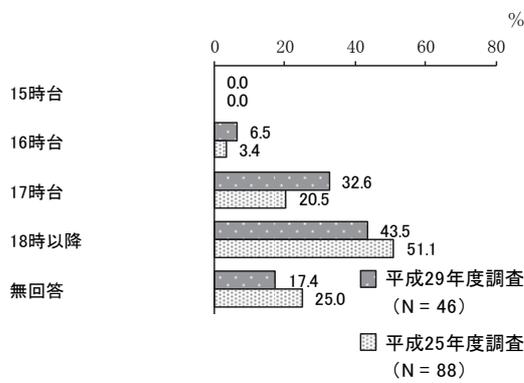
### 放課後子ども教室の1週当たり日数



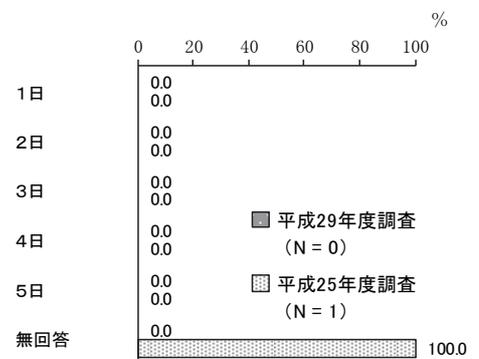
### バンビーホームの1週当たり日数



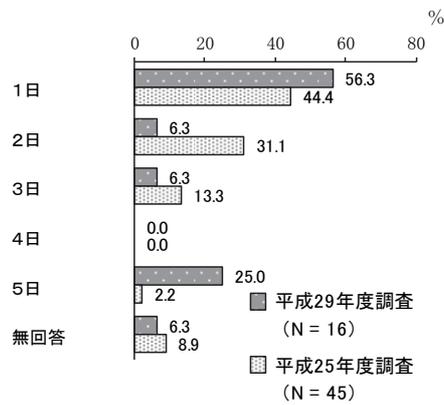
### バンビーホームの希望利用終了時刻



### ファミリー・サポート・センターの1週当たり日数



### その他の1週当たり日数

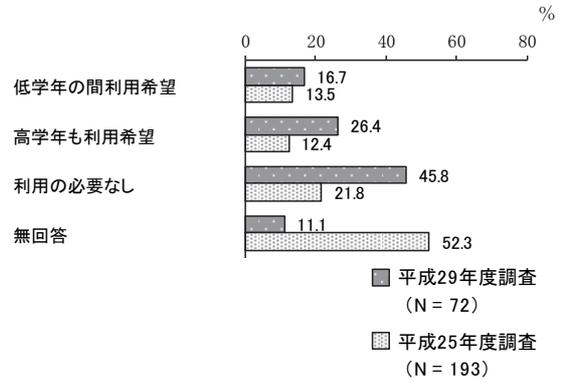


問 前問で「6.バンビーホーム」とお答えの方にかがいます。  
 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、また夏休み・冬休みなどの  
 長期の休暇期間中に保護者が昼間に家庭にいない場合に、バンビーホームの利用  
 希望はありますか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。また、  
 利用したい時間帯を（ ）内に（例）9時から18時のように24時間制でご記  
 入ください。【3～5歳：問19】

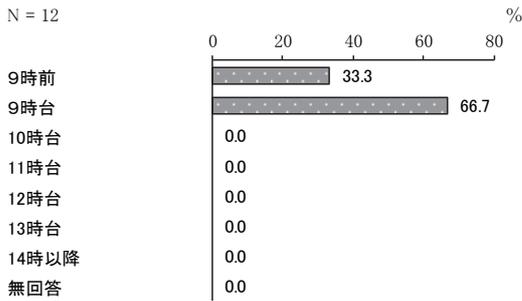
<土 曜>

「利用の必要なし」の割合が45.8%と最も高く、次いで「高学年も利用希望」の割合が26.4%、「低学年の間利用希望」の割合が16.7%となっています。

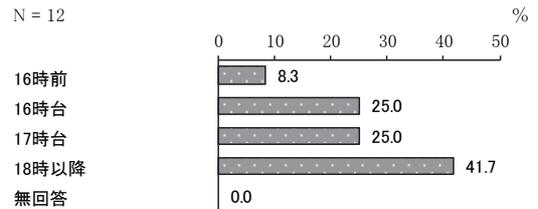
平成25年度調査と比較すると、「高学年も利用希望」「利用の必要なし」が増加しています。



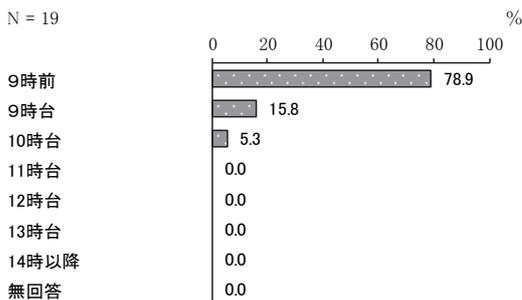
低学年の間 希望利用開始時間



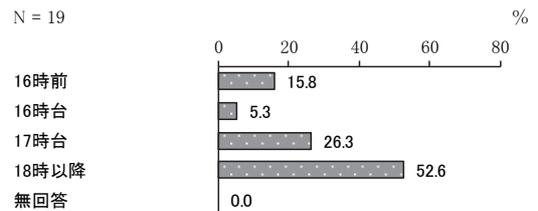
希望利用終了時間



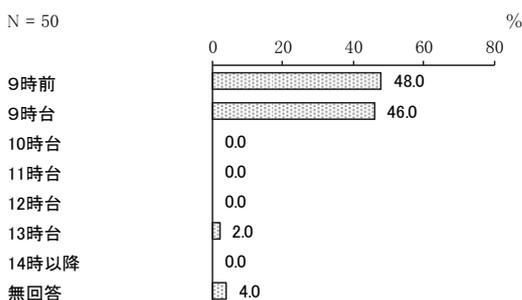
高学年の間 希望利用開始時間



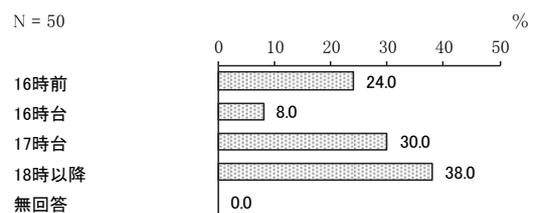
希望利用終了時間



平成25年度調査結果 希望利用開始時間



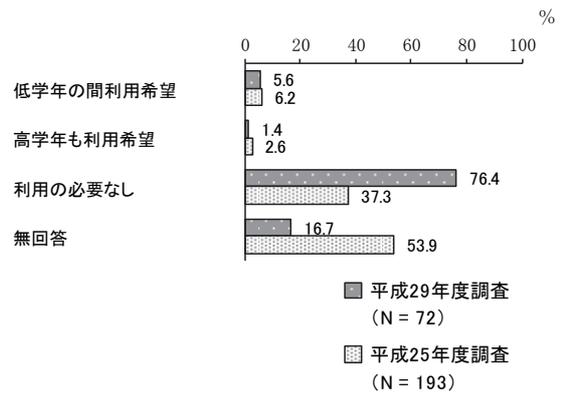
希望利用終了時間



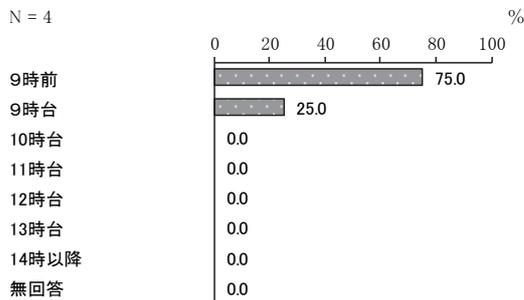
<日曜・祝日>

3～5歳については、「利用の必要なし」の割合が76.4%と最も高くなっています。

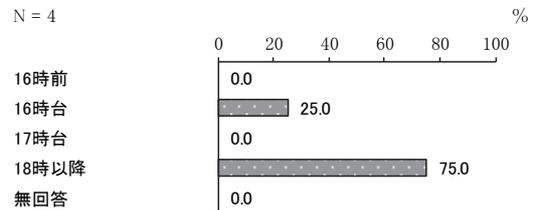
平成25年度調査と比較すると、「利用の必要なし」が増加しています。



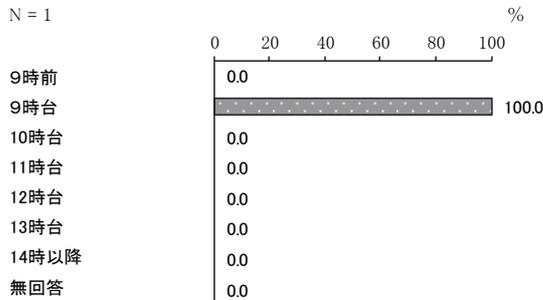
低学年の間 希望利用開始時間



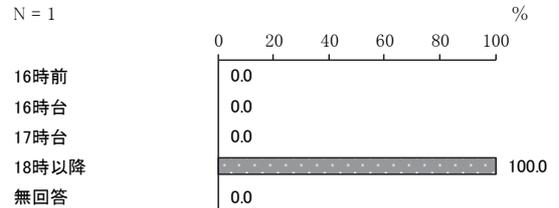
希望利用終了時間



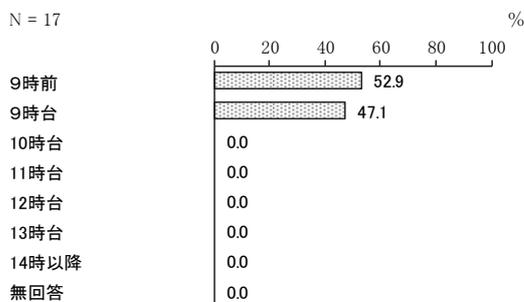
高学年の間 希望利用開始時間



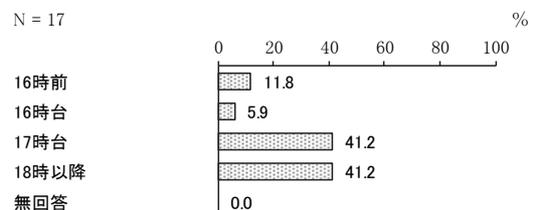
希望利用終了時間



平成25年度調査結果 希望利用開始時間



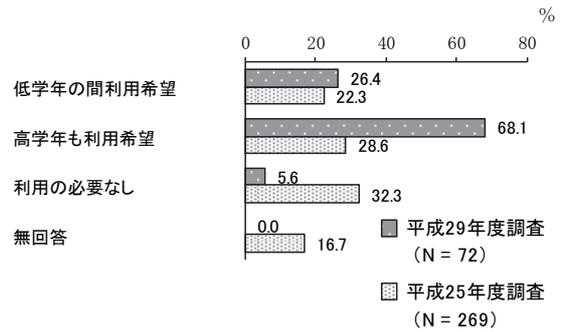
希望利用終了時間



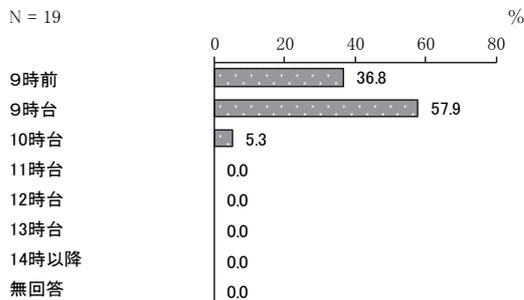
＜夏休み・冬休み等長期休暇中＞

「高学年も利用希望」の割合が 68.1%と最も高く、次いで「低学年の間利用希望」の割合が 26.4%となっています。

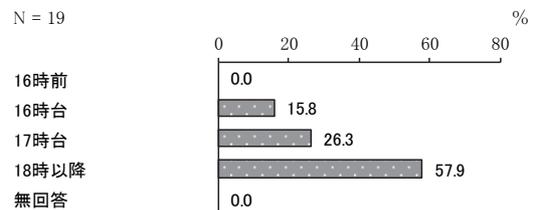
平成 25 年度調査と比較すると、「利用の必要なし」が減少し、「高学年も利用希望」が増加しています。



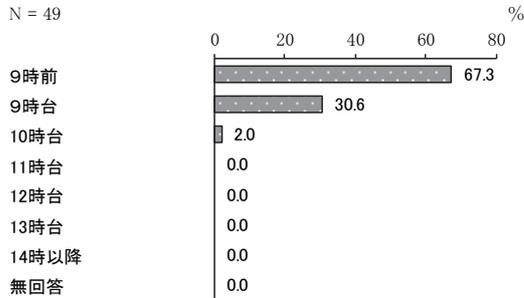
低学年の間 希望利用開始時間



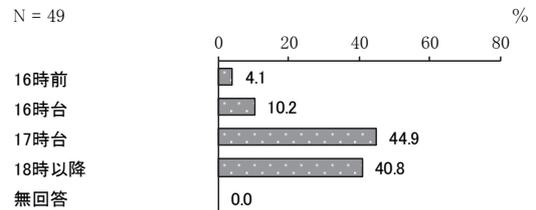
希望利用終了時間



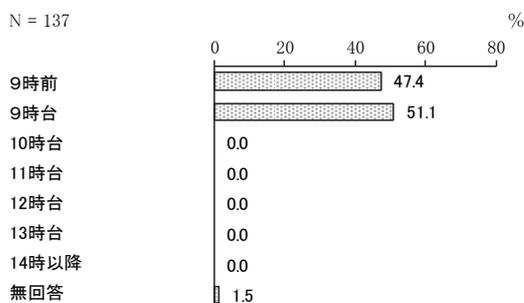
高学年の間 希望利用開始時間



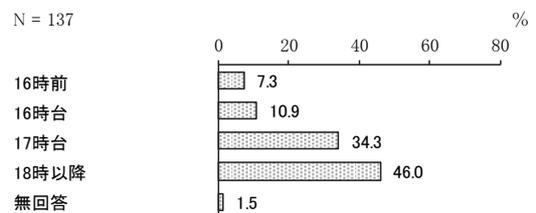
希望利用終了時間



平成 25 年度調査結果 希望利用開始時間



希望利用終了時間



## 2 小学生

---



## 2 小学生

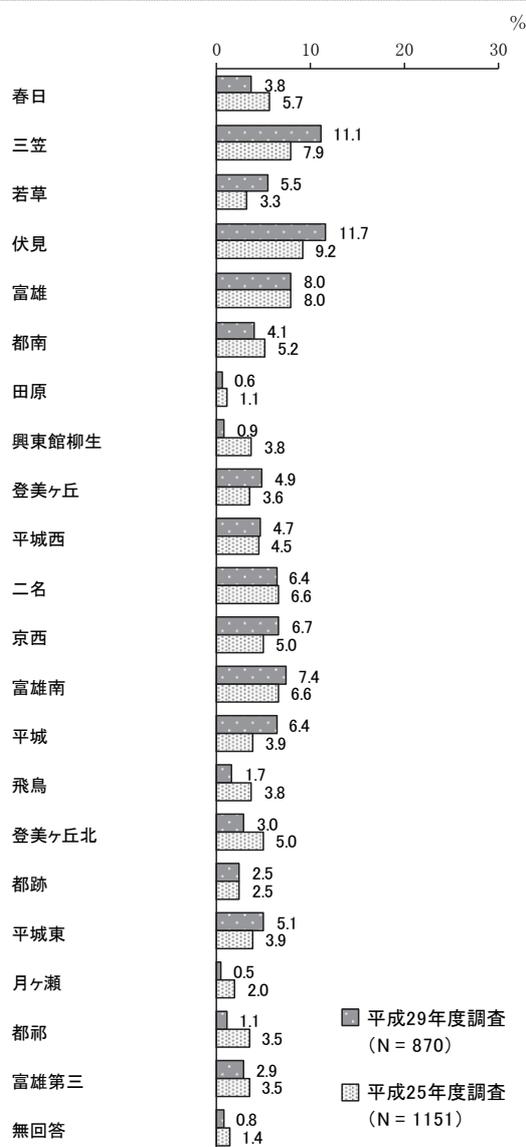
### (1) お住いの地域について

問1 お住まいの中学校区はどこですか（1 つに○）

中学校区がわからない場合は、お住まいの町名を回答欄の最後にある（ ）内にご記入ください。

「伏見」の割合が 11.7%と最も高く、次いで「三笠」の割合が 11.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



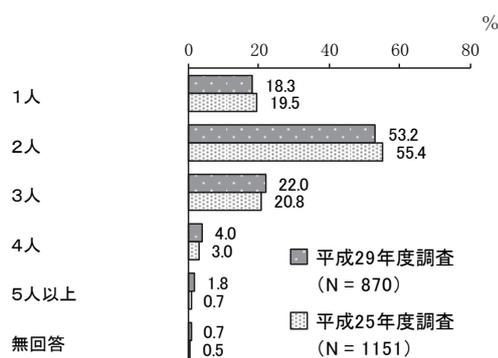
## (2) 子どもと家族の状況について

### 問2 ご家族の状況についてお答えください。

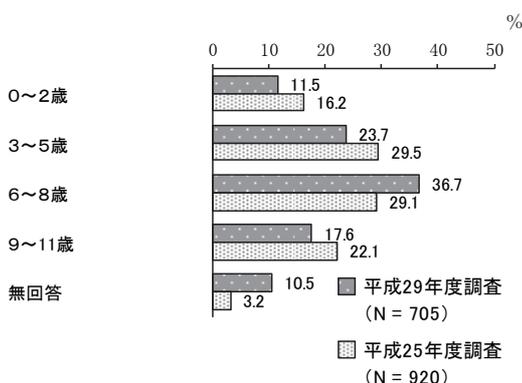
子どもの人数については、「2人」の割合が53.2%と最も高く、次いで「3人」の割合が22.0%、「1人」の割合が18.3%となっています。平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

一番年下のお子さんの年齢については、「6～8歳」の割合が36.7%と最も高く、次いで「3～5歳」の割合が23.7%、「9～11歳」の割合が17.6%となっています。平成25年度調査と比較すると、「3～5歳」が減少し、「6～8歳」が増加しています。

お子さんの数



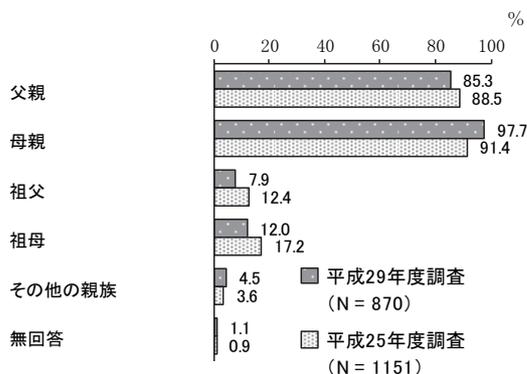
一番年下のお子さんの年齢



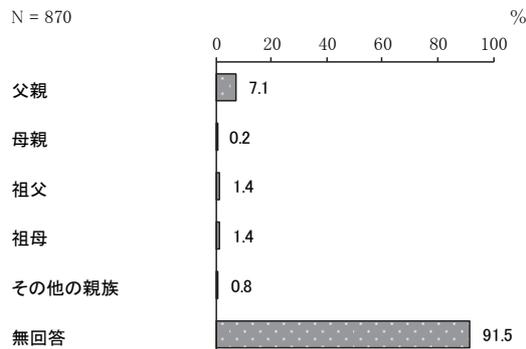
同居の家族については、「母親」の割合が97.7%と最も高く、次いで「父親」の割合が85.3%、「祖母」の割合が12.0%となっています。②単身赴任等で別居については、「父親」が7.1%、「母親」が0.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、同居の家族については「祖母」が減少し、「母親」が増加しています。

①同居

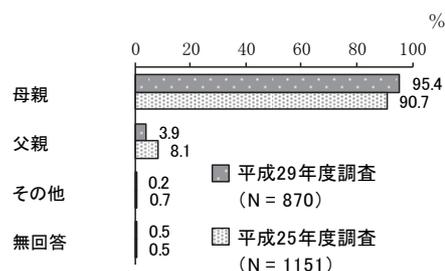


②単身赴任等で別居



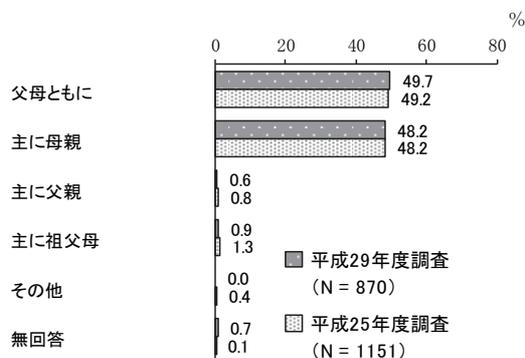
問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が95.4%、「父親」の割合が3.9%となっています。



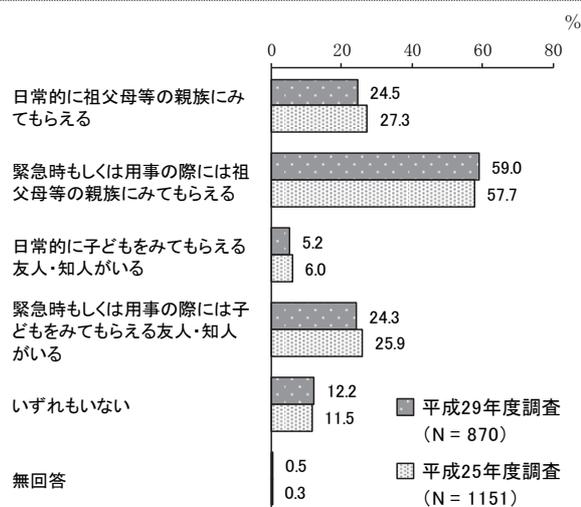
問4 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父母ともに」の割合が49.7%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が48.2%となっています。



**問5 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。**

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が59.0%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が24.5%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が24.3%となっています。

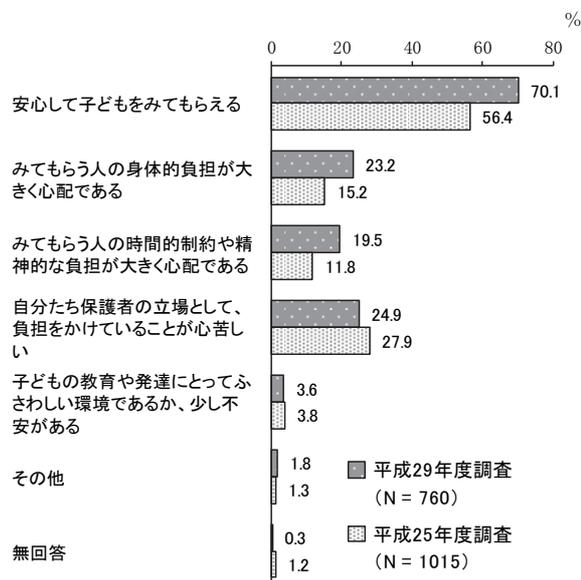


**問5-1 問5で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」とお答えの方にはうかがいます。**

祖父母等の親族や知人にあて名のお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください

「安心して子どもをみてもらえる」の割合が70.1%と最も高く、次いで「自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が24.9%、「みてもらう人の身体的負担が大きく心配である」の割合が23.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「安心して子どもをみてもらえる」「みてもらう人の身体的負担が大きく心配である」「みてもらう人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が増加しています。

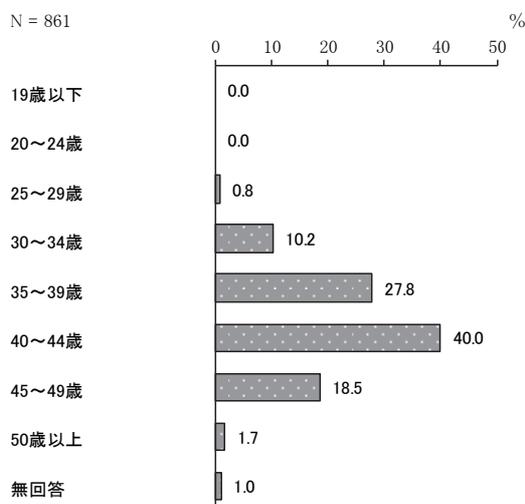


問6 あて名のお子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。①～⑩の項目ごとに当てはまる番号1つに○をつけてください。

<母 親>

①年齢（平成29年4月1日時点）

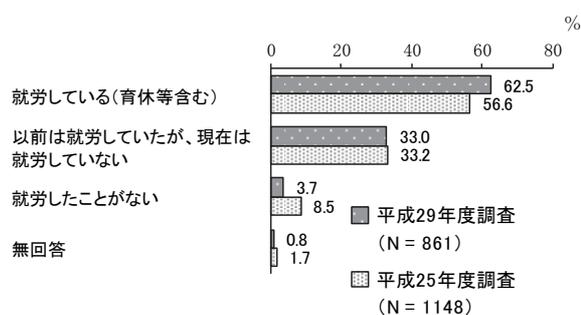
「40～44歳」の割合が40.0%と最も高く、次いで「35～39歳」の割合が27.8%、「45～49歳」の割合が18.5%となっています。



②就労の有無

「就労している（育休等含む）」の割合が62.5%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が33.0%となっています。

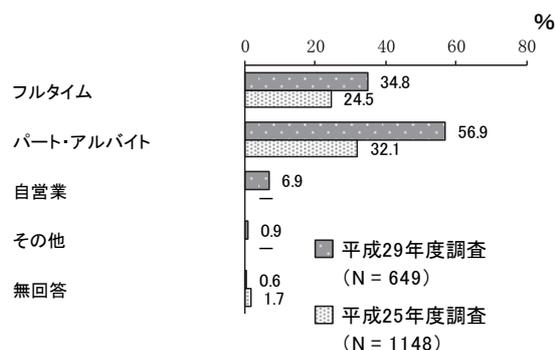
平成25年度調査と比較すると、「就労している（育休等含む）」が増加しています。



③就労形態（就労している人のみ）

「パート・アルバイト」の割合が56.9%と最も高く、次いで「フルタイム」の割合が34.8%となっています。

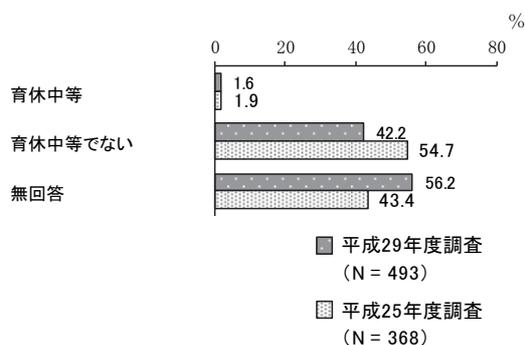
平成25年度調査と比較すると、「フルタイム」「パート・アルバイト」が増加しています。



育休中か

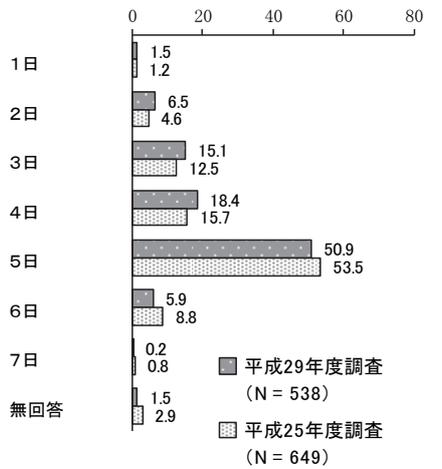
「育休中等でない」の割合が42.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「育休中等でない」が減少しています。

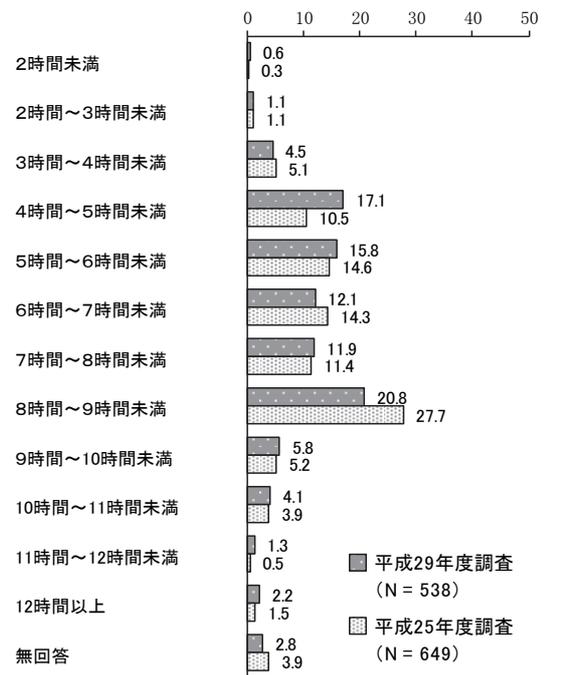


④1週間の就労日数と1日当たりの残業時間を含む就労時間（就労している人のみ）

就労日数

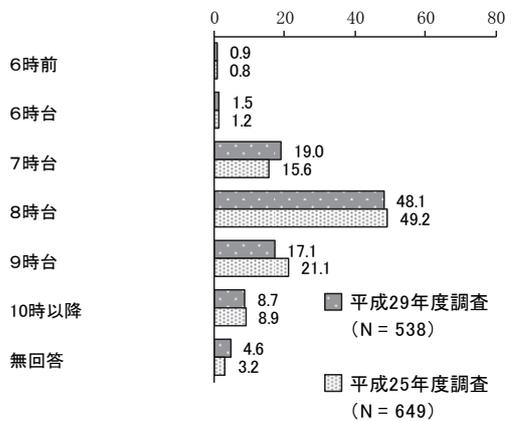


就労時間

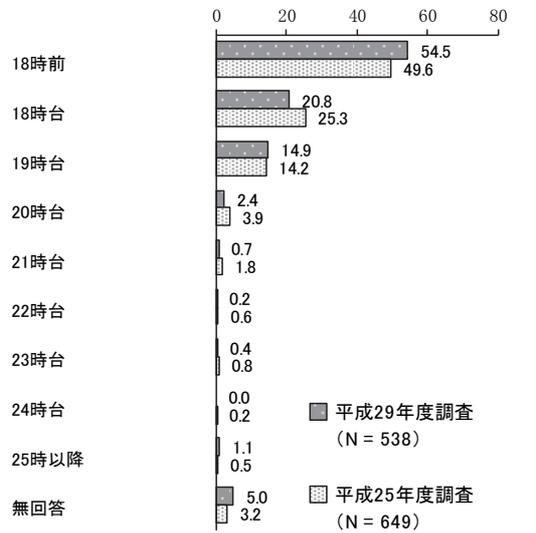


⑤家を出る時間と帰宅時間（就労している人のみ）

家を出る時間



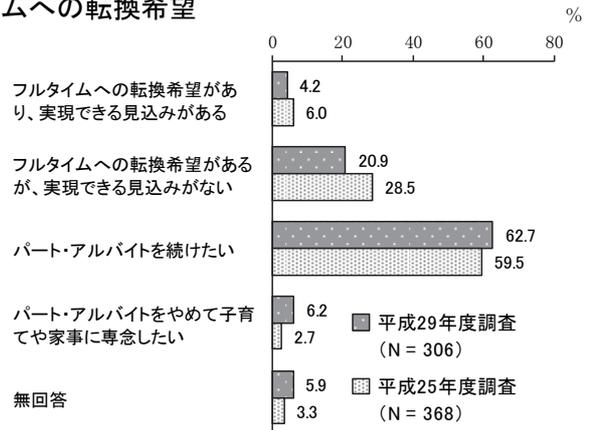
帰宅時間



⑥ (パート・アルバイトで就労している人) フルタイムへの転換希望

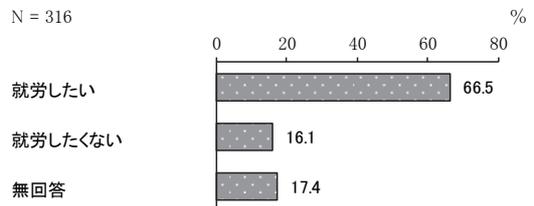
「パート・アルバイトを続けたい」の割合が62.7%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みがない」の割合が20.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みがない」が減少しています。



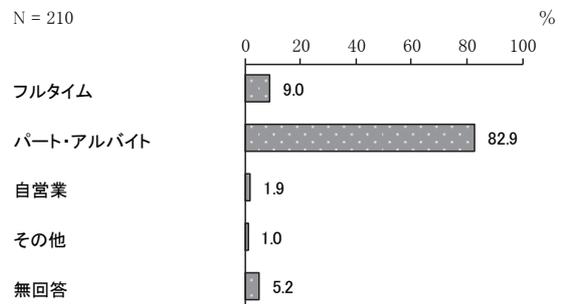
⑦ (就労していない人) の有無

「就労したい」の割合が66.5%、「就労したくない」の割合が16.1%となっています。



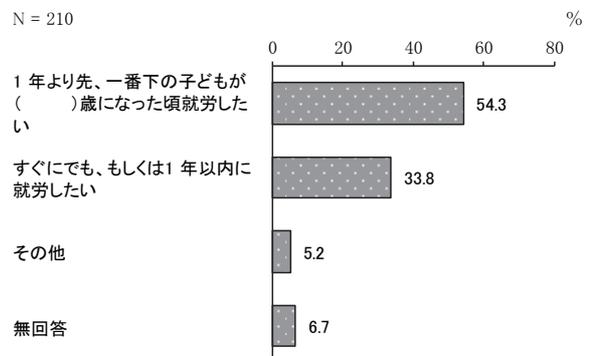
⑧ 希望の就労形態 (就労したい人のみ)

「パート・アルバイト」の割合が82.9%と最も高くなっています。



⑨ 希望の就労時期 (就労したい人のみ)

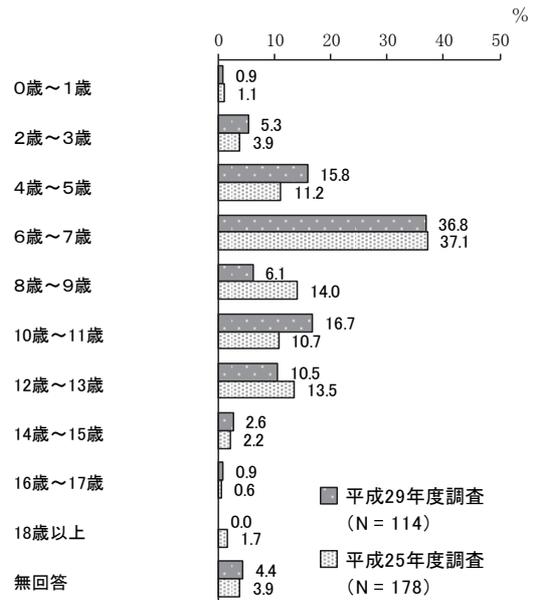
「1年より先、一番下の子どもが( )歳になった頃就労したい」の割合が54.3%、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が33.8%となっています。



一番下の子どもが（ ）歳になった頃就労したい

「6歳～7歳」の割合が36.8%と最も高く、次いで「10歳～11歳」の割合が16.7%、「4歳～5歳」の割合が15.8%となっています。

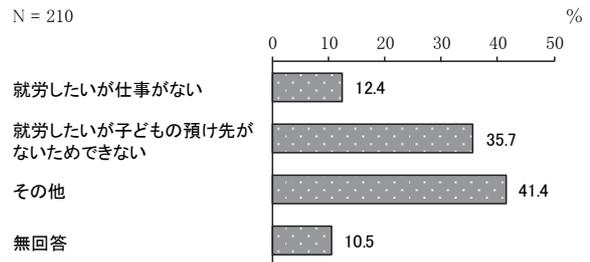
平成25年度調査と比較すると、「8歳～9歳」が減少し、「10歳～11歳」が増加しています。



⑩現在就労していない理由（就労していない人のみ）

「就労したいが仕事がない」の割合が12.4%、「就労したいが子どもの預け先がないためできない」の割合が35.7%となっています。

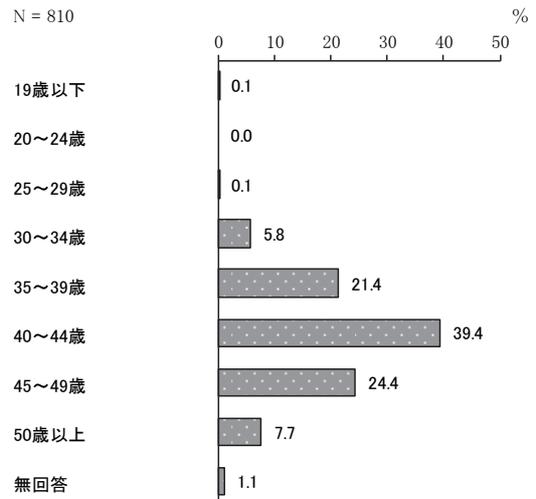
N = 210



## <父 親>

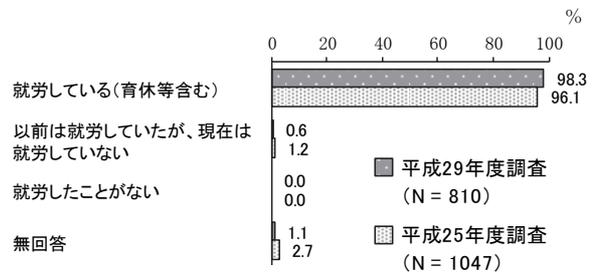
### ①年齢（平成 29 年 4 月 1 日時点）

「40～44 歳」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「45～49 歳」の割合が 24.4%、「35～39 歳」の割合が 21.4%となっています。



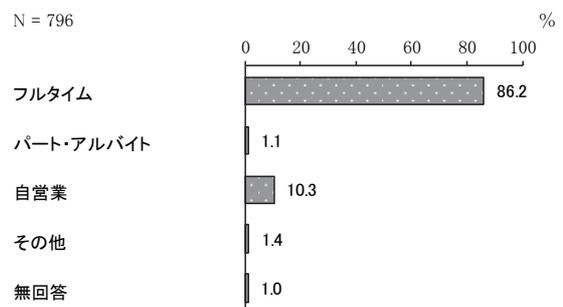
### ②就労の有無

「就労している（育休等含む）」の割合が 98.3%と最も高くなっています。



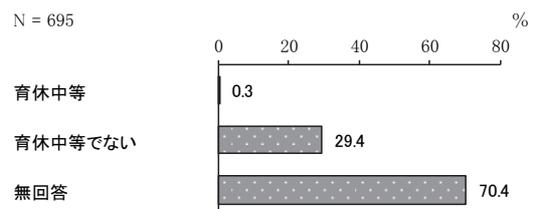
### ③就労形態（就労している人のみ）

「フルタイム」の割合が 86.2%と最も高く、次いで「自営業」の割合が 10.3%となっています。



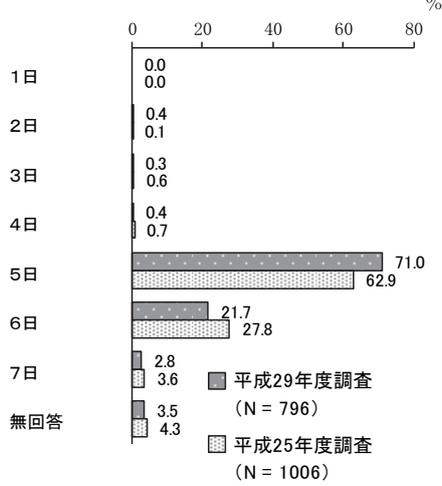
### 育休中か

「育休中等」の割合が 0.3%、「育休中等でない」の割合が 29.4%となっています。

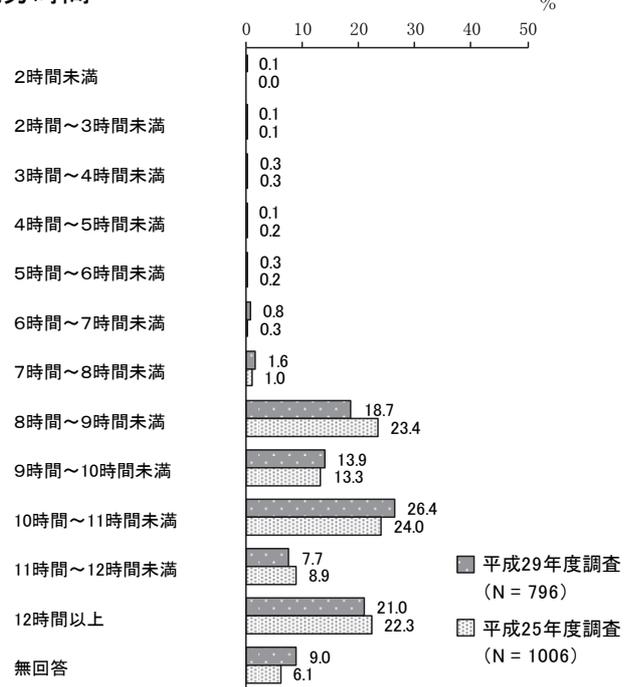


④ 1週間の就労日数と1日当たりの残業時間を含む就労時間（もっとも多いパターン）

就労日数

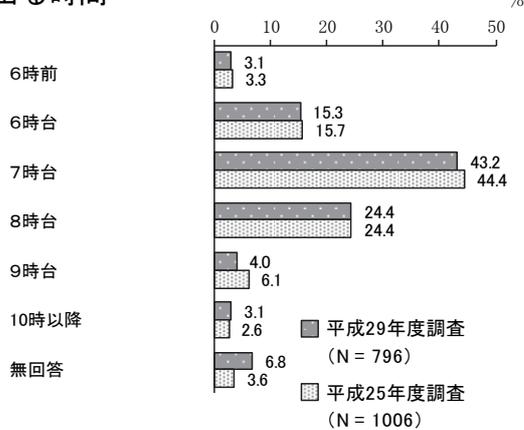


就労時間

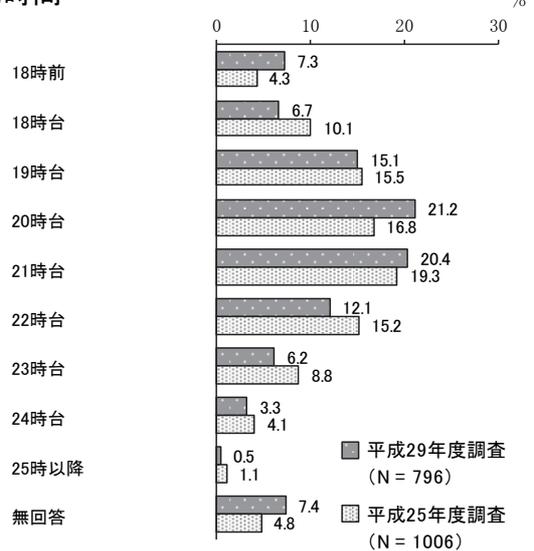


⑤ 家を出る時間と帰宅時間

家を出る時間



帰宅時間



⑥（パート・アルバイトで就労している人）フルタイムへの転換希望

「フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みがない」、「パート・アルバイトを続けたい」が3件、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が2件となっています。

⑦（就労していない人）就労希望の有無

「就労したい」が3件、「就労したくない」が2件となっています。

⑧希望の就労形態（就労したい人のみ）

「フルタイム」、「パート・アルバイト」、「自営業」が1件となっています。

⑨希望の就労時期（就労したい人のみ）

有効回答はありません。

⑩現在就労していない理由（就労していない人のみ）

「就労したいが仕事がない」が1件となっています。

### (3) 放課後の過ごし方について

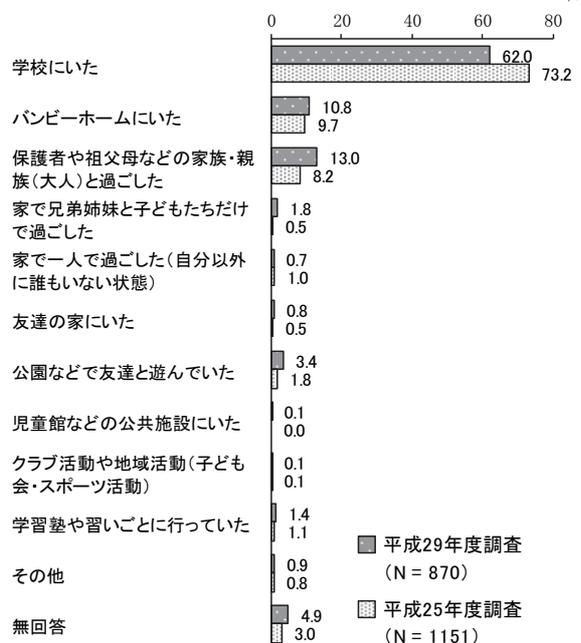
問7 平日の放課後のお子さんの過ごし方で一番多いものについて、時間帯ごとにあてはまるものを下の枠内の選択肢の中からそれぞれ1つ選んで表に番号を記入してください。

16～18時については、「学習塾や習いごとに行っていた」の割合が29.1%と最も高く、次いで「保護者や祖父母などの家族・親族（大人）と過ごした」の割合が23.4%となっています。

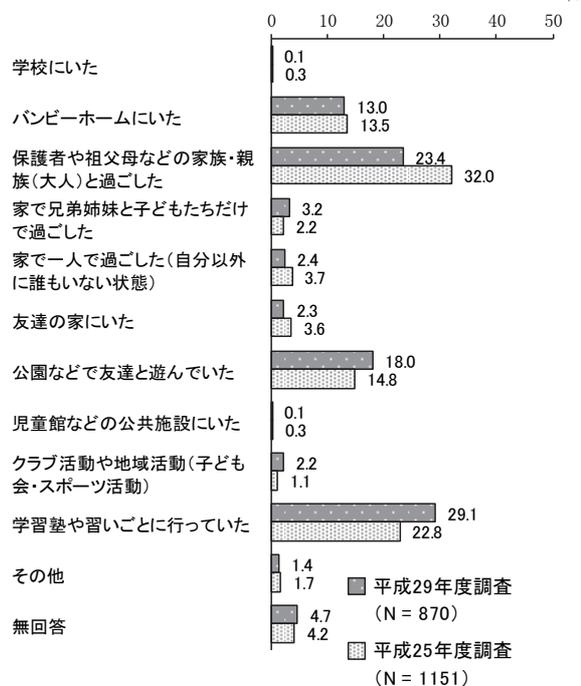
18時以降については、「保護者や祖父母などの家族・親族（大人）と過ごした」の割合が突出して高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、16～18時、18～20時では「保護者や祖父母などの家族・親族（大人）と過ごした」が減少しています。また、16～18時で「学習塾や習いごとに行っていた」が増加しています。

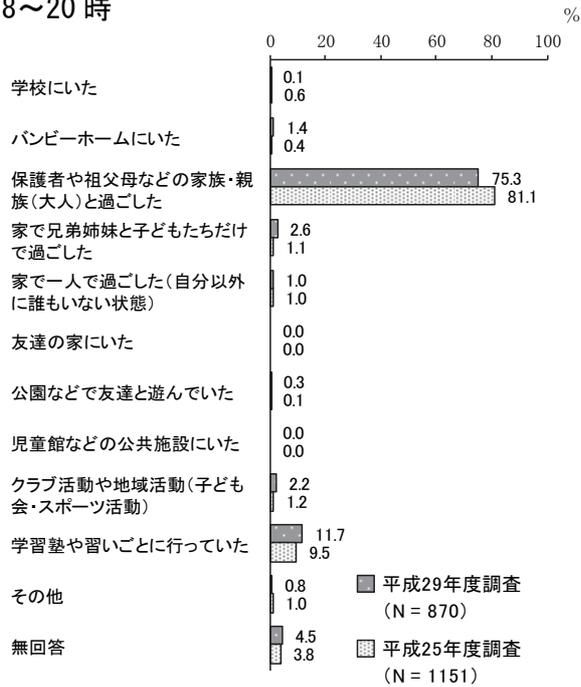
#### 14～16時



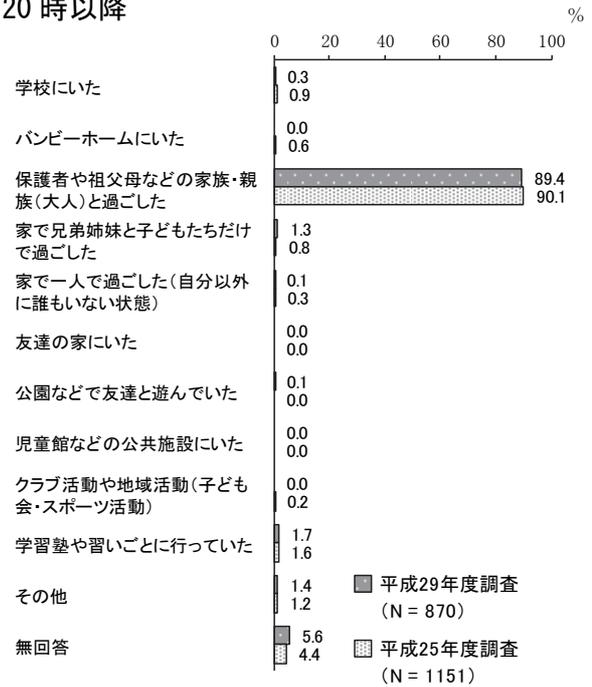
#### 16～18時



### 18~20時



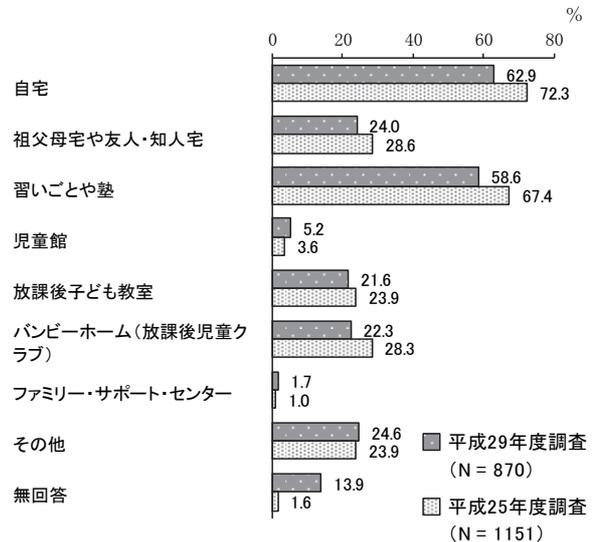
### 20時以降



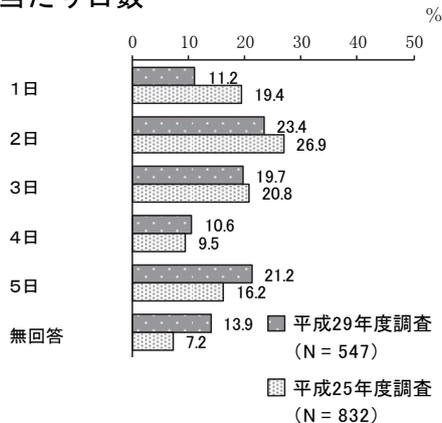
問8 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）の間、又は高学年（4～6年生）の間、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。すべてに○をつけてください。また、それぞれ希望する1週間あたりの日数も記入してください。あて名のお子さんが設問の学年にあてはまらない場合も「希望」としてご記入ください。

①お子さんが低学年のあいだの希望

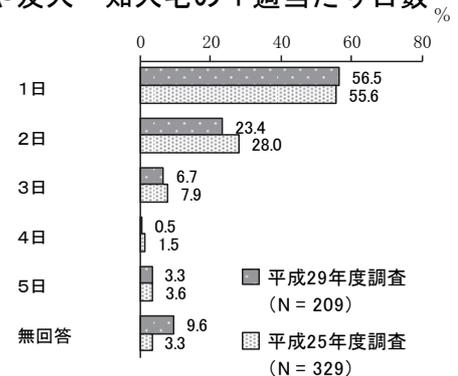
「自宅」の割合が62.9%と最も高く、次いで「習いごとや塾」の割合が58.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が24.0%となっています。



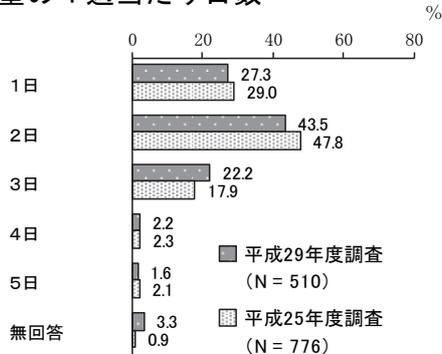
自宅の1週当たり日数



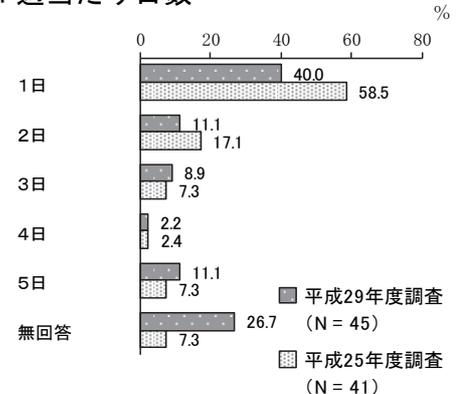
祖父母宅や友人・知人宅の1週当たり日数



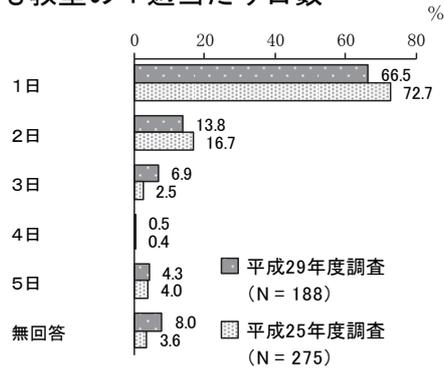
習いごとや塾の1週当たり日数



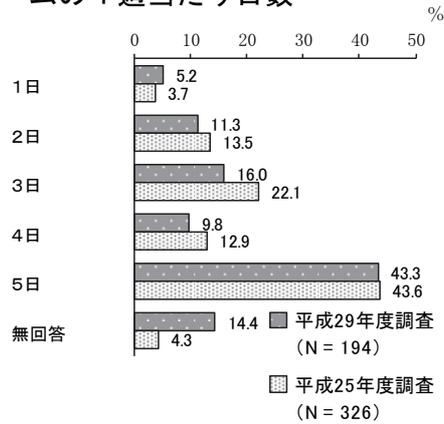
児童館の1週当たり日数



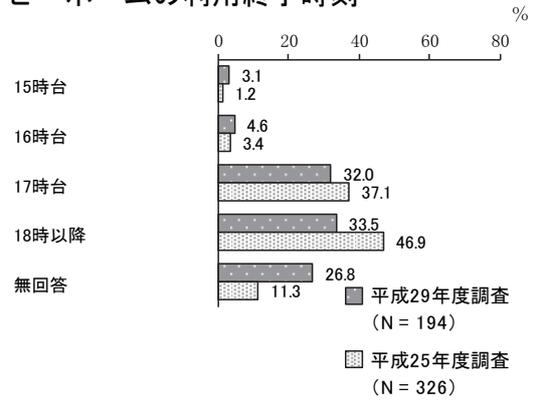
### 放課後子ども教室の1週当たり日数



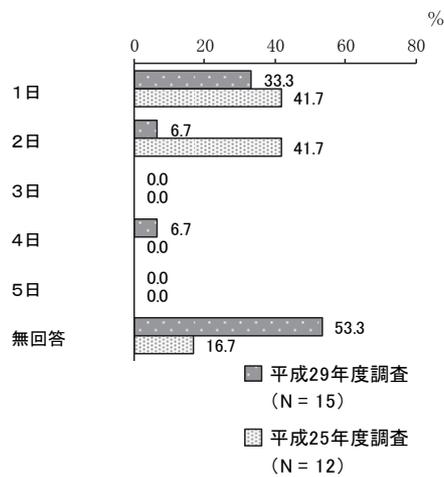
### バンビーホームの1週当たり日数



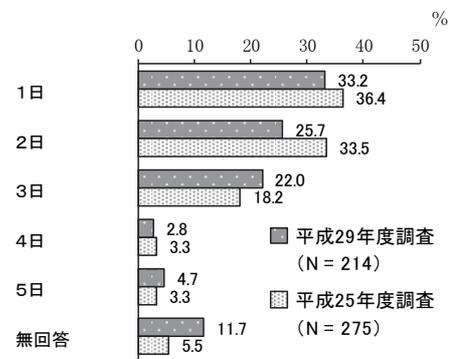
### バンビーホームの利用終了時刻



### ファミリー・サポート・センターの1週当たり日数

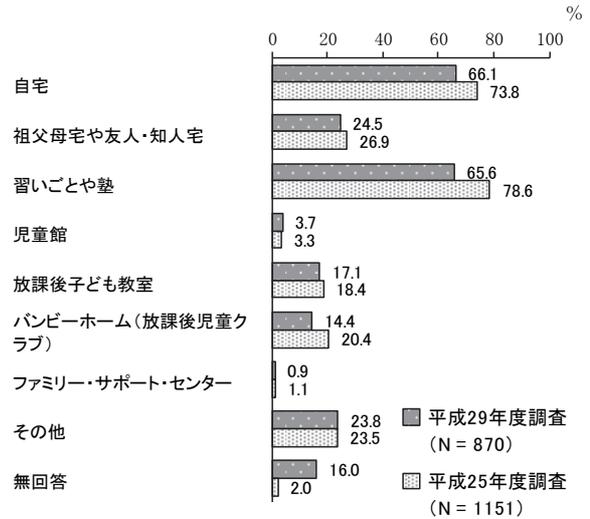


### その他の1週あたり日数

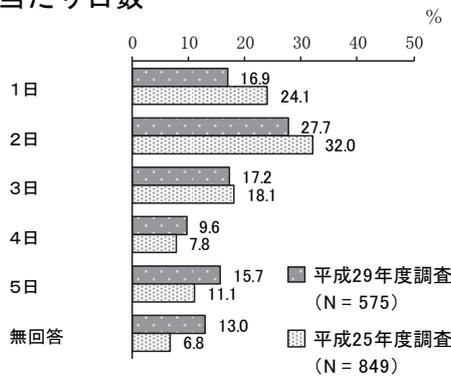


## ②お子さんが高学年のあいだの希望

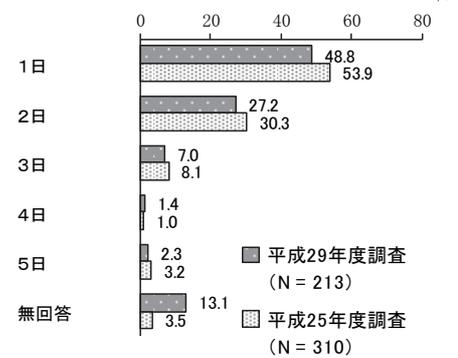
「自宅」の割合が66.1%と最も高く、次いで「習いごとや塾」の割合が65.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が24.5%となっています。



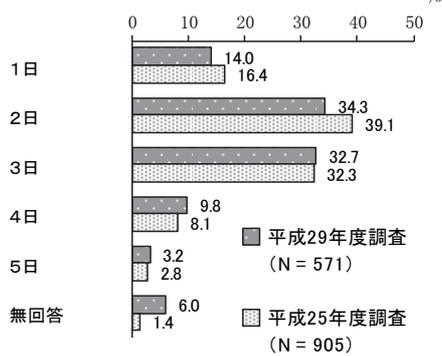
### 自宅の1週当たり日数



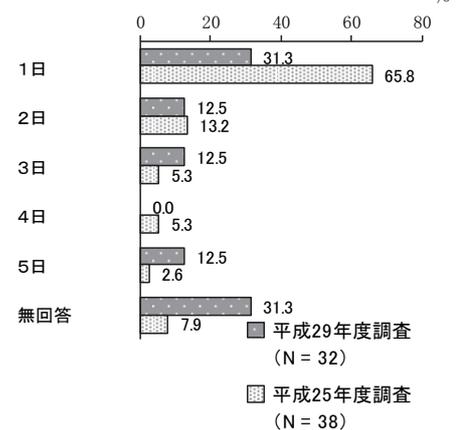
### 祖父母宅や友人・知人宅の1週当たり日数



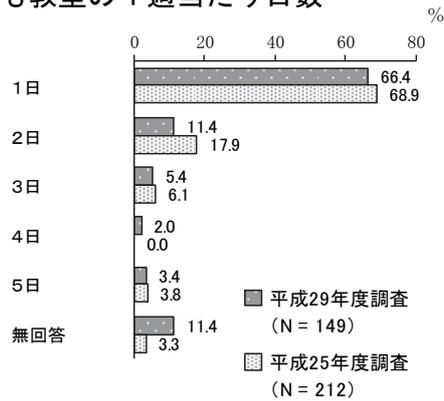
### 習いごとや塾の1週当たり日数



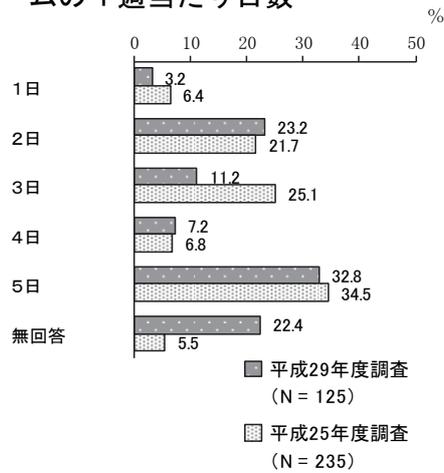
### 児童館の1週当たり日数



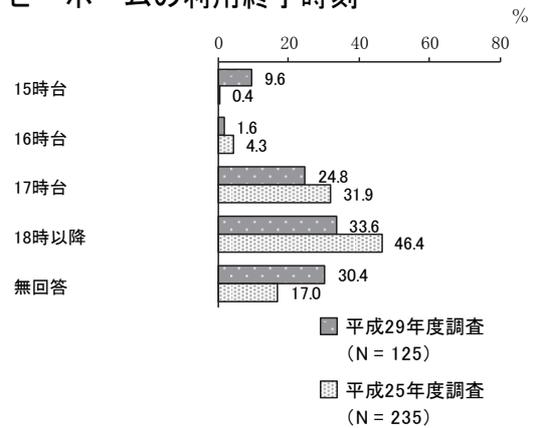
### 放課後子ども教室の1週あたり日数



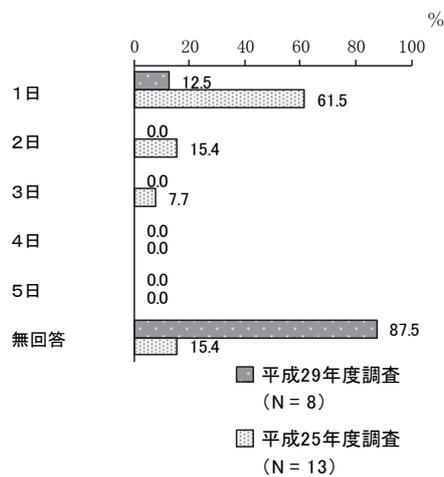
### バンビーホームの1週あたり日数



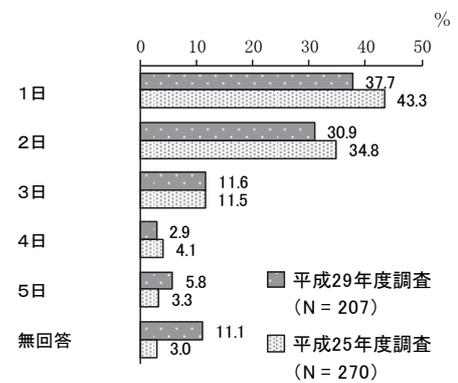
### バンビーホームの利用終了時刻



### ファミリー・サポート・センターの1週あたり日数



### その他の1週あたり日数



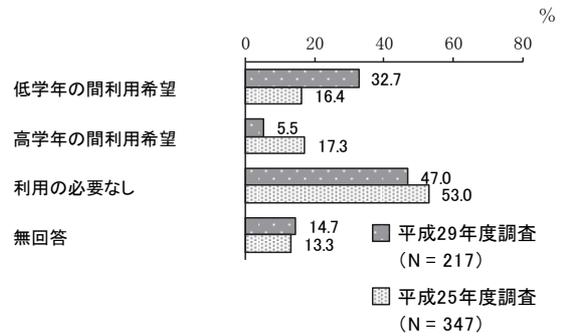
問9 問8で「6. バンビーホーム」とお答えの方にかがいます。

あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、また夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に保護者が昼間に家庭にいない場合に、バンビーホームの利用希望はありますか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を（ ）内に（例）9時から18時のように24時間制でご記入ください。

<土 曜>

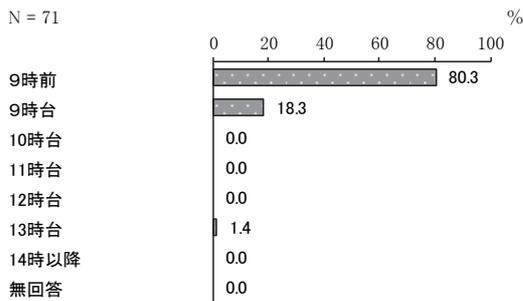
「利用の必要なし」の割合が47.0%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、「高学年の間利用希望」「利用の必要なし」が減少し、「低学年の間利用希望」が増加しています。

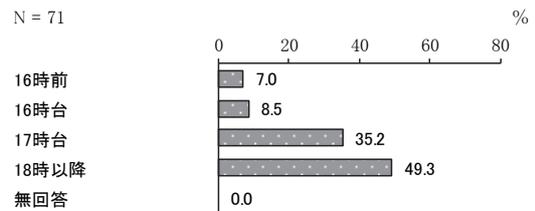


土曜の利用したい時間帯

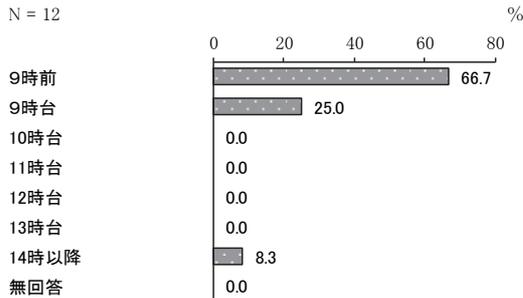
低学年の間 希望利用開始時間



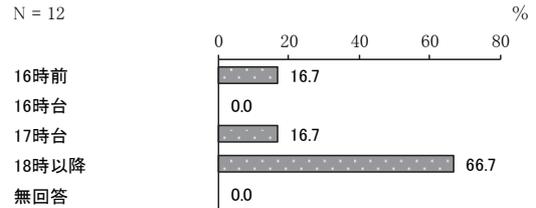
希望利用終了時間



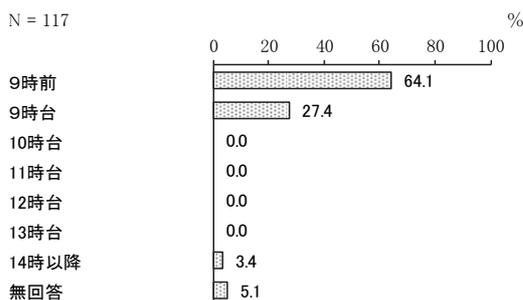
高学年の間 希望利用開始時間



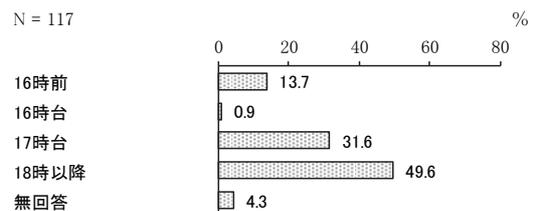
希望利用終了時間



平成25年度調査結果 希望利用開始時間



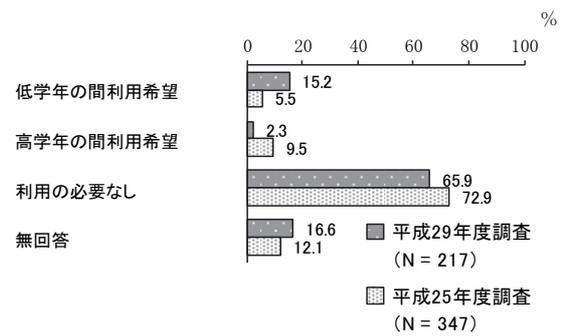
希望利用終了時間



## <日曜・祝日>

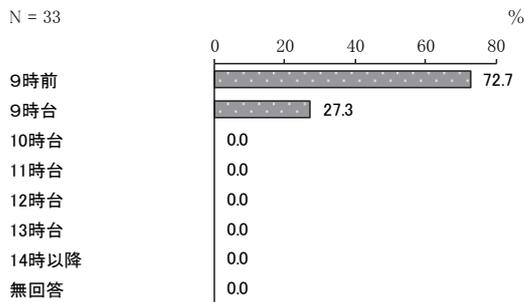
「利用の必要なし」の割合が65.9%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、「高学年の間利用希望」「利用の必要なし」が減少し、「低学年の間利用希望」が増加しています。

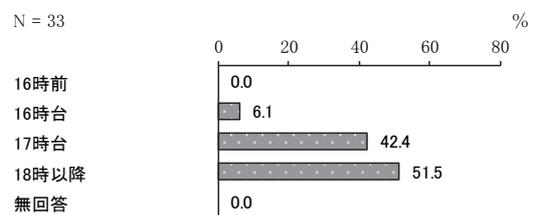


## 日曜・祝日の利用したい時間帯

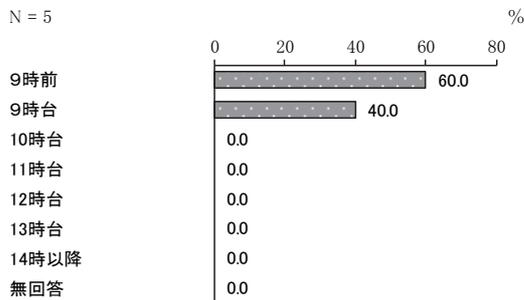
### 低学年の間 希望利用開始時間



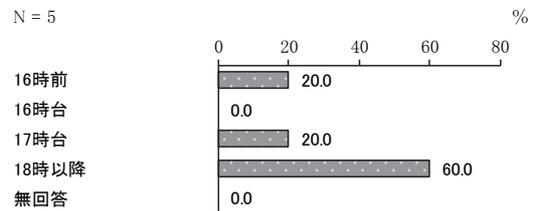
### 希望利用終了時間



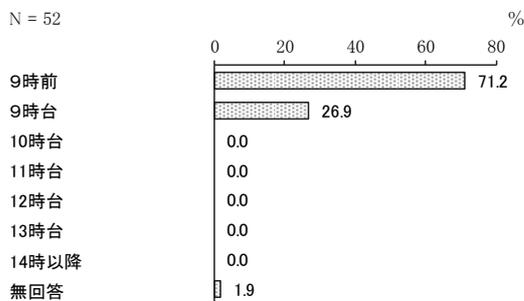
### 高学年の間 希望利用開始時間



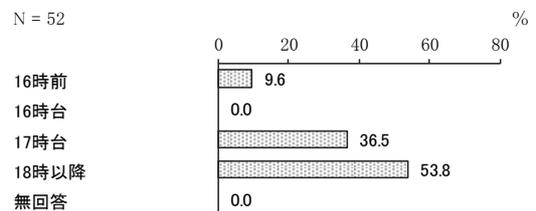
### 希望利用終了時間



## 平成25年度調査結果 希望利用開始時間



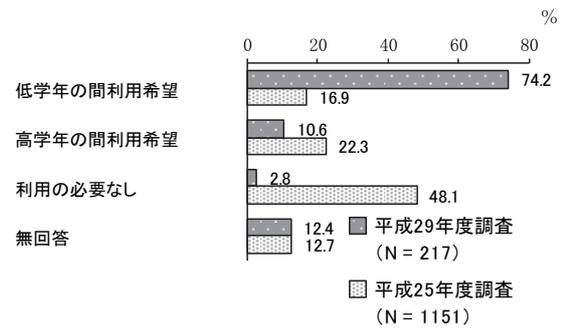
## 希望利用終了時間



## <長期休暇中>

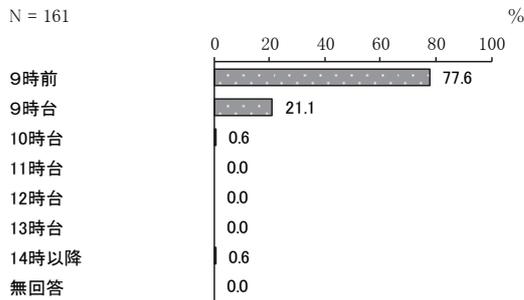
「低学年の間利用希望」の割合が74.2%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、「高学年の間利用希望」「利用の必要なし」が減少し、「低学年の間利用希望」が増加しています。

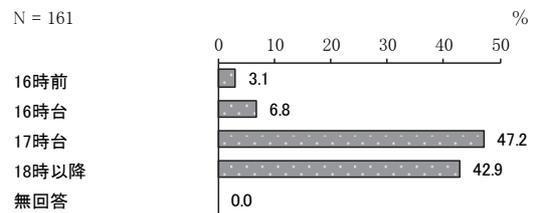


## 長期休暇中の利用したい時間帯

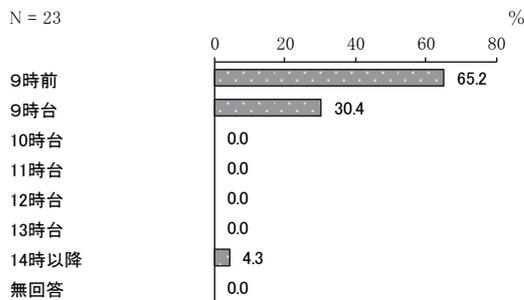
### 低学年の間 希望利用開始時間



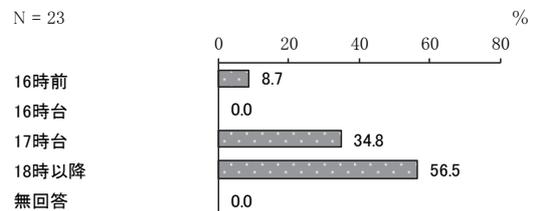
### 希望利用終了時間



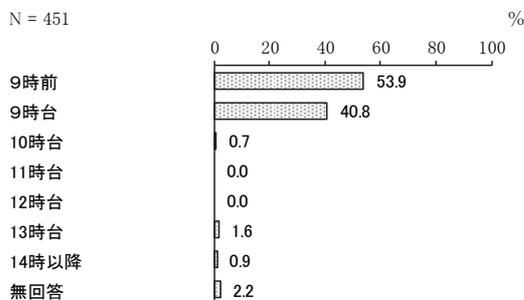
### 高学年の間 希望利用開始時間



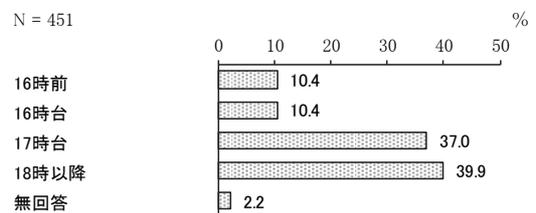
### 希望利用終了時間



### 平成25年度調査結果 希望利用開始時間



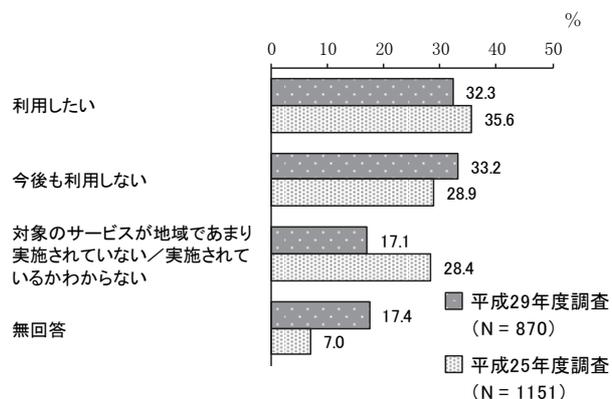
### 希望利用終了時間



問10 各小学校区ごとにバンビーホーム（放課後児童クラブ）と連携して『放課後子ども教室』を実施していますが、その利用希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は希望の日数を数字で記入してください。

「今後も利用しない」の割合が33.2%と最も高く、次いで「利用したい」の割合が32.3%、「対象のサービスが地域であまり実施されていない／実施されているかわからない」の割合が17.1%となっています。

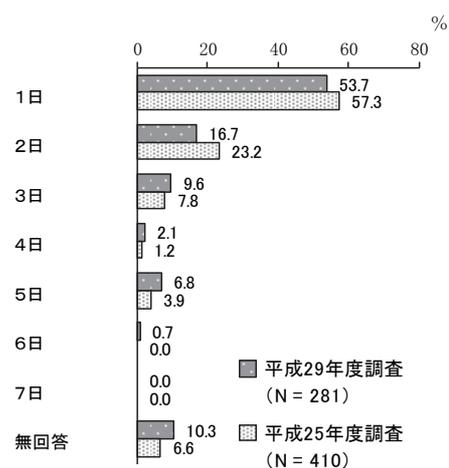
平成25年度調査と比較すると、「対象のサービスが地域であまり実施されていない／実施されているかわからない」が減少しています。



#### 利用したい1週当たり日数

「1日」の割合が53.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が16.7%となっています。

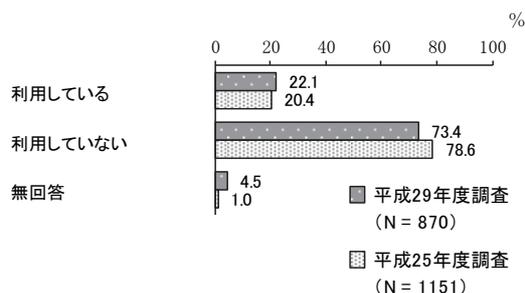
平成25年度調査と比較すると、「2日」が減少しています。



**問 11 あて名のお子さんについて、現在、バンビーホーム（放課後児童クラブ）を利用していますか。（あてはまる番号1つに○）**

「利用している」の割合が 22.1%、「利用していない」の割合が 73.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「利用していない」が減少しています。

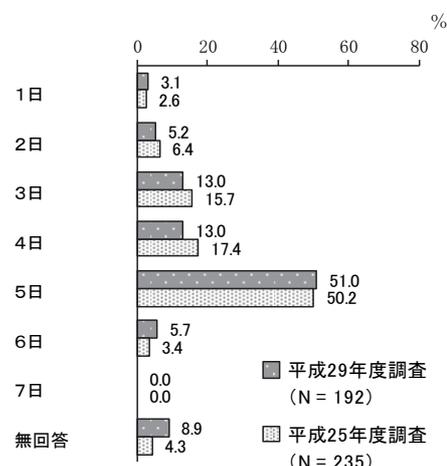


**問 11-1 問 11 で「1. 利用している」に○をつけた方は①利用日数を数字で記入し、②利用している理由についてもあてはまる番号1つに○をつけてください。  
問 11 で「2. 利用していない」に○をつけた方は③利用していない理由と④今後の利用についてあてはまる番号に○をつけてください。**

**①利用日数**

「5日」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「3日」、「4日」の割合が 13.0%となっています。

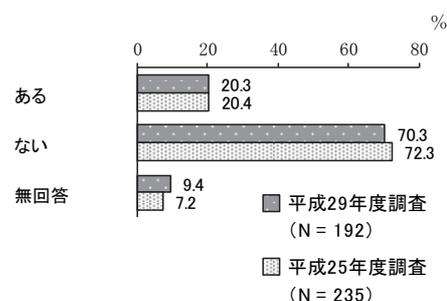
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



**土曜日の利用の有無**

「ある」の割合が 20.3%、「ない」の割合が 70.3%となっています。

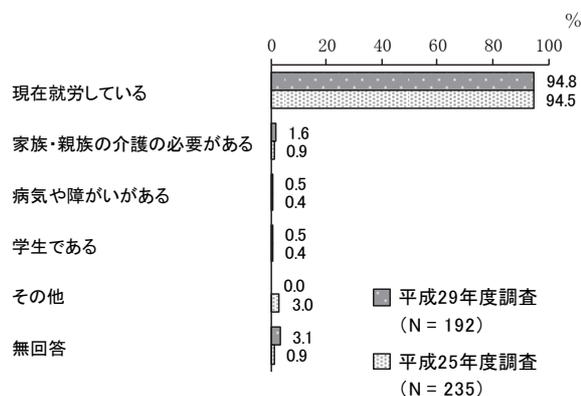
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



**②利用している理由**

「現在就労している」の割合が 94.8%と最も高くなっています。

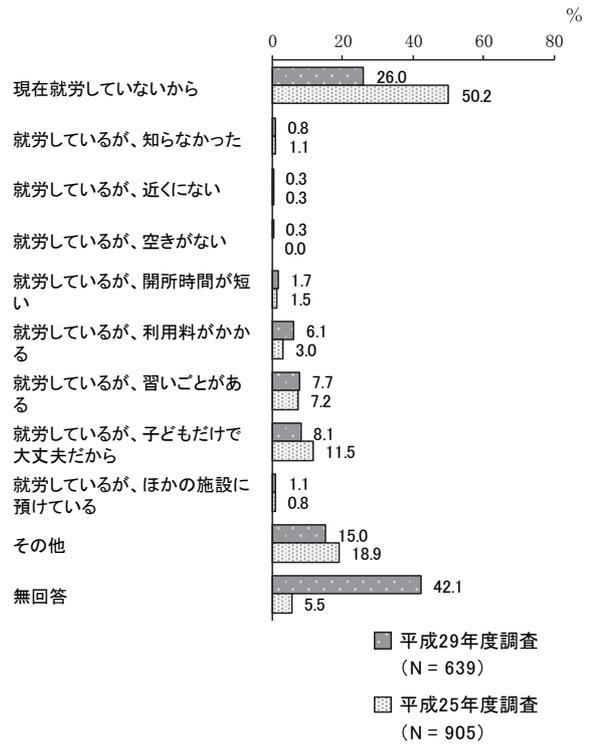
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### ③利用していない理由

「現在就労していないから」の割合が26.0%と最も高くなっています。

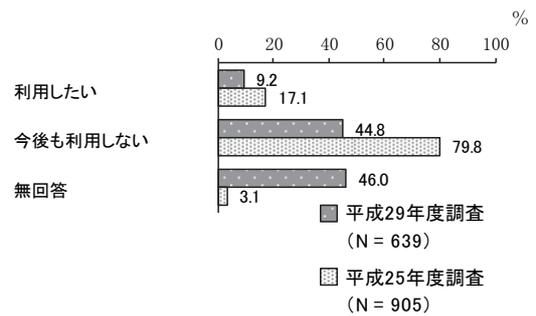
平成25年度調査と比較すると、「現在就労していないから」が減少しています。



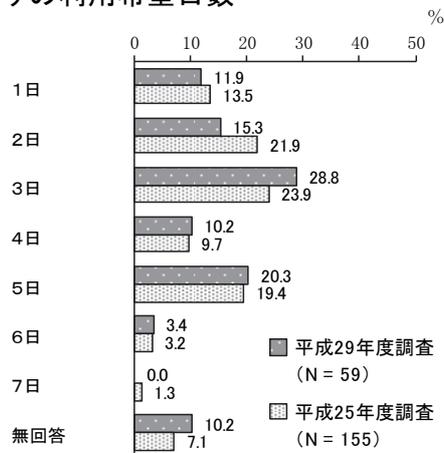
### ④今後の利用

「利用したい」の割合が9.2%、「今後も利用しない」の割合が44.8%となっています。

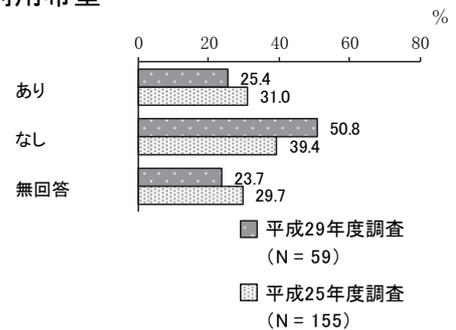
平成25年度調査と比較すると、「利用したい」「今後も利用しない」がともに減少しています。



### 1週あたりの利用希望日数



### 土・日の利用希望

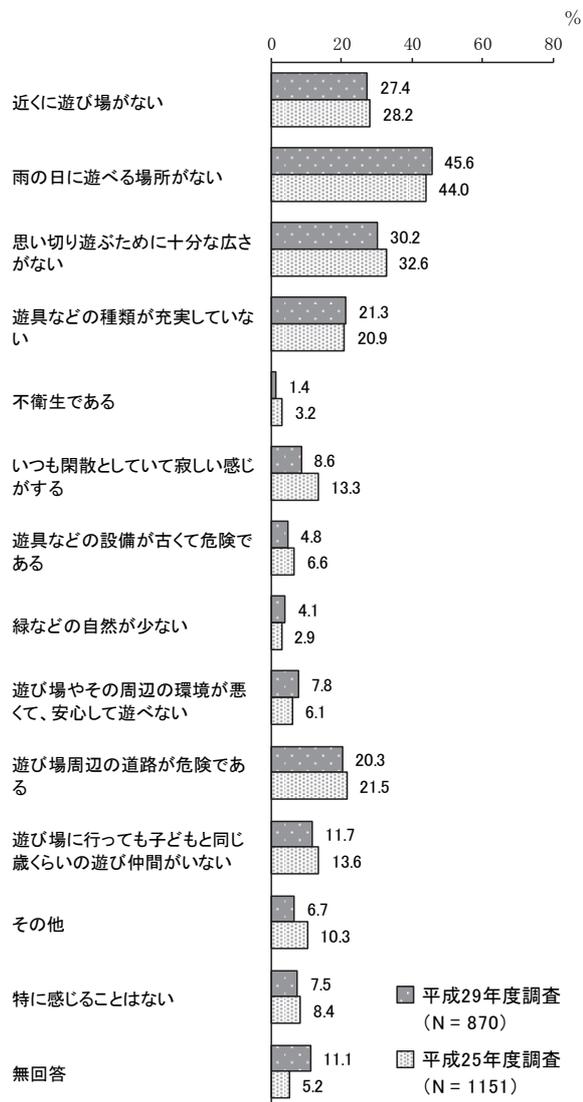


#### (4) 子どもの居場所について

問12 家の近くの子どもの遊び場について、日ごろ感じていることはありますか。下の  
中から3つまで選んで○をつけてください。

「雨の日に遊べる場所がない」の割合が45.6%と最も高く、次いで「思い切り遊ぶために十分な広さがない」の割合が30.2%、「近くに遊び場がない」の割合が27.4%となっています。

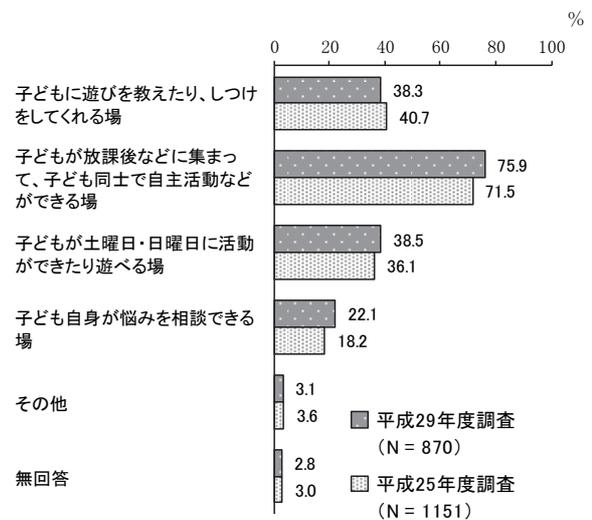
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問13 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことができる場ができた場合、どのようなものが望ましいとお考えですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「子どもが放課後などに集まって、子ども同士で自主活動などができる場」の割合が75.9%と最も高く、次いで「子どもが土曜日・日曜日に活動ができたり遊べる場」の割合が38.5%、「子どもに遊びを教えたり、しつけをしてくれる場」の割合が38.3%となっています。

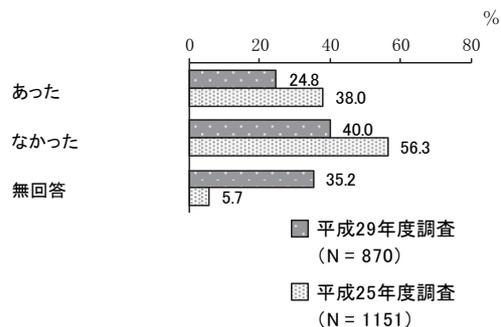
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



## (5) 病気の際の対応について

問 14 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

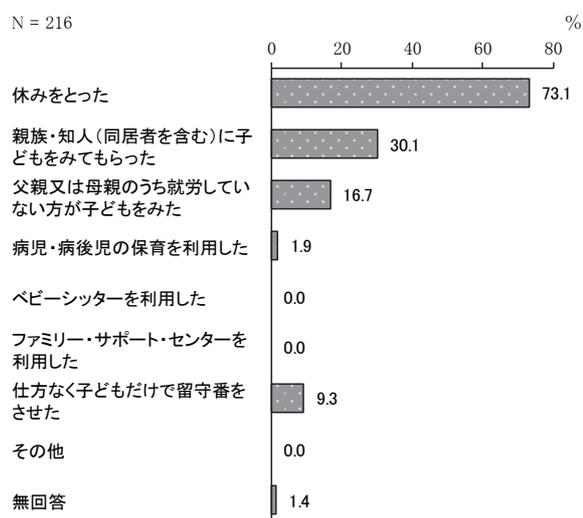
「あった」の割合が24.8%、「なかった」の割合が40.0%となっています。



問 14-1 問 14 で「1. あった」とお答えの方は、その際の対応としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も ( ) 内に数字でご記入ください。

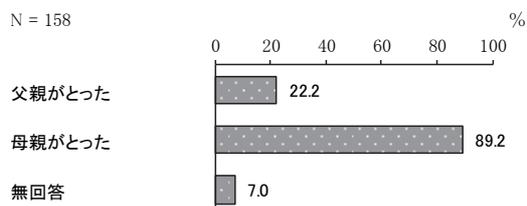
### 1年間の対応

「休みをとった」の割合が73.1%と最も高く、次いで「親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった」の割合が30.1%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が16.7%となっています。

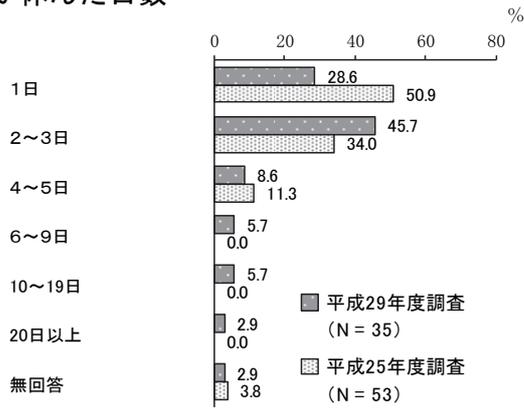


### 休みをとった人

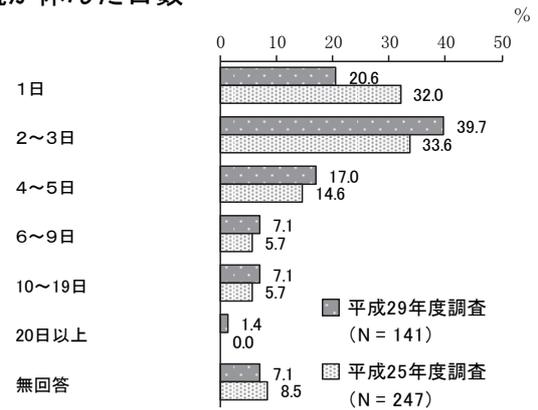
「父親がとった」の割合が22.2%、「母親がとった」の割合が89.2%となっています。



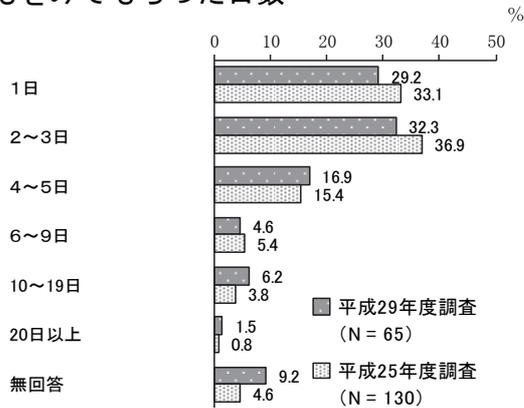
### 父親が休んだ日数



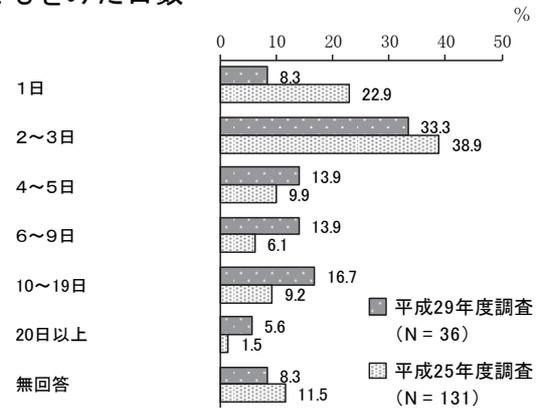
### 母親が休んだ日数



### (同居者を含む) 親族・知人に 子どもをみてもらった日数



### 父親又は母親のうち就労していない方が 子どもをみた日数



### 病児・病後児の保育を利用した日数

有効回答はありません。

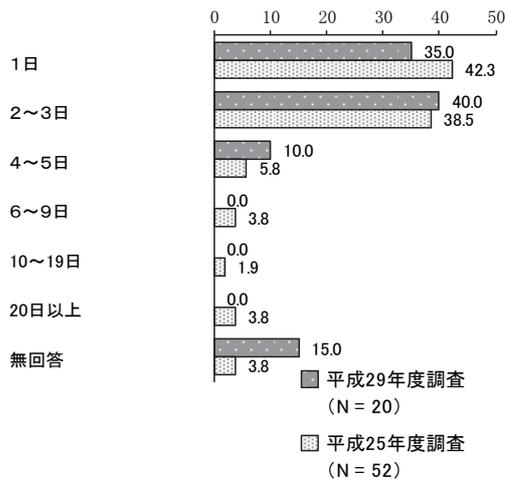
### ベビーシッターを利用した日数

有効回答はありません。

### ファミリー・サポート・センターを利用した日数

有効回答はありません。

### 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数



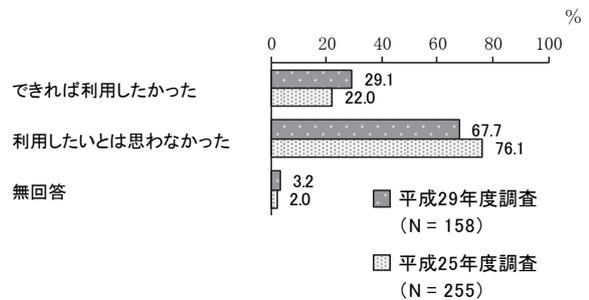
### その他の日数

有効回答はありません。

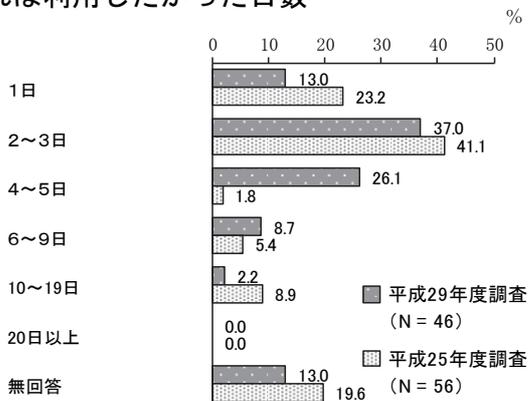
問 14-2 問 14-1で 「1. 休みをとった」とお答えの方に向かいます。  
 その際、「できれば病児・病後児を預かってくれる保育施設等を利用したい」と思いましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても( )内に数字でご記入ください。

「できれば利用したかった」の割合が29.1%、「利用したいとは思わなかった」の割合が67.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「利用したいとは思わなかった」が減少し、「できれば利用したかった」が増加しています。



### できれば利用したかった日数

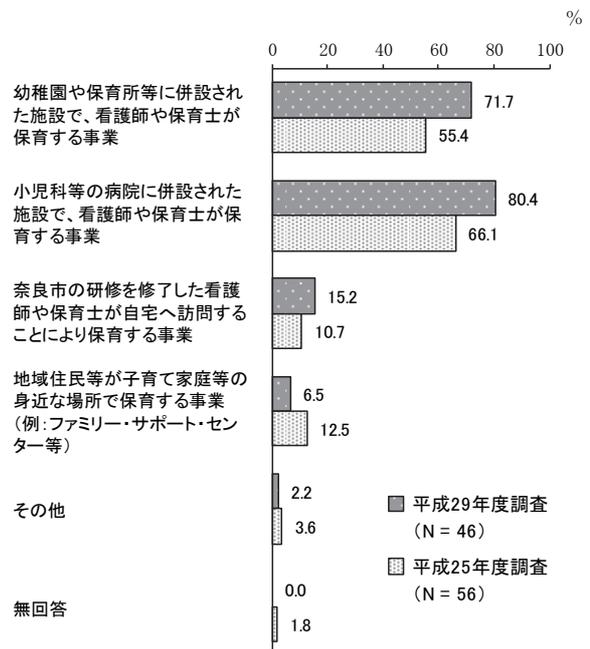


**問 14-3 問 14-2で 「1. できれば利用したかった」とお答えの方に向かっていきます。**

上記の目的であて名のお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「小児科等の病院に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業」の割合が80.4%と最も高く、次いで「幼稚園や保育所等に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業」の割合が71.7%、「奈良市の研修を修了した看護師や保育士が自宅へ訪問することにより保育する事業」の割合が15.2%となっています。

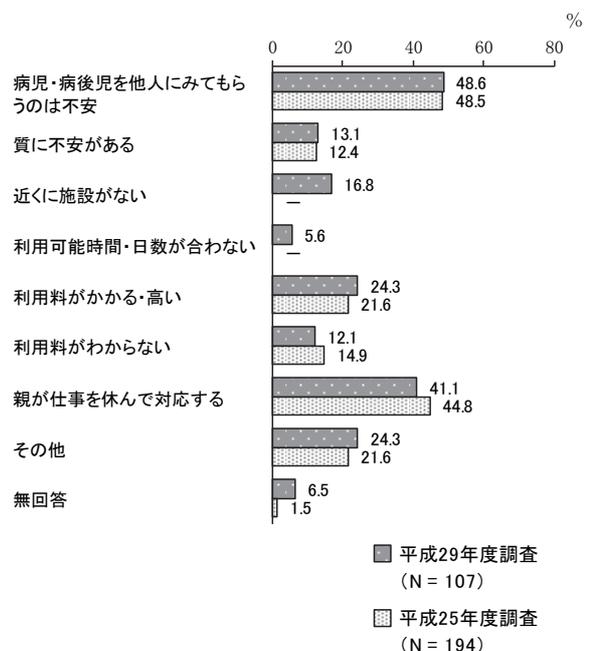
平成25年度調査と比較すると、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」が減少し、「幼稚園や保育所等に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業」「小児科等の病院に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業」が増加しています。



**問 14-4 問 14-2で 「2. 利用したいとは思わなかった」とお答えの方に向かっていきます。そう思う理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。**

「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」の割合が48.6%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」の割合が41.1%、「利用料がかかる・高い」の割合が24.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

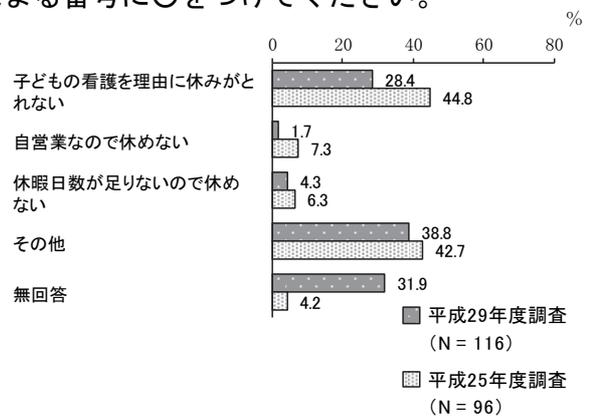


※平成25年度調査には「近くに施設がない」「利用可能時間・日数が合わない」の選択肢はありません。

問 14-5 問 14-1で「親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった」「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」「病児・病後児の保育を利用した」「ベビーシッターを利用した」「ファミリー・サポート・センターを利用した」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」「その他」（休みをとらず対応した）とお答えの方にはうかがいます。

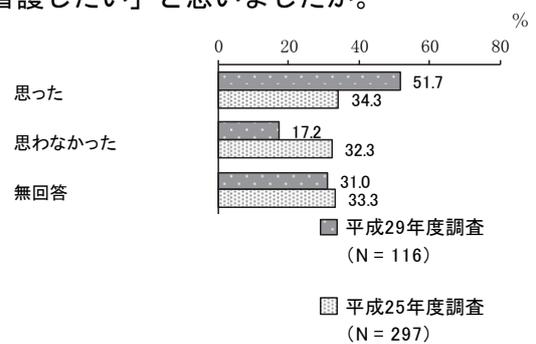
(1) 休みをとらなかった理由は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が28.4%と最も高くなっています。

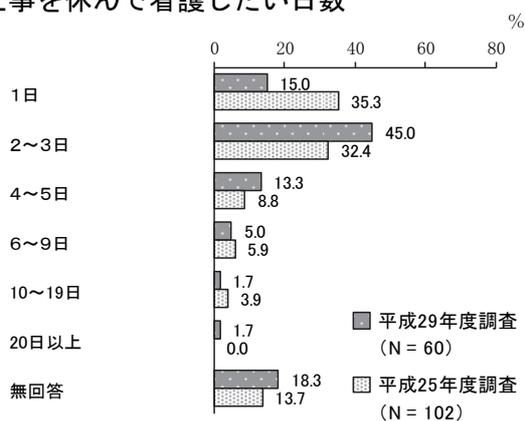


(2) その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思いましたか。

「思った」の割合が51.7%、「思わなかった」の割合が17.2%となっています。



### 仕事を休んで看護したい日数



## (6) 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 15 奈良市では、下記の事業や取組を行っていますが、この中で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

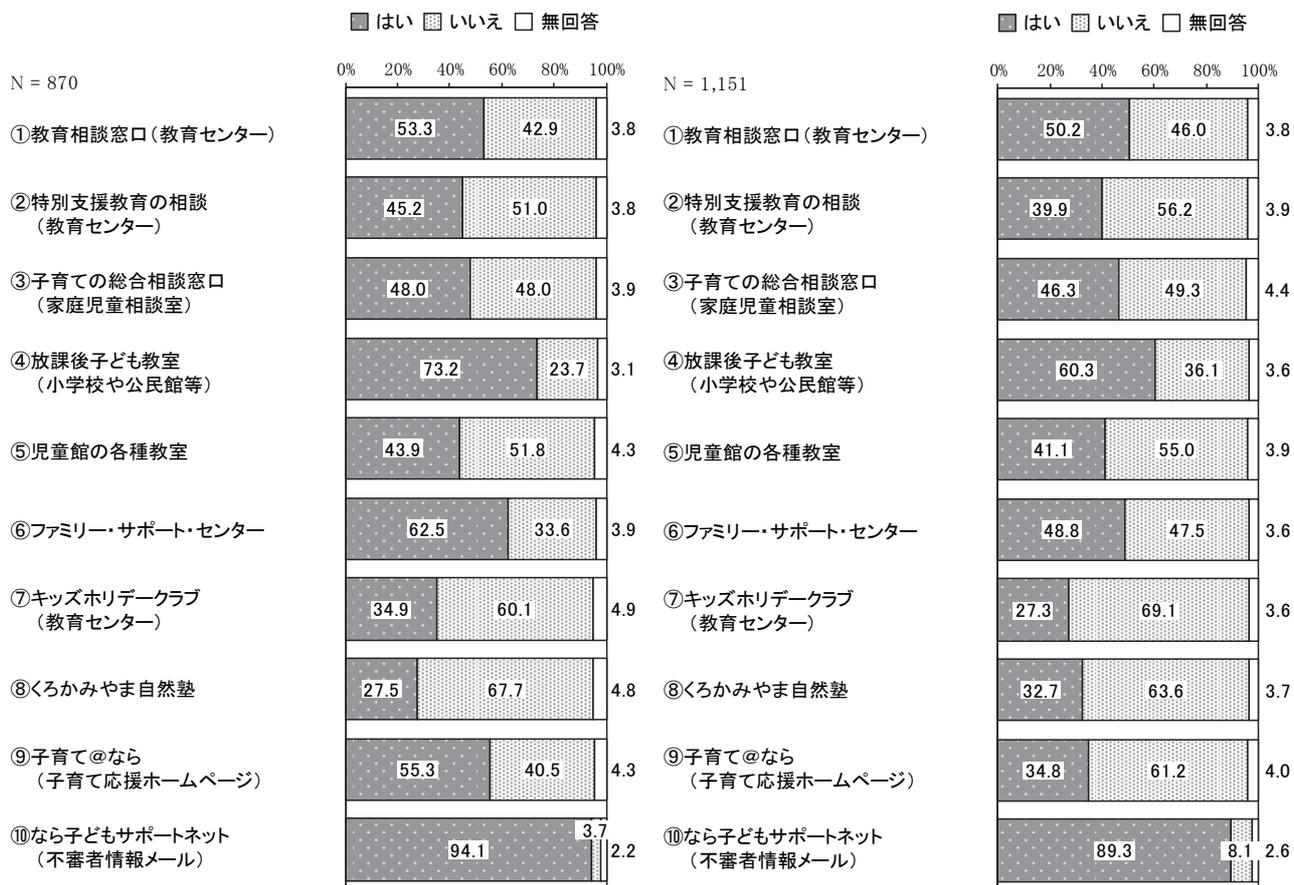
### <認知度>

⑩なら子どもサポートネット（不審者情報メール）で「はい」の割合が高く、9割台半ばとなっています。一方、⑦キッズホリデークラブ（教育センター）、⑧くろかみやま自然塾で「いいえ」の割合が高く、6割以上となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、②特別支援教育の相談（教育センター）、④放課後子ども教室（小学校や公民館等）、⑥ファミリー・サポート・センター、⑦キッズホリデークラブ（教育センター）、⑨子育て@なら（子育て応援ホームページ）で「はい」が増加しています。

### 平成 29 年度調査

### 平成 25 年度調査

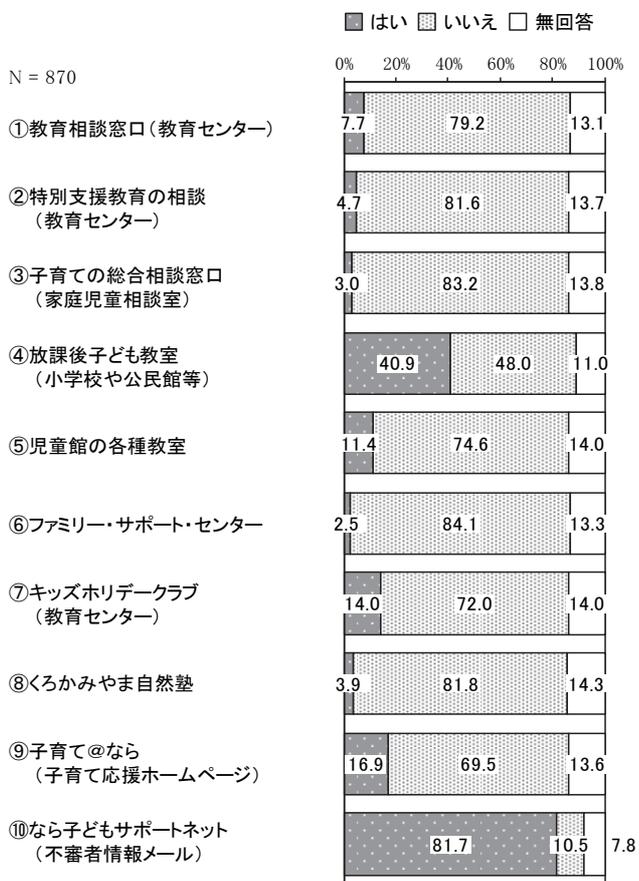


## <利用の有無>

⑩なら子どもサポートネット（不審者情報メール）で「はい」の割合が高く、約8割となっています。一方、②特別支援教育の相談（教育センター）、③子育ての総合相談窓口（家庭児童相談室）、⑥ファミリー・サポート・センター、⑧くろかみやま自然塾で「いいえ」の割合が高く、8割を超えています。

平成25年度調査と比較すると、④放課後子ども教室（小学校や公民館等）、⑦キッズホリデークラブ（教育センター）、⑨子育て@なら（子育て応援ホームページ）、⑩なら子どもサポートネット（不審者情報メール）で「はい」が増加しています。

### 平成29年度調査



### 平成25年度調査

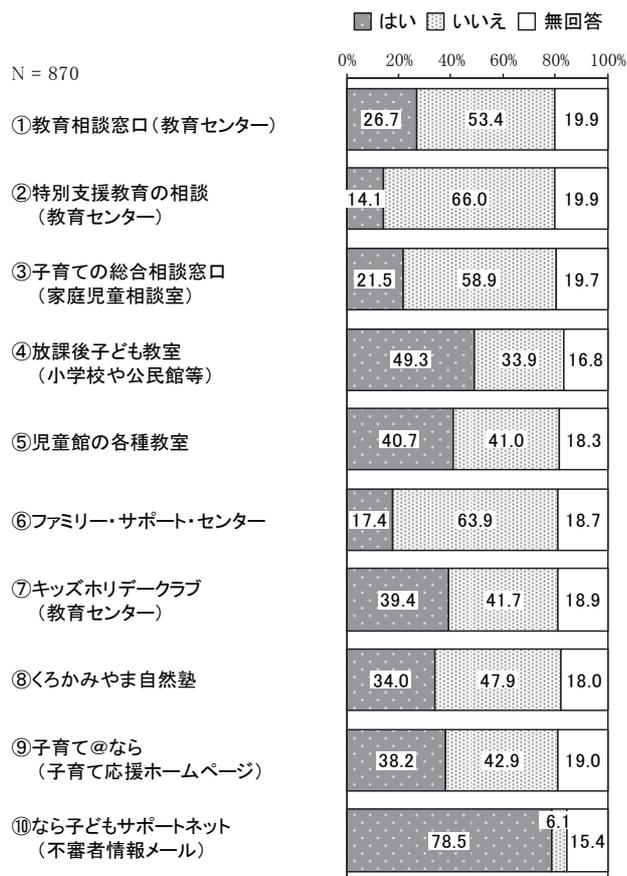


## ＜今後の利用意向＞

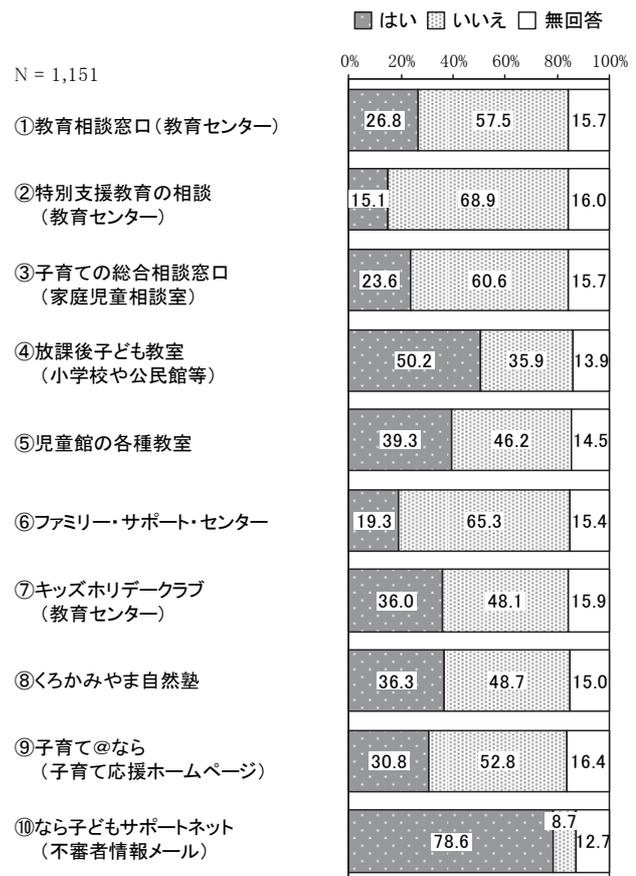
⑩なら子どもサポートネット（不審者情報メール）で「はい」の割合が高く、約8割となっています。一方、②特別支援教育の相談（教育センター）、⑥ファミリー・サポート・センターで「いいえ」の割合が高く、6割を超えています。

平成25年度調査と比較すると、⑨子育て@なら（子育て応援ホームページ）で「はい」が増加しています。

### 平成29年度調査



### 平成25年度調査



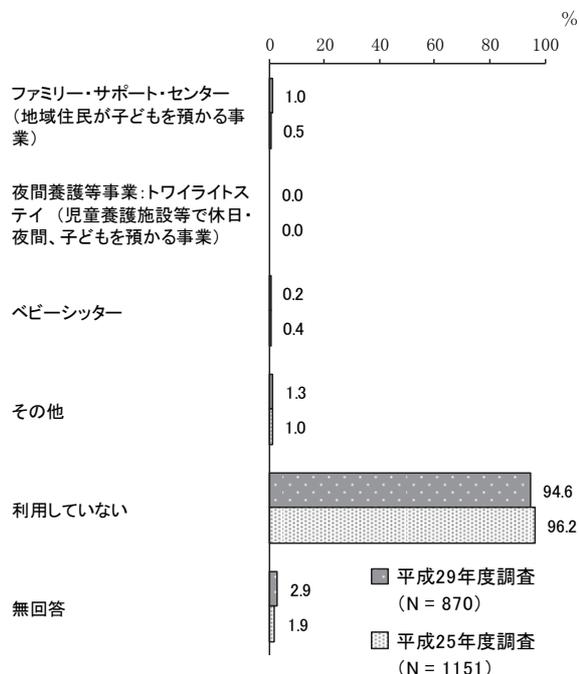
## (7) 一時預かり等の利用状況について

問 16 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数も( )内に数字でご記入ください。

### (1) 利用している事業

「利用していない」の割合が94.6%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### ①ファミリー・サポート・センター 利用日数

「1日」が4件、「2～3日」、「4～5日」、「6～9日」、「20日以上」が1件となっています。

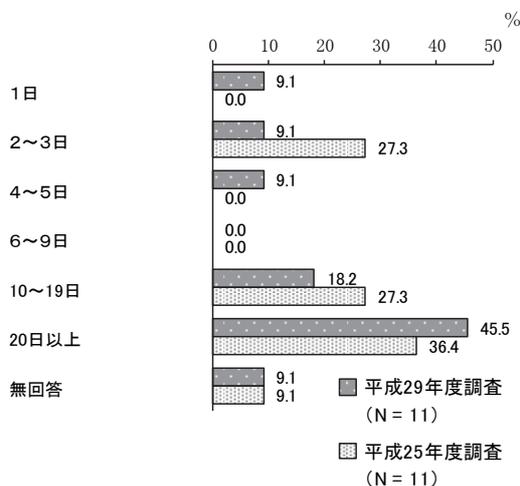
### ②夜間養護等事業：トワイライトステイ 利用日数

有効回答はありません。

### ③ベビーシッター 利用日数

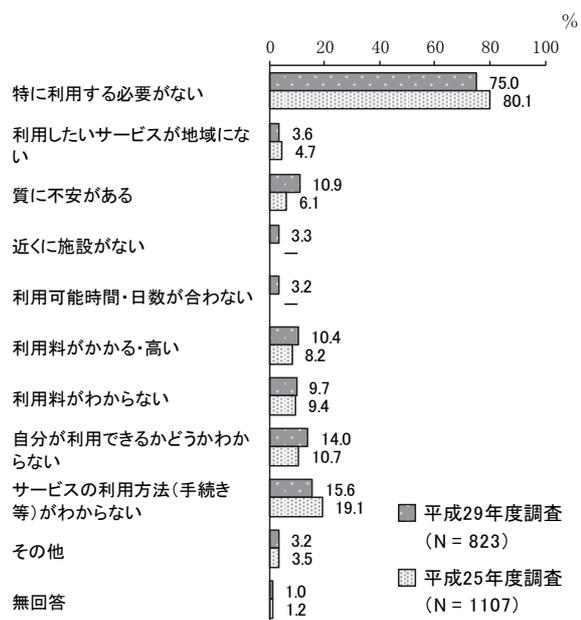
「10～19日」、「20日以上」が1件となっています。

### ④その他 利用日数



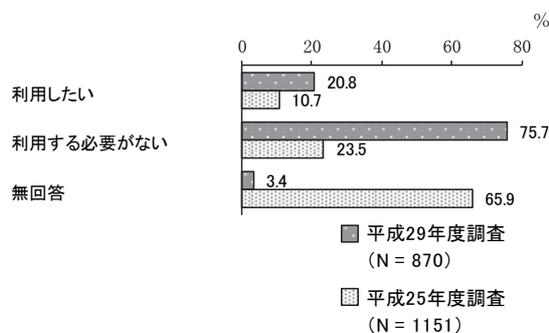
問 16-1 問 16 で「5. 利用していない」とお答えの方は、その理由にあてはまるもの  
 すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」の割合が 75.0%と最も高く、次いで「サービスの利用方法（手続き等）がわからない」の割合が 15.6%、「自分が利用できるかどうかわからない」の割合が 14.0%となっています。  
 平成 25 年度調査と比較すると、「特に利用する必要がない」が減少しています。



問 17 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で利用したいと思いませんか。いずれか1つに○をつけてください。

「利用したい」の割合が 20.8%、「利用する必要がない」の割合が 75.7%となっています。  
 平成 25 年度調査と比較すると、「利用したい」「利用する必要がない」がともに増加しています。

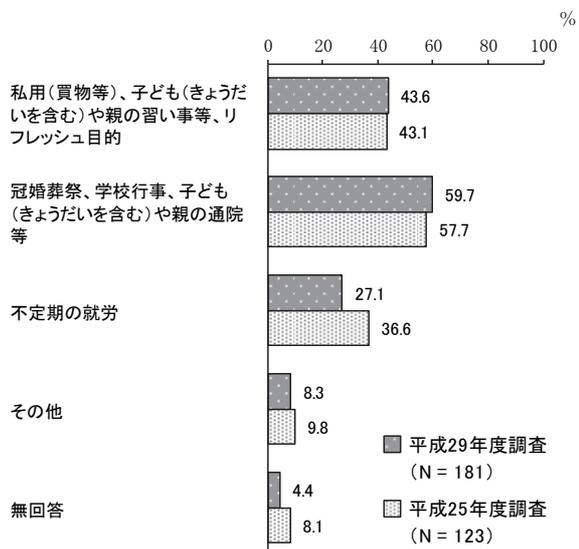


問 17-1 問 17 で「1. 利用したい」とお答えの方は、問 16 のような事業を希望としては年間何日くらい利用したいと思いますか。また、どのような事業形態が望ましいと思いますか。①②それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけ、①については目的別の日数を（ ）内に数字でご記入ください。

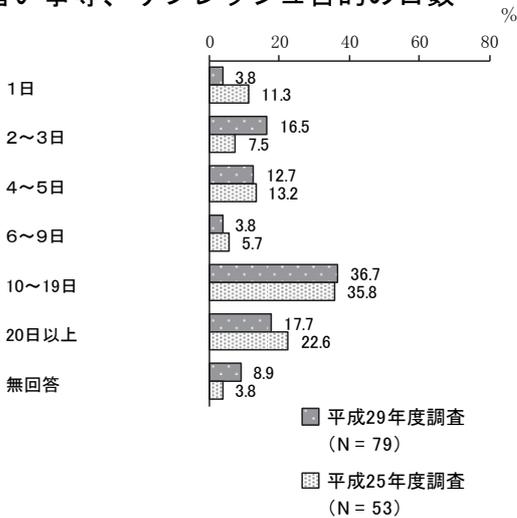
**利用の目的**

「冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだいを含む）や親の通院等」の割合が 59.7%と最も高く、次いで「私用（買物等）、子ども（きょうだいを含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的」の割合が 43.6%、「不定期の就労」の割合が 27.1%となっています。

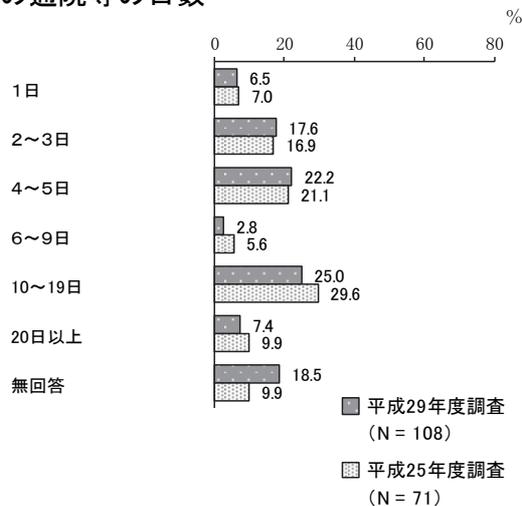
平成 25 年度調査と比較すると、「不定期の就労」が減少しています。



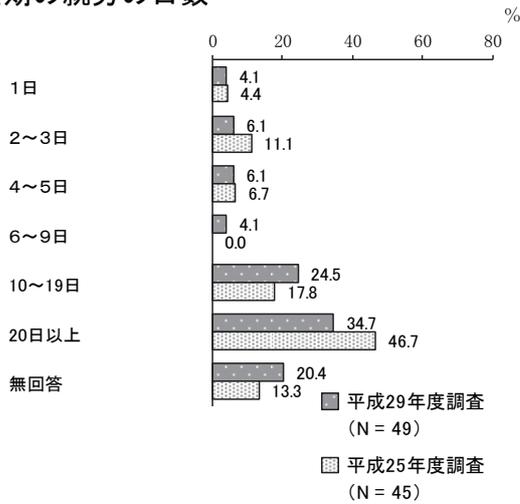
**私用(買物等)、子ども(きょうだいを含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的の日数**



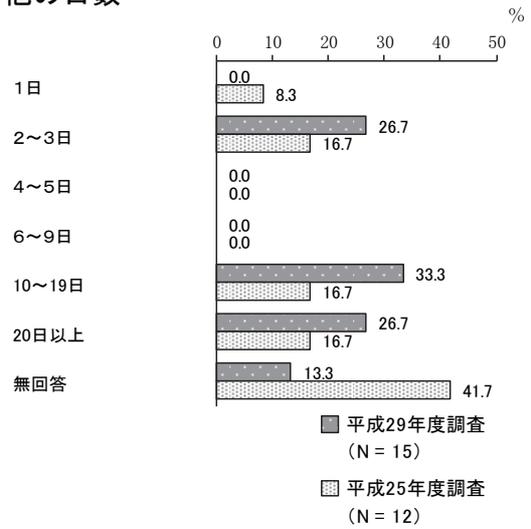
**冠婚葬祭、学校行事、子ども(きょうだいを含む)や親の通院等の日数**



### 不定期の就労の日数

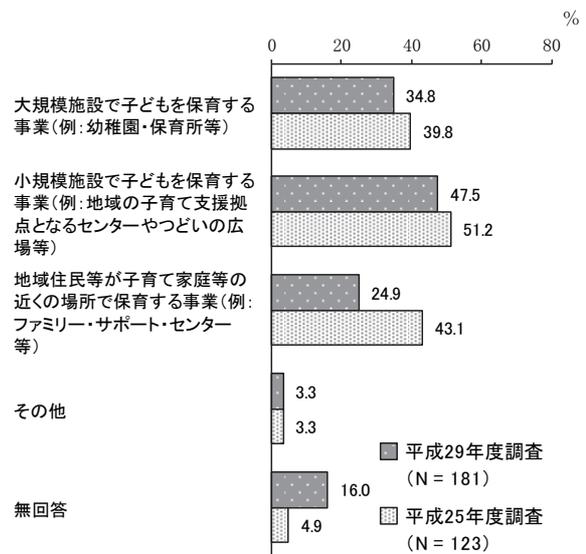


### その他の日数



### 利用したい場合の事業形態

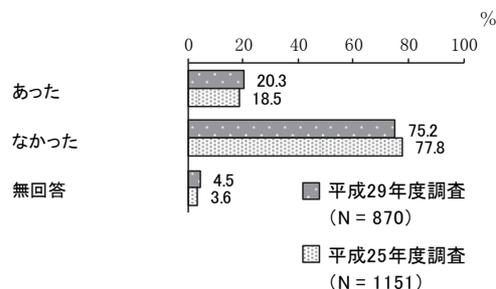
「小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域の子育て支援拠点となるセンターやつどいの広場等）」の割合が 47.5%と最も高く、次いで「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」の割合が 34.8%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が 24.9%となっています。



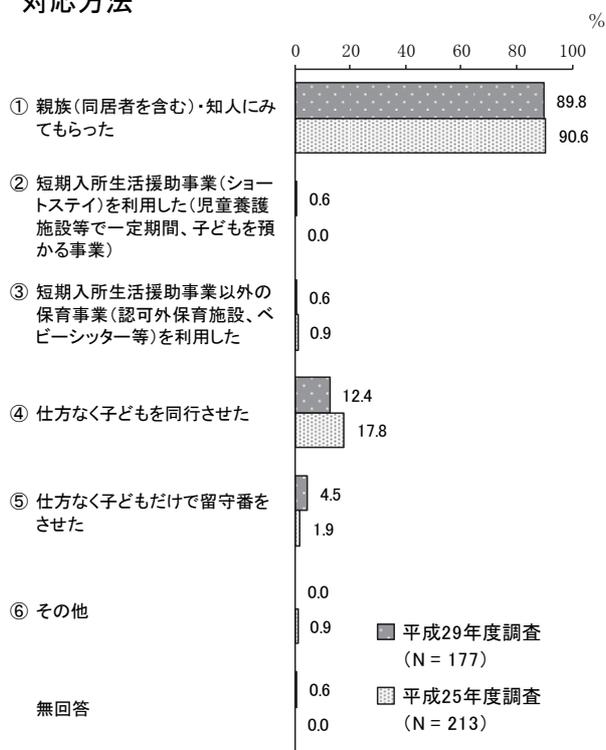
問18 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを「泊りがけ」で家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対応としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

「あった」の割合が20.3%、「なかった」の割合が75.2%となっています。

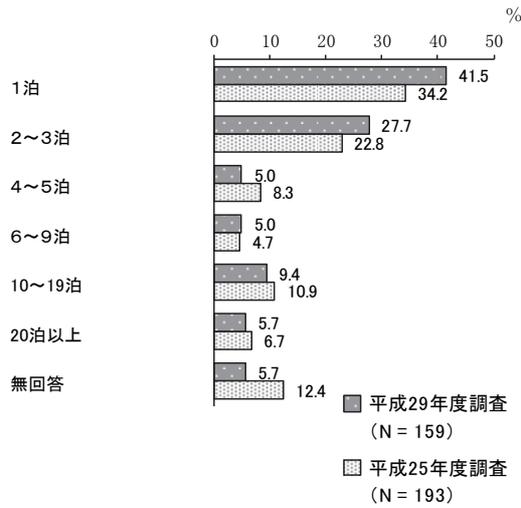
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 対応方法



① 親族・知人（同居者を含む）にみてもらった日数



② 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した日数

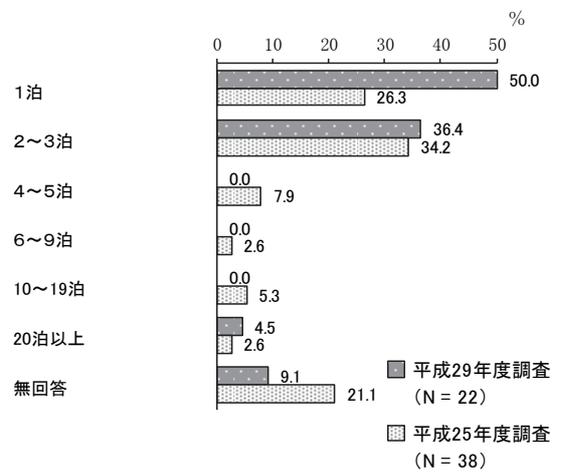
有効回答はありません。

③ 短期入所生活援助事業以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した日数

有効回答はありません。

④ 仕方なく子どもを同行させた日数

「1泊」の割合が50.0%と最も高く、次いで「2~3泊」の割合が36.4%となっています。



⑤ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数

「2～3泊」が3件、「1泊」が2件、「4～5泊」、「10～19泊」が1件となっています。

⑥ その他日数

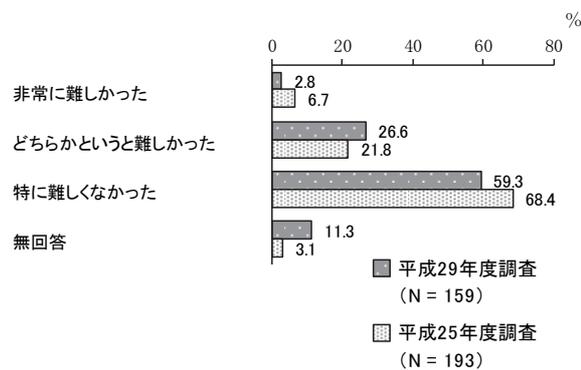
有効回答はありません。

問 18-1 問 18で「1. あった」「①親族(同居者を含む)・知人にみてもらった」とお答えの方にかがいます。

あて名のお子さんを親族・知人にみてもらうことは難しかったですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「特に難しくなかった」の割合が59.3%と最も高く、次いで「どちらかというとな難しかった」の割合が26.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「特に難しくなかった」が減少しています。



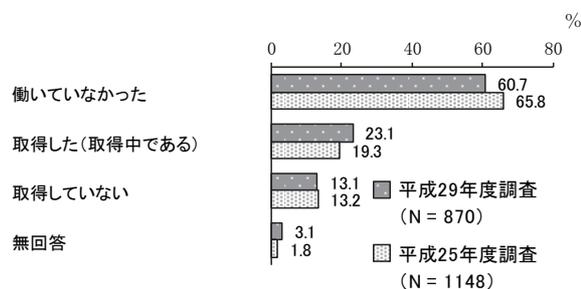
## (8) 職場の両立支援制度について

問 19 あて名のお子さんが生まれた時、母親・父親のいずれか、または両方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を番号でご記入ください。

### 母親の育児休業取得状況

「働いていなかった」の割合が60.7%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」の割合が23.1%、「取得していない」の割合が13.1%となっています。

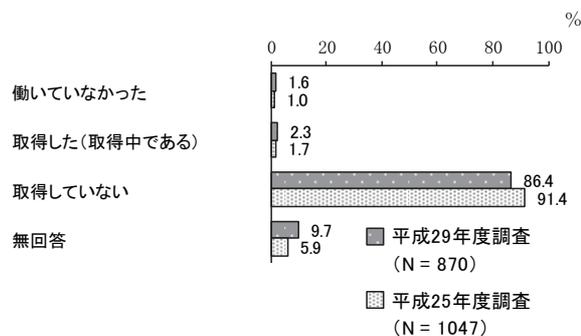
平成25年度調査と比較すると、「働いていなかった」が減少しています。



### 父親の育児休業取得状況

「取得していない」の割合が86.4%と最も高くなっています。

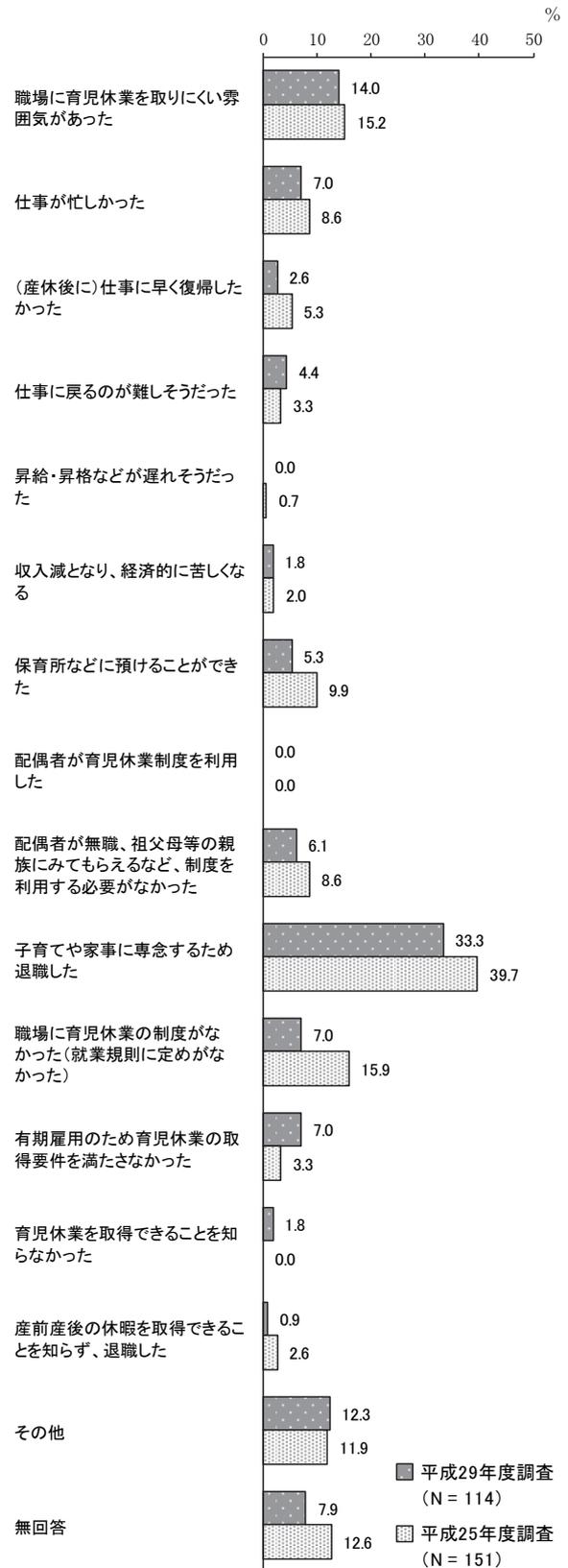
平成25年度調査と比較すると、「取得していない」が減少しています。



## 母親が育児休業を取得しなかった理由

「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が33.3%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が14.0%となっています。

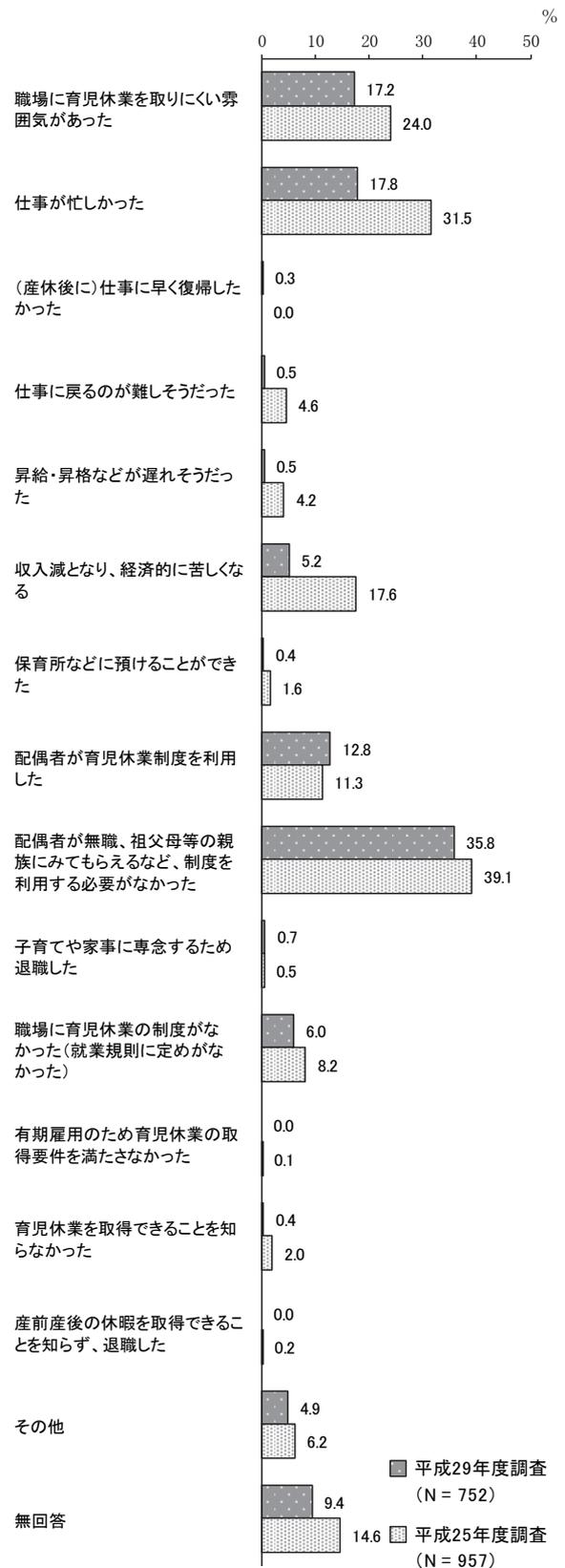
平成25年度調査と比較すると、「子育てや家事に専念するため退職した」「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が減少しています。



## 父親が育児休業を取得しなかった理由

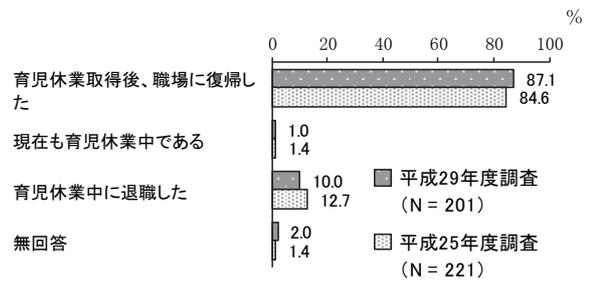
「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が35.8%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が17.8%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が17.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」が減少しています。



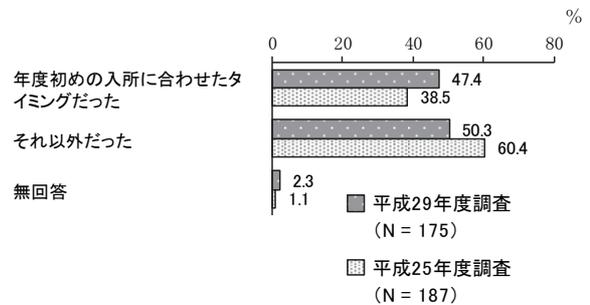
問 19-1 問 19 で「2. 取得した（取得中である）」とお答えの方にはうかがいます。  
 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 87.1% と最も高く、次いで「育児休業中に退職した」の割合が 10.0% となっています。  
 平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



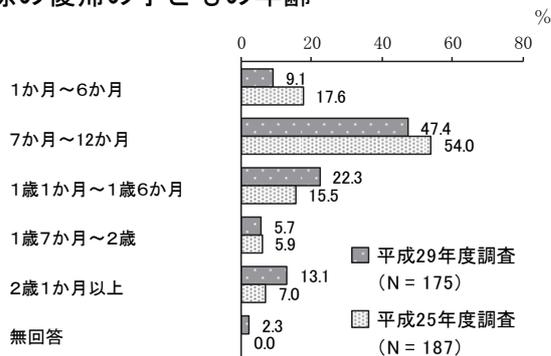
問 19-2 問 19-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」とお答えの方にはうかがいます。  
 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が 47.4%、「それ以外だった」の割合が 50.3% となっています。  
 平成 25 年度調査と比較すると、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が増加しています。

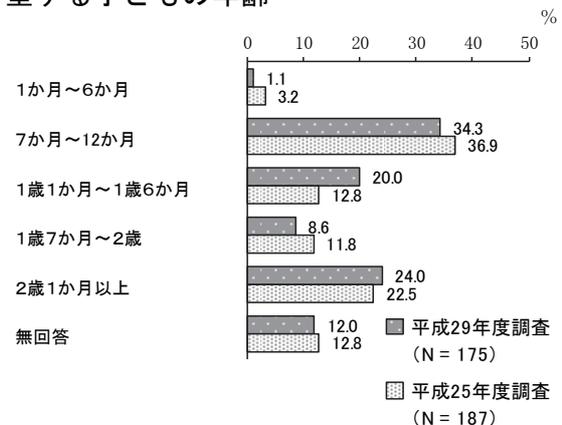


問 19-3 育児休業からは、「実際」にあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としてはあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。（ ）内に数字でご記入ください。

実際の復帰の子どもの年齢

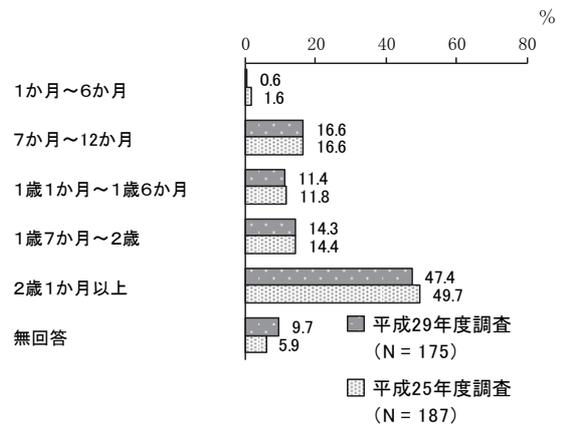


希望する子どもの年齢



問 19-4 お勤め先に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。  
 ( ) 内に数字でご記入ください。

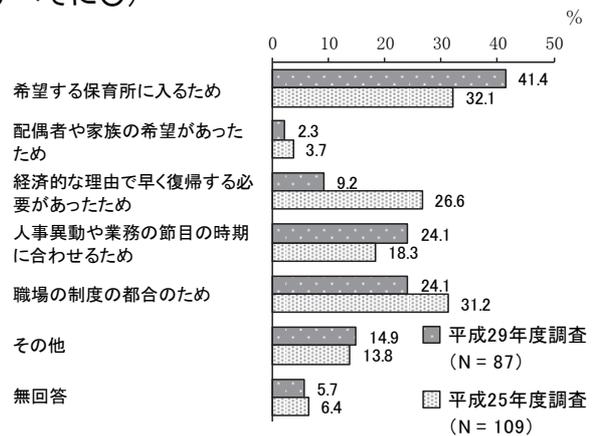
「2歳1か月以上」の割合が47.4%と最も高く、次いで「7か月～12か月」の割合が16.6%、「1歳7か月～2歳」の割合が14.3%となっています。  
 平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 19-5 実際の復帰と希望が異なる方に、希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

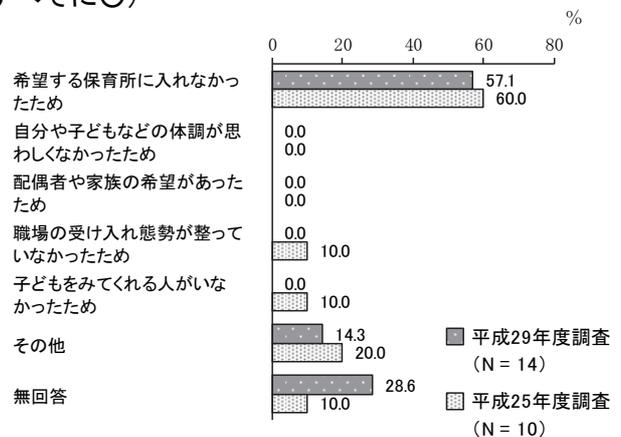
(1) 「希望」より早く復帰した方 (あてはまる番号すべてに○)

「希望する保育所に入るため」の割合が41.4%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」、「職場の制度の都合のため」の割合が24.1%となっています。  
 平成25年度調査と比較すると、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」「職場の制度の都合のため」が減少し、「希望する保育所に入るため」「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が増加しています。



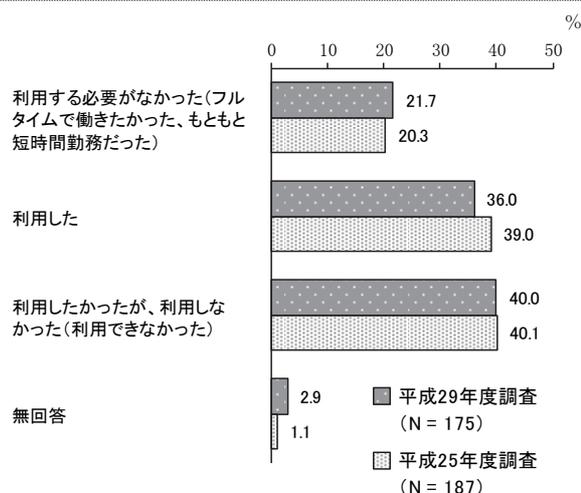
(2) 「希望」より遅く復帰した方 (あてはまる番号すべてに○)

「希望する保育所に入れなかったため」の割合が57.1%となっています。  
 平成25年度調査と比較すると、「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」「子どもをみてくれる人がいなかったため」が減少しています。



問 19-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

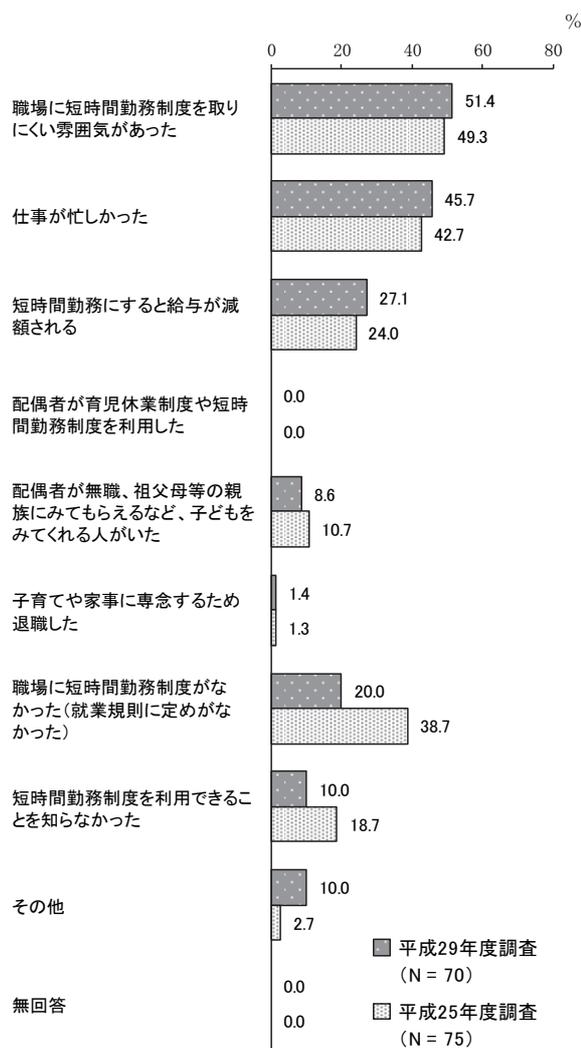
「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「利用した」の割合が 36.0%、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が 21.7%となっています。  
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 19-7 「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」とお答えの方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が 45.7%、「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が 27.1%となっています。  
平成 25 年度調査と比較すると、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」が減少しています。

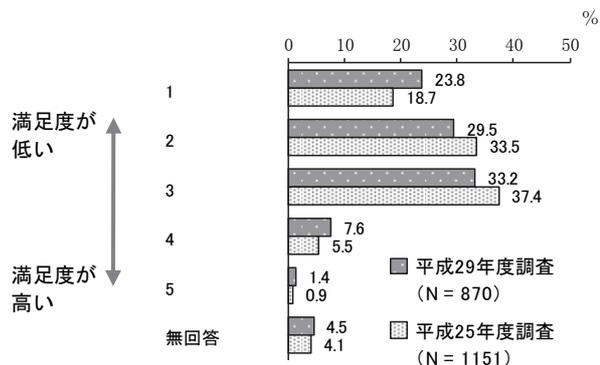


## (9) 子育てに関する困りごとなどについて

問 20 奈良市における子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号1つに○をつけてください。満足度を5段階評価してください。

「3」の割合が33.2%と最も高く、次いで「2」の割合が29.5%、「1」の割合が23.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「1」「4」が増加しています。

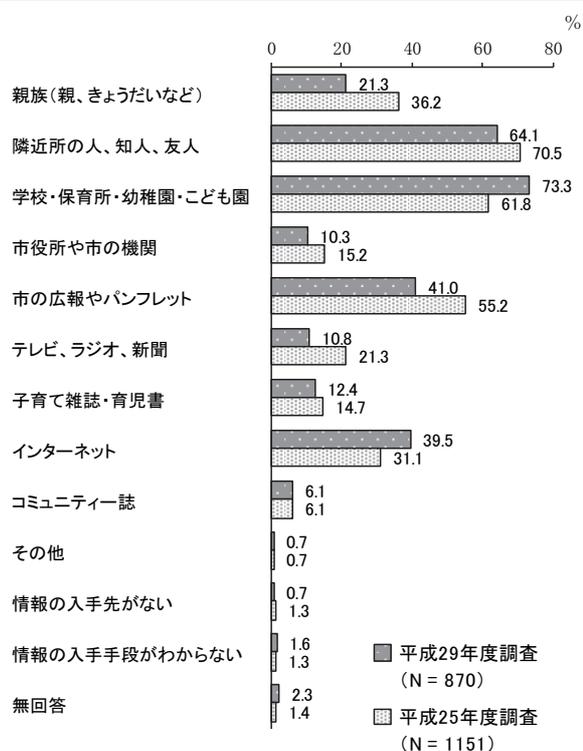


問 21 子育てに関する情報をどのように入手していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「学校・保育所・幼稚園・こども園」の割合が73.3%と最も高く、次いで「隣近所の人、知人、友人」の割合が64.1%、「市の広報やパンフレット」の割合が41.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「親族(親、きょうだいなど)」「隣近所の人、知人、友人」「市の広報やパンフレット」「テレビ、ラジオ、新聞」が減少し、「学校・保育所・幼稚園・こども園」が増加しています。

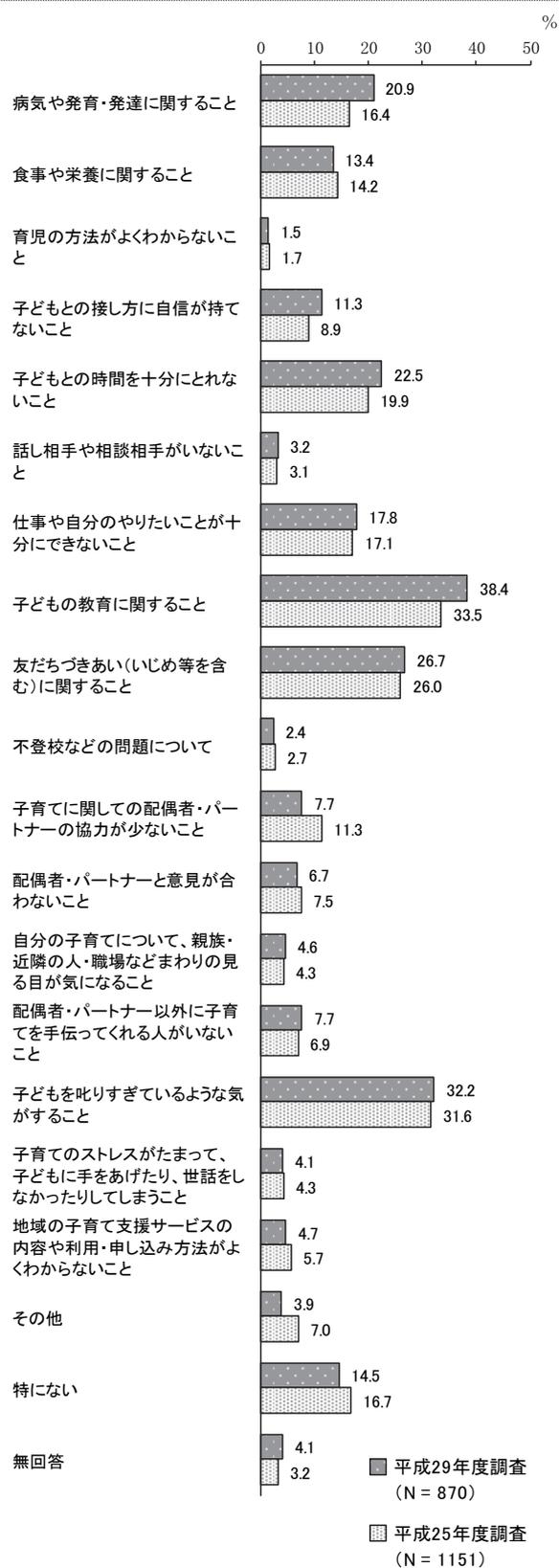
※平成25年度調査では、「学校・保育所・幼稚園・こども園」の選択肢は「学校」です。



問 22 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの教育に関すること」の割合が38.4%と最も高く、次いで「子どもを叱りすぎているような気がする」との割合が32.2%、「友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること」の割合が26.7%となっています。

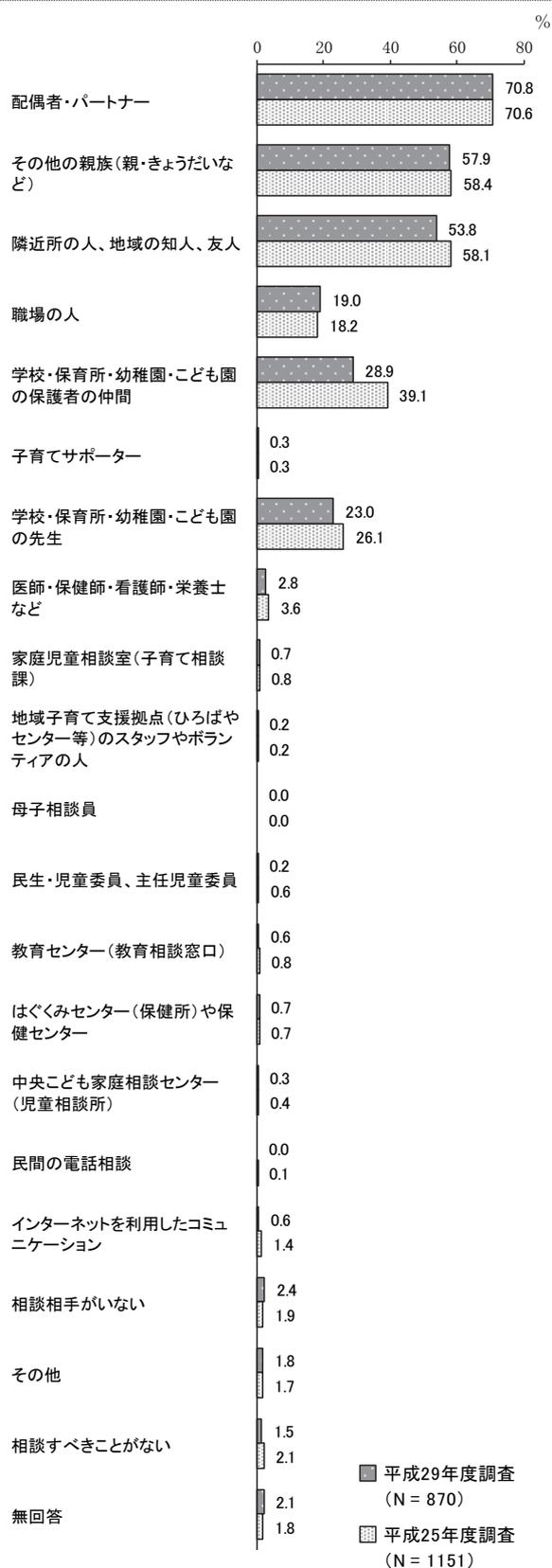
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 23 子育てに関する悩みや不安をどなたかに相談していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

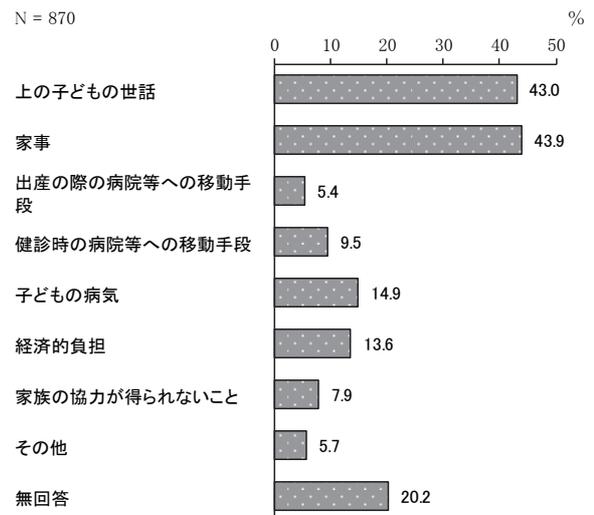
「配偶者・パートナー」の割合が70.8%と最も高く、次いで「その他の親族（親・きょうだいなど）」の割合が57.9%、「隣近所の人、地域の知人、友人」の割合が53.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「学校・保育所・幼稚園・こども園の保護者の仲間」が減少しています。



問 24 妊娠中や出産後 3 か月以内に家事・育児に関して困ったことはありませんか。あてはまる番号 3 つまで○をつけてください。

「家事」の割合が 43.9%と最も高く、次いで「上の子どもの世話」の割合が 43.0%、「子どもの病気」の割合が 14.9%となっています。



問 25 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えですか。サポートを受けたことがある方は良かったことや、受けてどうなったか（解決につながった、など）について自由にご記入ください。

【希望するサポート（主な意見）】

- ・ 一時預かり制度
- ・ 急な家庭の事情で子どもをすぐに見ていただけるサポートがあればうれしい
- ・ 家事や育児のサポート
- ・ 子どもがのびのび遊べる公園や広場を提供してほしい。
- ・ 子どもが病気でも預かってくれるサポートがほしいです。
- ・ 子どもの発達・発育について学校や病院が提携していけるようなシステム
- ・ 児童館が近くにまったくない。他府県はたくさんあって色んなイベントをしてくれたり、遊べたりできるのでそんな施設がほしい。
- ・ 塾に行くのがあたり前という考えが普通になっている気がするので学校できちんと教えてほしい。
- ・ 発達障害についてきちんと能力がある人がサポートすること。経験が少ない人が多いので、きちんとした専門家がいてほしい。
- ・ 病児保育の施設が少ない。あったとしても料金が高く、当日予約が多いため、仕事との両立が困難。
- ・ リフレッシュのための短時間子どもを預かってくれるサポート、子どもが小さいうちは美容院、病院に行くのも難しかったので数時間だけでも自分の時間があると精神的にゆとりができて良い
- ・ バンビーホームのシステムの充実、短期間利用等。

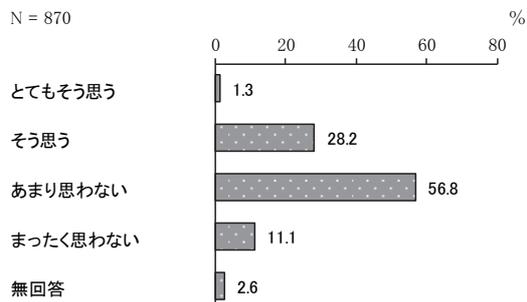
### 【実際に受けたサポート（主な意見）】

- ・ 親のサポートがあったから、仕事との両立ができた。
- ・ キッズホリデークラブを何度か利用していて親子とも満足しています。特に化学実験。
- ・ 近所に育児サークルが二つあったのでとてもよかった。
- ・ 子育て広場に参加したが、期待した交流の機会はなかった。
- ・ 子ども会でいつも一緒の子どもと別々の時間を過ごしてお互いによかったとおもう。学校とは違う学年関係ないところとか
- ・ 子どもに障がいがあり、奈良市と学校は内容を共有してくれていて心強い。病院のスタッフともやりとりしてくれたので就学のときはとても助かりました。
- ・ サービスが近くなかったので受けられなかったし、受けることに不安もあったので受けなかった。
- ・ 小児科併設の病児保育は、仕事をしている母からすると本当に助かります。
- ・ 精神的不安や疲労がたまる時期、相談や話し相手がいると心強い。子育て広場は息抜きになりよかった。
- ・ 集いの広場”ノル”というところに毎日行っていました。家だと子どもと2人きりで息が詰まるので”ノル”でいろんなお母さんたちやスタッフの人とお話しできることが、とても良かったです。このような施設が、あちこちにできるとよいと思いました。
- ・ 初めての出産でわからないことや不安でいっぱいだったときのこんにちは赤ちゃん訪問はすごくありがたかったです。
- ・ 発達相談、定期健診。乳幼児健診で丁寧に診てもらい、早期療育につながった。
- ・ ファミリーサポートセンターに上の子の幼稚園の送迎を頼みました。助かりました。
- ・ 乳児の身体測定がはぐくみセンターでできたことは、その時々色々な相談もできたので良かったです。

## (10) 子どもにやさしいまちについて

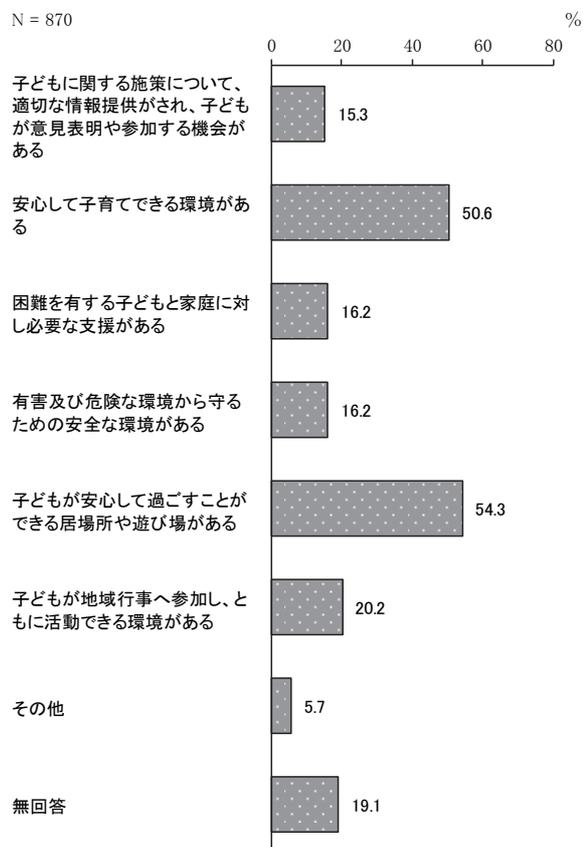
問 26 奈良市は子どもにやさしいまちだと感じますか。あてはまる番号に○をつけてください。

「とてもそう思う」と「そう思う」をあわせた“子どもにやさしいまちだと思う”の割合が 29.5%となっています。



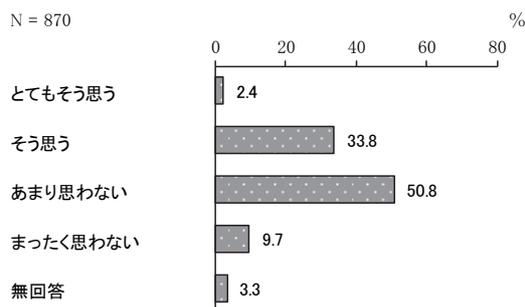
問 26-1 子どもにやさしいまちだと感じる条件は何ですか。あてはまるもの 3 つまで○をつけてください。

「子どもが安心して過ごすことができる居場所や遊び場がある」の割合が 54.3%と最も高く、次いで「安心して子育てできる環境がある」の割合が 50.6%、「子どもが地域行事へ参加し、ともに活動できる環境がある」の割合が 20.2%となっています。



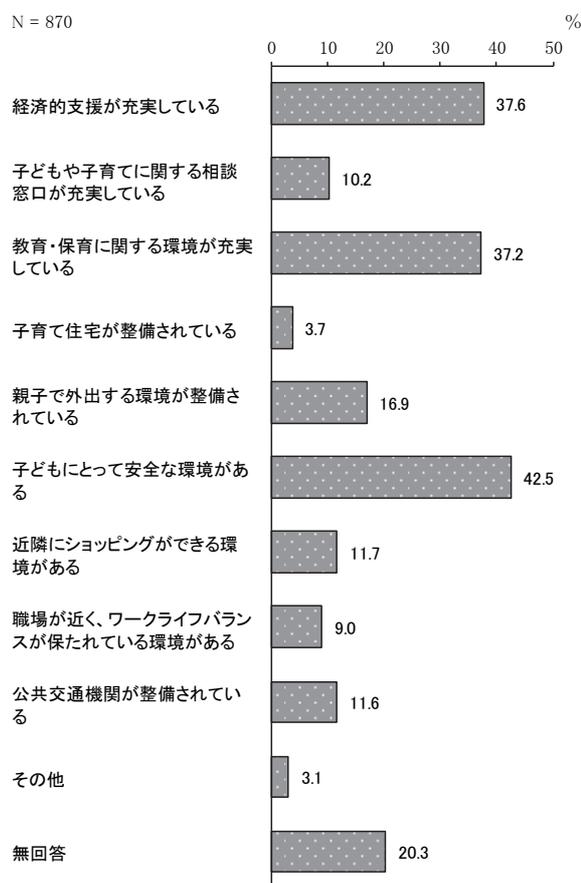
問 27 奈良市は子育てしやすいまちだと感じますか。あてはまる番号に○をつけてください。

「とてもそう思う」と「そう思う」をあわせた“子育てしやすいまちだと思う”の割合が 36.2%となっています。



問 27-1 子育てしやすいまちだと感じる条件は何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

「子どもにとって安全な環境がある」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「経済的支援が充実している」の割合が 37.6%、「教育・保育に関する環境が充実している」の割合が 37.2%となっています。

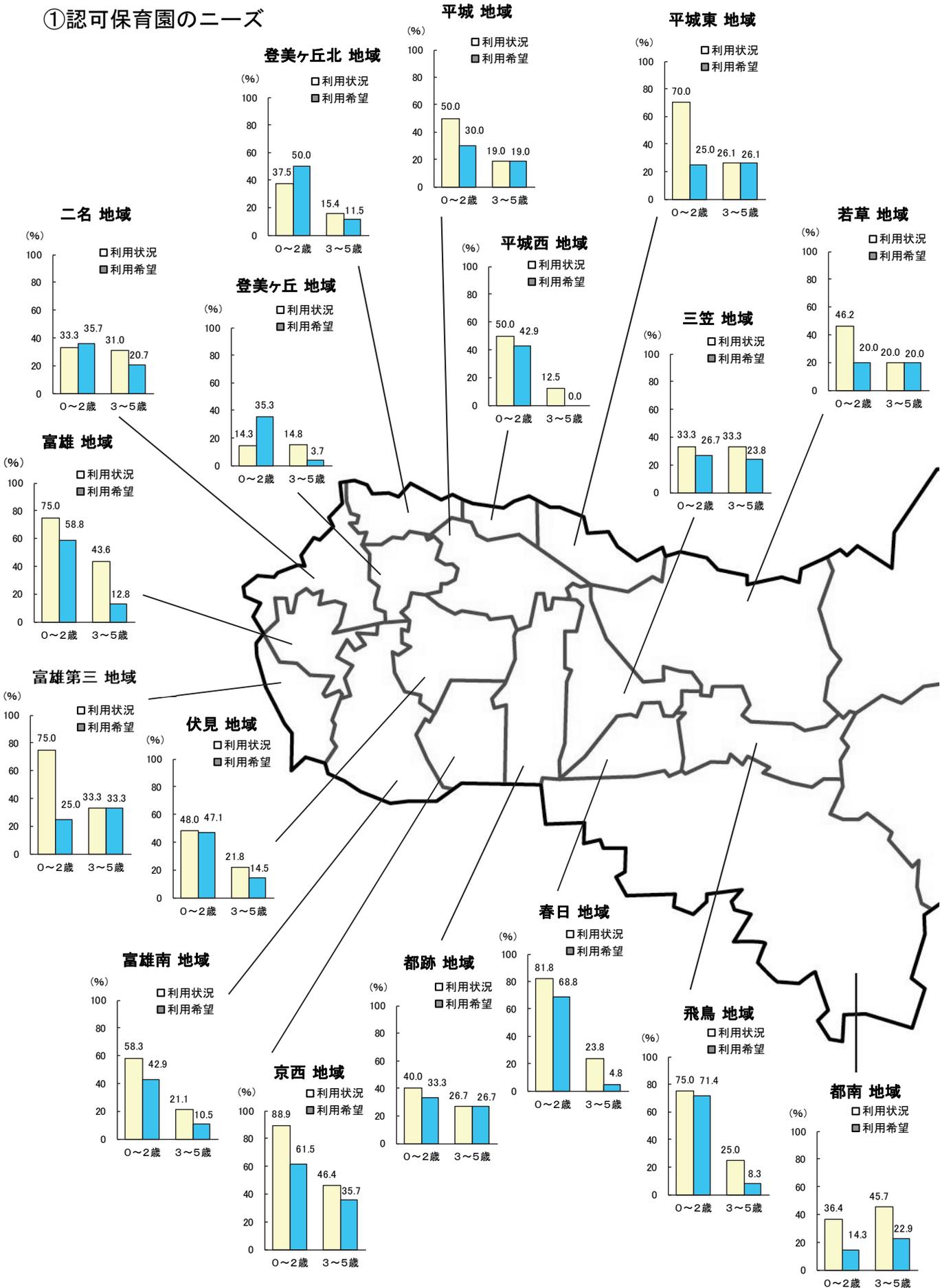


### 3 地区別集計結果

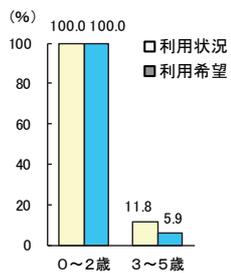
---

### 3 地区別集計結果

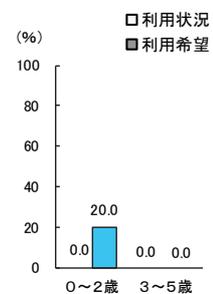
#### ①認可保育園のニーズ



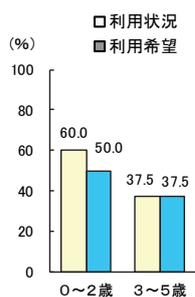
**興東館柳生 地域**



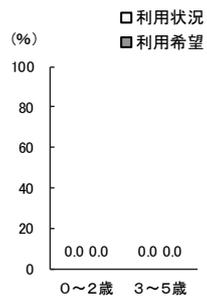
**月ヶ瀬 地域**



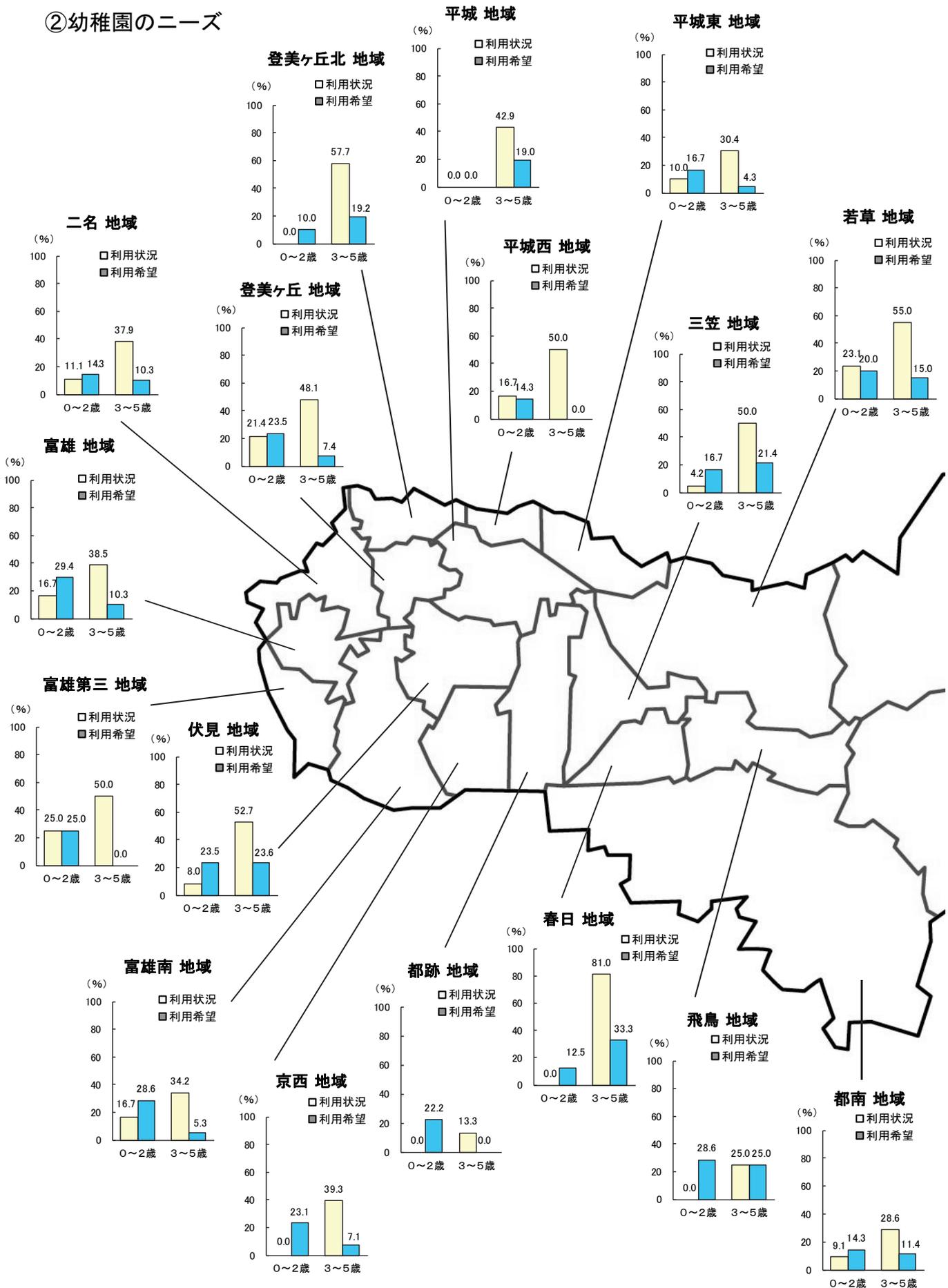
**田原 地域**



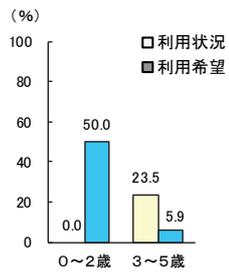
**都祁 地域**



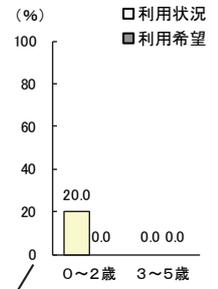
## ②幼稚園のニーズ



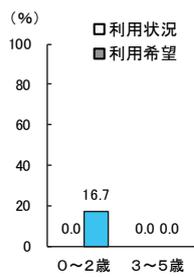
**興東館柳生 地域**



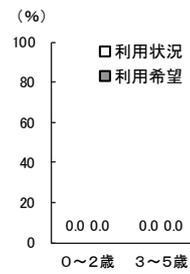
**月ヶ瀬 地域**



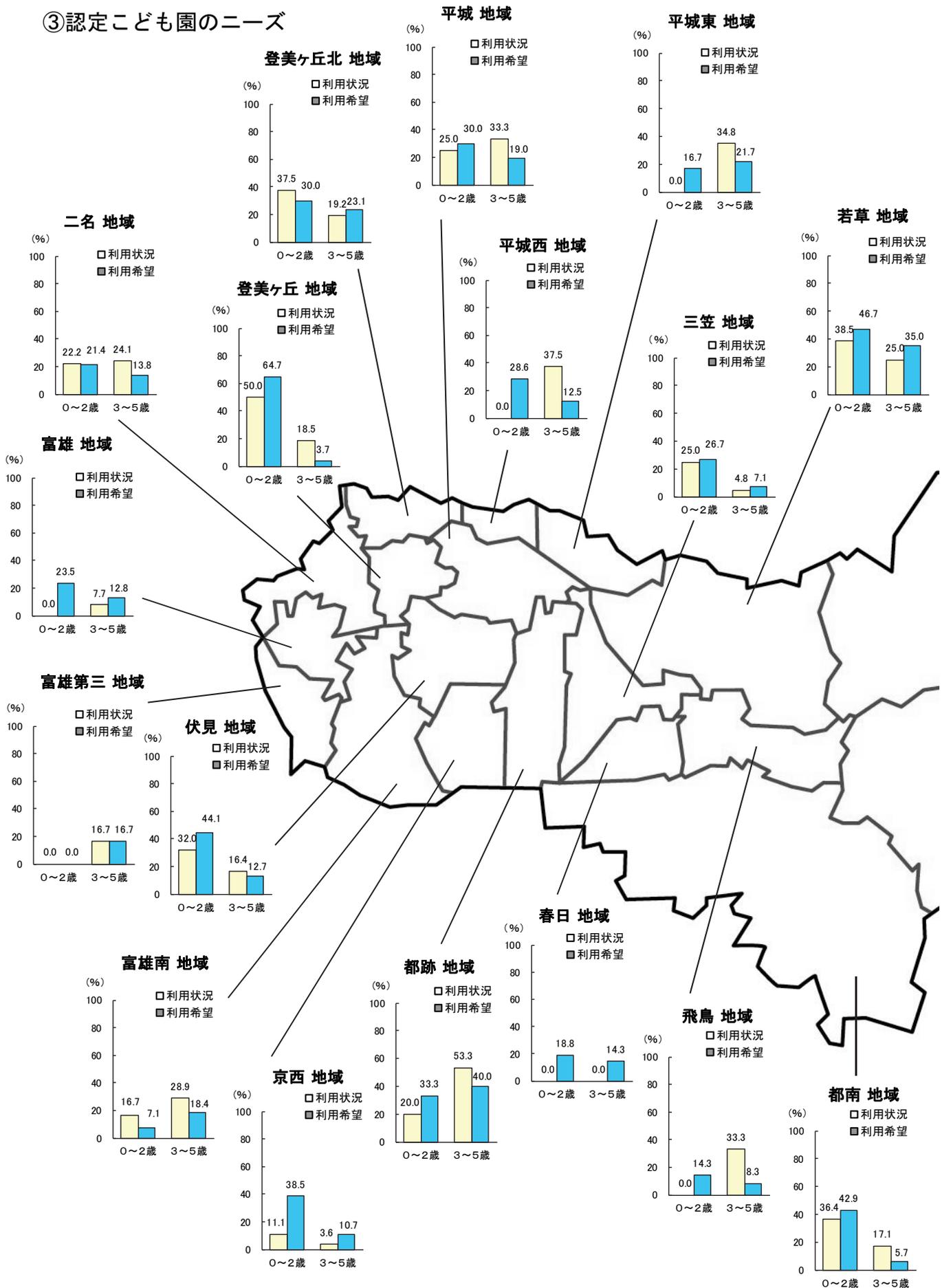
**田原 地域**



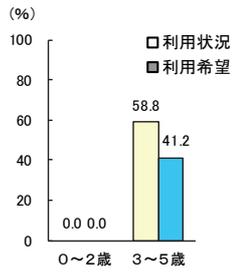
**都祁 地域**



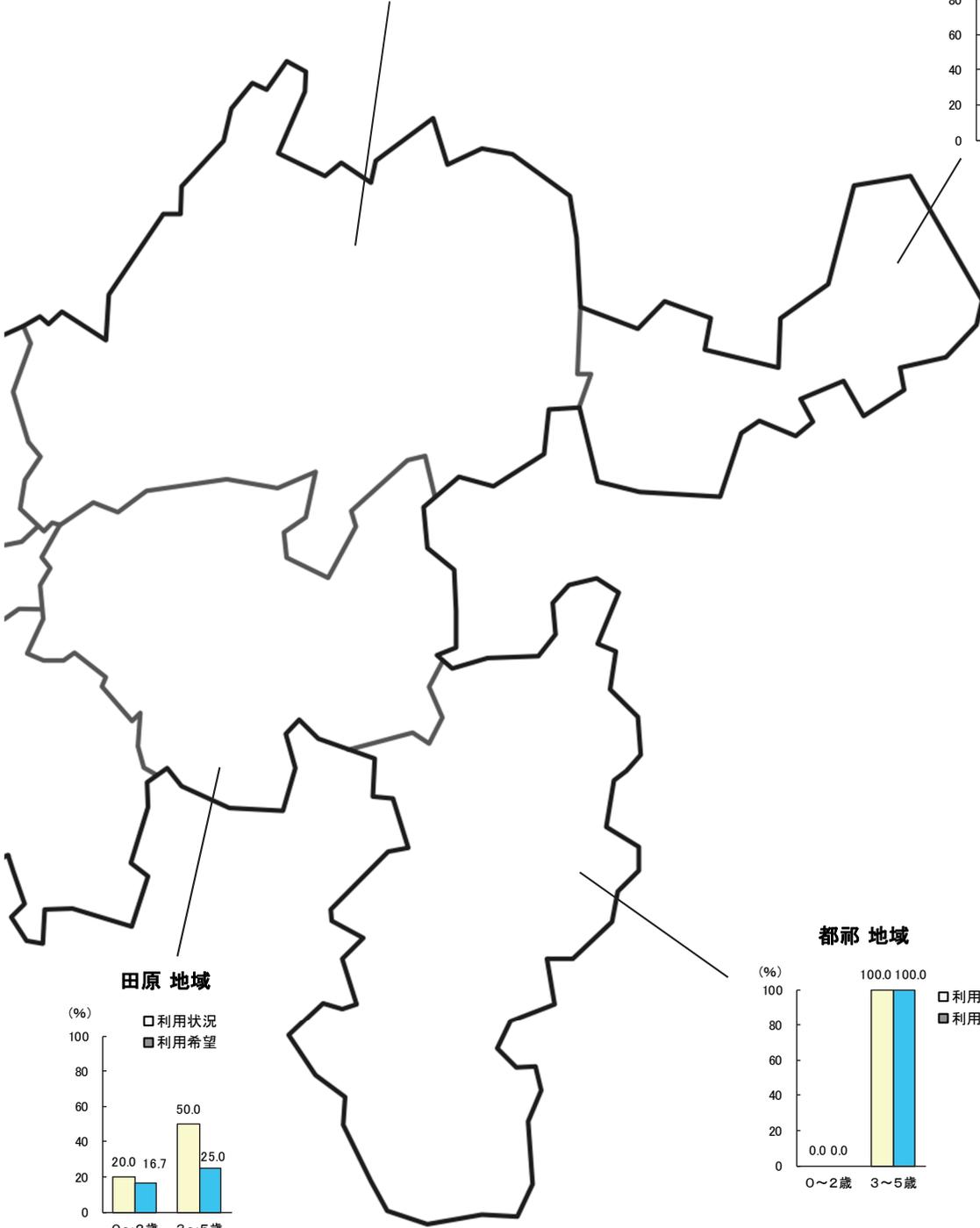
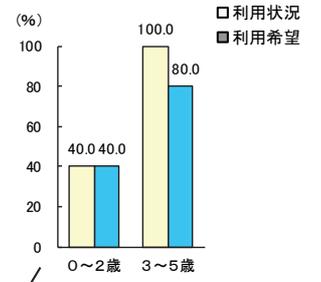
### ③認定こども園のニーズ



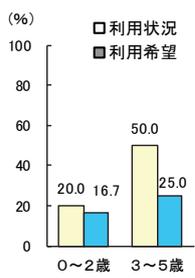
興東館柳生 地域



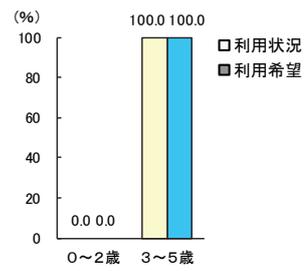
月ヶ瀬 地域



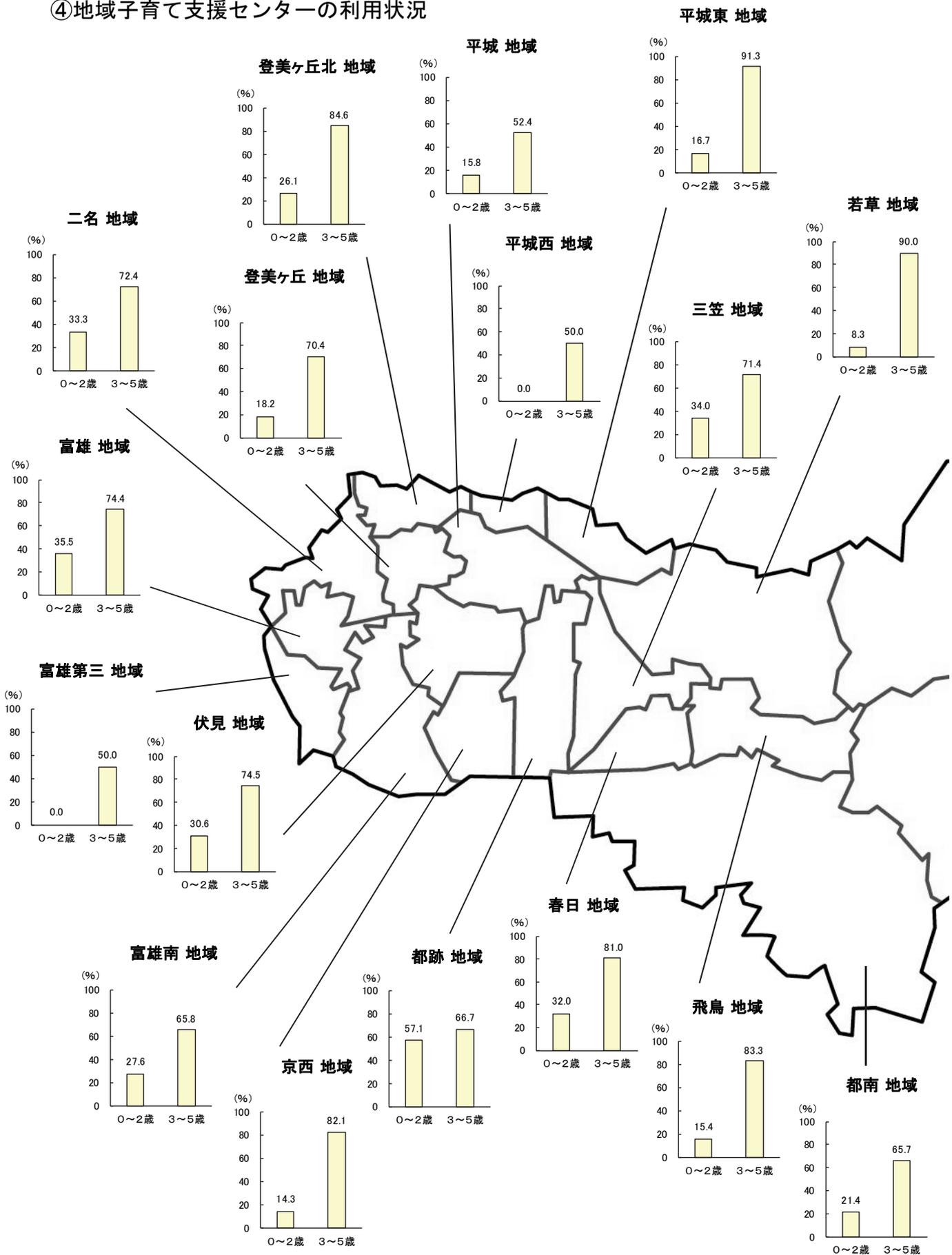
田原 地域



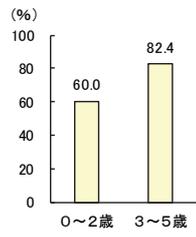
都祁 地域



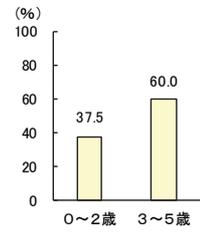
#### ④地域子育て支援センターの利用状況



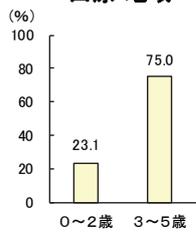
興東館柳生 地域



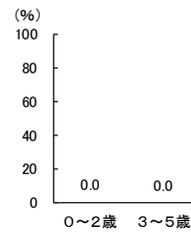
月ヶ瀬 地域



田原 地域

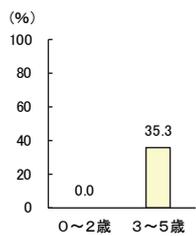


都祁 地域

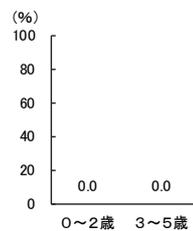




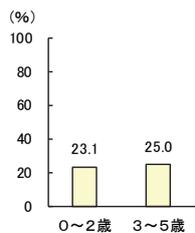
### 興東館柳生 地域



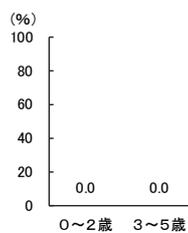
### 月ヶ瀬 地域



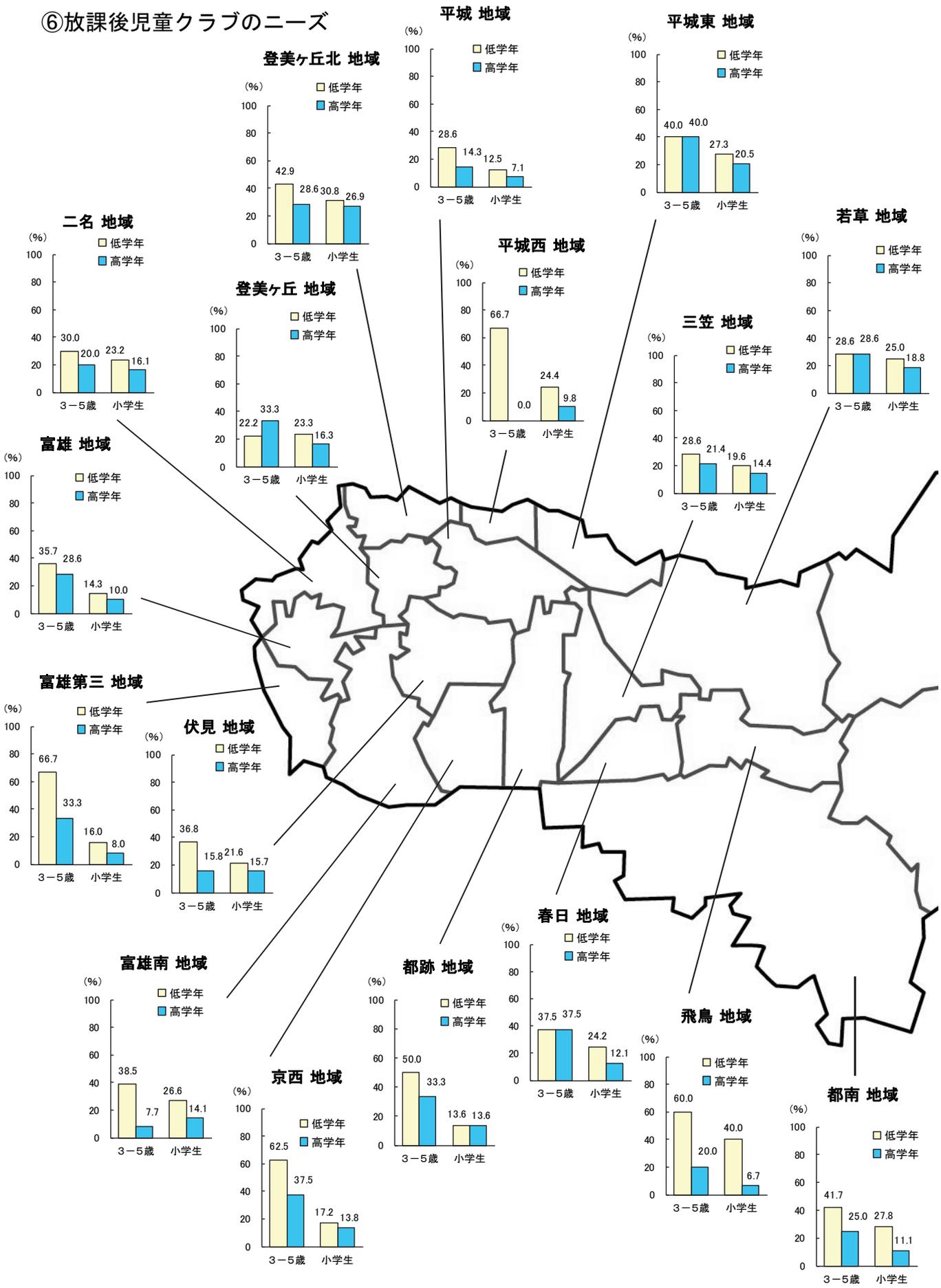
### 田原 地域



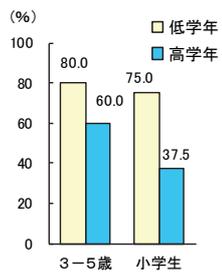
### 都祁 地域



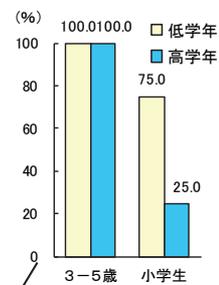
# ⑥放課後児童クラブのニーズ



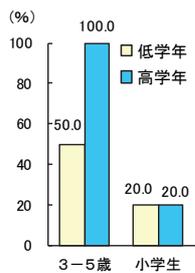
興東館柳生 地域



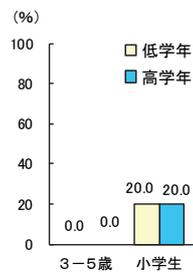
月ヶ瀬 地域



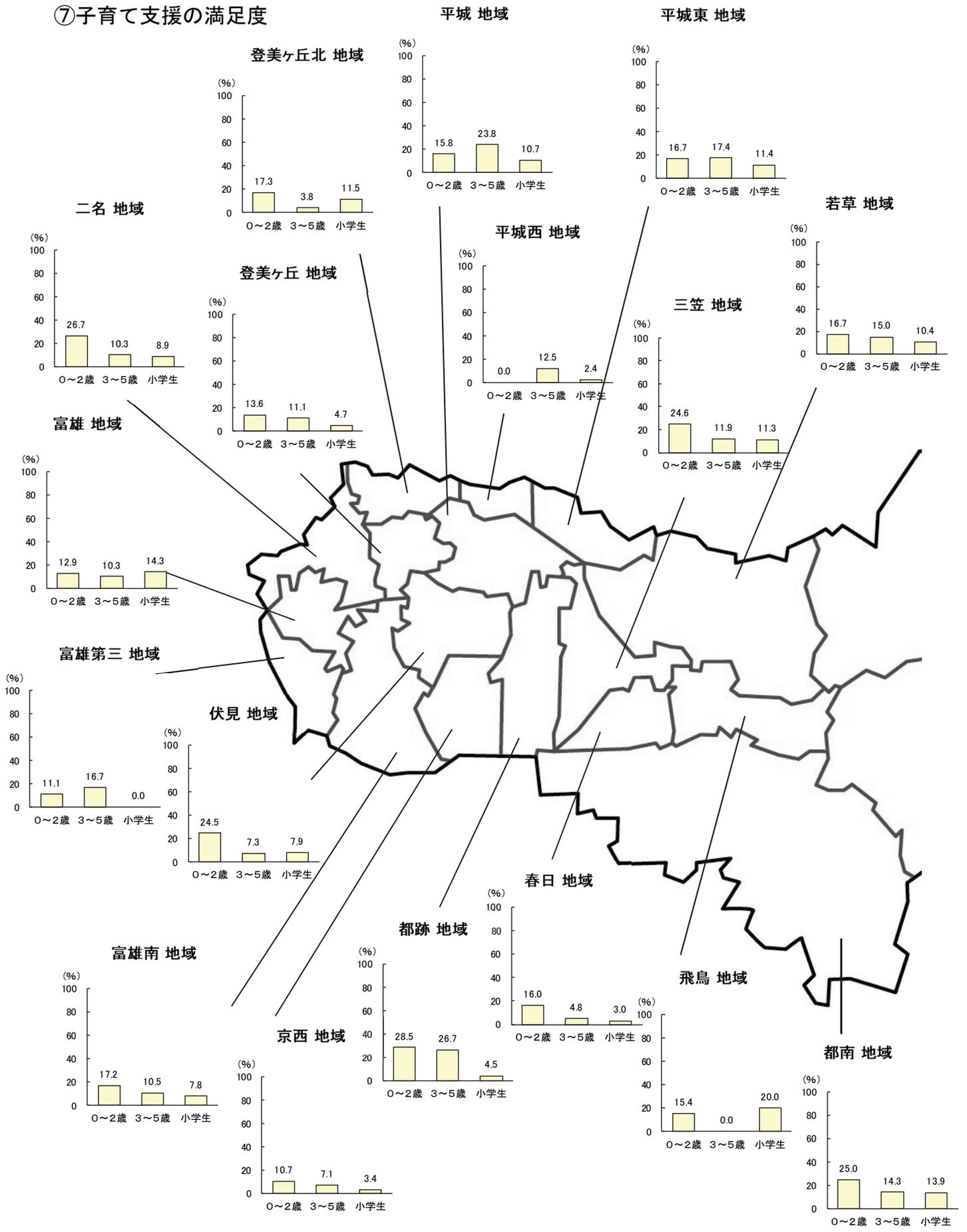
田原 地域



都祁 地域

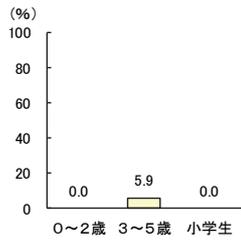


# ⑦子育て支援の満足度

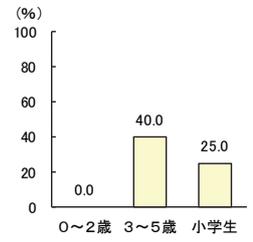


※満足度=子育ての環境や支援への満足度について「4」「5」（満足度が高い）と回答した割合

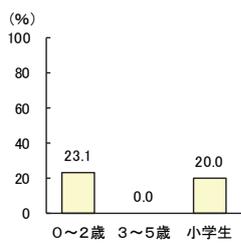
興東館柳生 地域



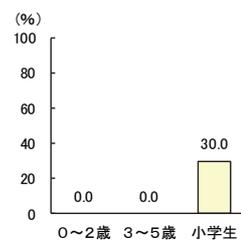
月ヶ瀬 地域



田原 地域



都祁 地域





## 4 ヒアリング調査

---

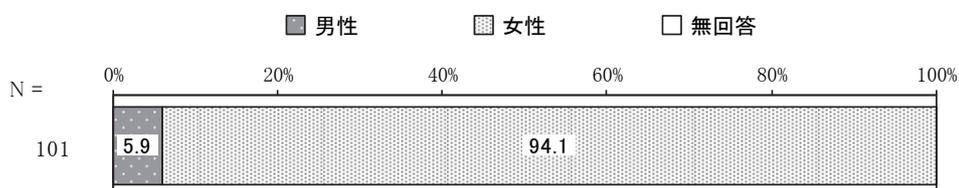


## 4 ヒアリング調査

### (1) あなたとお子さんについて

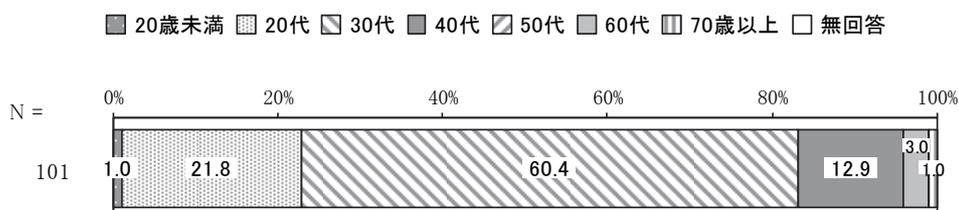
#### Q1 あなたの性別を教えてください

「男性」の割合が5.9%、「女性」の割合が94.1%となっています。



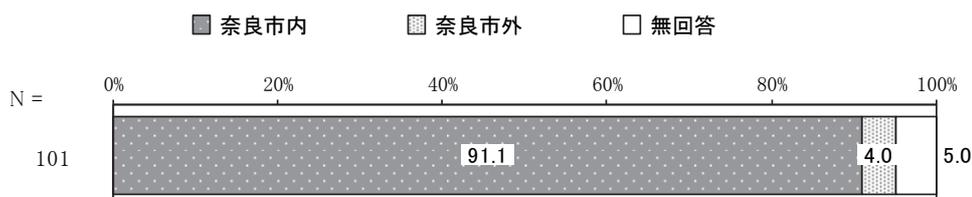
#### Q2 あなたの年代を教えてください。

「30代」の割合が60.4%と最も高く、次いで「20代」の割合が21.8%、「40代」の割合が12.9%となっています。



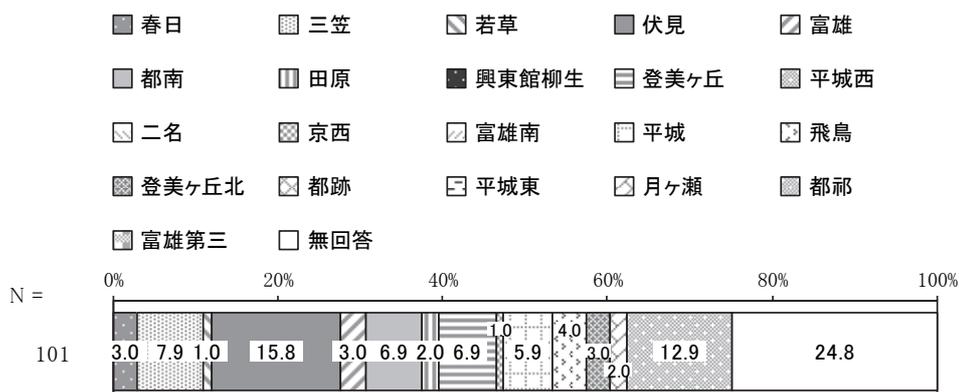
#### Q3 あなたのお住まいを教えてください。

「奈良市内」の割合が91.1%、「奈良市外」の割合が4.0%となっています。



#### 【中学校区】

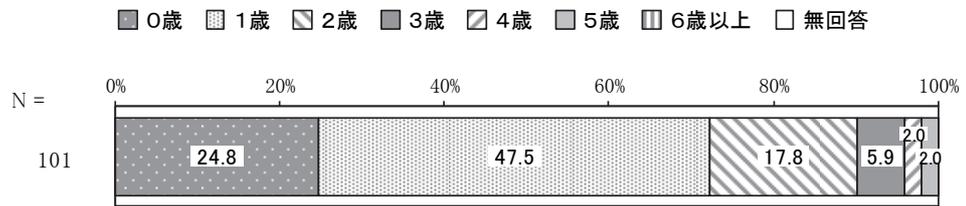
「伏見」の割合が15.8%と最も高く、次いで「都祁」の割合が12.9%となっています。



#### Q4 今日お連れのお子さんについて教えてください

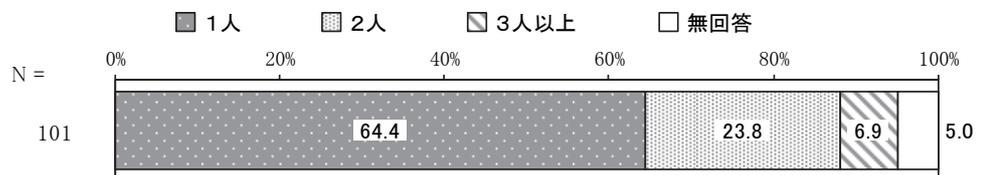
##### ① お子さんの年齢はおいくつですか。

「1歳」の割合が47.5%と最も高く、次いで「0歳」の割合が24.8%、「2歳」の割合が17.8%となっています。



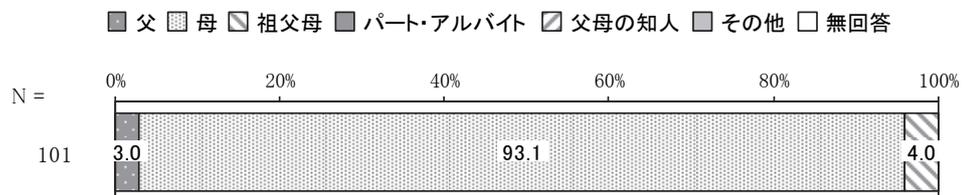
##### ② お子さんは何人きょうだいですか。

「1人」の割合が64.4%と最も高く、次いで「2人」の割合が23.8%となっています。



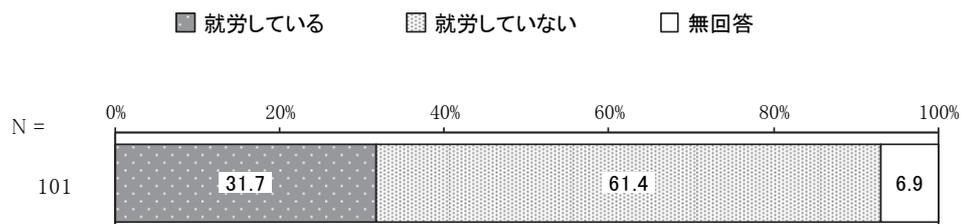
#### Q5 お連れのお子さんとの関係について

「母」の割合が93.1%と最も高くなっています。



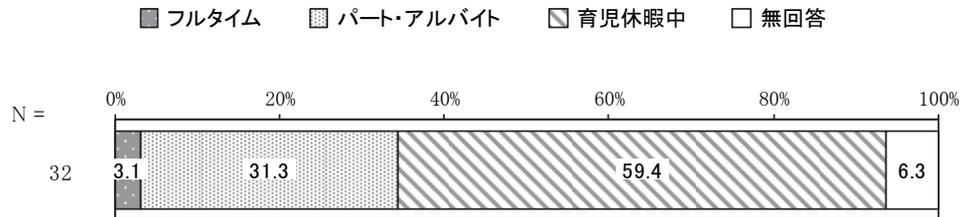
#### Q6 あなたの就労の有無について

「就労している」の割合が31.7%、「就労していない」の割合が61.4%となっています。



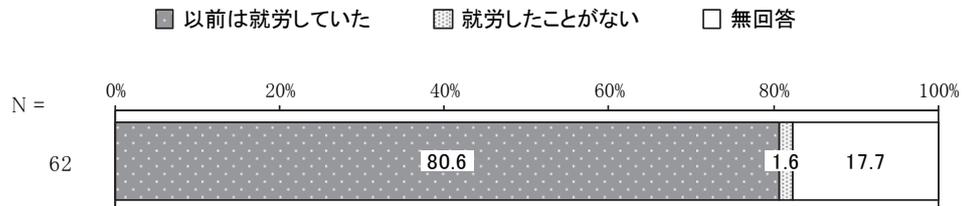
① 就労形態

「育児休暇中」の割合が59.4%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」の割合が31.3%となっています。



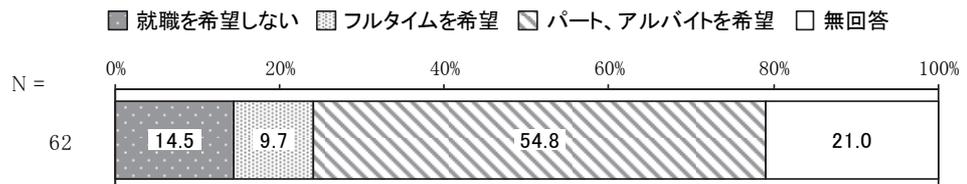
② 就労経験の有無（「就労していない」を回答した方）

「以前は就労していた」の割合が80.6%、「就労したことがない」の割合が1.6%となっています。



③ 今後の就職について

「パート、アルバイトを希望」の割合が54.8%と最も高く、次いで「就職を希望しない」の割合が14.5%となっています。



## (2) 地域子育て支援センター・子育て広場の利用について

この施設を利用したきっかけは何ですか。

意見項目	主な意見
家族、知人のすすめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健センターでお世話になっており、利用を始めました。利用目的は、長期休暇中の子供の居場所の一つとして。</li> <li>・友人、実母が同じ福祉センター内で働いていた。</li> <li>・ご近所の方のお誘い、保健所のおすすめで。</li> <li>・上2人の時に利用していたので。子育ての相談やおもちゃがたくさんあるので、いい刺激になったらと思って。</li> </ul>
インターネット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットにて知り、子育て相談等のため利用している。</li> <li>・奈良市のホームページや人から聞いて。子供のふれあいの場、他のママとの交流が作れればと思って。月3～4回程。</li> <li>・インターネットで知りました。他の子ども達と関わりを持たせる為。月に5回ほど、もう少し回数を増やしたい。</li> <li>・ホームページで見て。ゆめわくわくリズム等企画されているイベント参加がきっかけ。</li> </ul>
講習会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめてのパパママ教室に来た時に見て、来てみたいと思ったのがきっかけ。息抜きと子供に刺激を与えたくて。</li> <li>・ゆめの国（大宮の施設）の人におしえてもらった。</li> <li>・はみがきの講習でホールにきた時に知った。</li> <li>・5ヵ月児の離乳食教室で。週3程度で利用している。</li> </ul>
保健師の紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出産後、保育士さんの赤ちゃん訪問など。</li> <li>・保健師さんにパンフレットをもらった。</li> </ul>
子育て情報誌・パンフレット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良市の助産師訪問でもらった冊誌で知り、子供が広い場所で遊べるので週2回程来ている。</li> <li>・子育て情報誌で知り、他のお母さん達との交流や子ども同士の交流を目的、頻繁に来ているときは週2で来ている。</li> </ul>

この施設を利用して感じることを教えてください。

意見項目	主な意見
相談・情報交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談しやすい。子供が喜ぶから。</li> <li>・気がるに育児の事など相談できてたすかっている。</li> <li>・子育ての悩みを聞いてもらったり、ママ達との情報交換が出来る良い場所だと思う。</li> <li>・先生も含め、母親同士話しができて情報交換にもなる。</li> </ul>
施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設が広く、ゆとりがある。</li> <li>・広々としていて、いろいろな遊び道具がある。</li> <li>・大きい子、小さい子が分かれていて安全。</li> <li>・転んでも大丈夫な施設（床）がいい。</li> <li>・家の近くの広場は狭い（割におもちゃが多くごちゃごちゃしている）ため、この施設に来た。</li> </ul>
利用環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の先生たちがとてもお話ししやすい雰囲気がある。</li> <li>・アットホームな雰囲気が良いと思う。</li> <li>・子供も大人もリフレッシュできる場所で大変満足している。</li> <li>・おもちゃが沢山あり、安全にも配慮していて安心して遊ばせる事が出来満足している。</li> <li>・外にも遊具があり、子供達は大変満足している様子。先生方のアドバイスもとても助かっている。</li> </ul>

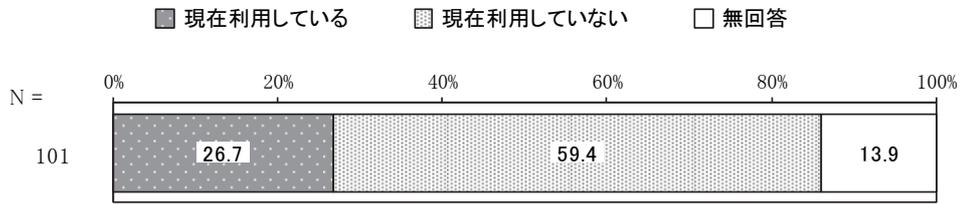
### （3）子育て（妊娠中を含む）の悩みや気がかりなことについて

意見項目	主な意見
子どもの発達	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達。</li> <li>・心身の発達。</li> <li>・子どもの発達のおくれが気になった。夫の仕事が忙しく、子育てをあまりしてくれなかった。</li> </ul>
子どもの遊び場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2人いるので上の子の遊び場、友達とのふれあいができる場があるとうれしい。</li> <li>・2才～3才の間の遊び場。</li> <li>・遊びにつれて行くところに悩む。</li> </ul>
入園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園をどこにするか。</li> <li>・幼稚園の選び方。</li> <li>・奈良市に知り合いがおらず、保育園等の情報収集が困難。</li> <li>・保育園の待機状況の情報が欲しい。</li> </ul>
子どものへの接し方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上の子と下の子との接し方の違いで悩んでいる。</li> <li>・自分の子どもへの接し方が分からないというか、もっといい接し方があるのではないかと思う。</li> <li>・怒り方、上の子のやきもち。</li> </ul>

#### (4) 保育所・幼稚園・認定こども園の利用について

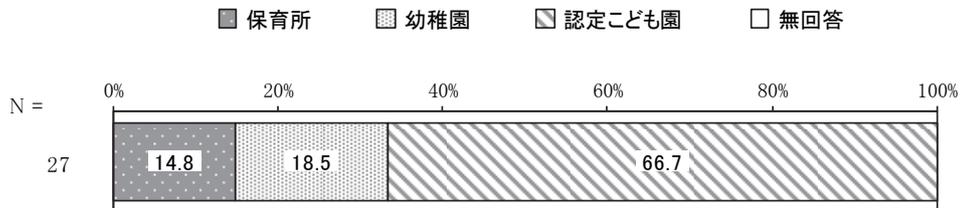
保育所・幼稚園・こども園を現在利用されていますか。

「現在利用している」の割合が26.7%、「現在利用していない」の割合が59.4%となっています。



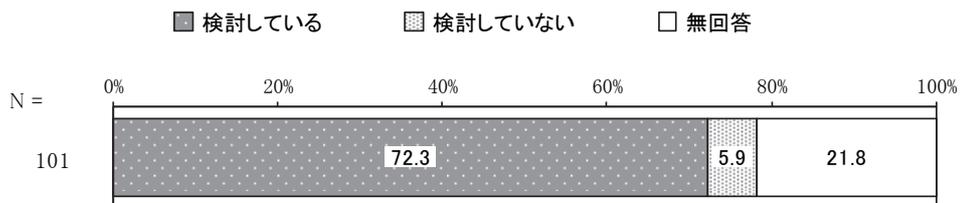
##### ① 利用している教育・保育施設

「認定こども園」の割合が66.7%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が18.5%、「保育所」の割合が14.8%となっています。



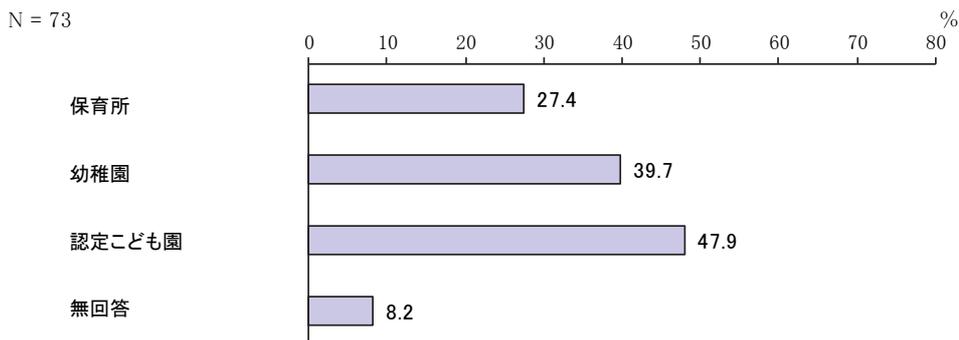
##### ② 今後の利用について

「検討している」の割合が72.3%、「検討していない」の割合が5.9%となっています。



##### ③ 検討している教育・保育施設

「認定こども園」の割合が47.9%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が39.7%、「保育所」の割合が27.4%となっています。

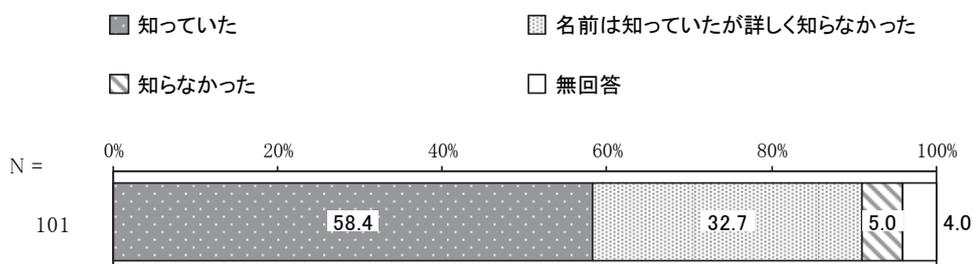


## 検討している理由

意見項目	主な意見
仕事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕事に復帰するので。</li> <li>・ 家の近くに認定こども園があり、今の仕事を続けたいから。</li> <li>・ 母親が仕事をしていないため。</li> <li>・ 仕事がしたい為、保育所に申請出しているが、入れない為幼稚園を検討している。</li> </ul>
就学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就学のため。</li> <li>・ 就学に向けて、集団の経験をさせたくて。</li> </ul>
場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自宅から近いところにあるので。</li> <li>・ 家の近く、遊ばせ方など見て入園させたいと思った。入園前から未就園児などで通うことができるので、入園までの心講えが母・子共にできると思った。</li> <li>・ 近くにあるのが幼稚園の為（2人目を考えているので保育所はまだ考えていない）。</li> <li>・ 上の子が年長で、認定こども園が近くにあるため。</li> </ul>

## 認定こども園をご存知でしたか。

「知っていた」の割合が 58.4%と最も高く、次いで「名前は知っていたが詳しく知らなかった」の割合が 32.7%となっています。



認定こども園について、どんなイメージをお持ちですか。

意見項目	主な意見
働き方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短時間も長時間も一緒のクラスで見てもらえるので働くことを考えた時に便利。</li> <li>・仕事をしている、していないにかかわらず、いろんな状況でも預けられるイメージで良いと思う。懐が深い感じ。</li> <li>・働く保護者にはとても良いと思う。先生方との連絡等もよくできる。</li> <li>・途中で働いても転園しなくていいのでいいと思う。</li> <li>・親が急に働くことになっても、同じ園で預かってもらえるのでありがたい。</li> </ul>
利便性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保双方の利点を生かしていると感じる。</li> <li>・給食が助かる。</li> <li>・保育園よりしっかりしていないイメージ。</li> <li>・教育もあり、預り面でも安心できる。</li> <li>・特にイメージはないが、とても便利だと思う。夏休みなども利用できるという点が良いと思った。</li> </ul>
認知度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまりよく分からない。</li> <li>・まだよくわからない。幼稚園のようなもの。</li> <li>・何となく仕組みはわかっているが、実際にどんな風に保育が行われているかわからないので興味がある。</li> </ul>

## (5) 奈良市の子育て支援事業について

奈良市の子育て分野に関する取組において、他の自治体より良いと思うところはどのような取組だと感じていますか。理由もあわせて教えてください。

意見項目	主な意見
子育て支援センターの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援センターの数が他よりも多い方と聞いた事がある。自転車、徒歩圏内であるのはありがたい。</li> <li>・認定こども園、りりーべらず、保健センターなど子育てのサポートがしっかりしていると感じる。</li> <li>・子育て支援センターなどは多いと思うので日々気分を変えて利用しやすいと思う。</li> </ul>
相談窓口での対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て保健センターの職員の方の対応が良く、困った時に相談しやすい。</li> <li>・相談窓口が親切。</li> <li>・奈良の保育士さんは親切・丁寧に相談に乗ってもらえてありがたい。</li> </ul>
イベントの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援センター等で色んなイベントが行われている所。</li> </ul>
冊子、電子媒体の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冊子が役に立っている。</li> <li>・LINE登録している。</li> <li>・HPが充実している。</li> </ul>

- ・子育て支援拠点の利用者は、施設について充実していると感じている方が多かった。

また、もっと充実してほしいところはどのような取組だと感じますか。理由もあわせて教えてください。

意見項目	主な意見
子どもの遊び場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが遊べる公園が近くにあればよいと思う。</li> <li>・子どもが小さくても遊びやすい公園が少ない。</li> <li>・公園をもっとつくってほしい。</li> <li>・図書館の充実</li> </ul>
子どもを預かる環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時預かりできる所をもっと増やしてほしい。</li> <li>・一時預かり、ショートステイを増やしてほしい。</li> <li>・病児保育を増やして、仕事と両立しやすいようにしてほしい。</li> <li>・3年保育</li> </ul>
経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療費負担の軽減。</li> <li>・経済的支援。大阪等の他市はもっと充実している所があるため。</li> </ul>
相談場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て広場と医療相談の連携。</li> <li>・発達相談に乗ってくれるところがあれば良い。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産後ケア</li> <li>・イベントの充実</li> </ul>

- ・屋内、屋外で子どもが遊べる場所、特に小さな子供が遊べる公園を増やしてほしいという意見が多かった。
- ・駅の近くの保育所や、一時預かり・病児保育の充実（施設の整備や土日の利用等）など、仕事との両立がしやすい環境を望む声があった。
- ・その他、イベントや施設について、父親が参加しやすい環境を望む声もあった。



## **IV 自由意見のまとめ（アンケート調査より）**

---



#### IV 自由意見のまとめ（アンケート調査より）

アンケート調査票に自由意見欄を設けたところ、0～2歳で267件、3～5歳で248件、小学生で418件の意見が寄せられました。

大分類	中分類	小分類	0～2歳	3～5歳	小学生	合計
1. 幼稚園・保育園・認定こども園について	幼稚園について	3年保育の実施	11	10	8	29
		設備充実・人員の量質向上・給食改善・教育内容改善・行事は休日に	1	8	4	13
		幼稚園の料金見直し	2	3	0	5
		幼稚園の増設	1	2	0	3
		入園しやすく、待機児童の解消、年度途中の受け入れ	4	2	1	7
		一時・短期・夜間・休日・長期休暇中・警報時の受け入れ	1	6	0	7
		小学生の預かり実施	0	1	0	1
		幼稚園補助金について	1	7	0	8
		園バスの実施	2	1	0	3
		公立幼稚園の廃園について	0	6	0	6
	幼稚園について 計		23	46	13	82
	保育園について	入所しやすく、待機児童の解消、年度途中の受け入れ	5	9	5	19
		入園条件見直し(未就労時の受け入れ、正社員とパートの区別見直し、出産時の受け入れ、兄弟姉妹同じ園に)	16	1	2	19
		設備充実・人員の量質向上・給食改善・教育内容改善・行事は休日に	7	4	1	12
		保育所の増設(空きがない、近場にほしい)	1	0	3	4
		一時・短期・夜間・休日・長期休暇中・警報時の受け入れ	6	3	3	12
		時間延長(開始時間と終了時間)	0	1	1	2
		保育料見直し(無償化、値下げ)	11	2	5	18
		不正入園の是正	1	0	0	1
		その他	2	0	3	5
保育園について 計		49	20	23	92	

大分類	中分類	小分類	0～2歳	3～5歳	小学生	合計
1. 幼稚園・保育園・認定こども園について	認定こども園について	認定こども園の増設 (空きがない、近場にほしい)	5	1	4	10
		設備充実・人員の量質向上・給食改善・教育内容改善・行事は休日に	3	6	6	15
		時間延長 (開始時間と終了時間)	0	1	0	1
		認定こども園反対	1	1	1	3
		不平等がないように	2	0	0	2
		認定こども園について 計	11	9	11	31
2. 小学校就学後の生活について	小学校について	休日・放課後・長期休暇中に補習授業・習い事	1	0	0	1
		公立学校のレベルアップ・教育内容の充実と見直し	1	2	2	5
		担任の充実(人数・経験・子どもへの配慮・モラル)	0	0	4	4
		登下校時の安全確保(集団登下校の実施、警察のパトロール、先生による見守り)	3	0	1	4
		授業時間の増加、土曜日授業の復活	0	0	1	1
		老朽校舎の改修	0	3	9	12
		制服の導入	0	0	1	1
		子ども同士のいじめ・先生の子ども差別の対策強化	0	0	1	1
		校庭の開放	0	0	1	1
		PTA 役員、登下校時の見守り当番の負担軽減	0	2	5	7
		行事(卒業式、保護者面談、等)を休日にしてほしい	0	0	2	2
		給食について (無料化・アレルギー等の対応)	0	4	4	8
		満足	0	0	1	1
		その他	1	8	16	25
		小学校について 計	6	19	48	73

大分類	中分類	小分類	0～2歳	3～5歳	小学生	合計
2. 小学校 就学後の生 活について	バンビー ホームに ついて	時間延長 (開始時間と終了時間)	0	2	4	6
		設備充実・人員の量質向上・内容充 実・勉強(宿題)の実施・給食の実施	1	4	18	23
		利用条件見直し(未就労時の受け入 れ・祖父母がいても)	0	1	2	3
		警報時の対応改善(時間まで学校で 待機、警報が出ても実施)	0	0	1	1
		利用料見直し (無償化、値下げ、1日単位料金、時 間単位料金)	0	0	2	2
		親の送迎を不要に	0	0	2	2
		実施施設の増設(新設、定員増加、全 小学校で実施)	0	1	0	1
		利用についての不安	0	1	1	2
		バンビーホームについて 計	1	9	30	40
3. 子育て 支援全般に ついて	地域子育 てセンタ ー、広場 について	地域子育て支援拠点事業(子育て支 援センター、児童館、ひろば)の充実	5	3	24	32
		福祉サービスセンター、子育てサーク ルの充実、子育てサロンの充実	3	0	2	5
		イベントを増やしてほしい、イベント内 容の充実	3	0	5	8
		子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター)の充実	8	4	1	13
		地域子育てセンター、 広場について 計	19	7	32	58
	その他 の子育 て支 援サー ビスに ついて	病児・病後児保育事業の充実(預け先 の増加、いつもの預け先で預かってほ しい)	3	0	5	8
		障害児への支援充実	3	4	5	12
		一時預かり事業の充実	0	4	2	6
		児童手当の充実、各種サービス利用 料の見直し(無償化、値下げ)	4	8	12	24
		支援条件の見直し(所得制限)	0	0	1	1
		母子家庭の方への支援	2	3	8	13
	その他の子育て支援サービスについ て 計	12	19	33	64	

大分類	中分類	小分類	0～2歳	3～5歳	小学生	合計
	子育てに関する情報について	子育て支援に関する情報を各家庭に周知してほしい	9	4	4	17
		子育てに関する相談先の充実 (定期的な相談会、相談窓口の増設、相談担当職員の対応改善)	6	9	4	19
		子育てに関する情報について 計	15	13	8	36
4. 子育て環境について	子どもの遊び場、まちづくり、公共施設等について	公園の増設、遊具の設置・点検、ボール遊びできる広場、衛生管理(ペットのふん、たばこの吸い殻、ゴミ)、等	62	36	78	176
		歩道の整備・通学路の安全確保(ガードレール、外灯、段差、監視カメラ、等)	14	6	19	39
		図書館の新設・充実	0	4	7	11
		公共交通機関の充実	1	1	0	2
		子どもが安心して成長できるまちづくり	3	0	7	10
		ベビーカーで行動しやすい環境づくり (歩道の段差、坂道、雨天時の雨除け)	2	0	0	2
		プールの新設・充実	1	0	0	1
		子どもの遊び場、まちづくり、公共施設等について 計	83	47	111	241
	母子の保健について	医療費補助、医療体制の充実	12	10	19	41
		医療費の窓口負担をなくす	11	18	18	47
		健診の拡大(機会、場所)	2	1	3	6
		妊婦健診の充実 (費用助成、休日の実施)	3	0	3	6
		母子の保健について 計	28	29	43	100
地域のつながり、協力等について	地域ぐるみで子育てできる環境にしてほしい	0	2	2	4	
	子育て支援の強化	1	1	1	3	
	親(父、母、両親)が子育てに専念できるようにしてほしい	0	0	4	4	
	地域のつながり、協力等について 計	1	3	7	11	

大分類	中分類	小分類	0～2歳	3～5歳	小学生	合計	
5. 子育て中の保護者の状況について	子育てと仕事の両立について	企業への子育て支援の啓発活動、企業による子育て世帯への取り組み充実	0	3	1	4	
		育児休業制度の改善 (取りやすく、期間の延長、取得対象者の拡大)	1	2	0	3	
		子育てと仕事の両立について 計	1	5	1	7	
	保護者のリフレッシュ、子育て不安等について	母親が育児しながら働きやすい環境にしてほしい	4	5	5	14	
		子育てしやすい環境にしてほしい	4	0	1	5	
		頼れる人が誰もいない	0	0	1	1	
		保護者のリフレッシュ、子育て不安等について 計	8	5	7	20	
	6. その他	市政について	行政の改善	1	0	3	4
			財政再建・行政のみえる化・ムダをなくす	2	1	6	9
			経済の活性化	1	0	0	1
地域の活性化			0	1	1	2	
市政について 計			4	2	10	16	
アンケートについて		分かりにくい、長い	1	4	1	6	
		アンケートについて 計	1	4	1	6	
その他		感想	4	8	36	48	
		中学校・高校のこと	0	1	3	4	
		感謝	0	1	0	1	
		大人のマナー改善	1	1	1	3	
		その他 計	5	11	40	56	

奈良市子育てに関するアンケート調査  
調査結果報告書

平成 30 年 3 月

編集・発行 奈良市 子ども未来部 子ども政策課  
〒630-8580  
奈良市二条大路南一丁目 1 番 1 号  
TEL 0742-34-4792 (直通)  
FAX 0742-34-4798